

いわき市
子ども・子育てに関するアンケート調査
及びこどもまんなか調査
(ニーズ調査)

－調査結果報告書－

令和6年12月

いわき市 こどもみらい部 こどもみらい課

<目 次>

I	調査概要	1
II	就学前児童保護者調査結果	3
1	子どもと家族の状況について	3
1-1	子どもの年齢	3
1-2	回答者	3
1-3	配偶関係	4
1-4	子どもの人数・末子の年齢	4
1-5	理想としては何人子どもが欲しいか	5
1-6	子育てを主に行っている人	5
1-7	子どもとの同居、近居の状況	6
1-8	居住地区	7
1-9	子どもの世話や看病について頼れる人はいるか	8
2	保護者の就労状況について	9
2-1	保護者の現在の就労状況	9
2-2	1週あたりの就労日数・1日あたりの就労時間	11
2-3	家を出る時間・帰宅時間	13
2-4	フルタイムへの転換希望	15
2-5	就労希望	16
2-6	希望する就労形態	17
3	平日の定期的な教育・保育サービスの利用状況について	18
3-1	平日に定期的な教育・保育のサービスを利用しているか	18
3-2	年間を通じて定期的に利用している教育・保育サービス	19
3-3	教育・保育サービスの利用状況	20
3-4	教育・保育サービスを利用していない理由	23
3-5	平日に定期的に利用したい教育・保育サービス	24
3-6	幼稚園と認可保育所の公立・私立の希望	25
3-7	特に幼稚園の利用を強く希望するか	26
3-8	平日の教育・保育サービスを選ぶときに重視する点	27
4	こども誰でも通園制度（仮称）について	28
4-1	こども誰でも通園制度（仮称）の利用希望	28
4-2	こども誰でも通園制度（仮称）のひと月あたり利用希望時間	29
4-3	こども誰でも通園制度（仮称）の利用目的	30
4-4	こども誰でも通園制度（仮称）の利用を希望しない理由	31
4-5	こども誰でも通園制度（仮称）の利用を検討できる料金	31
5	地域の子育て支援サービスの利用状況について	32
5-1	いわき市の地域子育て支援拠点事業を知っているか	32
5-2	地域子育て支援拠点事業の利用状況	33

5-3	地域子育て支援拠点事業の今後の利用意向	35
5-4	以下のサービスの認知度・利用状況・今後の利用意向	37
6	土曜・休日や長期休暇中の教育・保育サービスの利用希望について	39
6-1	土曜日と日曜・祝日の教育・保育サービスの利用希望	39
6-2	長期休暇期間中の教育・保育サービスの利用希望	41
7	子どもの病気の際の対応について	42
7-1	いわき市の病児・病後児保育を知っているか	42
7-2	今後、病児・病後児保育を利用したいと思うか	42
7-3	この1年間に子どもの病気やケガでサービスが利用できなかったこと	43
7-4	サービスが利用できなかった場合に行った対処方法	43
7-5	父母が休んだ際に病児・病後児保育施設等を利用したいと思ったか	45
7-6	できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たいと思ったか	46
8	不定期の教育・保育サービスや宿泊を伴う一時預かり等の利用について	47
8-1	いわき市の一時預かりを知っているか	47
8-2	今後、いわき市の一時預かりを利用したいと思うか	48
8-3	不定期に利用しているサービス	49
8-4	不定期のサービス利用希望・利用目的	50
8-5	ファミリー・サポート・センターを利用したいと思うか	52
8-6	トワイライトステイを利用したいと思うか	52
8-7	子育て短期支援事業（ショートステイ）の利用希望	53
8-8	小川地区以外でのショートステイ・トワイライトステイの実施希望	55
9	小学校就学後の放課後の過ごし方について	56
9-1	放課後に過ごさせたい場所	56
9-2	土曜日・日曜日・祝日の放課後児童クラブの利用希望	59
9-3	長期休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望	61
10	育児休業など職場の両立支援制度について	62
10-1	育児休業の取得状況	62
10-2	育児休業を取得していない理由	64
10-3	職場における仕事と子育ての両立支援制度	66
10-4	職場の両立支援制度は利用しやすい（しやすかった）か	68
10-5	育児休業取得後に職場に復帰したか	69
10-6	「実際」と「希望」の育児休業取得期間	70
10-7	「希望」よりも「実際」の職場復帰が早い理由	72
10-8	1歳で必ず利用できる事業があった場合の育児休業の取得	73
11	子育てに関する意識や情報収集について	74
11-1	子育てをどう感じるか	74
11-2	1日の中で安らぐ時間	75
11-3	子どもが1歳になる以前の不安や悩み	76
11-4	1歳以前に不安や悩みがあった場合の解決方法	77
11-5	子育ての悩み	78

11-6	子育てで不安やつらさを感じる事	79
11-7	子育てに困ったり悩んだりした時の相談先	80
11-8	今の社会は「こどもまんなか社会」の実現に向かっていると思うか	81
11-9	今の社会は「結婚、妊娠、こども・子育てに温かい社会」の実現に向かっていると思うか	81
11-10	子育てに関する情報源	82
11-11	市が子育て情報をSNSで発信する場合に受け取りやすいツール	83
12	子育て全般について	84
12-1	配偶者間の役割分担	84
12-2	ふだんの近所の方との交流	85
12-3	子育てする上で近所の方に期待すること	85
12-4	子どもがいつも遊ぶ場所	86
12-5	子育て環境の満足度	87
12-6	安心して子育てのできる環境をつくるために市が注力すべきこと	90
12-7	子ども・子育てについての意見	91

Ⅲ 小学生保護者調査結果..... 95

1	子どもと家族の状況について	95
1-1	子どもの学年	95
1-2	回答者	95
1-3	配偶関係	96
1-4	子どもの人数・末子の年齢	97
1-5	理想としては何人子どもが欲しいか	98
1-6	子育てを主に行っている人	98
1-7	子どもとの同居、近居の状況	99
1-8	居住地区	100
1-9	子どもの世話や看病について頼れる人はいるか	101
2	保護者の就労状況について	102
2-1	保護者の現在の就労状況	102
2-2	1週あたりの就労日数・1日あたりの就労時間	103
2-3	家を出る時間・帰宅時間	105
2-4	フルタイムへの転換希望	107
2-5	就労希望	108
2-6	希望する就労形態	109
3	子どもの放課後の過ごし方について	110
3-1	いわき市に放課後児童クラブ（学童保育）があることを知っているか	110
3-2	通学校に放課後児童クラブ（学童保育）があるか	111
3-3	現在、放課後に過ごしている場所	112
3-4	小学校高学年の放課後に過ごさせたい場所	114
3-5	市が放課後に実施するサービスの利用希望	116

3-6	市の委託する放課後児童クラブ（学童保育）に感じるこ	117
4	子どもの病気の際の対応について	118
4-1	この1年間に子どもの病気やケガで学校を休んだこと	118
4-2	学校を休んだ場合に行った対処方法	119
4-3	できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たいと思ったか	120
4-4	病児・病後児保育の対象年齢が拡大されたら利用したいか	121
5	不定期の教育・保育サービスや宿泊を伴う一時預かり等の利用について	122
5-1	不定期に利用しているサービス	122
5-2	ファミリー・サポート・センターを利用したいと思うか	123
5-3	トワイライトステイを利用したいと思うか	123
5-4	子育て短期支援事業（ショートステイ）の利用希望	124
5-5	小川地区以外でのショートステイ・トワイライトステイの実施希望	126
6	児童センター（児童館）・元気センターの利用について	127
6-1	いわき市に児童センター（児童館）・元気センターがあるのを知っているか	127
6-2	ふだん児童センター（児童館）・元気センターを利用しているか	128
6-3	児童センター（児童館）・元気センターへの要望	129
6-4	児童センター（児童館）・元気センターを利用していない理由	130
6-5	児童センター・元気センターを今後利用したいと思うか	131
7	育児休業など職場の両立支援制度について	132
7-1	育児休業の取得状況	132
7-2	育児休業を取得していない理由	134
7-3	仕事と子育ての両立支援制度	136
7-4	職場の両立支援制度は利用しやすい（しやすかった）か	138
8	子育てに関する意識や情報収集について	139
8-1	子育てをどう感じるか	139
8-2	1日の中で安らぐ時間	140
8-3	子育てで不安やつらさを感じるこ	141
8-4	子育てに困ったり悩んだりした時の相談先	142
8-5	今の社会は「こどもまんなか社会」の実現に向かっていると思うか	143
8-6	今の社会は「結婚、妊娠、こども・子育てに温かい社会」の実現に向かっていると思うか	143
8-7	子育てに関する情報源	144
8-8	市が子育て情報をSNSで発信する場合に受け取りやすいツール	145
9	子育て全般について	146
9-1	配偶者間の役割分担	146
9-2	ふだんの近所の方との交流	147
9-3	子育てする上で近所の方に期待すること	147
9-4	子どもは地域活動やグループ活動に参加したことがあるか	148
9-5	自身は子育てサークルなど自主的な活動に参加したことがあるか	149
9-6	子育て環境の満足度	150

9-7 安心して子育てのできる環境をつくるために市が注力すべきこと	153
9-8 子ども・子育てについての意見	154

IV こどもまんなか調査結果..... 158

1 基本的な属性について.....158

1-1 性別	158
1-2 通学地区	158
1-3 同居家族	159

2 不安や悩み、「性」のことについて.....160

2-1 不安や悩み	160
2-2 性についての具体的な悩み	161
2-3 性知識の情報源	162
2-4 むかついたりイライラしたときの解消法	163

3 自分の気持ちや考えについて.....164

3-1 自分にはいくつかの良いところがあると思うか	164
3-2 自分の体を大切にしているか	165
3-3 自分は家族に愛されていると思うか	165
3-4 自分の家庭は過ごしやすい場所か	166
3-5 居住地域は過ごしやすい場所か	166
3-6 社会生活や日常生活を円滑に送ることができなかった経験があったか	167
3-7 学校ですぐに友達ができるほうだと思うか	167
3-8 「自分には自分らしさというものがある」と思うか	168
3-9 今の自分が好きか	168
3-10 最近の生活の満足度	169
3-11 自分の将来について明るい希望を持っているか	170
3-12 次のひとたちは困ったときに助けてくれるか	171
3-13 今の社会は「こどもまんなか社会」の実現に向かっていると思うか	172
3-14 こどもに関する政策において自分の意見が聞いてもらえていると思うか	172
3-15 今の社会は「結婚、妊娠、こども・子育てに温かい社会」の実現に向かっていると思うか	173

4 将来住んでみたい未来のいわき市について.....174

V 使用した調査票..... 177

I 調査概要

1 調査の目的

「いわき市こども計画」の策定にあたり、少子化の現状と将来の動向、及び子育て支援策に関する状況を把握・整理するとともに、保育サービス等の需要並びに事業量等を見込み、今後の地域における子育て支援等に必要なニーズの把握・分析をするため、本調査を実施しました。

2 調査設計

調査種別	項目	内容
①就学前児童保護者調査	調査対象者	いわき市内在住の小学校就学前の児童の保護者 2,100 人
	抽出方法	住民基本台帳より無作為抽出
	調査方法	郵送配布・回収（インターネット回答を併用）
	調査期間	令和 6 年 4 月 16 日～4 月 30 日
②小学生保護者調査	調査対象者	いわき市内在住の小学生の保護者 2,200 人
	抽出方法	住民基本台帳より無作為抽出
	調査方法	郵送配布・回収（インターネット回答を併用）
	調査期間	令和 6 年 4 月 16 日～4 月 30 日
③こどもまんなか調査	調査対象者	いわき市内の中学校 2 年生 2,550 人
	調査方法	学校配布・回収
	調査期間	令和 6 年 4 月 17 日～4 月 26 日

3 回答状況

調査種別	配布数	総回収数	有効回収数	有効回収率
①就学前児童保護者調査	2,100	744	743	35.4%
②小学生保護者調査	2,200	745	743	33.8%
③こどもまんなか調査	2,550	1,945	1,929	75.6%

4 調査結果の見方

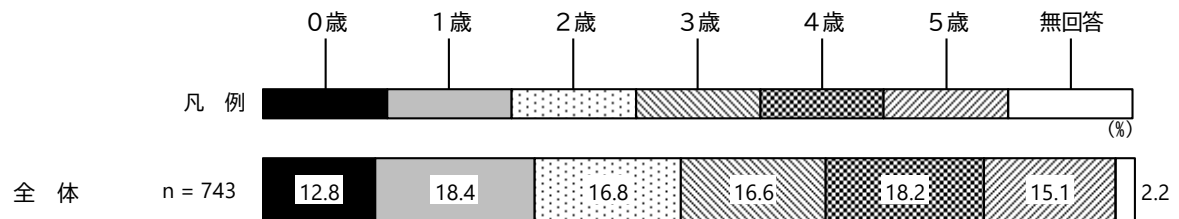
- n (number of cases) は回答割合算出における基数であり、100.0%が何人の回答に相当するかを表しています。
- 回答割合は百分率で表し、小数点第2位を四捨五入して算出しています。したがって、単一回答式の質問においては、回答割合を合計しても100.0%にならない場合があります。
また、複数回答式の質問においては、各設問の調査数を基数として算出するため、全ての選択肢の割合を合計すると100.0%を超える場合があります。
- 回答が皆無（0件）であった選択肢の回答割合は、図表中では「-」と表記しています。なお、一部、図表の見やすさを考慮して「-」を非掲載としている場合があります。
- 図表中またはコメント中で2つ以上の選択肢の回答割合の合算値を掲載している箇所は、四捨五入の関係で、個々の回答割合の単純な足し上げ値と一致しない場合があります。
- 調査数（n）が少数のものは、回答割合の信頼性が低いため、コメントを省略している場合があります。
- 図表及びコメントで、選択肢の語句等を一部簡略化等している場合があります。

Ⅱ 就学前児童保護者調査結果

1 子どもと家族の状況について

1-1 子どもの年齢

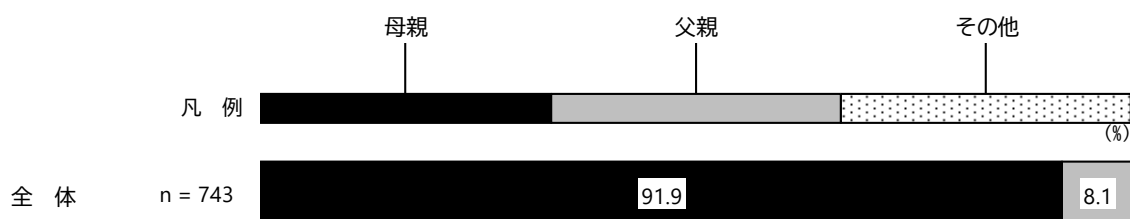
問1 お子さんの生年月をご記入ください。(数字は一桁に一字)



子どもの年齢について、全体では「0歳」が12.8%、「1歳」が18.4%、「2歳」が16.8%、「3歳」が16.6%、「4歳」が18.2%、「5歳」が15.1%となっています。

1-2 回答者

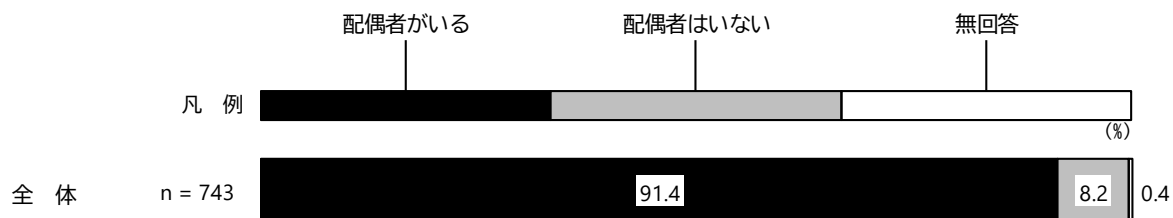
問2 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。(〇は1つ)



この調査票への回答者について、全体では「母親」が91.9%と9割以上を占め、「父親」は8.1%となっています。

1-3 配偶関係

問3 あなたの配偶関係についてお答えください。(○は1つ)



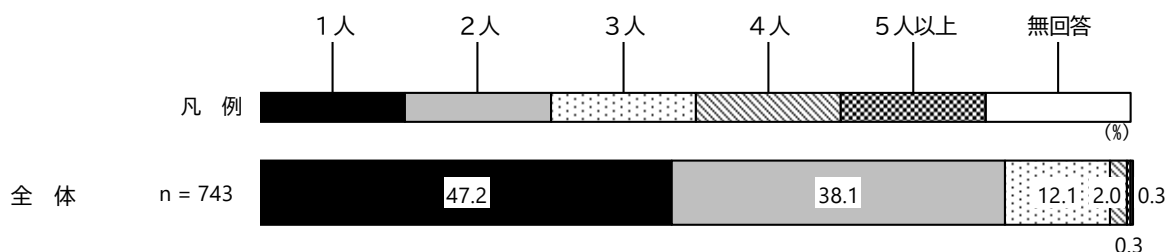
配偶関係について、全体では「配偶者がいる」が91.4%、「配偶者はいない」が8.2%となっています。

1-4 子どもの人数・末子の年齢

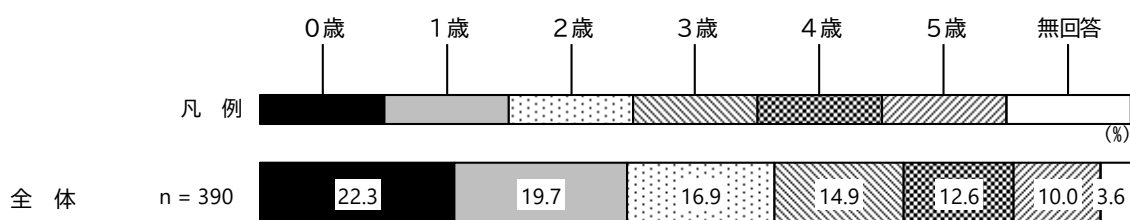
問4 お子さんは何人いらっしゃいますか。(○は1つ)

お2人以上のお子さんがある場合は、末子のお子さんの生年月をご記入ください。

◆子どもの人数



◆末子の年齢

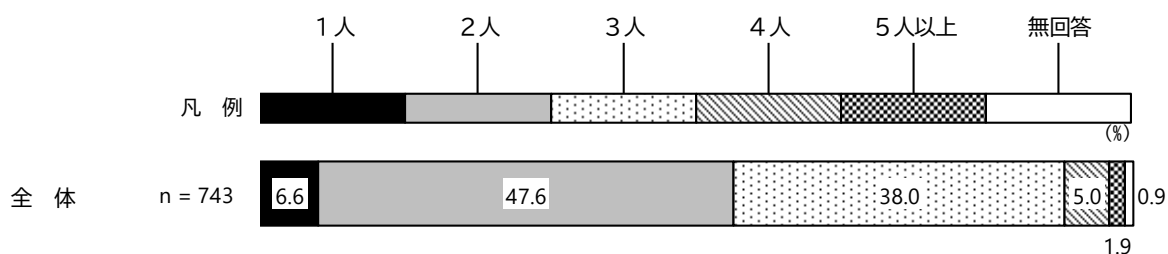


子どもの人数について、全体では「1人」が47.2%と最も高く、次いで「2人」(38.1%)、「3人」(12.1%)となっています。

2人以上の子どもがいる場合の末子の年齢については、「0歳」が22.3%と最も高く、次いで「1歳」(19.7%)、「2歳」(16.9%)となっています。

1-5 理想としては何人子どもが欲しいか

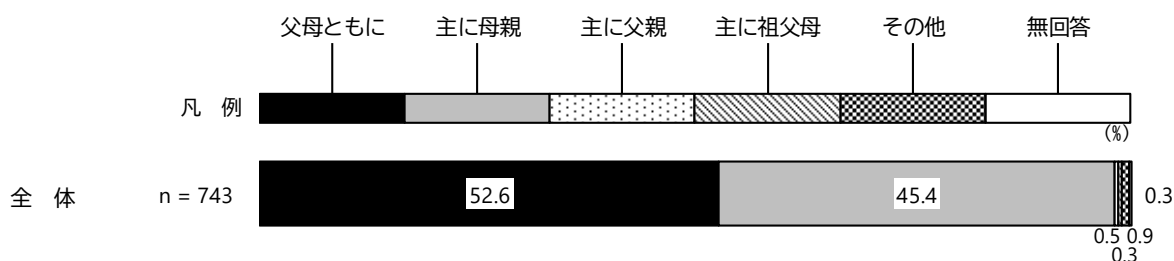
問5 理想としては何人くらいお子さんが欲しいですか。(○は1つ)



理想としては何人子どもが欲しいかについて、全体では「2人」が47.6%と最も高く、次いで「3人」(38.0%)、「1人」(6.6%)となっています。

1-6 子育てを主に行っている人

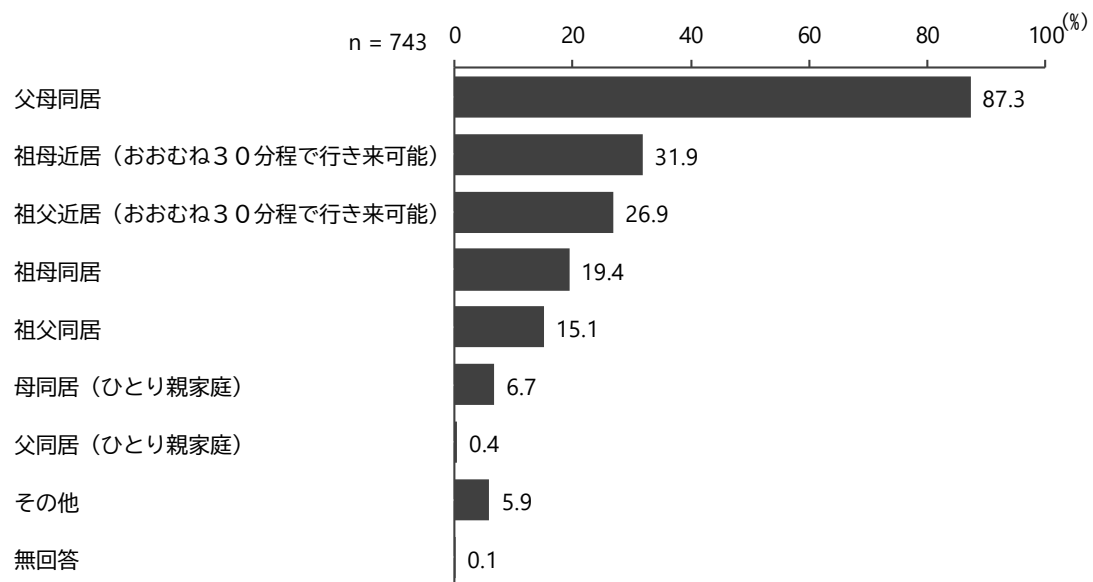
問6 子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。(○は1つ)



子育てを主に行っている人について、全体では「父母ともに」が52.6%と最も高く、次いで「主に母親」(45.4%)となっています。

1-7 子どもとの同居、近居の状況

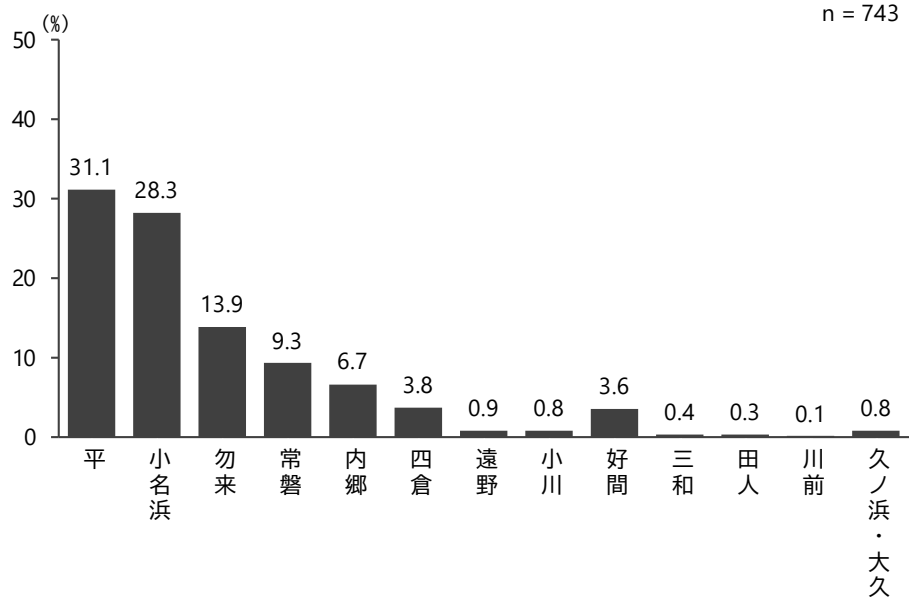
問7 お子さんとの同居・近居の状況についてお答えください。続柄はお子さんからみた関係です。（あてはまるものすべてに○）



子どもとの同居、近居の状況について、全体では「父母同居」が87.3%と最も高く、次いで「祖母近居（おおむね30分程で行き来可能）」（31.9%）、「祖父近居（おおむね30分程で行き来可能）」（26.9%）となっています。

1-8 居住地区

問8 どちらの地区にお住まいですか。(〇は1つ)

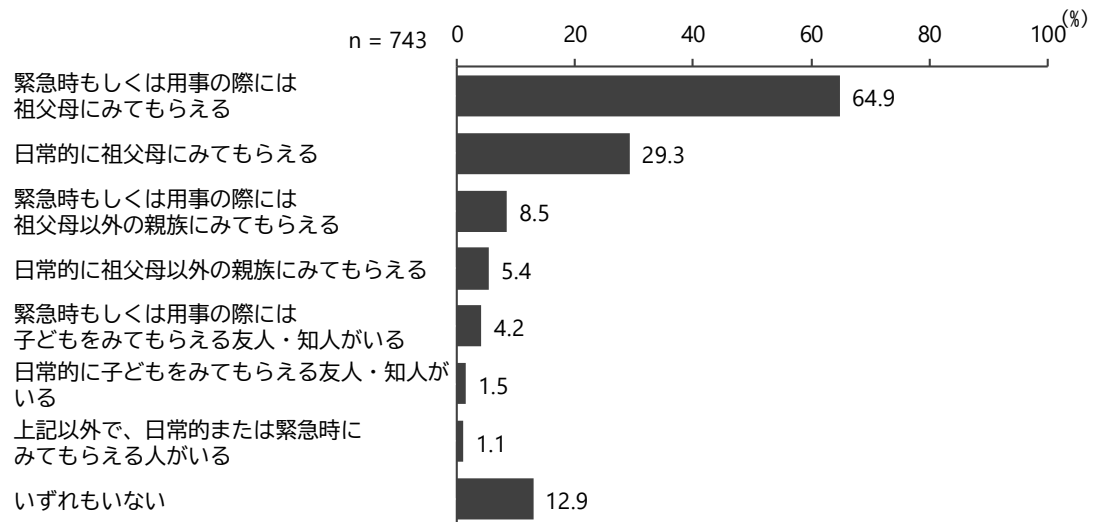


居住地区について、全体では「平」が31.1%と最も高く、次いで「小名浜」(28.3%)、「勿来」(13.9%)となっています。

1-9 子どもの世話や看病について頼れる人はいるか

問9 日頃、お子さんのお世話や看病について頼れる人はいますか。

(あてはまるものすべてに○)



子どもの世話や看病について頼れる人はいるかについて、全体では「緊急時もしくは用事の際には祖父母にみてもらえる」が64.9%と最も高く、次いで「日常的に祖父母にみてもらえる」(29.3%)、「緊急時もしくは用事の際には祖父母以外の親族にみてもらえる」(8.5%)となっています。一方、「いずれもない」との回答も12.9%みられます。

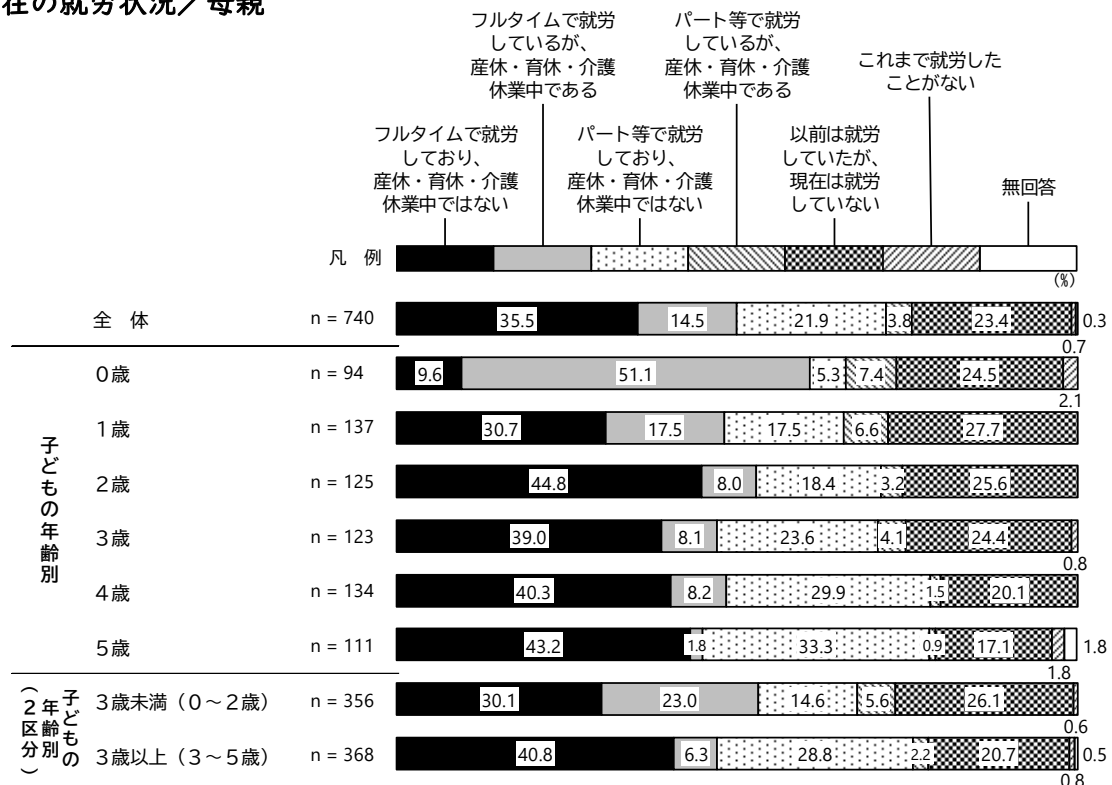
2

保護者の就労状況について

2-1 保護者の現在の就労状況

問 10① 保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）についてお答えください。
（母親、父親のそれぞれについて、○は1つ）

◆現在の就労状況／母親

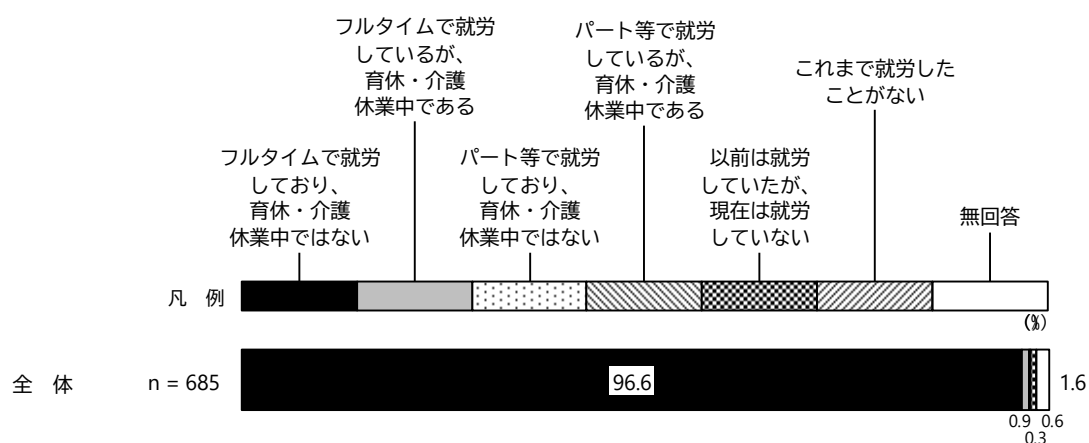


母親の現在の就労状況について、全体では「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が35.5%と最も高く、次いで「以前は就労していたが、現在は就労していない」（23.4%）、「パート等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」（21.9%）となっています。

子どもの年齢別にみると、0歳では「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」が51.1%と5割以上を占めますが、年齢が上がるにつれて「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」や「パート等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が高くなっています。

Ⅱ 就学前児童保護者調査結果

◆現在の就労状況／父親



父親の現在の就労状況について、全体では「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」が96.6%と大多数を占めています。

2-2 1週あたりの就労日数・1日あたりの就労時間

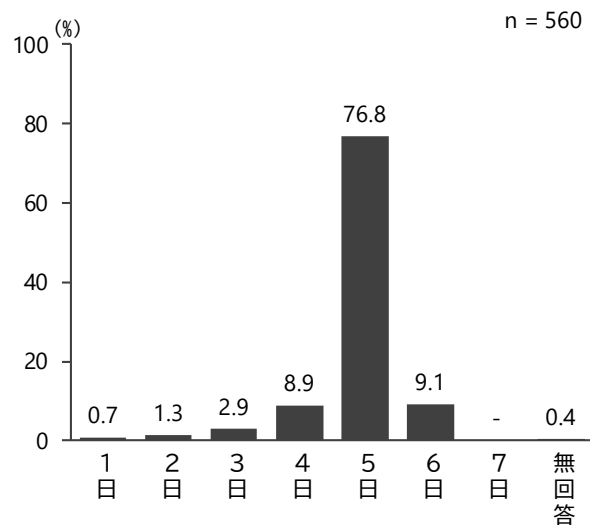
【問10①でフルタイム又はパート等で就労していると回答した方のみ】

問10② 1週あたりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。（数字は一桁に一字）

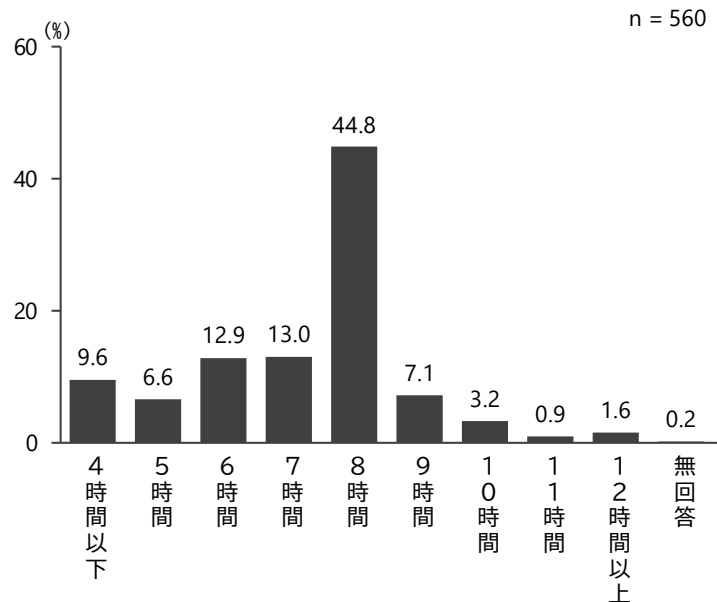
※就労日数・時間が一定でない場合は、最も多いパターンについてお答え下さい。

※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

◆1週あたりの就労日数／母親



◆1日あたりの就労時間／母親

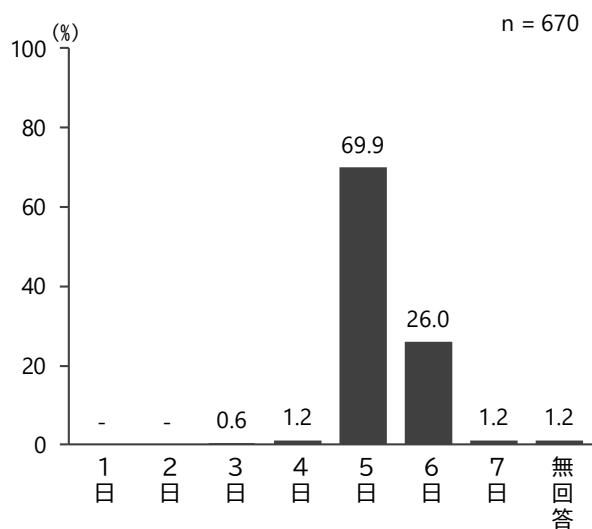


母親の1週あたりの就労日数について、全体では「5日」が76.8%と最も高く、次いで「4日」と「6日」がともに約9%となっています。

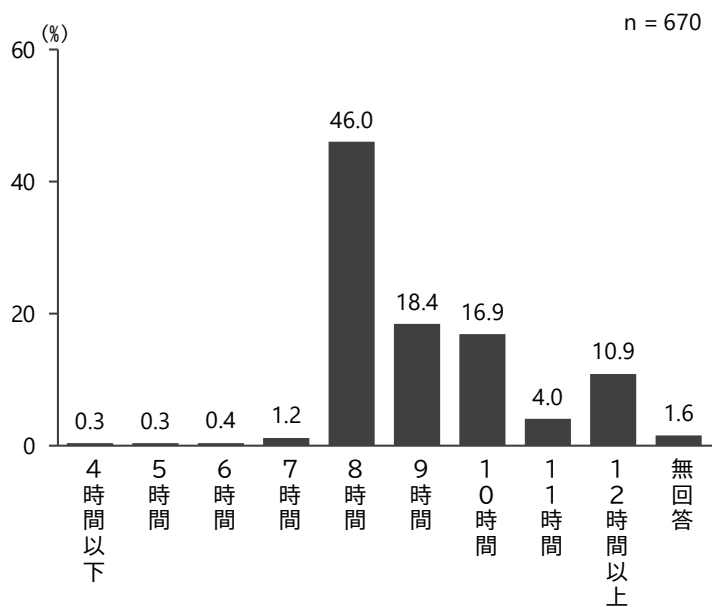
母親の1日あたりの就労時間について、全体では「8時間」が44.8%と最も高く、次いで「6時間」と「7時間」がともに約13%となっています。

Ⅱ 就学前児童保護者調査結果

◆ 1週あたりの就労日数／父親



◆ 1日あたりの就労時間／父親



父親の1週あたりの就労日数について、全体では「5日」が69.9%と最も高く、次いで「6日」が26.0%となっています。

父親の1日あたりの就労時間について、全体では「8時間」が46.0%と最も高く、次いで「9時間」（18.4%）、「10時間」（16.9%）となっています。

2-3 家を出る時間・帰宅時間

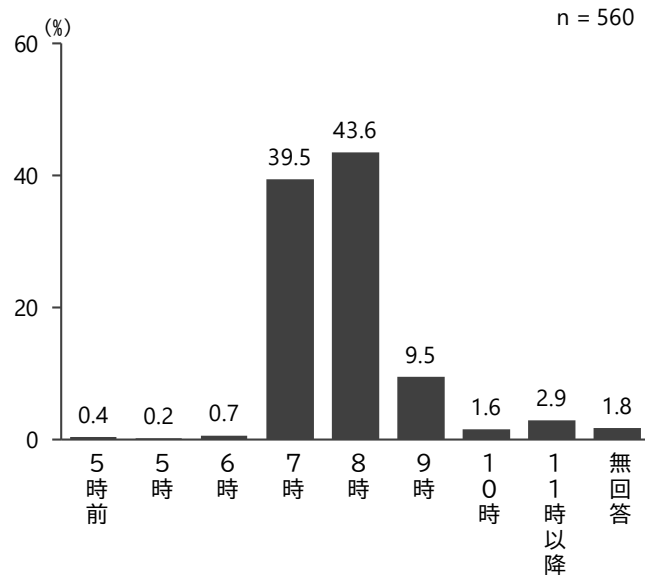
【問 10①でフルタイム又はパート等で就労していると回答した方のみ】

問 10③ 家を出る時間と帰宅時間をお答えください。(数字は一枠に一字)

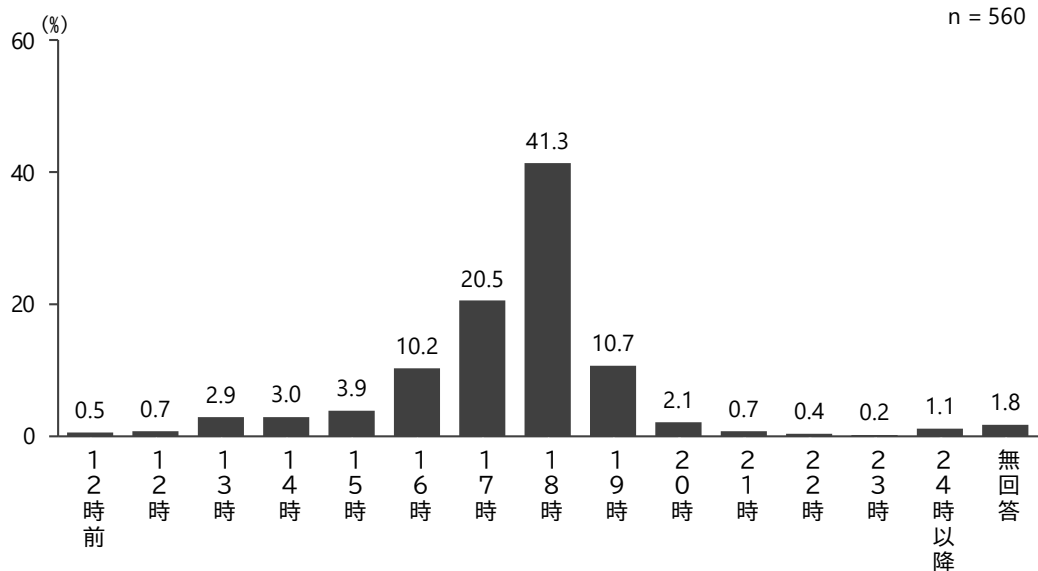
※時間が一定でない場合は、最も多いパターンについてお答えください。

※産休・育休・介護休暇中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

◆家を出る時間／母親



◆帰宅時間／母親

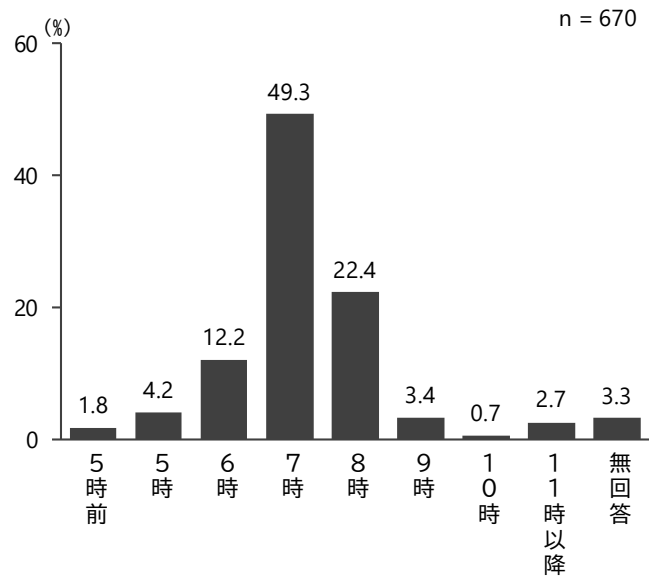


母親が家を出る時間について、全体では「7時」や「8時」がともに4割前後と高くなっています。

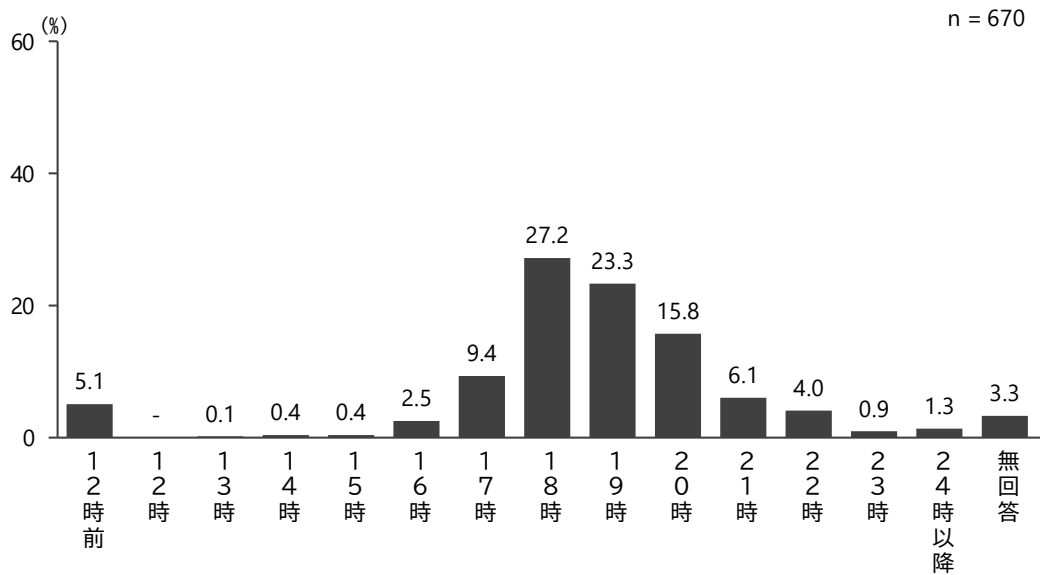
母親の帰宅時間について、全体では「18時」が41.3%と最も高く、次いで「17時」(20.5%)、「19時」(10.7%)、「16時」(10.2%)となっています。

Ⅱ 就学前児童保護者調査結果

◆家を出る時間／父親



◆帰宅時間／父親



父親が家を出る時間について、全体では「7時」が49.3%と最も高く、次いで「8時」(22.4%)、「6時」(12.2%)となっています。

父親の帰宅時間について、全体では「18時」が27.2%と最も高く、次いで「19時」(23.3%)、「20時」(15.8%)となっています。

2-4 フルタイムへの転換希望

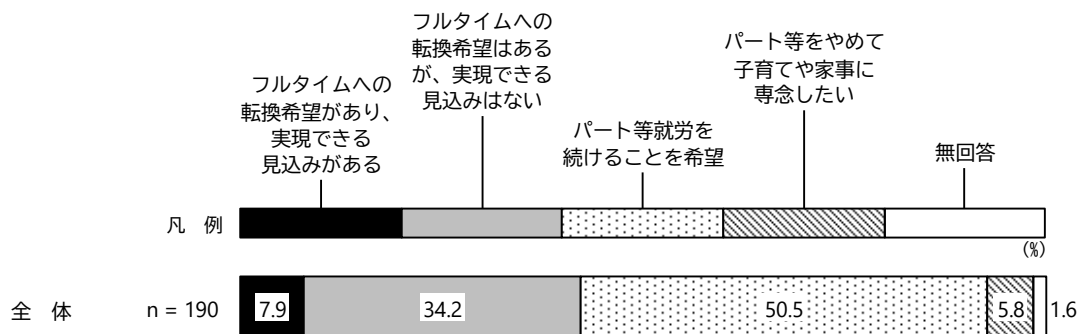
【問10①でパート等で就労していると回答した方のみ】

※問10①でフルタイムで就労と回答した方は問11へお進みください

問10④ フルタイムへの転換希望はありますか。

(母親、父親のそれぞれについて、○は1つ)

◆フルタイムへの転換希望／母親



母親のフルタイムへの転換希望について、全体では「パート等就労を続けることを希望」が50.5%と最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」(34.2%)、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」(7.9%)となっています。

父親のフルタイムへの転換希望については、調査数(n)が僅かであるためグラフを非掲載とします。

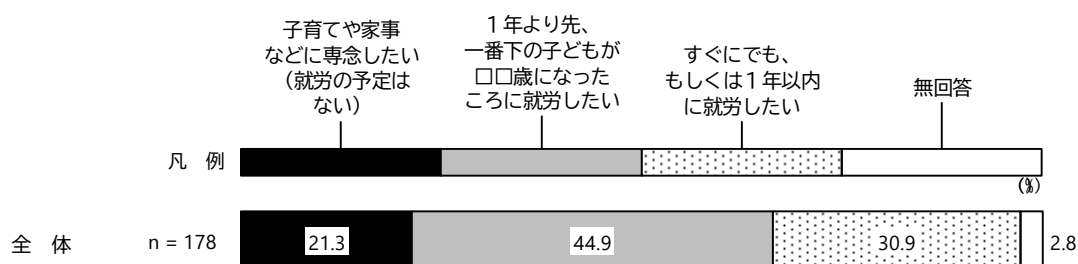
2-5 就労希望

【問10①で就労していないと回答した方のみ】

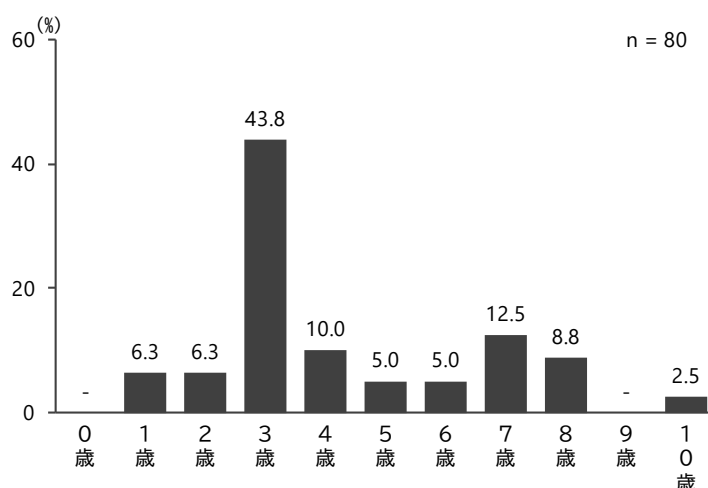
問10⑤ 就労したいという希望はありますか。

(母親、父親のそれぞれについて、○は1つ。また数字は一桁に一字)

◆就労希望／母親



◆就労を希望する末子の年齢／母親



母親の就労希望について、全体では「1年より先、一番下の子どもが□□歳になったころに就労したい」が44.9%と最も高く、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」(30.9%)、「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」(21.3%)となっています。

「1年より先、一番下の子どもが□□歳になったころに就労したい」と回答した場合の具体的な年齢は、「3歳」が43.8%と最も高く、次いで「7歳」(12.5%)、「4歳」(10.0%)となっています。

父親の就労希望については、調査数(n)が僅かであるためグラフを非掲載とします。

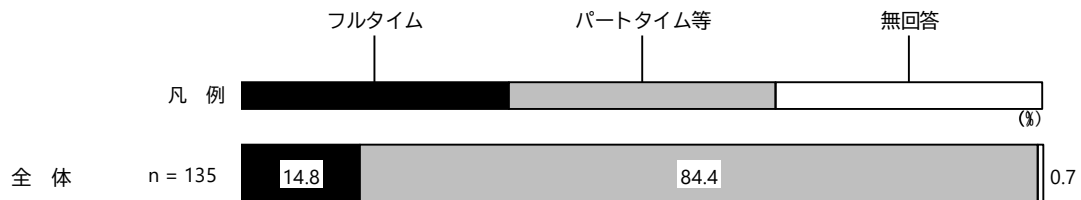
2-6 希望する就労形態

【問10⑤で就労したいと回答した方のみ】

問10⑥ 希望する就労形態をお答えください。

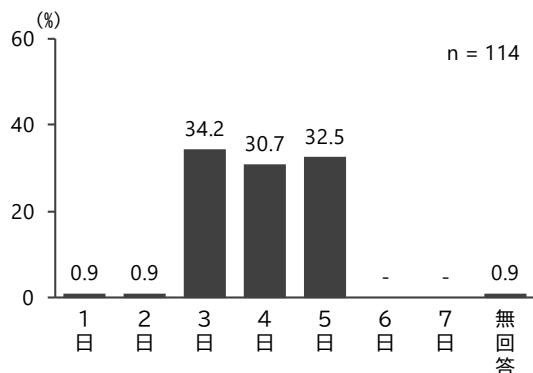
(母親、父親のそれぞれについて、○は1つ。また数字は一枠に一字)

◆希望する就労形態／母親

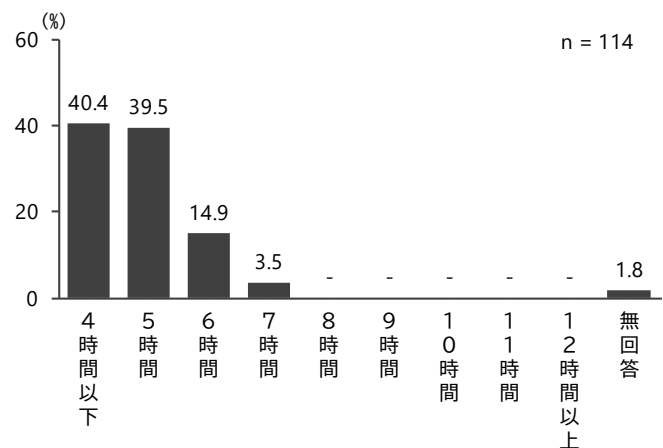


◆パートタイム等を希望する場合／母親

【1週あたりの希望就労日数】



【1日あたりの希望就労時間】



母親が希望する就労形態について、全体では「フルタイム」が14.8%、「パートタイム等」が84.4%となっています。

「パートタイム等」を希望する場合の1週あたりの希望就労日数は、「3日」「4日」「5日」がそれぞれ約3割となっています。1日あたりの希望就労時間は、「4時間以下」及び「5時間」がともに約4割となっています。

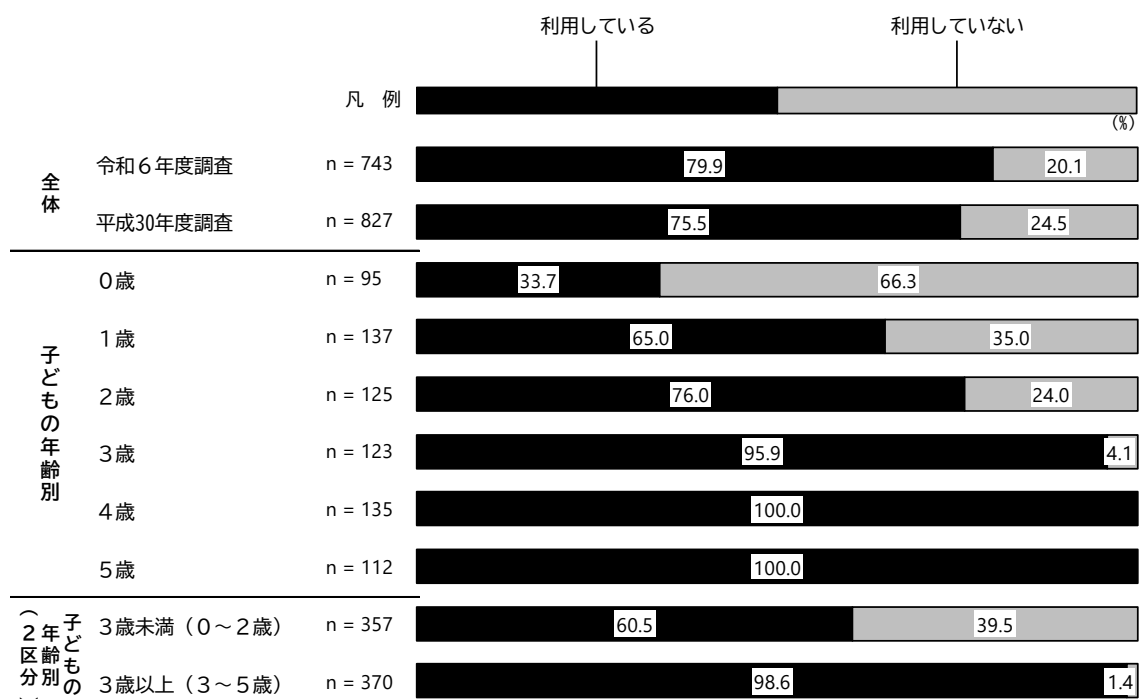
父親が希望する就労形態については、調査数（n）が僅かであるためグラフを非掲載とします。

3

平日の定期的な教育・保育サービスの利用状況について

3-1 平日に定期的な教育・保育のサービスを利用しているか

問 11 お子さんは現在、平日に幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育のサービス」を利用していますか。(○は1つ)



平日に定期的な教育・保育のサービスを利用しているかについて、全体では「利用している」が79.9%「利用していない」が20.1%となっています。

平成30年度に市内の小学校就学前の児童の保護者に対して実施した調査(以下「平成30年度調査」という。)と比較すると、「利用している」が僅かに上昇しています。

子どもの年齢別にみると、年齢が上がるにつれて「利用している」が高くなり、3歳では95.9%、4歳以上では100%の利用率となっています。

3-2 年間を通じて定期的に利用している教育・保育サービス

【問11で「利用している」を選択した方のみ】

問11① 年間を通じて「定期的に」利用しているサービスをお答えください。

(あてはまるものすべてに○)

														(%)
		n	認可 保育所	認定こども 園	幼稚園	幼稚園の預かり 保育	その他の認可外 保育施設 (企業主導型 保育施設含む)	小規模 保育施設	事業所内 保育施設	家庭的 保育施設	ファミリー・サ ポート・センタ ー	その他	無回 答	
全体	令和6年度調査	594	49.5	23.2	21.2	6.1	4.2	3.4	2.4	0.5	0.2	2.5	-	
	平成30年度調査	624	47.3	15.1	34.3	11.1	2.6	1.3	1.8	0.3	0.5	1.4	0.5	
子どもの年齢別	0歳	32	59.4	18.8	3.1	-	9.4	6.3	3.1	-	-	-	-	
	1歳	89	51.7	20.2	4.5	1.1	12.4	6.7	7.9	2.2	-	4.5	-	
	2歳	95	57.9	14.7	10.5	4.2	7.4	9.5	6.3	-	-	3.2	-	
	3歳	118	48.3	24.6	28.0	5.9	-	0.8	-	0.8	-	1.7	-	
	4歳	135	44.4	28.9	30.4	11.1	0.7	0.7	-	-	-	3.7	-	
	5歳	112	46.4	25.9	28.6	8.0	2.7	0.9	-	-	0.9	0.9	-	
(2年区 分)	3歳未満（0～2歳）	216	55.6	17.6	6.9	2.3	9.7	7.9	6.5	0.9	-	3.2	-	
	3歳以上（3～5歳）	365	46.3	26.6	29.0	8.5	1.1	0.8	-	0.3	0.3	2.2	-	

年間を通じて定期的に利用している教育・保育サービスについて、全体では「認可保育所」が49.5%と最も高く、次いで「認定こども園」(23.2%)、「幼稚園」(21.2%)となっています。

平成30年度調査と比較すると、「認定こども園」が約8ポイント上昇している一方で、「幼稚園」が10ポイント以上下降しています。

子どもの年齢別にみると、0～2歳では「認可保育所」が5割以上、3～5歳では「認定こども園」や「幼稚園」が約2～3割となっています。

3-3 教育・保育サービスの利用状況

【問 11 で「利用している」を選択した方のみ】

問 11② 問 11①でお答えいただいた教育・保育サービスについて、「現在」および「希望」の利用日数・時間をお答えください。

問 11①の選択肢の番号と 1 週あたり何日、1 日あたり何時間（何時から何時まで）かを、□内に具体的な数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

※問 11①で 4 つ以上の教育・保育サービスに○をつけた方は、年間利用日数（時間）が多い 3 つについてお答え下さい。

◆ 1 週あたりの利用日数

		調査数	利用日数（1 週あたり）／単位：構成比（％）					
			1 日	2 日	3 日	4 日	5 日	無回答
幼稚園	現在	94	-	-	1.1	2.1	96.8	-
	希望	94	-	-	-	2.1	92.6	5.3
幼稚園の預かり保育	現在	31	6.5	-	-	9.7	83.9	-
	希望	31	3.2	-	3.2	3.2	77.4	12.9
認可保育所	現在	272	-	-	0.4	2.6	97.1	-
	希望	272	-	-	0.7	2.6	87.9	8.8
認定こども園	現在	125	0.8	-	0.8	1.6	96.8	-
	希望	125	0.8	-	-	-	88.8	10.4
小規模保育施設	現在	15	-	-	-	13.3	86.7	-
	希望	15	-	-	-	6.7	93.3	-
家庭的保育施設	現在	1	-	-	-	-	100.0	-
	希望	1	-	-	-	-	100.0	-
事業所内保育施設	現在	11	-	-	-	-	100.0	-
	希望	11	-	-	-	18.2	81.8	-
その他の認可外保育施設	現在	22	9.1	-	-	9.1	81.8	-
	希望	22	-	4.5	4.5	-	86.4	4.5
ファミリー・サポート・センター	現在	1	100.0	-	-	-	-	-
	希望	1	-	-	-	-	-	100.0

※着色した数値は、各行の最大値

教育・保育サービスの 1 週あたりの利用日数については、『ファミリー・サポート・センター』を除く全てのサービスで、現在・希望ともに「5 日」が最も高くなっています。

◆ 1日あたりの利用時間

		調査数	利用時間（1日あたり）／単位：構成比（％）									
			4時間以下	5時間	6時間	7時間	8時間	9時間	10時間	11時間	12時間以上	無回答
幼稚園	現在	94	8.5	61.7	27.7	-	-	2.1	-	-	-	-
	希望	94	4.3	27.7	35.1	18.1	5.3	2.1	1.1	1.1	-	5.3
幼稚園の預かり保育	現在	31	41.9	3.2	3.2	16.1	9.7	9.7	16.1	-	-	-
	希望	31	32.3	6.5	-	6.5	9.7	6.5	19.4	-	3.2	16.1
認可保育所	現在	272	4.0	1.1	6.3	19.9	26.8	18.0	18.8	4.0	0.4	0.7
	希望	272	-	0.7	3.7	13.2	25.4	16.2	22.1	5.9	2.2	10.7
認定こども園	現在	125	1.6	20.8	8.0	16.8	19.2	19.2	12.0	2.4	-	-
	希望	125	1.6	8.0	8.0	16.8	27.2	14.4	11.2	3.2	-	9.6
小規模保育施設	現在	15	6.7	-	-	26.7	33.3	13.3	13.3	6.7	-	-
	希望	15	-	-	-	20.0	20.0	40.0	13.3	-	6.7	-
家庭的保育施設	現在	1	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-
	希望	1	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-
事業所内保育施設	現在	11	-	-	9.1	9.1	27.3	9.1	36.4	9.1	-	-
	希望	11	-	-	-	-	45.5	9.1	27.3	18.2	-	-
その他の認可外保育施設	現在	22	18.2	4.5	13.6	9.1	27.3	18.2	9.1	-	-	-
	希望	22	-	9.1	9.1	9.1	36.4	18.2	13.6	-	-	4.5
ファミリー・サポート・センター	現在	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	希望	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0

※着色した数値は、各行の最大値

教育・保育サービスの1日あたりの利用時間については、『認定こども園』の現在では「5時間」が最も高い一方、希望では「8時間」が最も高く、現在と希望で差がみられています。

Ⅱ 就学前児童保護者調査結果

◆利用開始・終了時間

		調査数	利用時間			
			開始時間（最頻値）		終了時間（最頻値）	
幼稚園	現在	94	9時	69.1%	14時	77.7%
	希望	94	9時	59.6%	14時	39.4%
幼稚園の預かり保育	現在	31	14時以降	45.2%	16時	35.5%
	希望	31	14時以降	35.5%	17時	29.0%
認可保育所	現在	272	8時	47.8%	17時	32.7%
	希望	272	8時	36.4%	17時	28.3%
認定こども園	現在	125	8時	44.8%	16時	27.2%
	希望	125	8時	41.6%	16時	24.8%
小規模保育施設	現在	15	8時	60.0%	16時／17時	40.0%
	希望	15	7時／8時／9時	33.3%	16時	33.3%
家庭的保育施設	現在	1	8時	100.0%	16時	100.0%
	希望	1	8時	100.0%	14時	100.0%
事業所内保育施設	現在	11	7時	45.5%	17時／18時	36.4%
	希望	11	8時	45.5%	18時	45.5%
その他の認可外保育施設	現在	22	8時	59.1%	15時／17時／18時	22.7%
	希望	22	8時	40.9%	18時	22.7%
ファミリー・サポート・センター	現在	1	14時以降	100.0%	17時	100.0%
	希望	1	—	—	—	—

教育・保育サービスの利用開始・終了時間の最頻値（回答の多かった時間帯）をみると、開始時間・終了時間ともに、現在と希望でそれほど大きな差はみられませんでした。

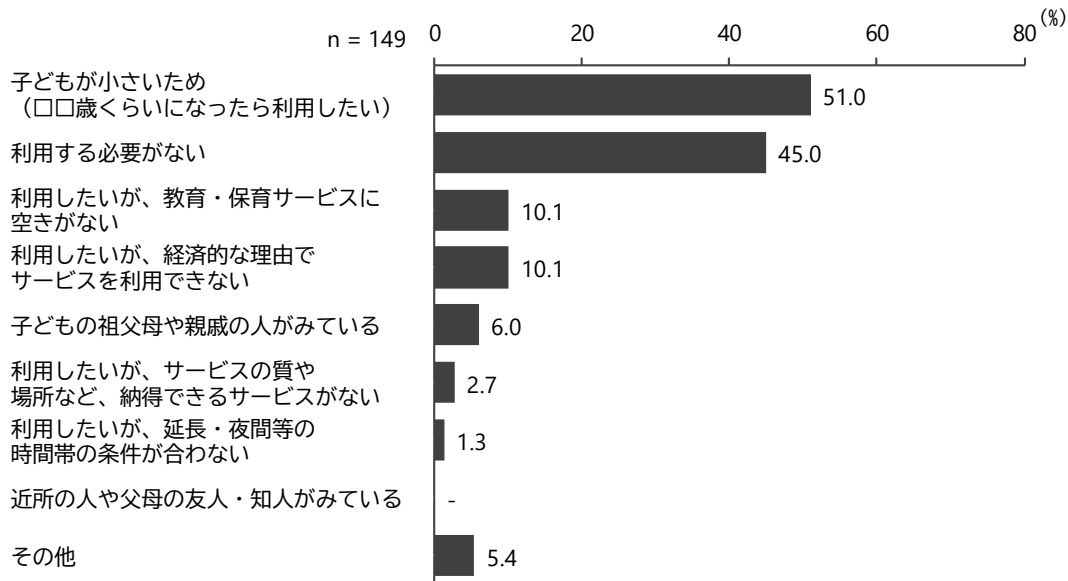
3-4 教育・保育サービスを利用していない理由

【問11で「利用していない」を選択した方のみ】

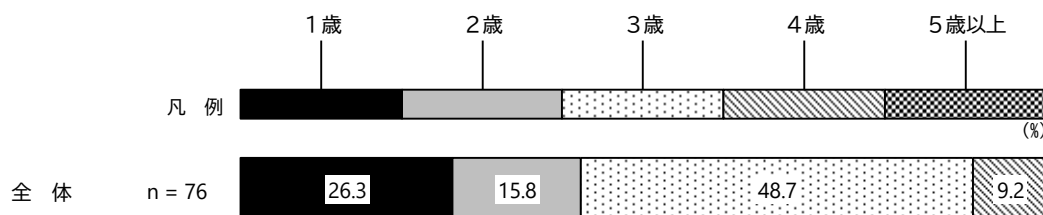
問11③ 利用していない理由は何ですか。

(あてはまるものすべてに○。また数字は一桁に一字)

◆利用していない理由



◆サービスを利用したい子どもの年齢



教育・保育サービスを利用していない理由について、全体では「子どもが小さいため」が51.0%と最も高く、次いで「利用する必要がある」(45.0%)、「利用したいが、教育・保育サービスに空きがない」「利用したいが、経済的な理由でサービスを利用できない」(ともに10.1%)となっています。

「子どもが小さいため」と回答した場合の、サービスを利用したい子どもの年齢は、「3歳」が48.7%と最も高く、次いで「1歳」(26.3%)、「2歳」(15.8%)となっています。

3-5 平日に定期的に利用したい教育・保育サービス

問 12① 現在、利用している、利用していないにかかわらず、お子さんの平日の教育・保育サービスとして、「定期的に」利用したいと考えるサービスをお答えください。
 なお、これらのサービスの利用には、一定の利用者負担が発生します。
 （あてはまるものすべてに○）

		n	認可 保育所	認定 こども 園	幼稚園	幼稚園 の預かり 保育	小規模 保育施設	ファミリー・ サポート・ センター	事業所 内保育 施設	家庭的 保育施設	その他の 認可外 保育施設 （企業主 導型保 育施設 含む）	その他	特に 希望 なし	無 回 答
全 体	令和6年度調査	743	47.9	31.6	28.5	22.9	6.7	5.7	5.7	4.0	3.6	1.7	8.2	0.4
	平成30年度調査	827	44.9	31.8	45.8	32.2	5.7	6.8	6.5	3.1	3.4	1.2	4.5	1.1
子 ど も の 年 齢 別	0歳	95	56.8	38.9	27.4	21.1	7.4	4.2	7.4	2.1	3.2	-	8.4	-
	1歳	137	48.2	33.6	32.1	25.5	9.5	8.8	7.3	2.9	7.3	2.2	8.0	-
	2歳	125	52.0	29.6	30.4	28.0	12.8	6.4	6.4	4.8	4.8	2.4	7.2	0.8
	3歳	123	50.4	27.6	30.1	23.6	5.7	3.3	5.7	5.7	2.4	3.3	7.3	-
	4歳	135	41.5	34.8	26.7	23.0	2.2	8.1	3.7	5.2	3.0	1.5	7.4	-
	5歳	112	42.0	27.7	23.2	15.2	2.7	2.7	3.6	2.7	0.9	0.9	10.7	1.8
（2 年 区 分） 子 ど も の 年 齢 別	3歳未満（0～2歳）	357	51.8	33.6	30.3	25.2	10.1	6.7	7.0	3.4	5.3	1.7	7.8	0.3
	3歳以上（3～5歳）	370	44.6	30.3	26.8	20.8	3.5	4.9	4.3	4.6	2.2	1.9	8.4	0.5

平日に定期的に利用したい教育・保育サービスについて、全体では「認可保育所」が47.9%と最も高く、次いで「認定こども園」（31.6%）、「幼稚園」（28.5%）となっています。

平成30年度調査と比較すると、「幼稚園」が約17ポイント下降し、「幼稚園の預かり保育」も約9ポイント下降しています。

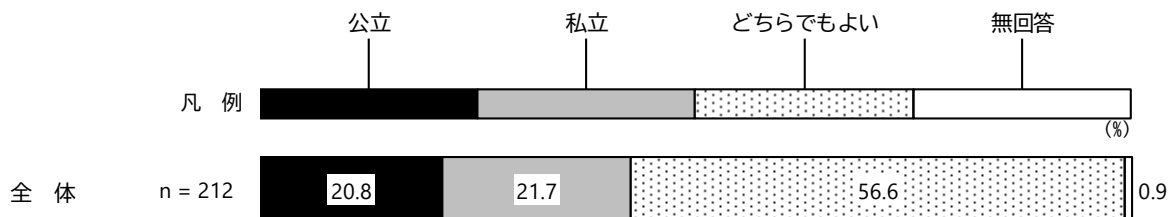
子どもの年齢別にみると、「認可保育所」は年齢が低いほど回答割合が高い傾向があります。

3-6 幼稚園と認可保育所の公立・私立の希望

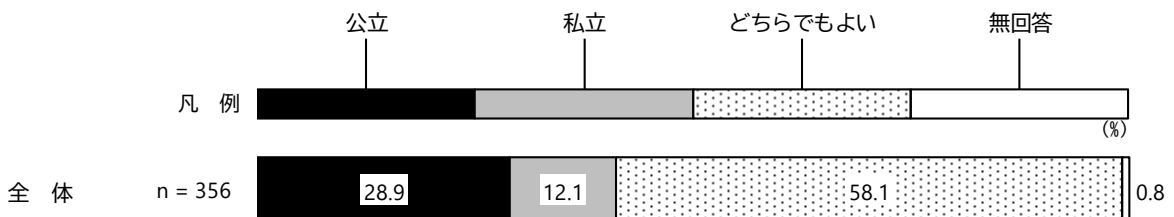
【問12①で「幼稚園」または「認可保育所」を選択した方のみ】

問12② お子さんの平日の教育・保育サービスとして、「定期的に」利用したいと考えるサービスは公立・私立のどちらですか。(〇は1つ)

◆幼稚園



◆認可保育所



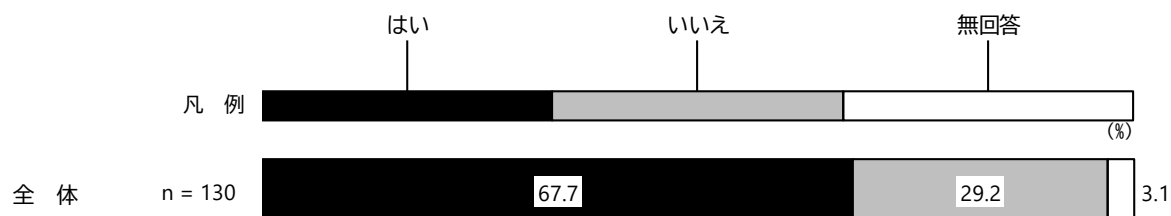
幼稚園を利用する際に公立・私立のどちらを希望するかについて、全体では「公立」が20.8%、「私立」が21.7%、「どちらでもよい」が56.6%となっています。

また、認可保育所については、「公立」が28.9%、「私立」が12.1%、「どちらでもよい」が58.1%となっています。

3-7 特に幼稚園の利用を強く希望するか

【問 12①で「幼稚園」または「幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつそれ以外のサービスにも○をつけた方のみ】

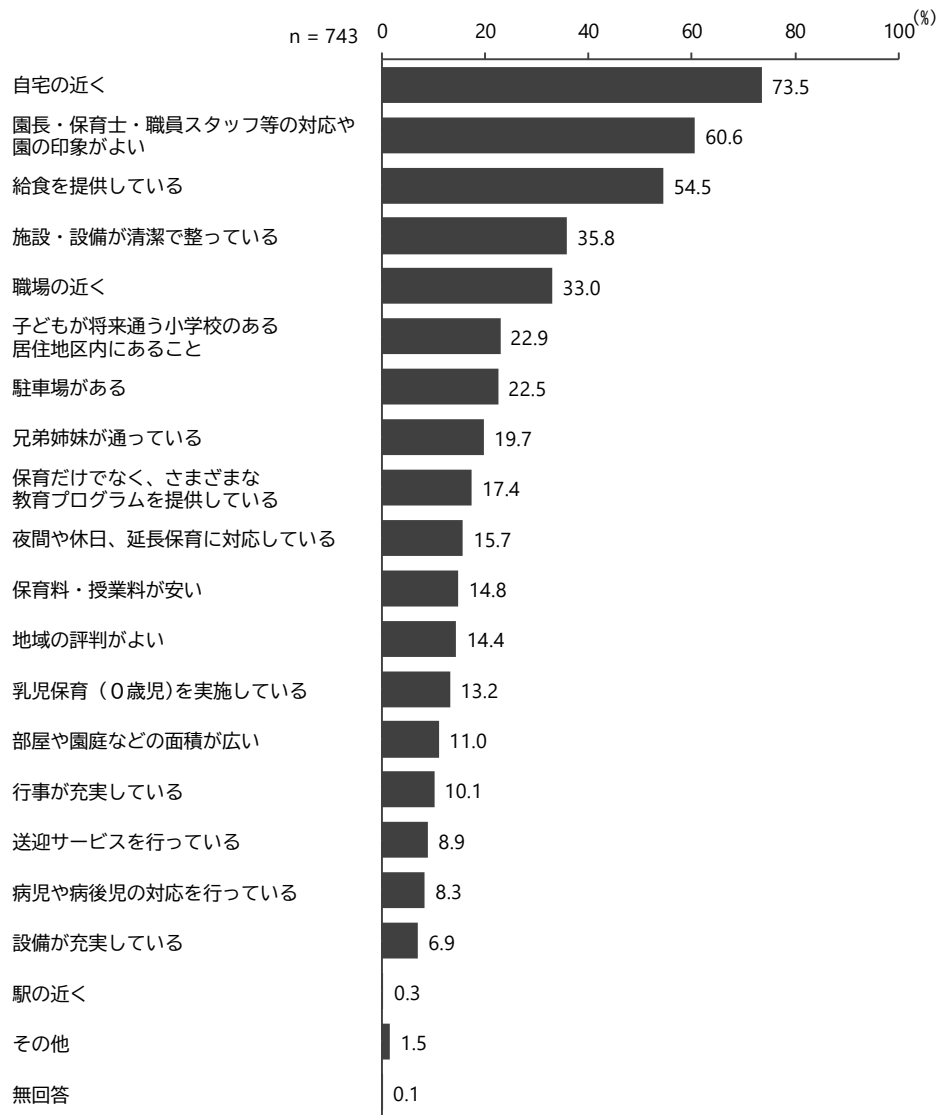
問 12③ 特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。（○は1つ）



特に幼稚園の利用を強く希望するかについて、全体では「はい」が67.7%、「いいえ」が29.2%となっています。

3-8 平日の教育・保育サービスを選ぶときに重視する点

問 13 現在、利用している、利用していないにかかわらず、お子さんの平日の教育・保育サービスを選ぶ際に、重視する点はどのようなことですか。（○は5つまで）

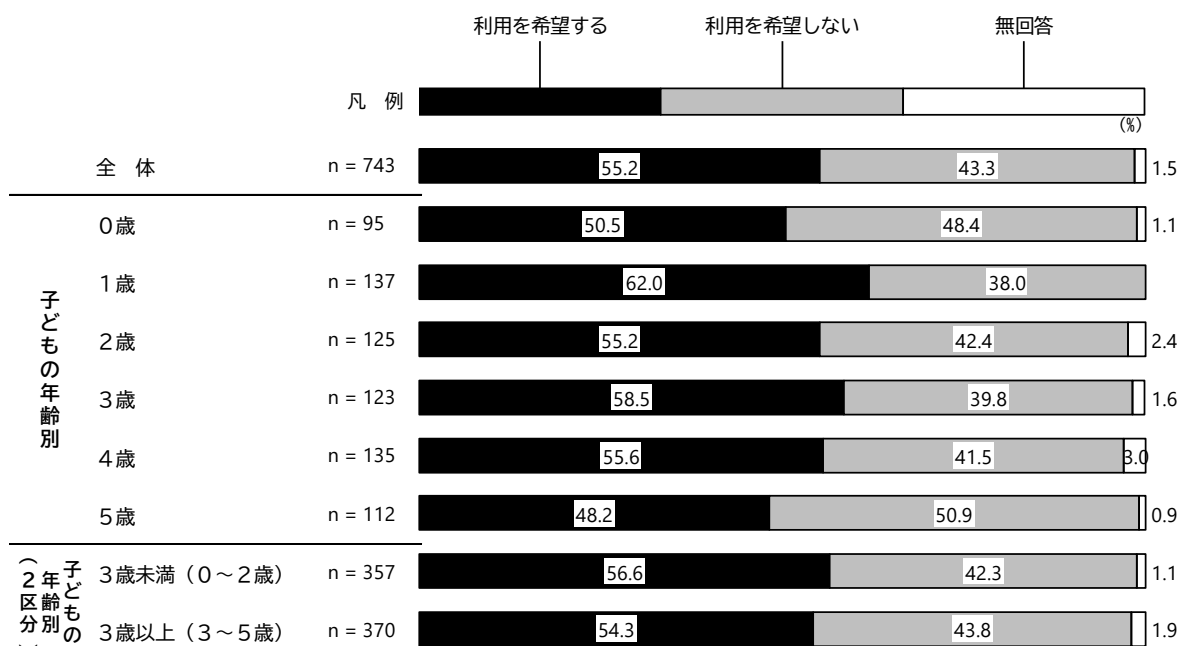


平日の教育・保育サービスを選ぶ際に重視する点について、全体では「自宅の近く」が73.5%と最も高く、次いで「園長・保育士・職員スタッフ等の対応や園の印象がよい」(60.6%)、「給食を提供している」(54.5%)となっています。

4 こども誰でも通園制度（仮称）について

4-1 こども誰でも通園制度（仮称）の利用希望

問 14 「こども誰でも通園制度（仮称）」が実施された場合、保育施設等を利用しようと思いますか。（○は1つ）



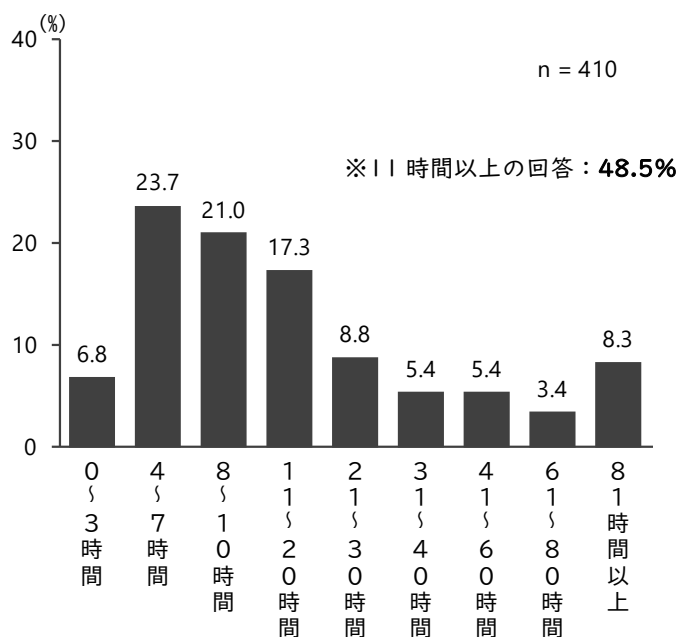
こども誰でも通園制度（仮称）の利用希望について、全体では「利用を希望する」が 55.2%、「利用を希望しない」が 43.3%となっています。

子どもの年齢別にみると、「利用を希望する」は 1 歳で 62.0%と 6 割以上を占める一方、0 歳や 5 歳では約 5 割にとどまっています。

4-2 こども誰でも通園制度（仮称）のひと月あたり利用希望時間

【問14で「利用を希望する」を選択した方のみ】

問14① ひと月あたり、どの程度の利用を希望しますか。ひと月の利用時間の上限（10時間）がないものとしてお答えください。（○は1つ）

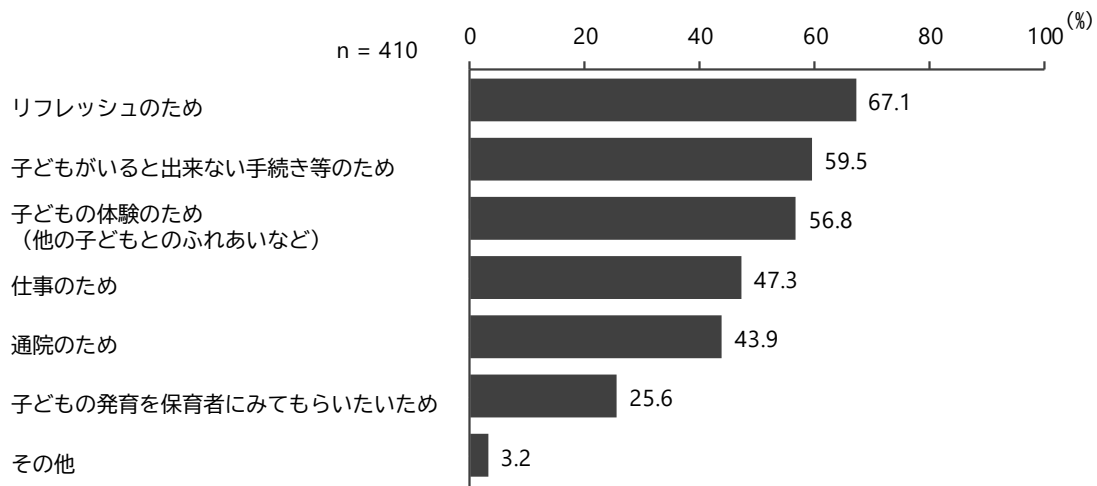


こども誰でも通園制度（仮称）のひと月あたり利用希望時間について、全体では「4～7時間」が23.7%と最も高く、次いで「8～10時間」（21.0%）、「11～20時間」（17.3%）となり、ひと月の利用時間の上限（10時間）を超えた回答が合わせて48.5%と約5割を占めています。

4-3 こども誰でも通園制度（仮称）の利用目的

【問14で「利用を希望する」を選択した方のみ】

問14② 利用する目的はどのようなものが想定されますか。（あてはまるものすべてに○）

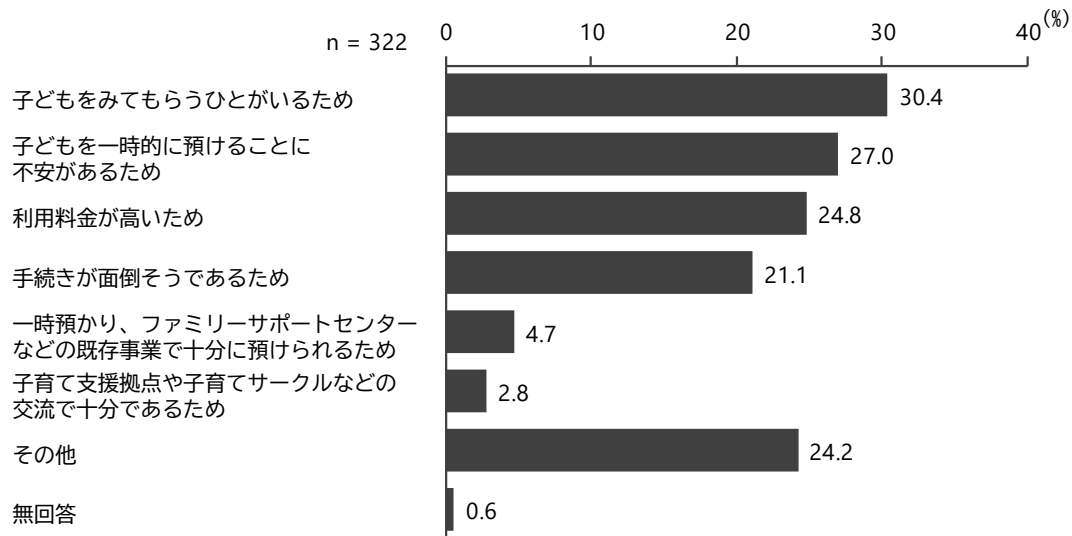


こども誰でも通園制度（仮称）の利用目的について、全体では「リフレッシュのため」が67.1%と最も高く、次いで「子どもがいると出来ない手続き等のため」（59.5%）、「子どもの体験のため（他の子どもとのふれあいなど）」（56.8%）となっています。

4-4 こども誰でも通園制度（仮称）の利用を希望しない理由

【問 14 で「利用を希望しない」を選択した方のみ】

問 14③ 利用を希望しない理由はなんですか。（あてはまるものすべてに○）



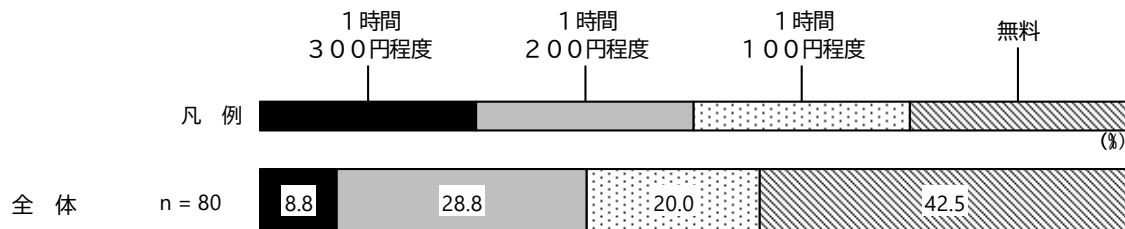
こども誰でも通園制度（仮称）の利用を希望しない理由について、全体では「子どもをみてもらうひとがいるため」が30.4%と最も高く、次いで「子どもを一時的に預けることに不安があるため」（27.0%）、「利用料金が高いため」（24.8%）となっています。

4-5 こども誰でも通園制度（仮称）の利用を検討できる料金

【問 14③で「利用料金が高いため」を選択した方のみ】

問 14④ 利用料金がどの程度であれば利用しますか。（○は1つ）

※国の想定では1時間 400 円程度



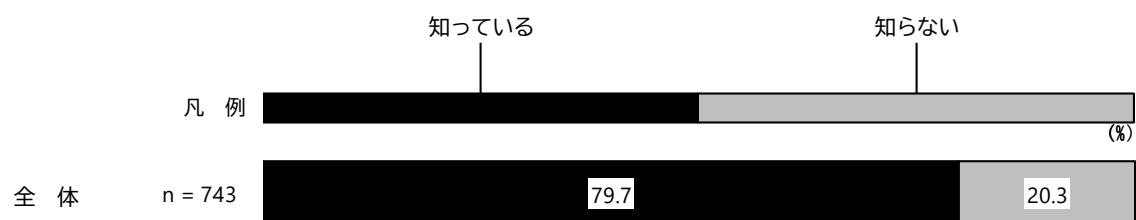
こども誰でも通園制度（仮称）の利用を検討できる料金について、全体では「無料」が42.5%と4割以上を占めますが、それ以外では「1時間 200 円程度」が28.8%と最も高くなっています。

5

地域の子育て支援サービスの利用状況について

5－1 いわき市の地域子育て支援拠点事業を知っているか

問 15 いわき市の地域子育て支援拠点事業を知っていますか。(○は1つ)



いわき市の地域子育て支援拠点事業について、全体では「知っている」が 79.7%、「知らない」が 20.3%となっています。

5-2 地域子育て支援拠点事業の利用状況

問 16 お子さんは現在、問 15 の事業を利用していますか。おおよその利用回数（頻度）もご記入ください。（あてはまるものすべてに○。また数字は一桁に一字）

◆利用状況

		n	地域子育て支援拠点事業	類似のサービス いわき市で実施している	その他、 利用していない	無回答	(%)
全体	令和6年度調査	743	27.5	2.2	71.2	1.1	
	平成30年度調査	827	38.0	8.5	57.2	2.8	
年齢別	0歳	95	32.6	2.1	67.4	-	
	1歳	137	35.0	3.6	63.5	0.7	
	2歳	125	27.2	2.4	72.0	-	
	3歳	123	24.4	-	73.2	2.4	
	4歳	135	27.4	3.7	71.1	1.5	
	5歳	112	17.9	-	81.3	0.9	
(2区年齢別)	3歳未満(0～2歳)	357	31.7	2.8	67.5	0.3	
	3歳以上(3～5歳)	370	23.5	1.4	74.9	1.6	
居住地別	平	231	26.0	2.2	71.9	1.7	
	小名浜	210	28.1	3.3	71.0	0.5	
	勿来・田人	105	35.2	1.9	63.8	1.0	
	常磐・遠野	76	21.1	-	78.9	-	
	内郷・好間・三和	80	25.0	1.3	73.8	1.3	
	四倉・久之浜大久	34	32.4	2.9	64.7	2.9	
	小川・川前	7	14.3	-	85.7	-	

地域子育て支援拠点事業の利用状況について、全体では「利用していない」が71.2%と7割以上を占めますが、利用している事業では「地域子育て支援拠点事業」が27.5%、「その他、いわき市で実施している類似のサービス」が2.2%となっています。

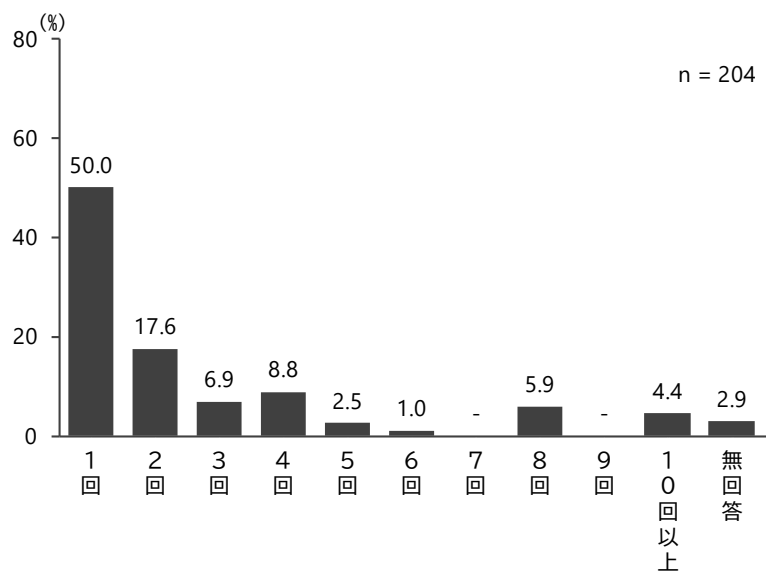
平成30年度調査と比較すると、「地域子育て支援拠点事業」と「その他、いわき市で実施している類似のサービス」がどちらも下降しており、「利用していない」が14ポイント上昇しています。

子どもの年齢別にみると、年齢が低いほど「地域子育て支援拠点事業」が高い傾向があり、0歳～1歳では3割以上の利用率となっています。

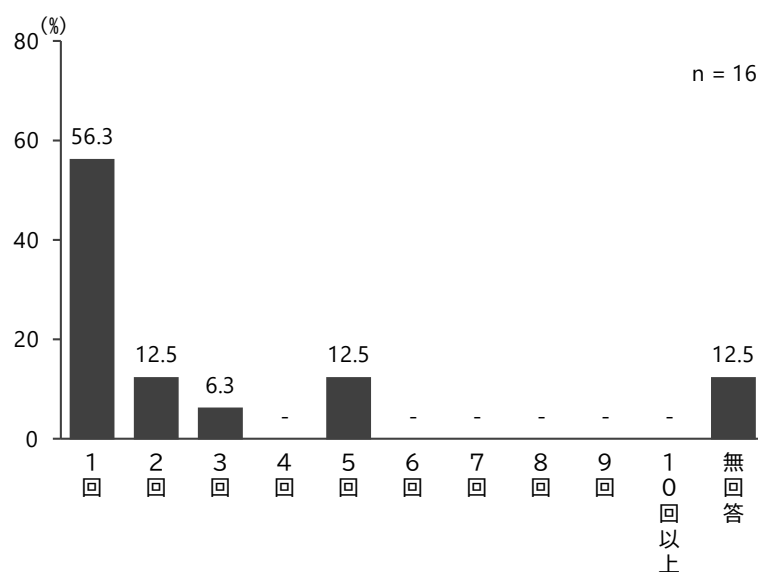
居住地別にみると、勿来・田人および四倉・久之浜大久では「地域子育て支援拠点事業」の利用率が3割以上となっています。

◆ 1か月あたり利用回数

【地域子育て支援拠点事業】



【その他類似のサービス】

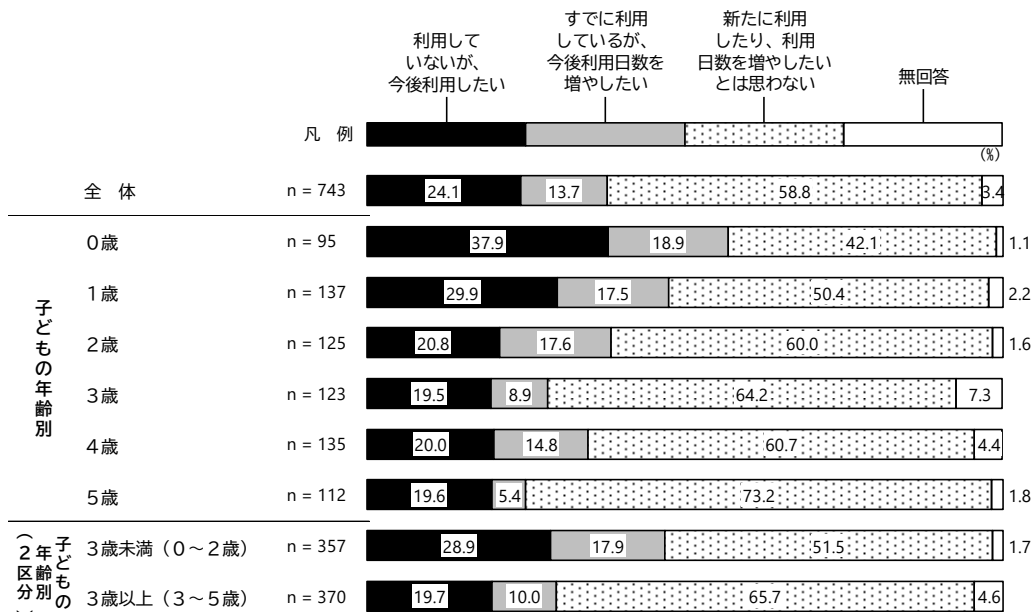


地域子育て支援拠点事業の利用状況の1か月あたり利用回数は、地域子育て支援拠点事業とその他類似のサービスのどちらも「1回」が最も高くなっています。

5-3 地域子育て支援拠点事業の今後の利用意向

問 17 問 15 の事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。
 おおよその利用回数（頻度）もご記入ください。（○は1つ。また数字は一桁に一字）

◆利用意向

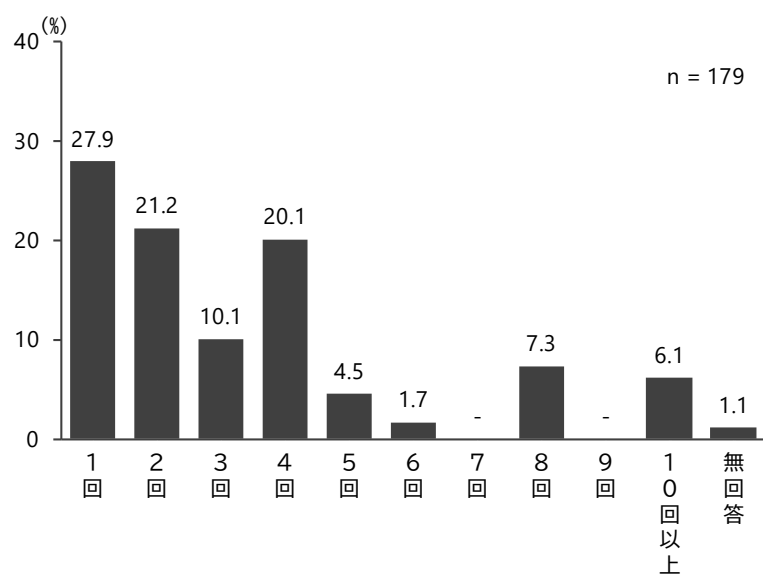


地域子育て支援拠点事業の今後の利用意向について、全体では「利用していないが、今後利用したい」が24.1%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」が13.7%、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が58.8%となっています。

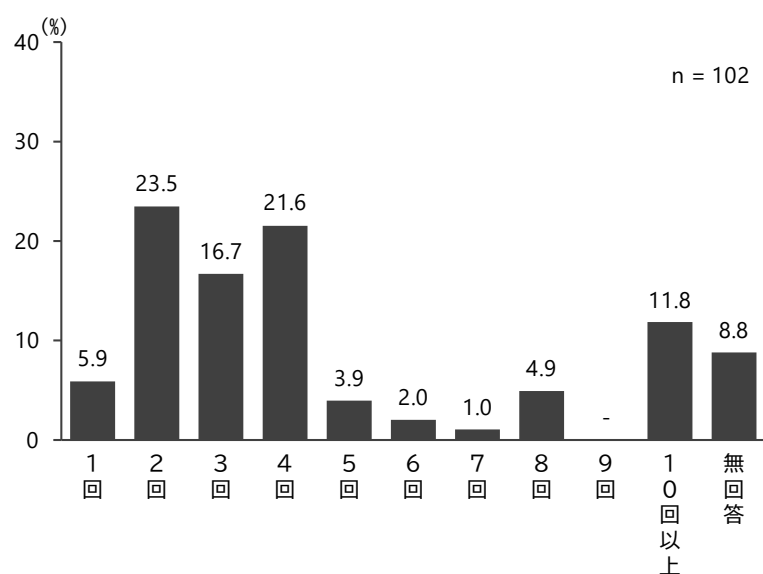
子どもの年齢別にみると、年齢が低いほど「利用していないが、今後利用したい」や「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」が高い傾向があります。

◆ 1か月あたり利用希望回数

【利用していないが今後利用したい】



【今後利用日数を増やしたい】



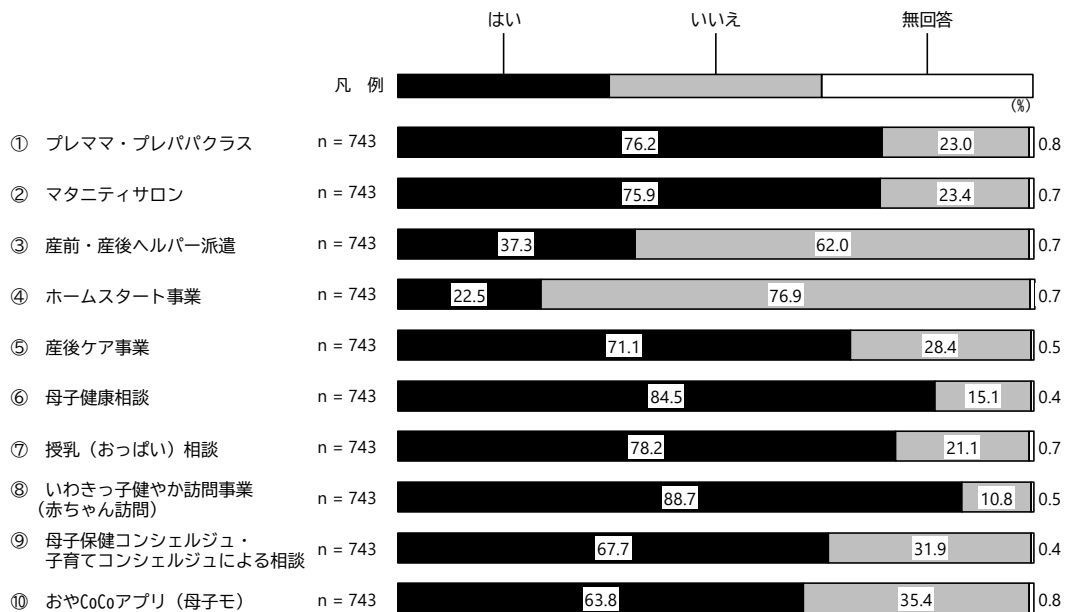
地域子育て支援拠点事業を利用していないが今後利用したい場合の1か月あたり利用希望回数は、「1回」～「4回」が高くなっています。

今後利用日数を増やしたい場合に更に増やしたい1か月あたりの利用希望回数は、「2回」～「4回」が高くなっています。

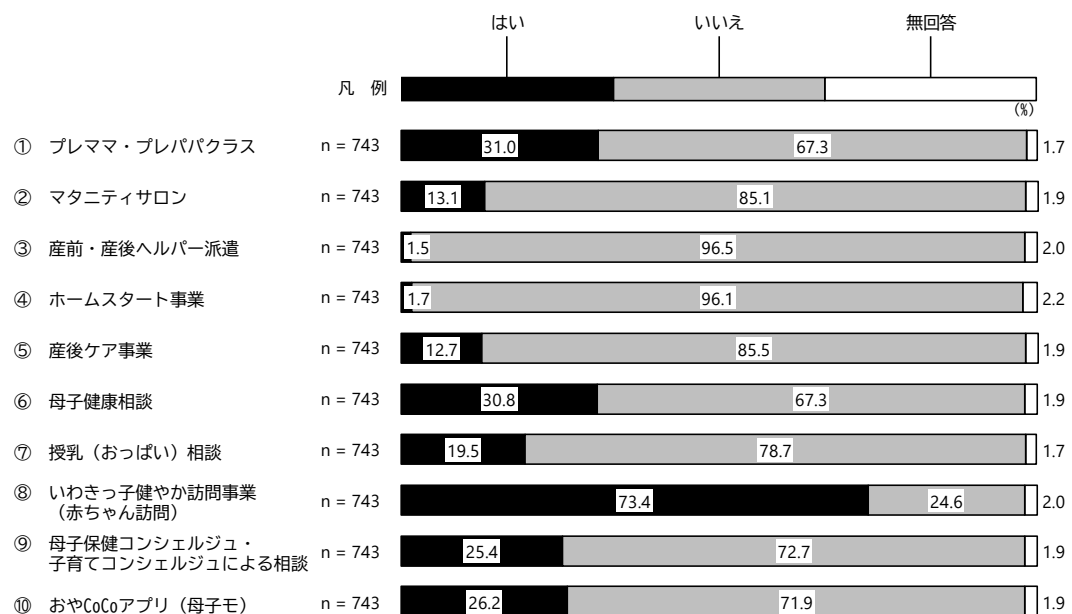
5-4 以下のサービスの認知度・利用状況・今後の利用意向

問 18 下記のサービスを知っていたり、これまでに利用したことはありますか。
 また、今後、利用したいと思いますか。
 (サービスごとに、A～Cのそれぞれについて「1. はい」「2. いいえ」いずれかに○)

◆A：サービスを知っているか

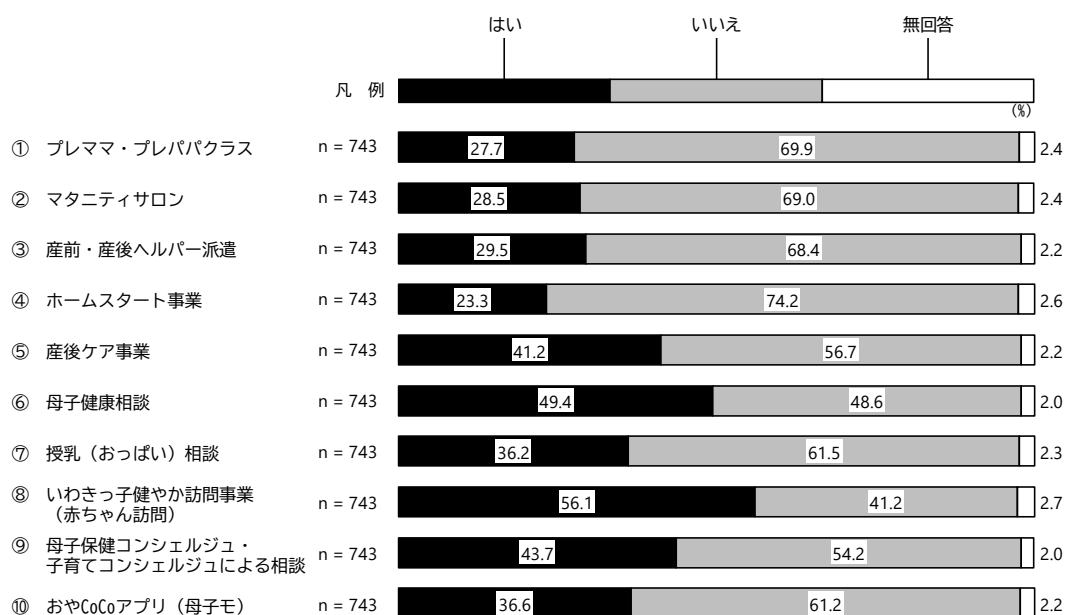


◆B：サービスを利用したことがあるか



Ⅱ 就学前児童保護者調査結果

◆C：サービスを今後利用したいか



A：サービスを知っているかについて、全体では『⑥母子健康相談』及び『⑧いわきっ子健やか訪問事業（赤ちゃん訪問）』の認知度が8割以上と、他のサービスに比べ高くなっています。一方、『③産前・産後ヘルパー派遣』の認知度は37.3%、『④ホームスタート事業』は22.5%にとどまっています。

B：サービスを利用したことがあるかについて、全体では『⑧いわきっ子健やか訪問事業（赤ちゃん訪問）』の利用率が73.4%と、他のサービスに比べ高くなっています。それ以外のサービスの利用率は概ね3割以下となっていますが、特に『③産前・産後ヘルパー派遣』及び『④ホームスタート事業』の利用率は1～2%ほどと低くなっています。

C：サービスを今後利用したいかについて、全体では『⑧いわきっ子健やか訪問事業（赤ちゃん訪問）』の利用希望が56.1%、『⑥母子健康相談』が49.4%と、他のサービスに比べ高くなっています。一方、『④ホームスタート事業』の利用希望が23.3%とやや低くなっているものの、前述の“B：サービスを利用したことがあるか”ほど極端な結果ではなく、どのサービスでも2割以上の利用希望がみられます。

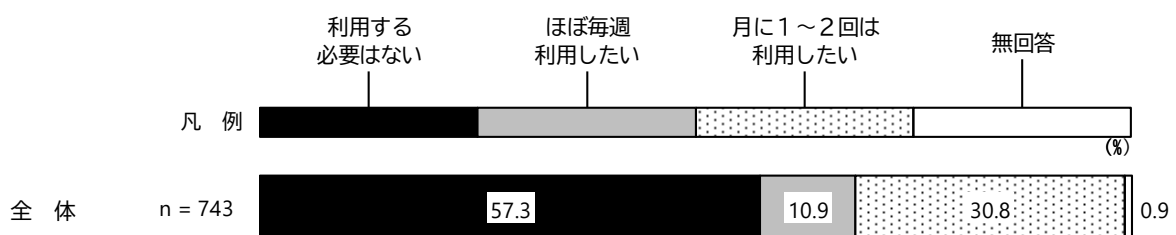
6

土曜・休日や長期休暇中の教育・保育サービスの利用希望について

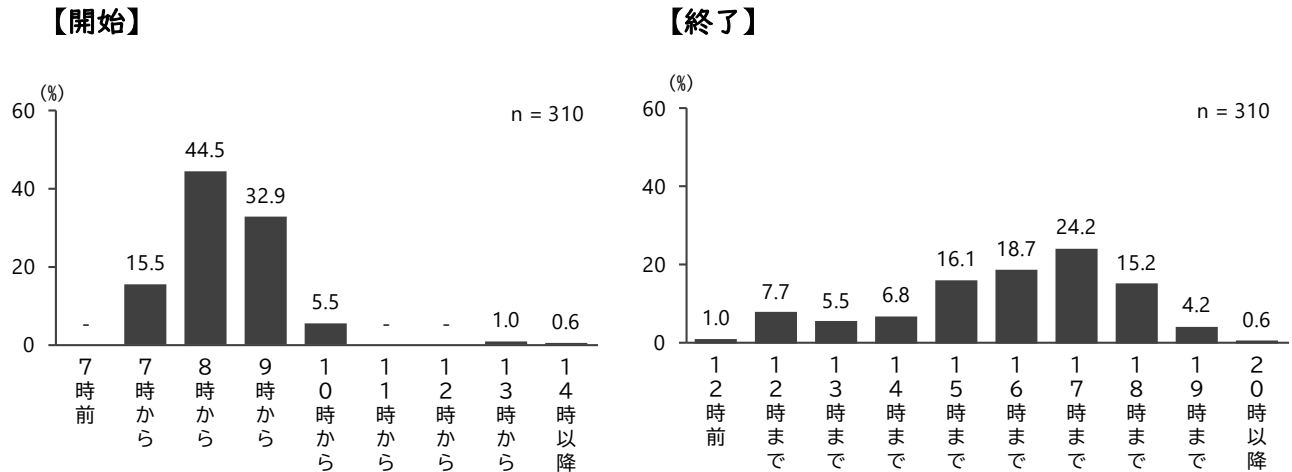
6-1 土曜日と日曜・祝日の教育・保育サービスの利用希望

問 19 土曜日と日曜日・祝日に、「定期的な」教育・保育サービスの利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。希望がある場合は、利用したい時間帯を 24 時間制でご記入ください。なお、これらのサービスの利用には、一定の利用者負担が発生します。（○は 1 つ。また数字は一枠に一字）

◆利用希望／土曜日



◆利用希望時間帯／土曜日

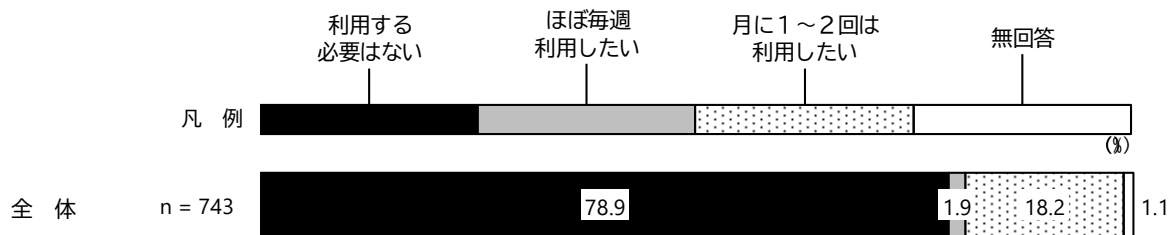


土曜日の教育・保育サービスの利用希望について、全体では「利用する必要はない」が 57.3%、「ほぼ毎週利用したい」が 10.9%、「月に 1～2 回は利用したい」が 30.8%となっています。

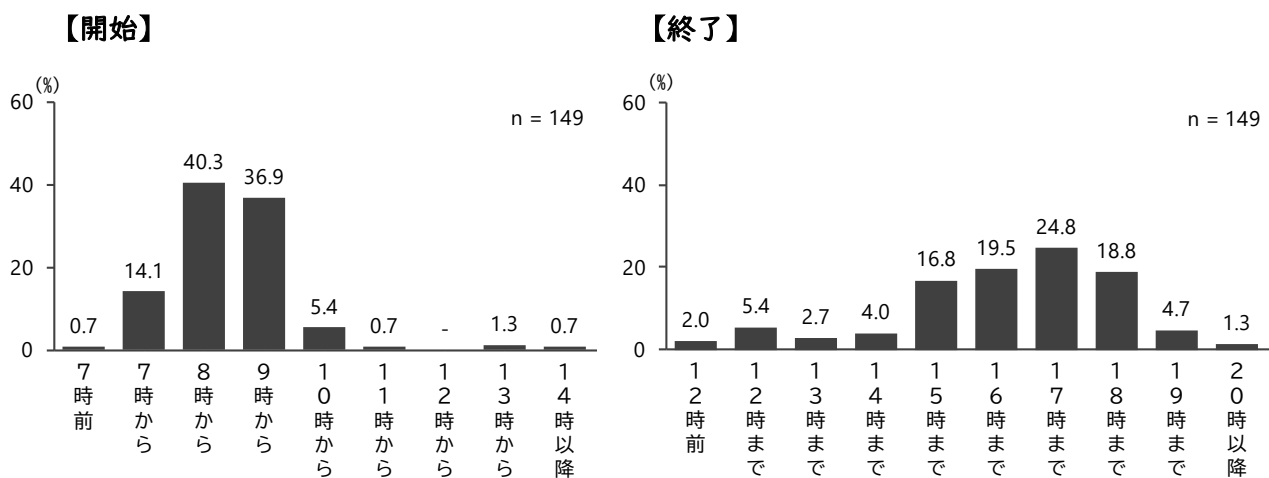
利用を希望する場合の開始時間帯は、「8 時から」が 44.5%と最も高く、次いで「9 時から」が 32.9%となっています。終了時間帯は、「17 時まで」が 24.2%と最も高く、次いで「15 時まで」「16 時まで」「18 時まで」が 1 割台半ば～2 割と続いています。

Ⅱ 就学前児童保護者調査結果

◆利用希望／日曜・祝日



◆利用希望時間帯／日曜・祝日



日曜・祝日の教育・保育サービスの利用希望について、全体では「利用する必要はない」が78.9%、「ほぼ毎週利用したい」が1.9%、「月に1～2回は利用したい」が18.2%となっています。

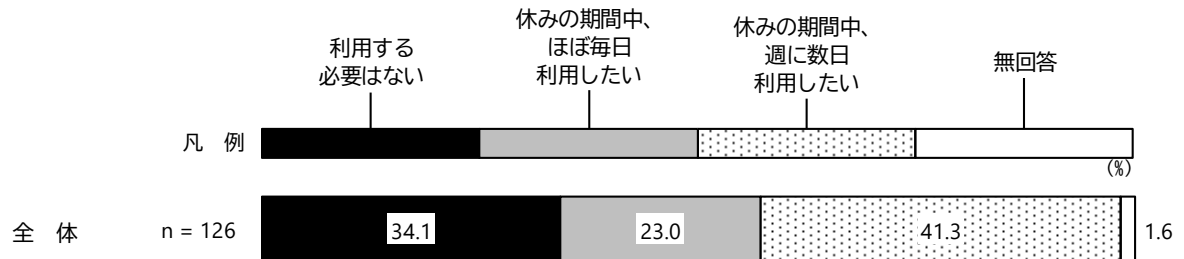
利用を希望する場合の開始時間帯は、「8時から」が40.3%と最も高く、次いで「9時から」が36.9%となっています。終了時間帯は、「17時まで」が24.2%と最も高く、次いで「15時まで」「16時まで」「18時まで」が1割台半ば～2割と続いています。

6-2 長期休暇期間中の教育・保育サービスの利用希望

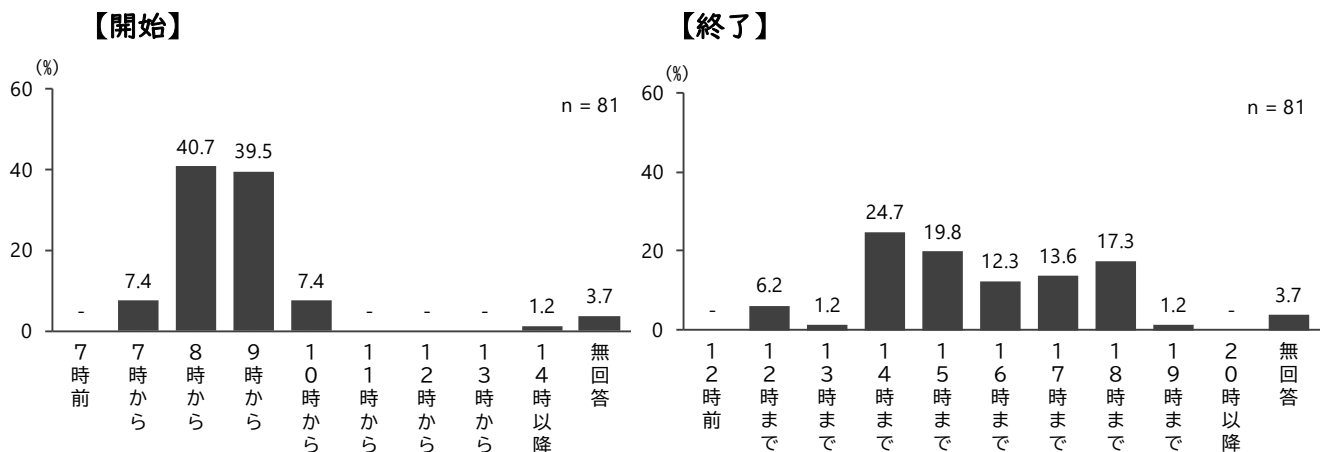
【幼稚園を利用されている方のみ】

問 20 夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育サービスの利用を希望しますか。
希望がある場合は、利用したい時間帯を 24 時間制でご記入ください。
なお、これらのサービスの利用には、一定の利用者負担が発生します。

◆利用希望／長期休暇期間中



◆利用希望時間帯／長期休暇期間中



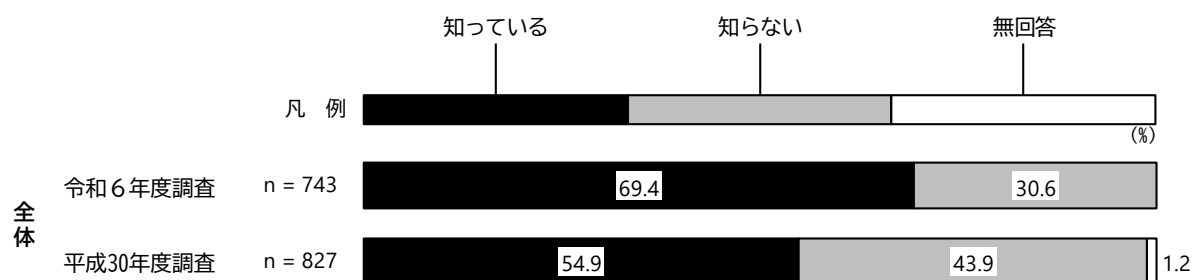
幼稚園を利用している場合の長期休暇期間中の教育・保育サービスの利用希望について、全体では「利用する必要はない」が 34.1%、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が 23.0%、「休みの期間中、週に数日利用したい」が 41.3%となっています。

利用を希望する場合の開始時間帯は、「8時から」と「9時から」がともに4割前後となっています。終了時間帯は、「14時まで」が24.7%と最も高く、次いで「15時まで」が19.8%となっています。

7 子どもの病気の際の対応について

7-1 いわき市の病児・病後児保育を知っているか

問 21 いわき市の病児・病後児保育を知っていますか。(○は1つ)

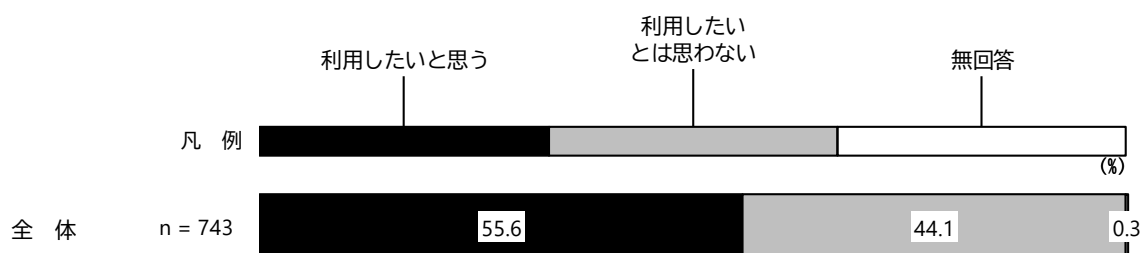


いわき市の病児・病後児保育について、全体では「知っている」が 69.4%、「知らない」が 30.6%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「知っている」が約 15 ポイント上昇しています。

7-2 今後、病児・病後児保育を利用したいと思うか

問 22 今後、病児・病後児保育を利用したいと思いますか。(○は1つ)

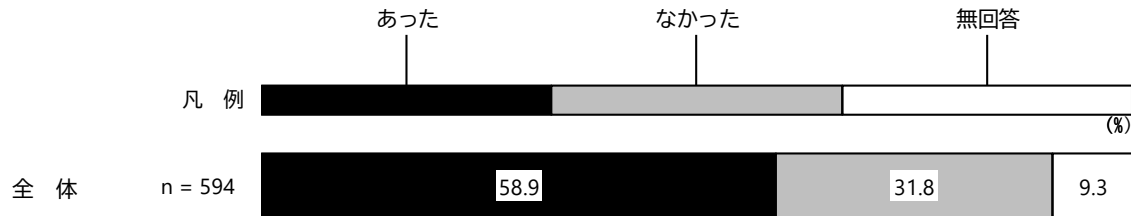


今後、病児・病後児保育を利用したいと思うかについて、全体では「利用したいと思う」が 55.6%、「利用したいとは思わない」が 44.1%となっています。

7-3 この1年間に子どもの病気やケガでサービスが利用できなかったこと

【問 11 で平日の定期的な教育・保育サービスを利用していると答えた方のみ】

問 23 この1年間に、お子さんが病気やケガで教育・保育サービスが利用できなかったことはありますか。(〇は1つ)



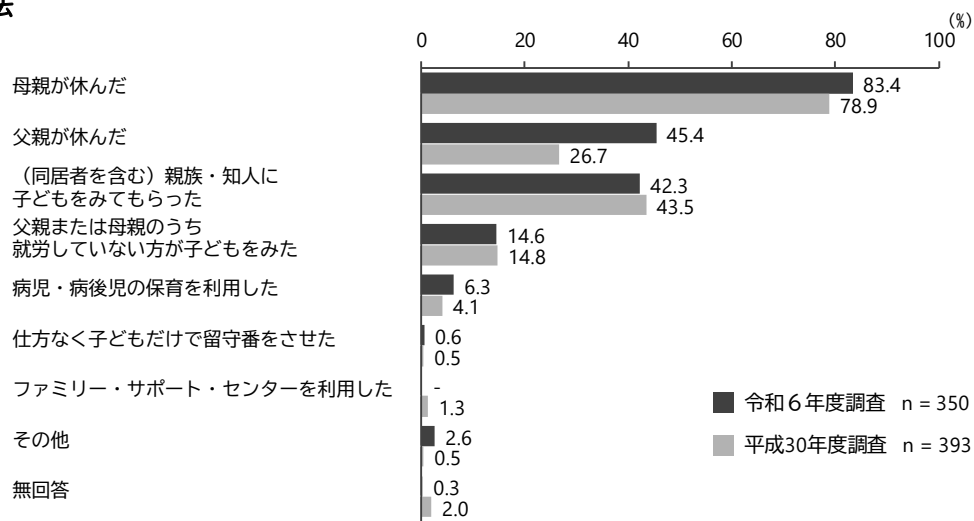
この1年間に子どもの病気やケガでサービスが利用できなかったことについて、全体では「あった」が58.9%、「なかった」が31.8%となっています。

7-4 サービスが利用できなかった場合に行った対処方法

【問 23 で「あった」を選択した方のみ】

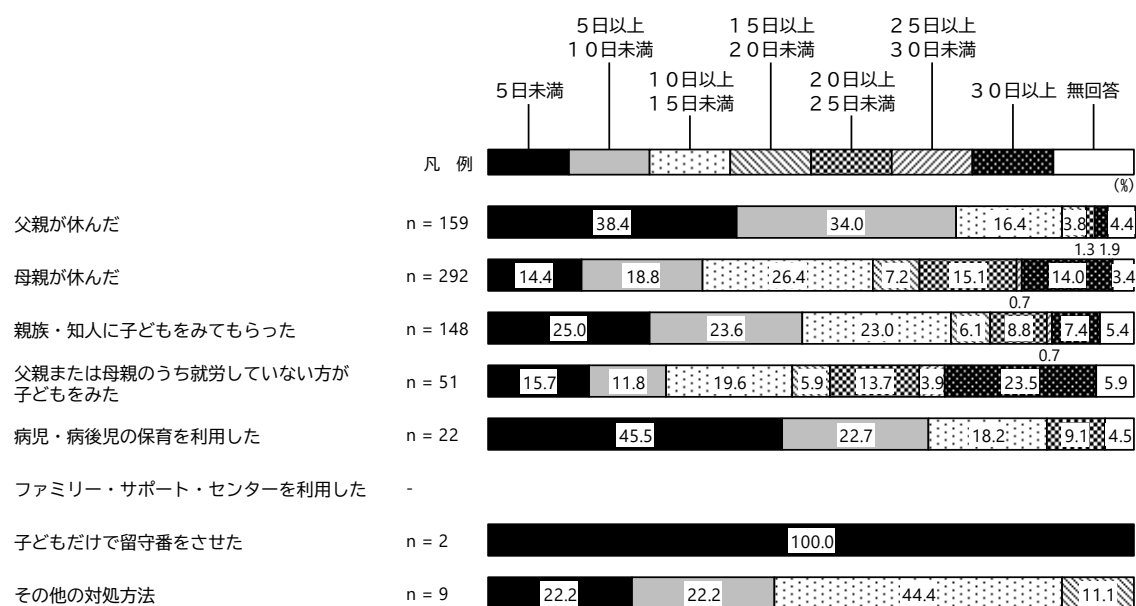
問 23① お子さんが病気やケガで普段利用している教育・保育サービスが利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法はどれですか。それぞれの日数も□内にご記入ください。(あてはまるものすべてに〇。また数字は一桁に一字)

◆対処方法



Ⅱ 就学前児童保護者調査結果

◆対処方法ごとの年間日数



サービスが利用できなかった場合に行った対処方法について、全体では「母親が休んだ」が83.4%と最も高く、次いで「父親が休んだ」(45.4%)、「(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった」(42.3%)となっています。

平成30年度調査と比較すると、「父親が休んだ」が20ポイント近く上昇しています。

対処方法ごとの年間日数については、『父親が休んだ』場合と『病児・病後児の保育を利用した』場合で、「5日未満」の日数の回答割合が高くなっています。一方、『母親が休んだ』場合と『父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた』場合では、「5日未満」の日数の回答割合は1割半ば程度であり、それ以上(5日以上)の日数の回答割合が高くなっています。

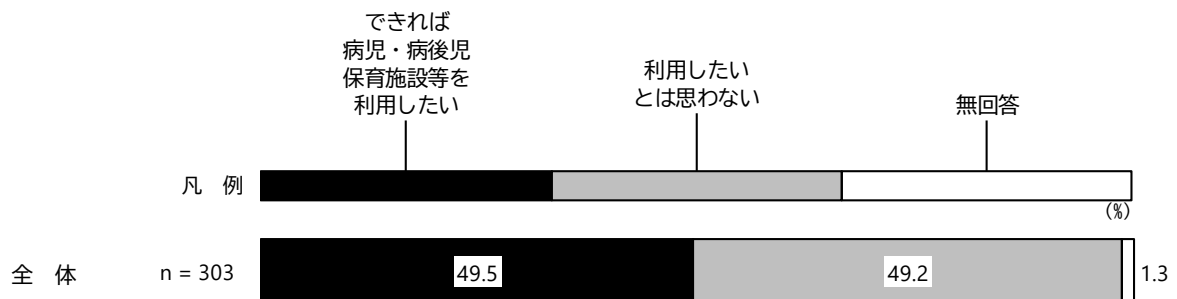
7-5 父母が休んだ際に病児・病後児保育施設等を利用したいと思ったか

【問 23①で「父親が休んだ」または「母親が休んだ」を選択した方のみ】

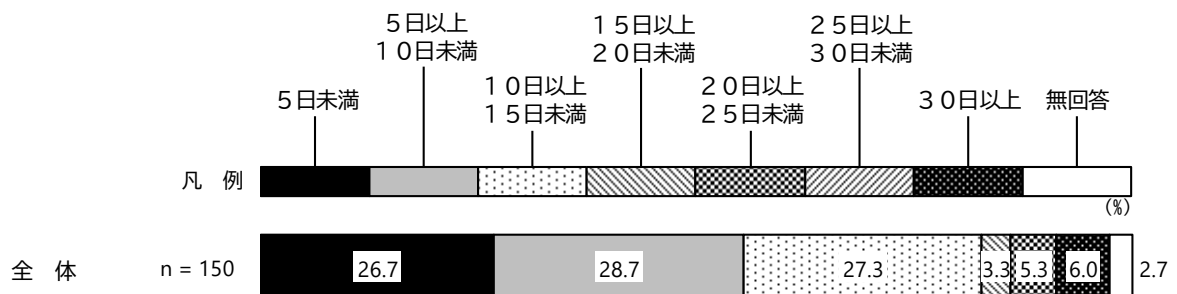
問 23② その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思いましたか。日数についても□内にご記入ください。なお、病児・病後児のためのサービス等の利用には、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

(○は1つ。また数字は一枠に一字)

◆利用希望



◆年間利用希望日数



父母が休んだ際に病児・病後児保育施設等を利用したいと思ったかについて、全体では「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が49.5%、「利用したいとは思わない」が49.2%となっています。

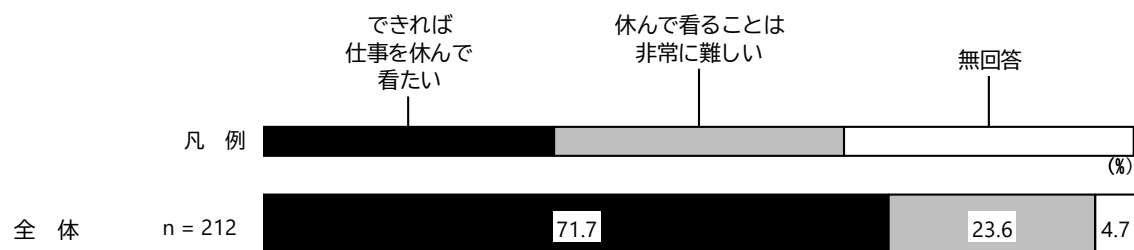
病児・病後児保育施設等を利用したいと思った場合の利用希望日数については、「5日以上10日未満」が28.7%と最も高く、次いで「10日以上15日未満」(27.3%)、「5日未満」(26.7%)となっています。

7-6 できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たいと思ったか

【問 23①で「父親が休んだ」「母親が休んだ」以外の対処方法を選択した方のみ】

問 23③ その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思いましたか。

(○は1つ)



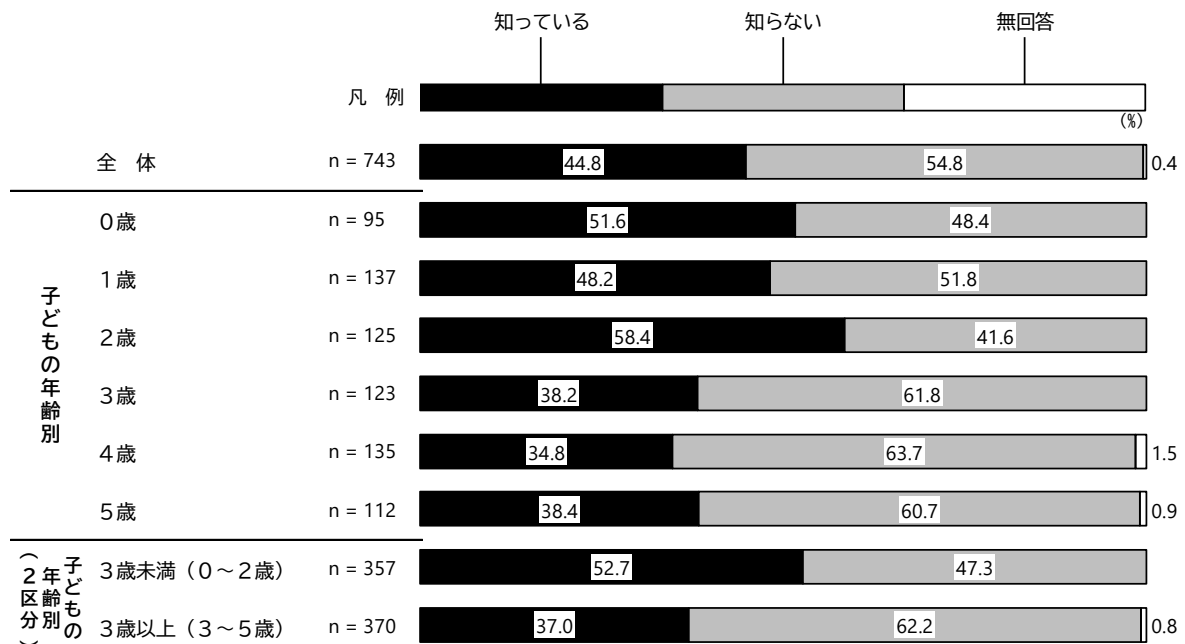
子どもが病気やケガのときに父母が休む以外の対処方法を選択した際、できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たいと思ったかについて、全体では「できれば仕事を休んで看たい」が71.7%、「休んで看することは非常に難しい」が23.6%となっています。

8

不定期の教育・保育サービスや宿泊を伴う一時預かり等の利用について

8-1 いわき市の一時預かりを知っているか

問 24 いわき市の一時預かりを知っていますか。(○は1つ)

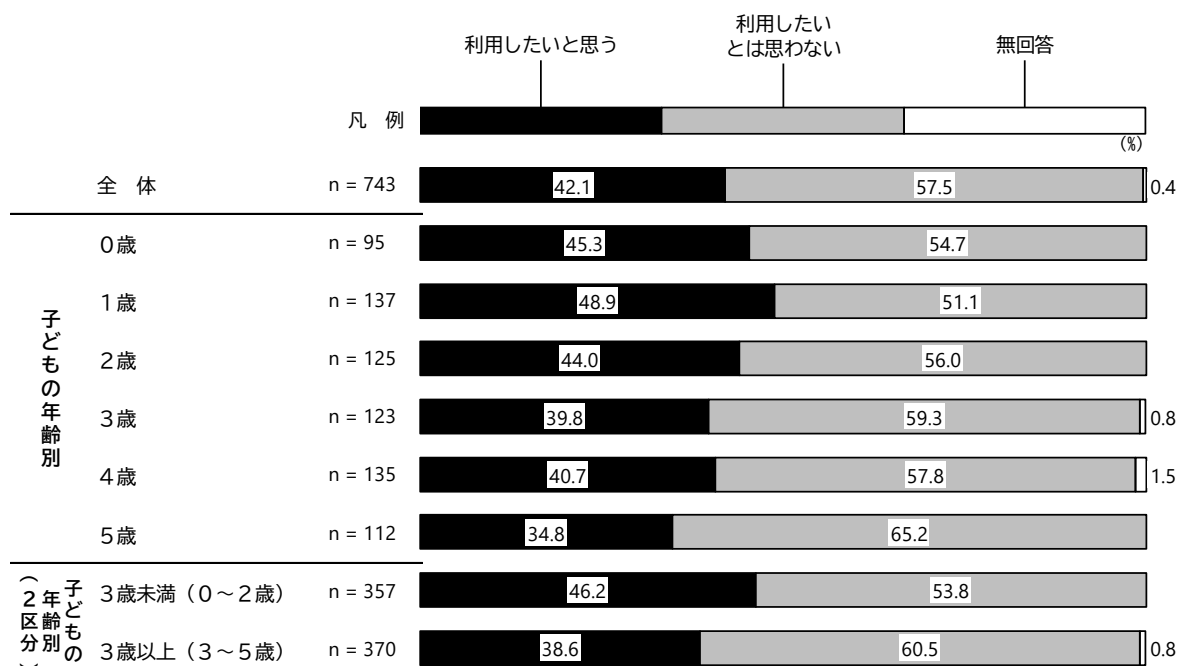


いわき市の一時預かりについて、全体では「知っている」が44.8%、「知らない」が54.8%となっています。

子どもの年齢別にみると、0～2歳では「知っている」が約5～6割となっている一方、3～5歳では4割以下となっています。

8-2 今後、いわき市の一時預かりを利用したいと思うか

問 25 今後、いわき市の一時預かりを利用したいと思いますか。(○は1つ)



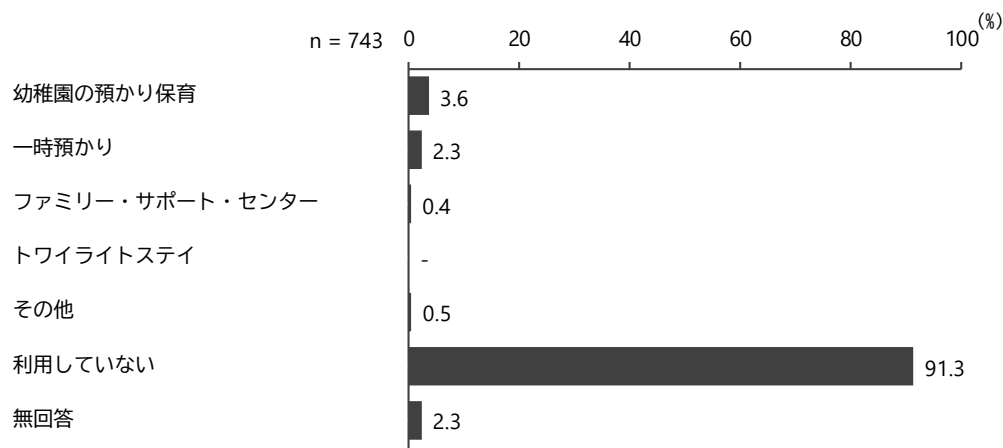
今後、いわき市の一時預かりを利用したいと思うかについて、全体では「利用したいと思う」が42.1%、「利用したいとは思わない」が57.5%となっています。

子どもの年齢別にみると、年齢が低いほど「利用したいと思う」が高い傾向があり、0～2歳では4割台半ば～5割ほどとなっている一方、3～5歳では3～4割程度にとどまっています。

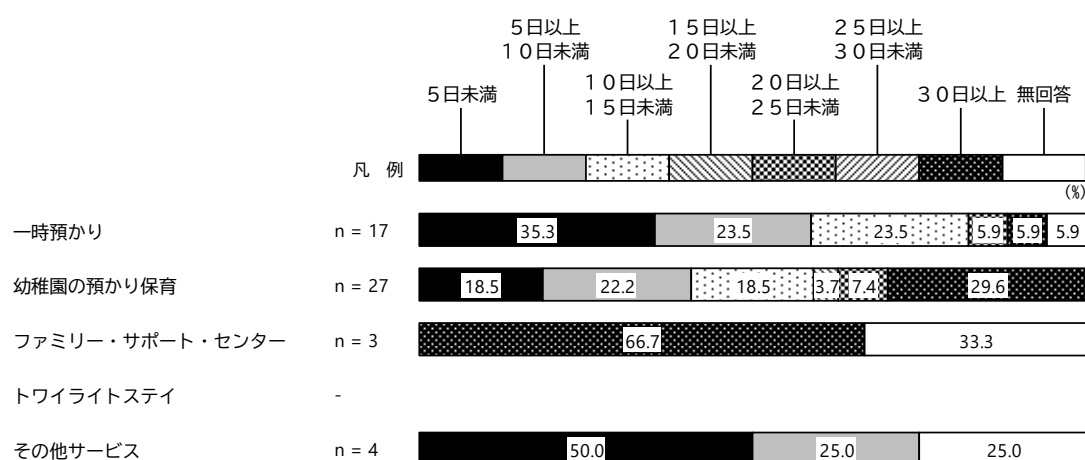
8-3 不定期に利用しているサービス

問 26 日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用しているサービスはありますか。1年間の利用日数（おおよそ）も□内にご記入ください。（あてはまるものすべてに○。また数字は一桁に一字）

◆利用しているサービス



◆年間利用日数



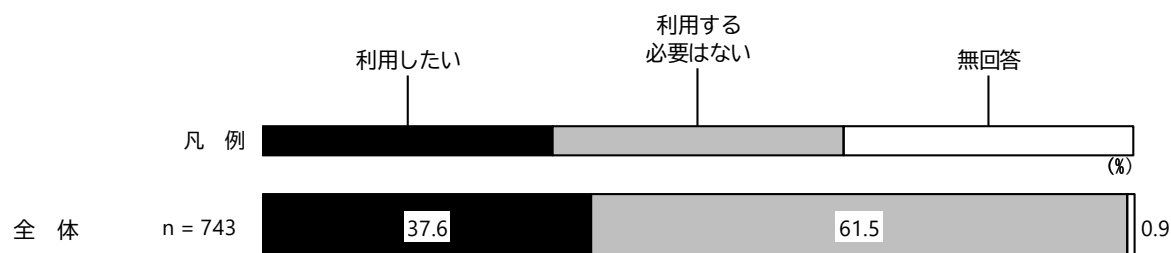
不定期に利用しているサービスについて、全体では「幼稚園の預かり保育」や「一時預かり」などの利用がみられるものの、「利用していない」が91.3%と9割以上を占めています。

不定期に利用しているサービスの年間利用日数については、調査数（n）が少ないため参考値としての記載とします。

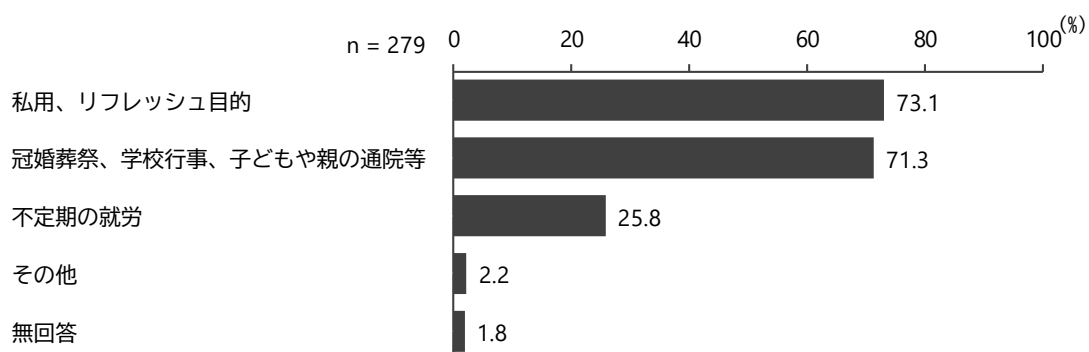
8-4 不定期のサービス利用希望・利用目的

問 27 私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらいサービスを利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について選択し、必要な日数をご記入ください。なおサービスの利用にあたっては、一定の利用者負担が発生します。
(番号と記号あてはまるものすべてに○。数字は一枠に一字)

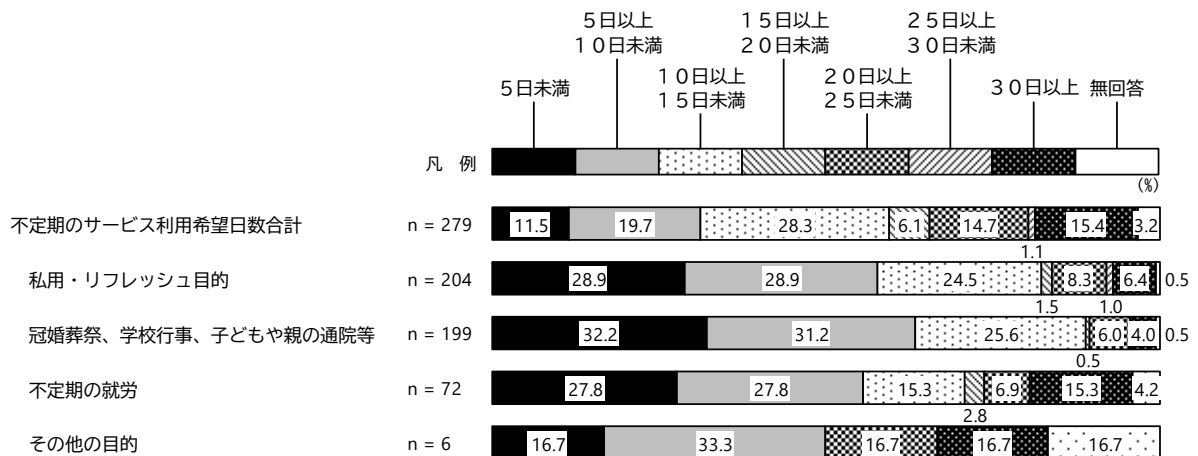
◆利用希望



◆利用目的



◆年間利用希望日数



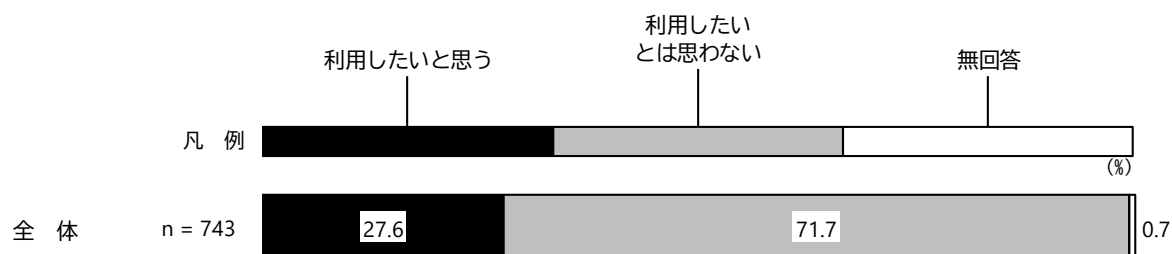
不定期のサービス利用希望について、全体では「利用したい」が37.6%、「利用する必要はない」が61.5%となっています。

利用したい場合の利用目的については、「私用、リフレッシュ目的」（73.1%）と「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」（71.3%）がともに7割以上と高く、次いで「不定期の就労」が25.8%となっています。

利用したい場合の年間利用希望日数については、『私用、リフレッシュ目的』や『冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等』では15日未満の回答割合が約8～9割を占めますが、『不定期の就労』の同割合は7割程度であり、「30日以上」が15.3%とやや高くなっています。

8-5 ファミリー・サポート・センターを利用したいと思うか

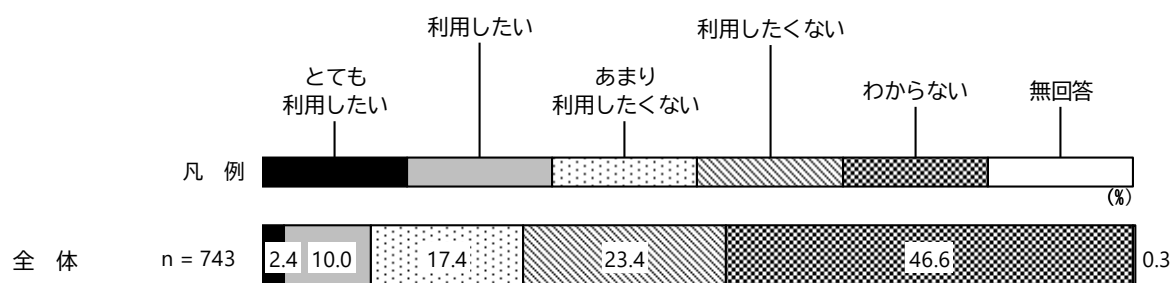
問 28 ファミリー・サポート・センターを利用したいと思いますか。(○は1つ)



ファミリー・サポート・センターの利用について、全体では「利用したいと思う」が27.6%、「利用したいとは思わない」が71.7%となっています。

8-6 トワイライトステイを利用したいと思うか

問 29 トワイライトステイを利用したいと思いますか。(○は1つ)

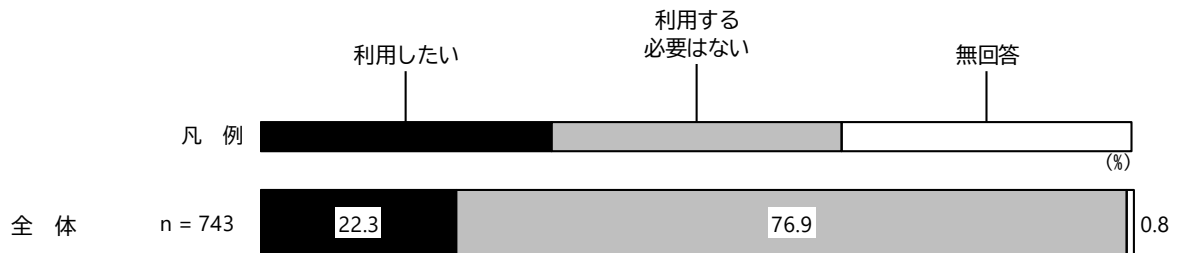


トワイライトステイの利用について、全体では「わからない」が46.6%と最も高く、次いで「利用したくない」(23.4%)、「あまり利用したくない」(17.4%)となり、利用したいと回答した割合は約1割となっています。

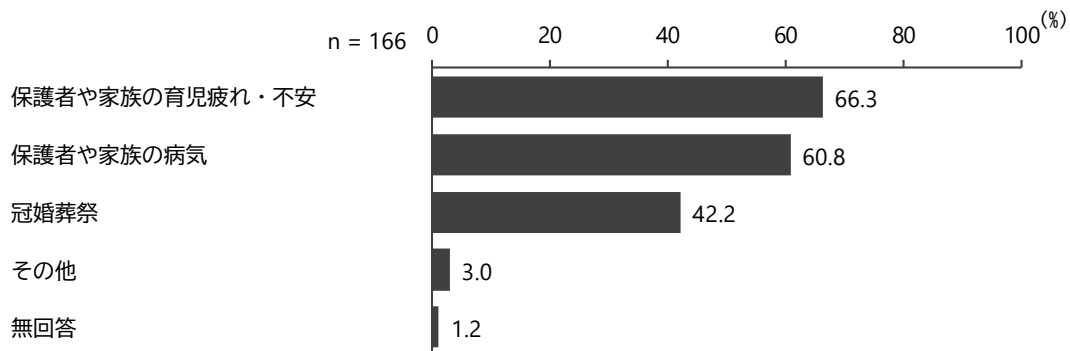
8-7 子育て短期支援事業（ショートステイ）の利用希望

問 30 保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の育児疲れや育児不安、病気など）により、子育て短期支援事業（ショートステイ）を利用したいと思いますか。利用希望・目的について、該当する番号・記号すべてに○をつけ、利用したい日数の合計と目的別の内訳の日数をご記入ください。（あてはまるものすべてに○。数字は一枠に一字）

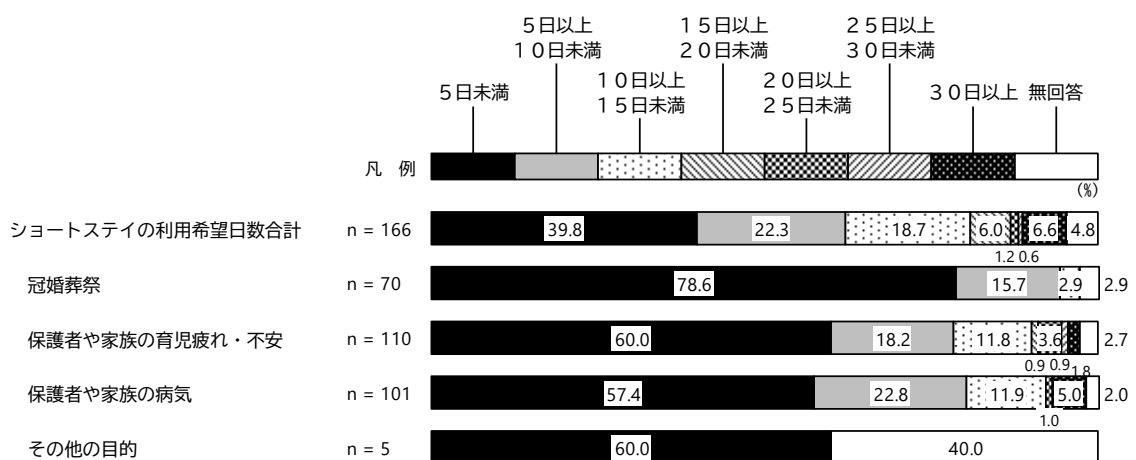
◆利用希望



◆利用目的



◆年間利用希望日数



Ⅱ 就学前児童保護者調査結果

子育て短期支援事業(ショートステイ)の利用希望について、全体では「利用したい」が22.3%、「利用する必要はない」が76.9%となっています。

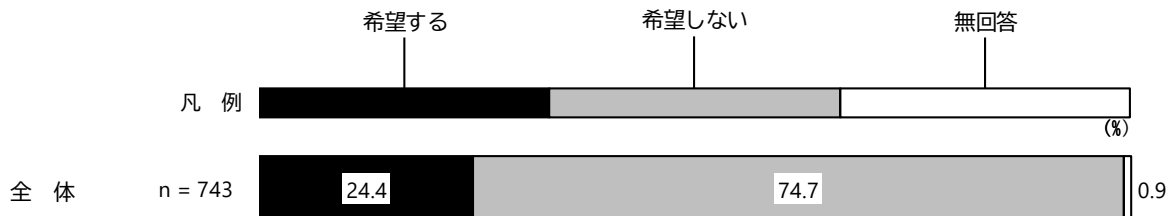
利用したい場合の利用目的については、「保護者や家族の育児疲れ・不安」が66.3%と最も高く、次いで「保護者や家族の病気」(60.8%)、「冠婚葬祭」(42.2%)となっています。

利用したい場合の年間利用希望日数については、いずれの目的も「5日未満」が最も高くなっています。

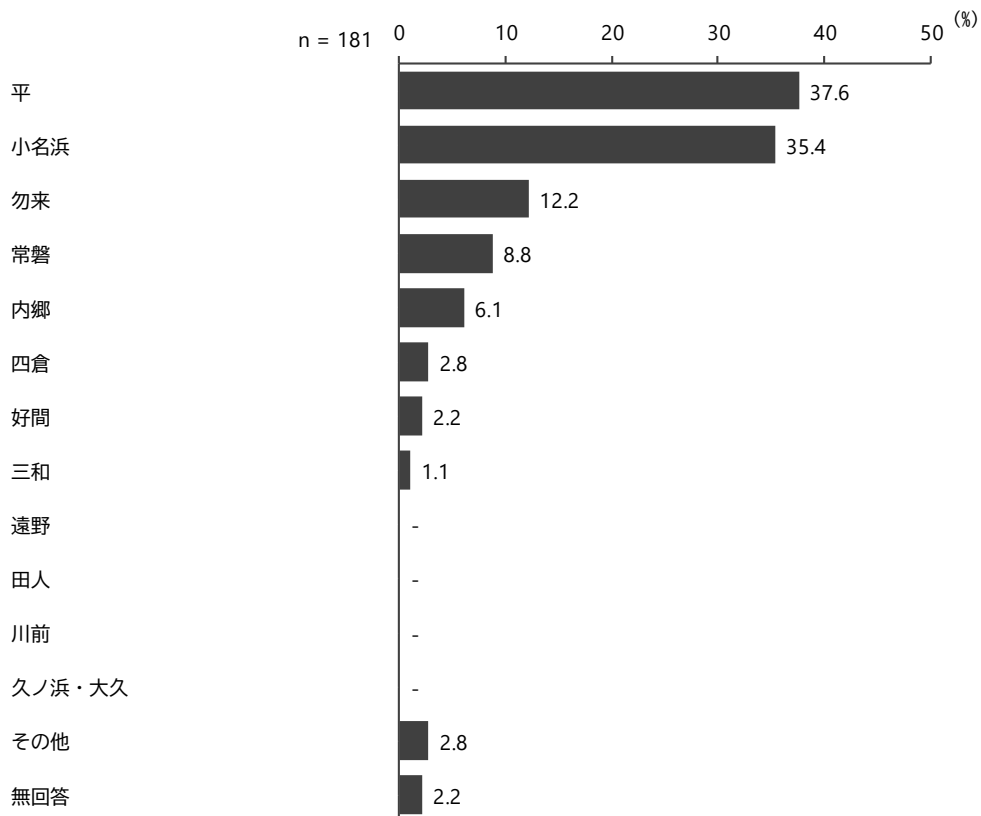
8-8 小川地区以外でのショートステイ・トワイライトステイの実施希望

問 31 現在、ショートステイ・トワイライトステイ事業を実施している施設は小川地区にありますが、他地区での実施を希望しますか。(○は1つ)

◆実施希望



◆実施希望地区



小川地区以外でのショートステイ・トワイライトステイの実施希望について、全体では「希望する」が24.4%、「希望しない」が74.7%となっています。

実施を希望する場合の希望地区は、「平」と「小名浜」がともに3割以上と高くなっています。

9

小学校就学後の放課後の過ごし方について

9-1 放課後に過ごさせたい場所

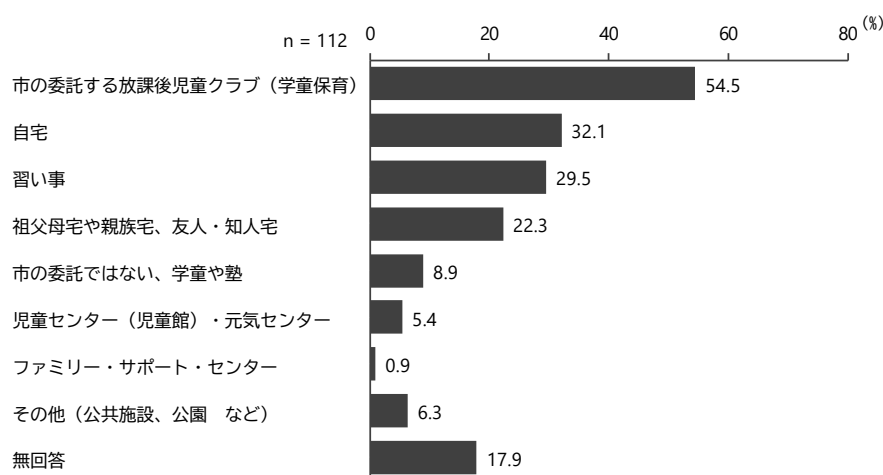
【宛て名の子どもが5歳以上の方のみ】

問 32 小学校生活のうち、低学年（1～3年生）と高学年（4～6年生）のそれぞれについて、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。

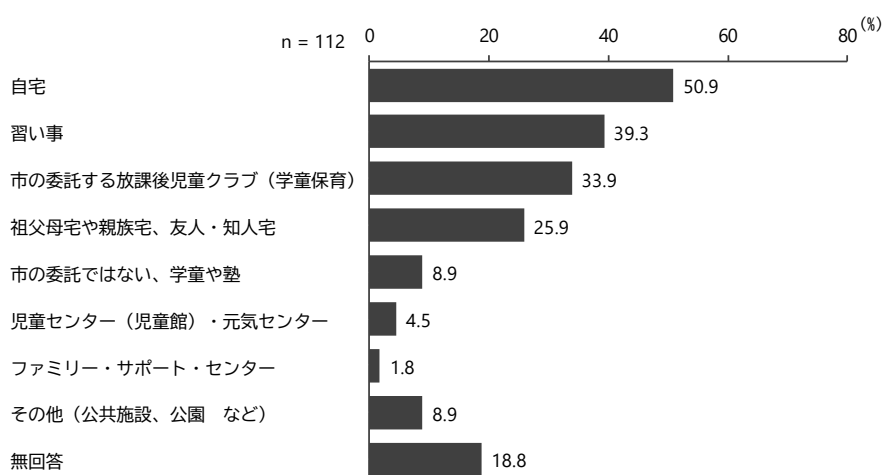
あてはまるものすべてを選択し、それぞれ希望する週あたりの日数を数字でご記入ください。（それぞれ数字は一桁に一字）。

※「高学年」については、だいたいのこととなりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

◆放課後に過ごさせたい場所／低学年



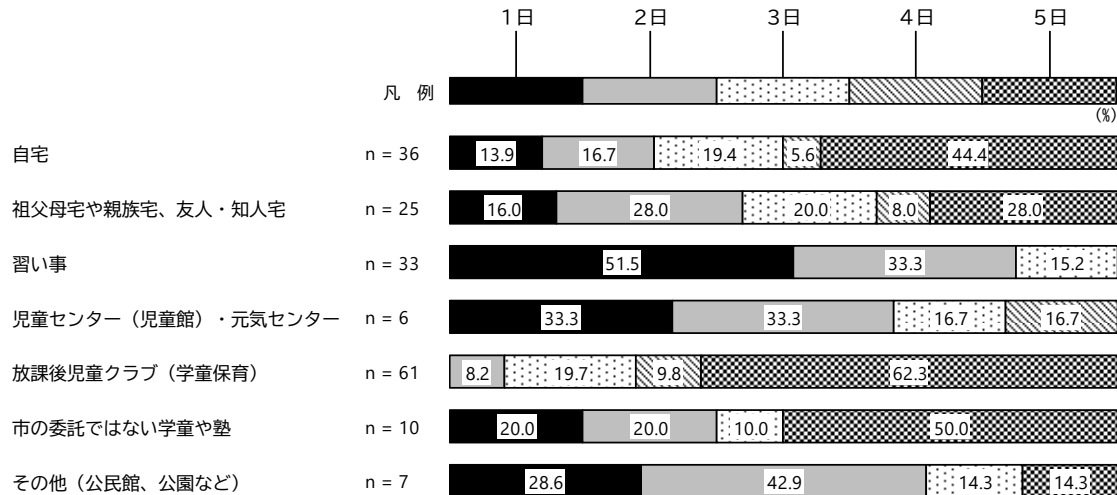
◆放課後に過ごさせたい場所／高学年



小学校低学年の放課後に過ごさせたい場所について、全体では「市の委託する放課後児童クラブ（学童保育）」が54.5%と最も高く、次いで「自宅」（32.1%）、「習い事」（29.5%）となっています。

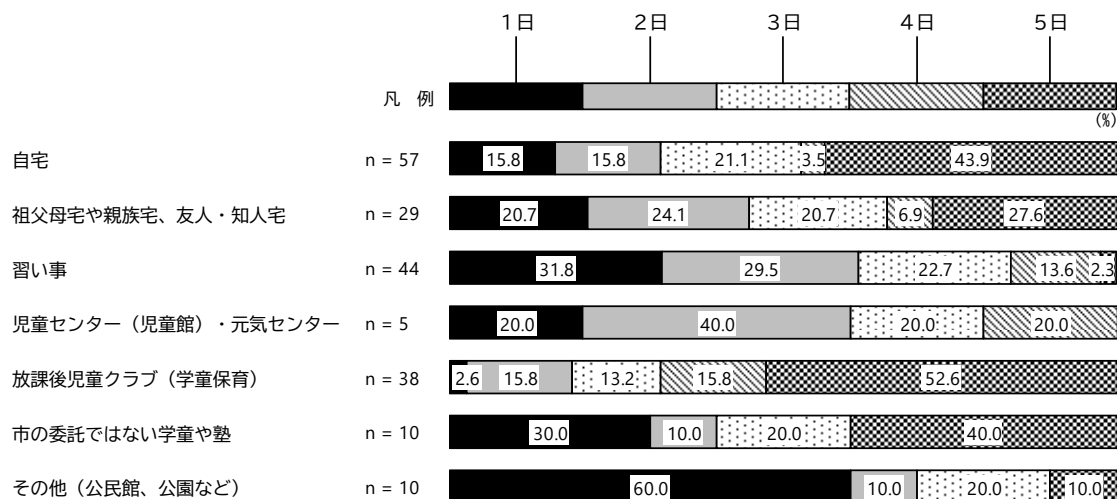
小学校高学年の放課後に過ごさせたい場所について、全体では「自宅」が50.9%と最も高く、次いで「習い事」（39.3%）、「市の委託する放課後児童クラブ（学童保育）」（33.9%）となっています。

◆週あたりの日数／低学年



※上記のほか、ファミリー・サポート・センターの月あたり日数として、1人が「3日」と回答

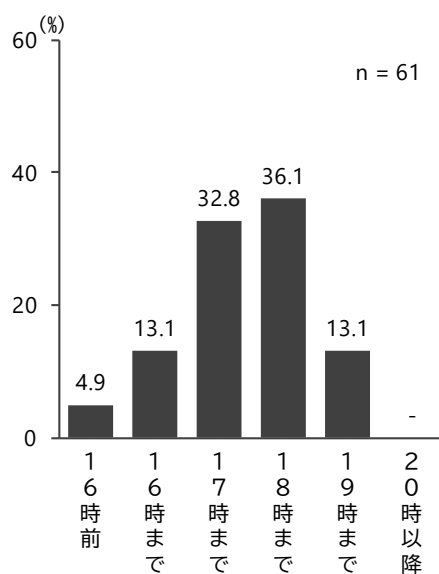
◆週あたりの日数／高学年



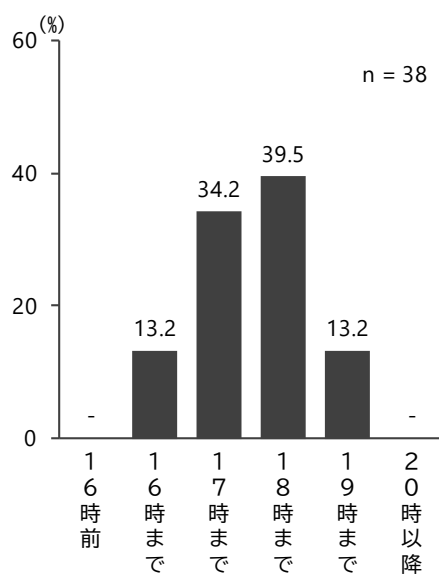
※上記のほか、ファミリー・サポート・センターの月あたり日数として、2人が「3日」と回答

放課後に過ごさせたい場所の週あたり日数については、低学年と高学年で類似した傾向がみられ、『自宅』や『放課後児童クラブ（学童保育）』などで「5日」が高く、一方で『習い事』は「1日」が高くなっています。

◆放課後児童クラブを利用している時間／低学年



◆放課後児童クラブを利用している時間／高学年



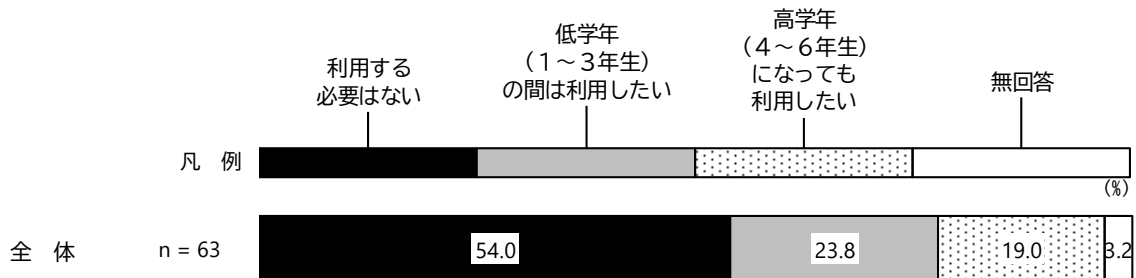
放課後児童クラブを利用している時間については、低学年と高学年で類似した傾向がみられ、どちらも「18時まで」が最も高く、次いで「17時まで」となっています。

9-2 土曜日・日曜日・祝日の放課後児童クラブの利用希望

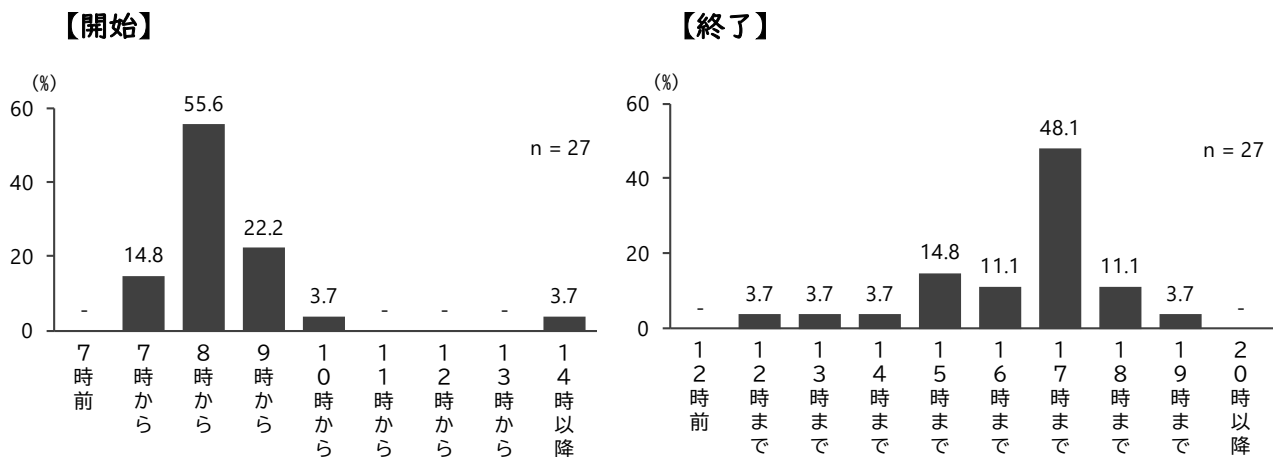
【問 32 で「市の委託する放課後児童クラブ（学童保育）」を選択した方のみ】

問 33 土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。①土曜日、②日曜・祝日それぞれについてお答えください。

◆利用希望／土曜日



◆利用希望時間帯／土曜日

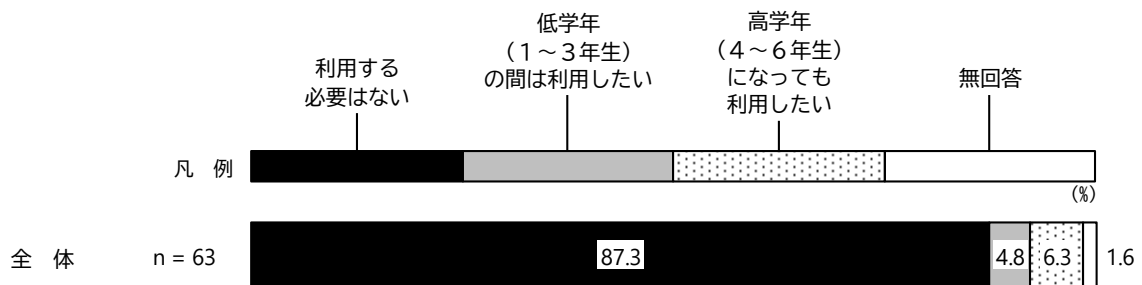


土曜日の放課後児童クラブの利用希望について、全体では「利用する必要はない」が 54.0%、「低学年（1～3 年生の間は利用したい）」が 23.8%、「高学年（4～6 年生）になっても利用したい」が 19.0%となっています。

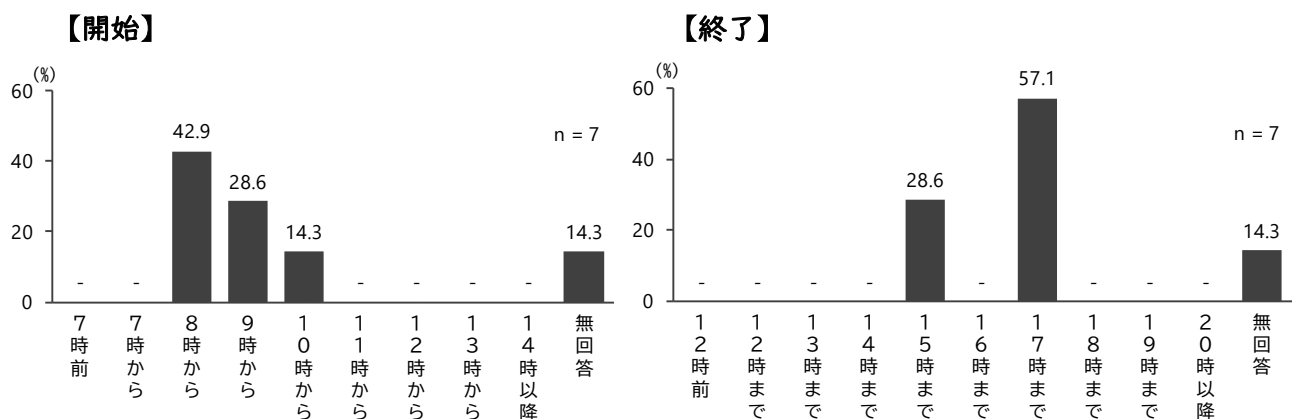
利用を希望する場合の開始時間帯は、「8 時から」が 55.6%と最も高く、次いで「9 時から」が 22.2%となっています。終了時間帯は、「17 時まで」が 48.1%と最も高く、次いで「15 時まで」「16 時まで」「18 時まで」が 1 割台前半と続いています。

Ⅱ 就学前児童保護者調査結果

◆利用希望／日曜日・祝日



◆利用希望時間帯／日曜日・祝日



日曜・祝日の放課後児童クラブの利用希望について、全体では「利用する必要はない」が87.3%、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が4.8%、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が6.3%となっています。

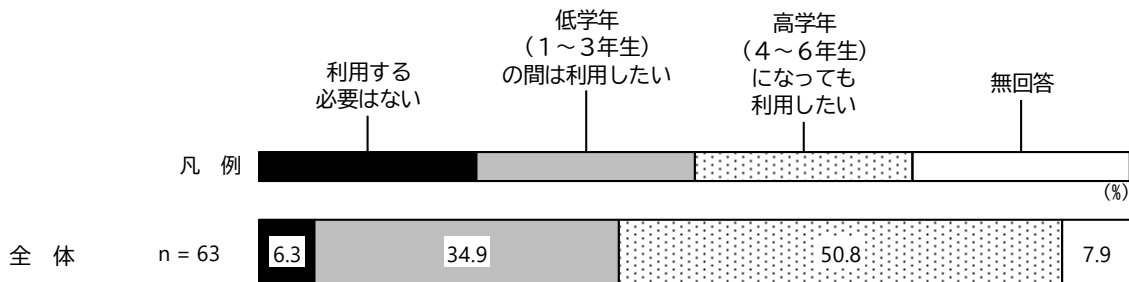
利用を希望する場合の開始時間帯は、調査数（n）が少ないため参考値としての記載とします。

9-3 長期休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望

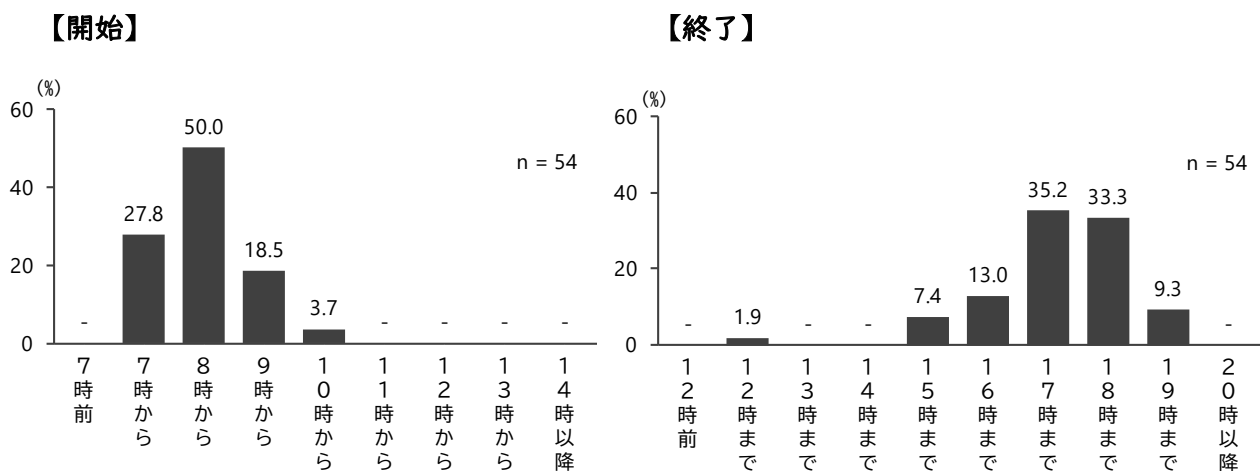
【問 32 で「市の委託する放課後児童クラブ（学童保育）」を選択した方のみ】

問 34 夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。（○は1つ。数字は一桁に一字）

◆利用希望／長期休暇期間中



◆利用希望時間帯／長期休暇期間中



長期休暇期間中の放課後児童クラブ利用希望について、全体では「利用する必要はない」が 6.3%、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が 34.9%、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が 50.8%となっています。

利用を希望する場合の開始時間帯は、「8時から」が 50.0%と最も高く、次いで「7時から」が 27.8%となっています。終了時間帯は、「17時まで」と「18時まで」がともに3割以上と高くなっています。

10

育児休業など職場の両立支援制度について

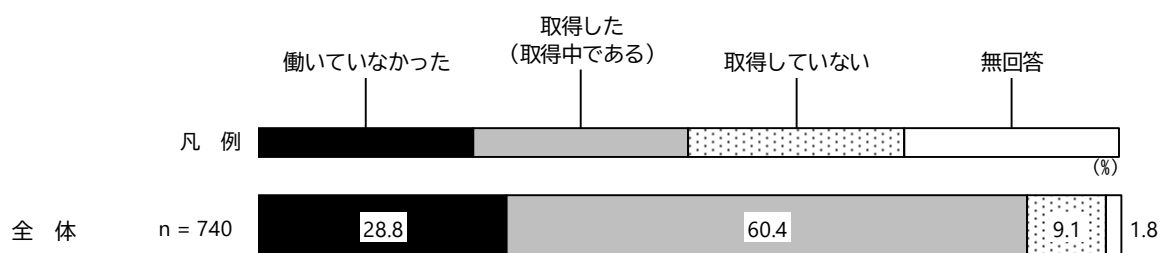
10-1 育児休業の取得状況

問 35 宛名のお子さんが生まれたとき、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。

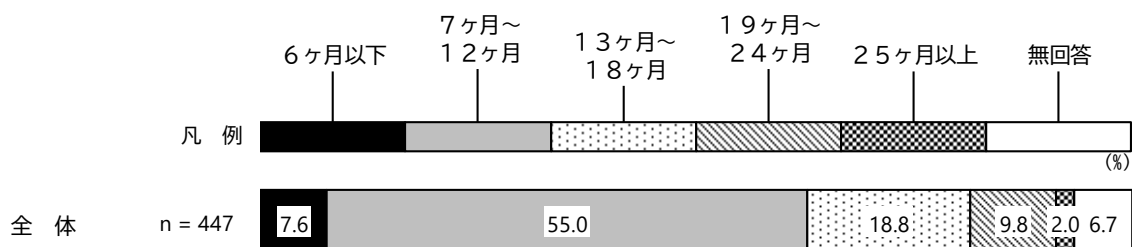
「取得した（取得中である）」と回答した方は取得（予定）期間も記入ください。

（母親、父親のそれぞれについて、○は1つ。数字は一枠に一字）

◆取得状況／母親



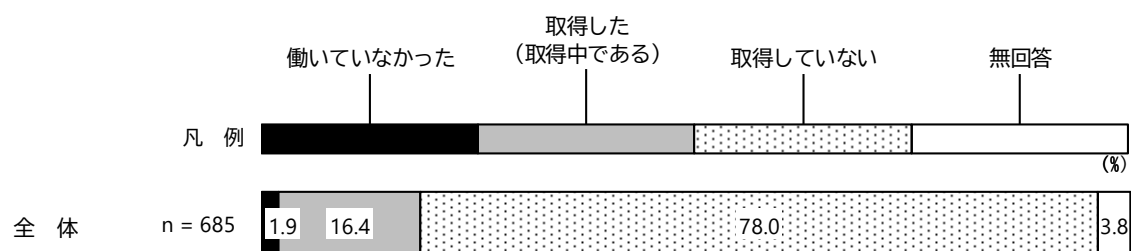
◆取得期間／母親



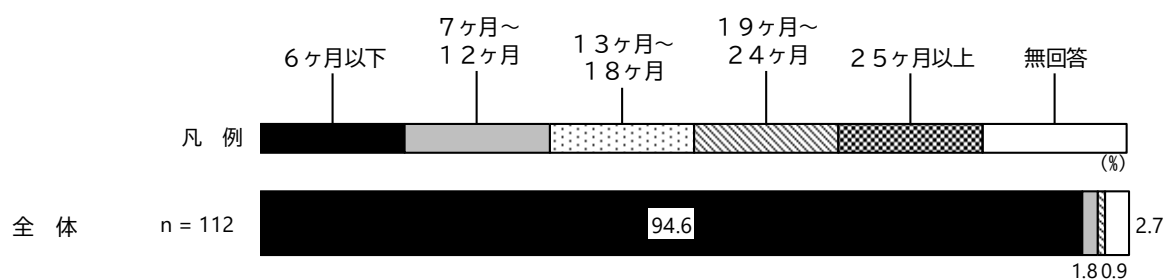
母親の育児休業の取得状況について、全体では「働いていなかった」が28.8%、「取得した（取得中である）」が60.4%、「取得していない」が9.1%となっています。

取得した場合の取得期間については、「7ヶ月～12ヶ月」が55.0%と最も高く、次いで「13ヶ月～18ヶ月」（18.8%）、「19ヶ月～24ヶ月」（9.8%）となっています。

◆取得状況／父親



◆取得期間／父親



父親の育児休業の取得状況について、全体では「取得していない」が78.0%と約8割を占め、「取得した（取得中である）」は16.4%となっています。

取得した場合の取得期間については、「6ヶ月以下」が94.6%と大多数を占めています。

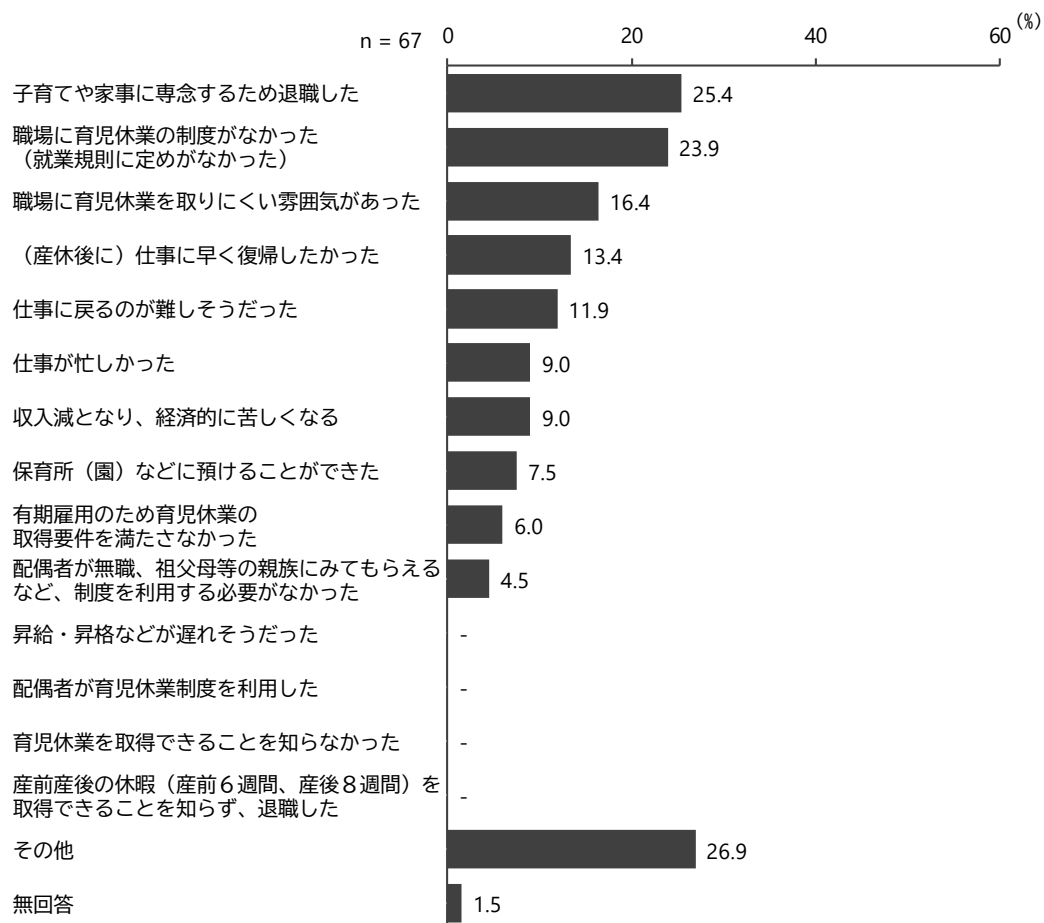
10-2 育児休業を取得していない理由

【問 35 で「取得していない」を選択した方のみ】

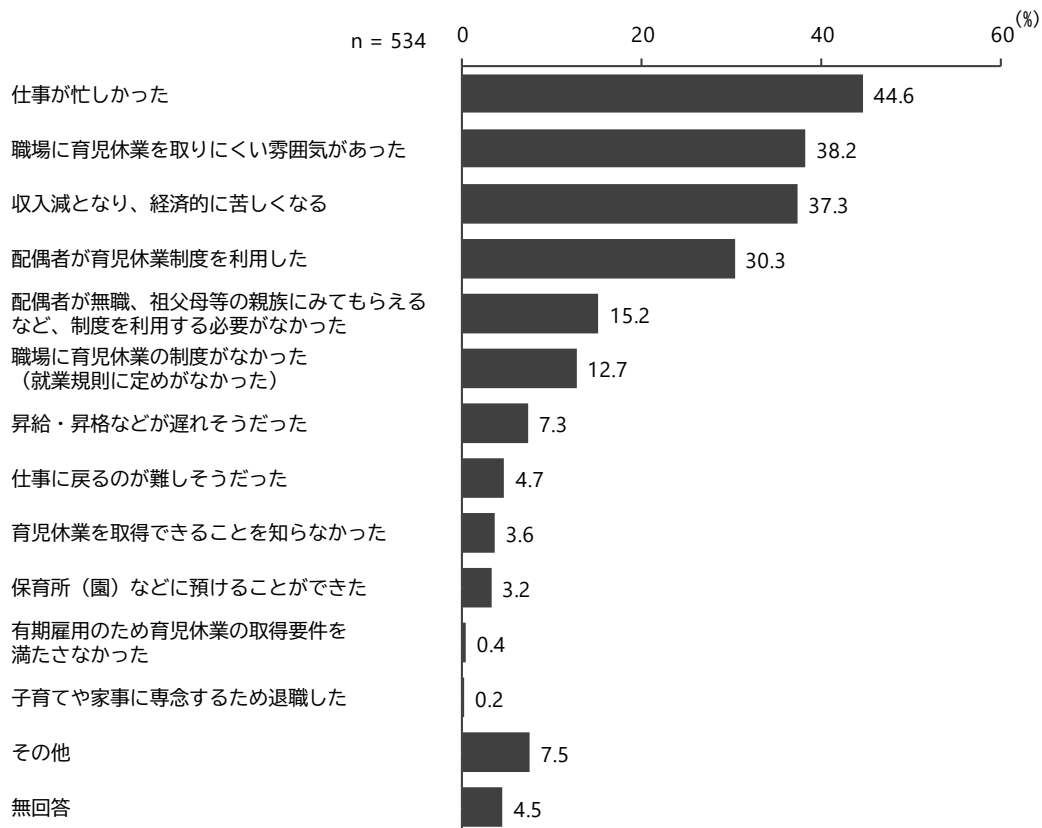
問 35① 育児休業を取得していない理由をお答えください。

（母親、父親のそれぞれについて、あてはまるものすべてに○）

◆母親



◆父親



母親が育児休業を取得していない理由について、全体では「子育てや家事に専念するため退職した」が25.4%と最も高く、次いで「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」（23.9%）、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」（16.4%）となっています。

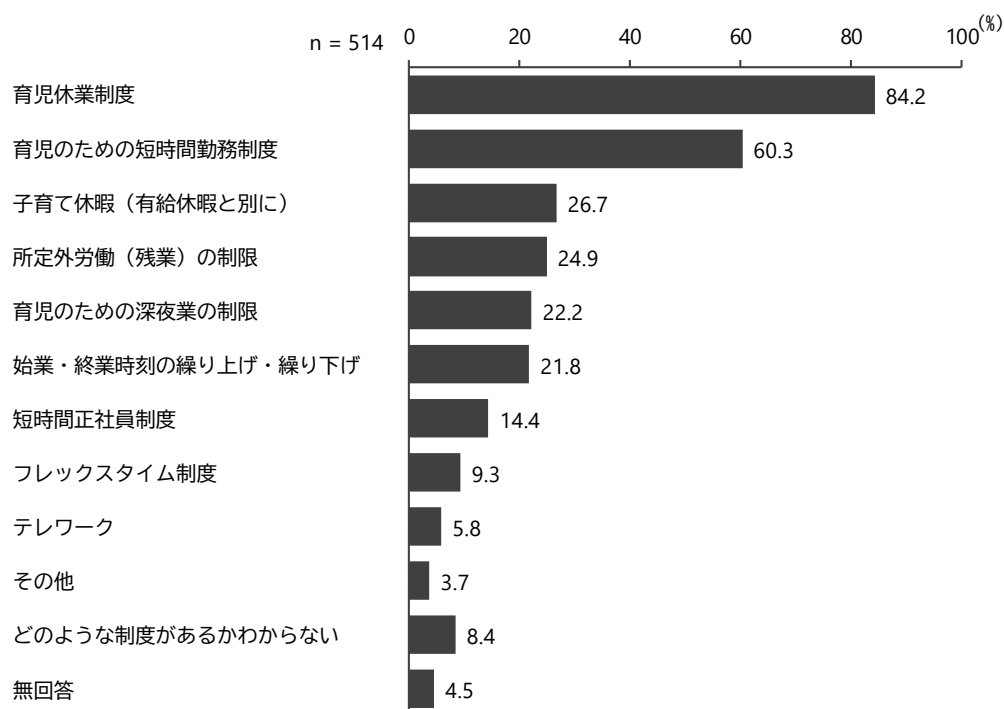
父親が育児休業を取得していない理由について、全体では「仕事が忙しかった」が44.6%と最も高く、次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」（38.2%）、「収入減となり、経済的に苦しくなる」（37.3%）となっています。

10-3 職場における仕事と子育ての両立支援制度

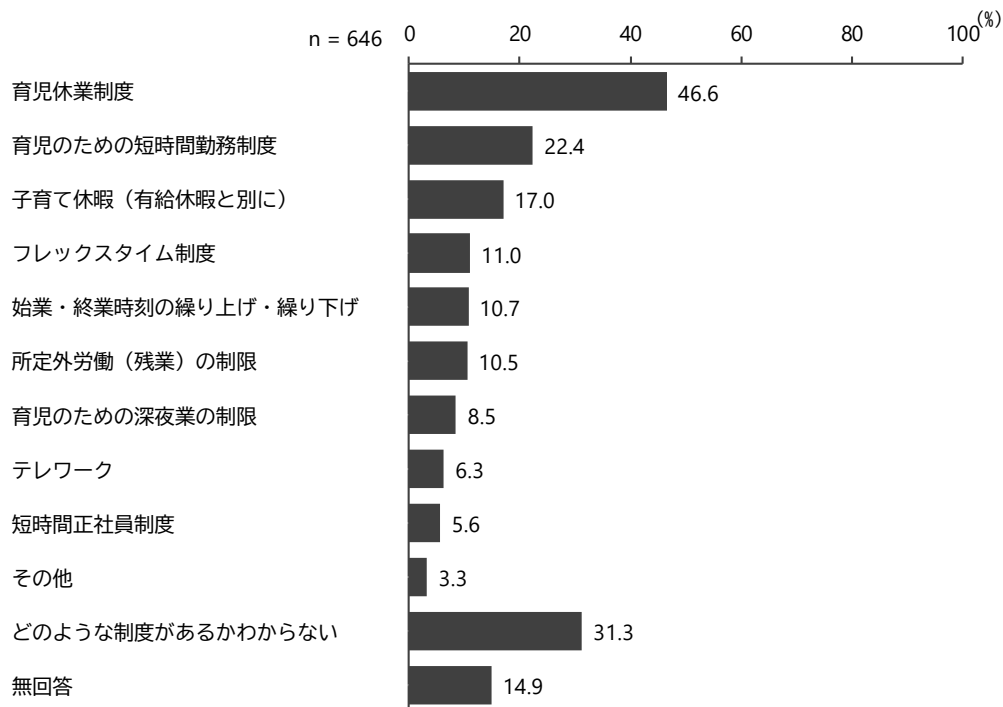
【問 35 で「取得した（取得中である）」または「取得していない」を選択した方のみ】

問 35② 仕事と子育ての両立支援制度として、職場でどのような制度が整備されていますか。（母親、父親のそれぞれについて、あてはまるものすべてに○）

◆母親



◆父親



母親の職場における仕事と子育ての両立支援制度について、全体では「育児休業制度」が84.2%と最も高く、次いで「育児のための短時間勤務制度」(60.3%)、「子育て休暇（有給休暇と別に）」(26.7%)となっています。

父親の職場における仕事と子育ての両立支援制度について、全体ではこの調査の回答者が母親が多いこともあり、「どのような制度があるかわからない」が31.3%と高くなっていますが、それ以外では「育児休業制度」が46.6%と最も高く、次いで「育児のための短時間勤務制度」(22.4%)、「子育て休暇（有給休暇と別に）」(17.0%)となっています。

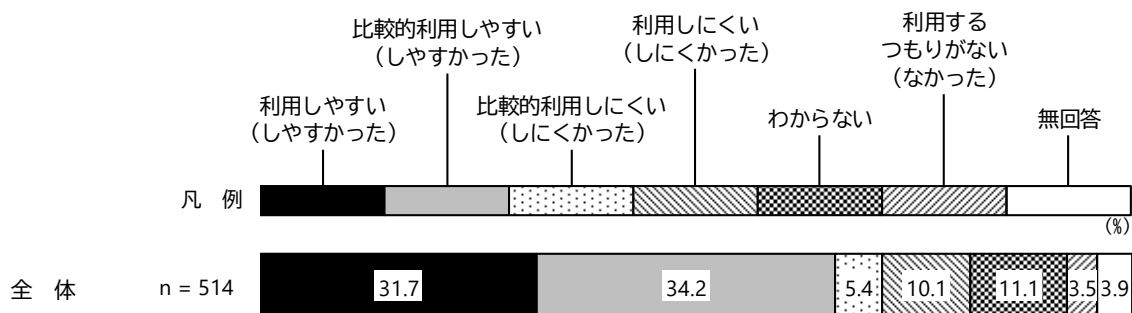
10-4 職場の両立支援制度は利用しやすい（しやすかった）か

【問 35 で「取得した（取得中である）」または「取得していない」を選択した方のみ】

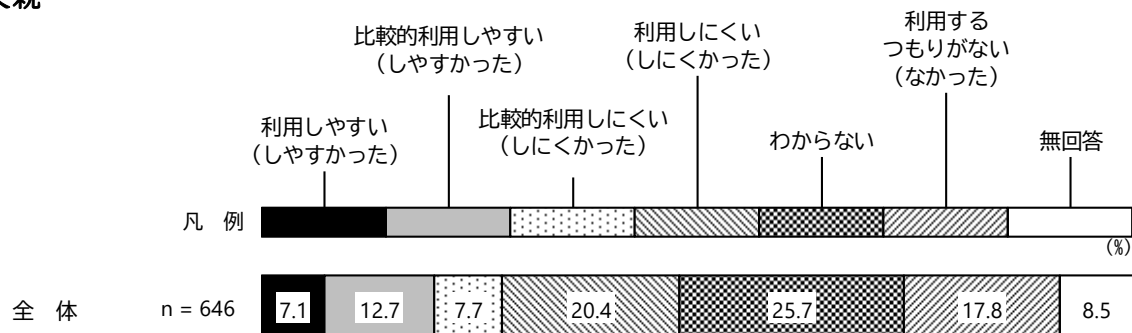
問 35③ 職場の両立支援制度は利用しやすい（しやすかった）ですか。

（母親、父親のそれぞれについて、○は1つ）

◆母親



◆父親



母親の職場の両立支援制度は利用しやすい（しやすかった）かについて、全体では「比較的利用しやすい（しやすかった）」が 34.2%と最も高く、次いで「利用しやすい（しやすかった）」（31.7%）となっています。

父親の職場の両立支援制度は利用しやすい（しやすかった）かについて、全体ではこの調査の回答者が母親が多いこともあり、「わからない」が 25.7%と最も高くなっていますが、それ以外では「利用しにくい（しにくかった）」が 20.4%と最も高く、次いで「利用するつもりがない（なかった）」（17.8%）となっています。

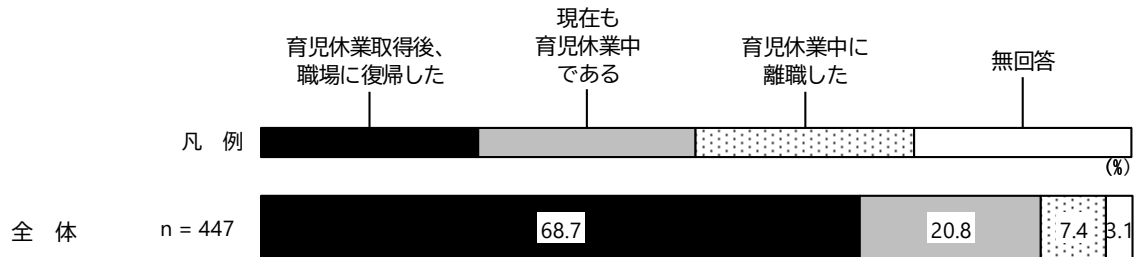
10-5 育児休業取得後に職場に復帰したか

【問 35 で「取得した（取得中である）」を選択した方のみ】

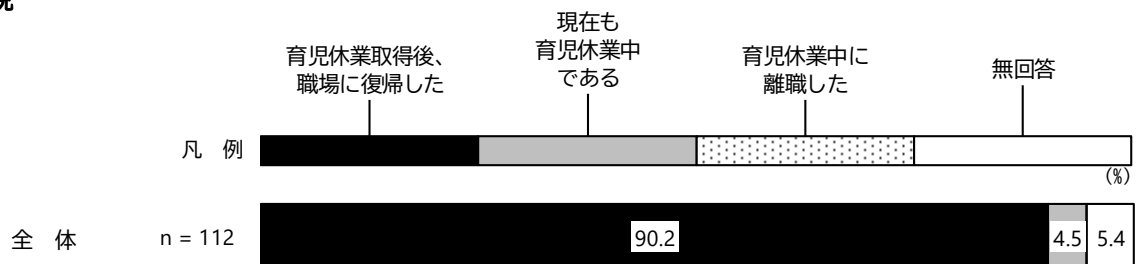
問 35④ 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。（○は1つ）

（母親、父親のそれぞれについて、あてはまるものすべてに○）

◆母親



◆父親



母親が育児休業取得後に職場に復帰したかについて、全体では「育児休業取得後、職場に復帰した」が68.7%、「現在も育児休業中である」が20.8%、「育児休業中に離職した」が7.4%となっています。

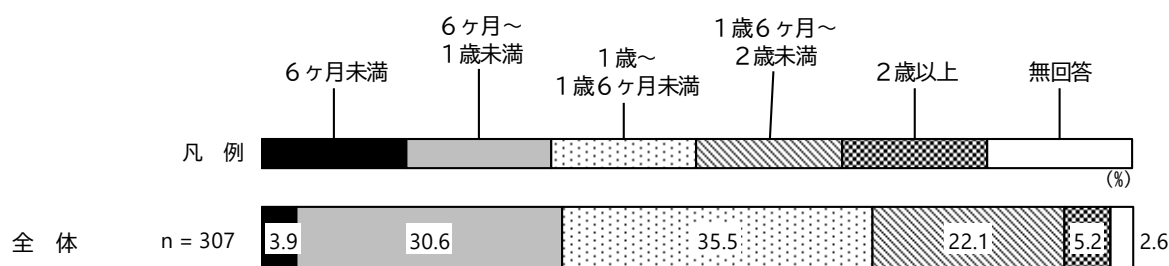
父親が育児休業取得後に職場に復帰したかについて、全体では「育児休業取得後、職場に復帰した」が90.2%と9割以上を占めています。

10-6 「実際」と「希望」の育児休業取得期間

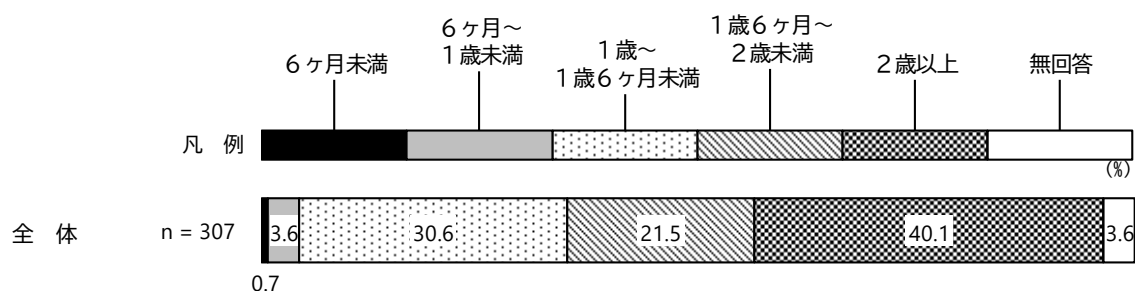
【問 35④で「育児休業取得後、職場に復帰した」を選択した方のみ】

問 35⑤ 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。
また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。（数字は一枠に一字）

◆「実際」の育児休業取得期間／母親



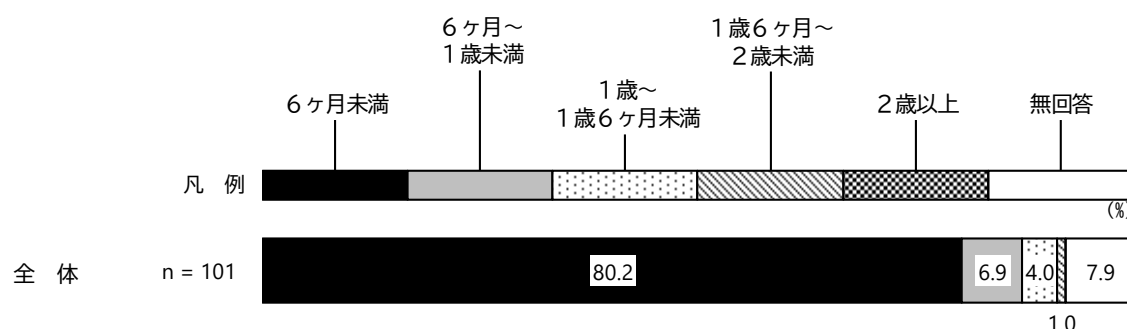
◆「希望」の育児休業取得期間／母親



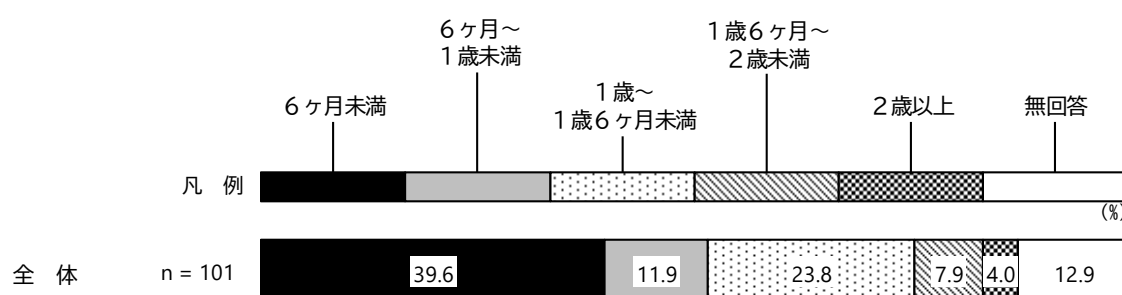
母親の「実際」の育児休業取得期間について、全体では「1歳～1歳6ヶ月未満」が35.5%と最も高く、次いで「6ヶ月～1歳未満」（30.6%）、「1歳6ヶ月～2歳未満」（22.1%）となっています。

母親の「希望」の育児休業取得期間について、全体では「2歳以上」が40.1%と最も高く、次いで「1歳～1歳6ヶ月未満」（30.6%）、「1歳6ヶ月～2歳未満」（21.5%）となり、「実際」の取得期間に比べて長い期間の取得を希望する回答が多くなっています。

◆「実際」の育児休業取得期間／父親



◆「希望」の育児休業取得期間／父親



父親の「実際」の育児休業取得期間について、全体では「6ヶ月未満」が80.2%と8割以上を占め、次いで「6ヶ月～1歳未満」（6.9%）、「1歳～1歳6ヶ月未満」（4.0%）となっています。

父親の「希望」の育児休業取得期間について、全体では「6ヶ月未満」が39.6%と最も高く、次いで「1歳～1歳6ヶ月未満」（23.8%）、「6ヶ月～1歳未満」（11.9%）となり、「実際」の取得期間に比べて長い期間の取得を希望する回答が多くなっています。

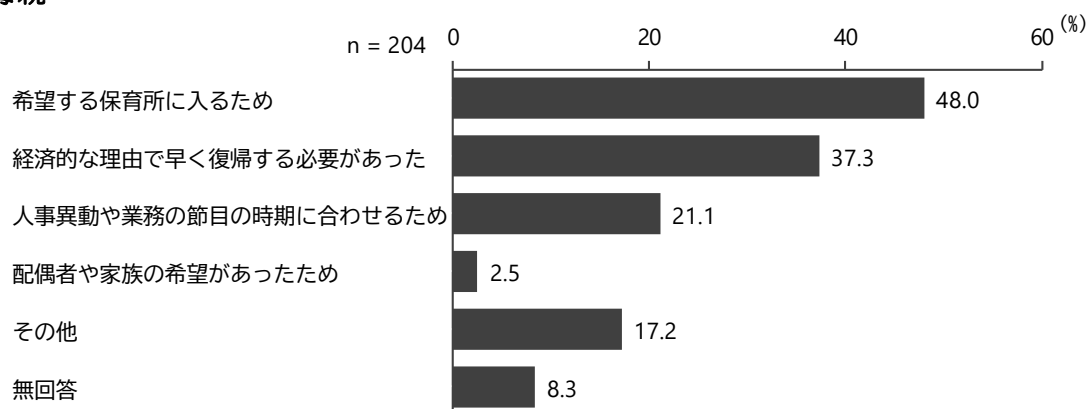
10-7 「希望」よりも「実際」の職場復帰が早い理由

【問 35⑤で「希望」よりも「実際」の職場復帰が早い方のみ】

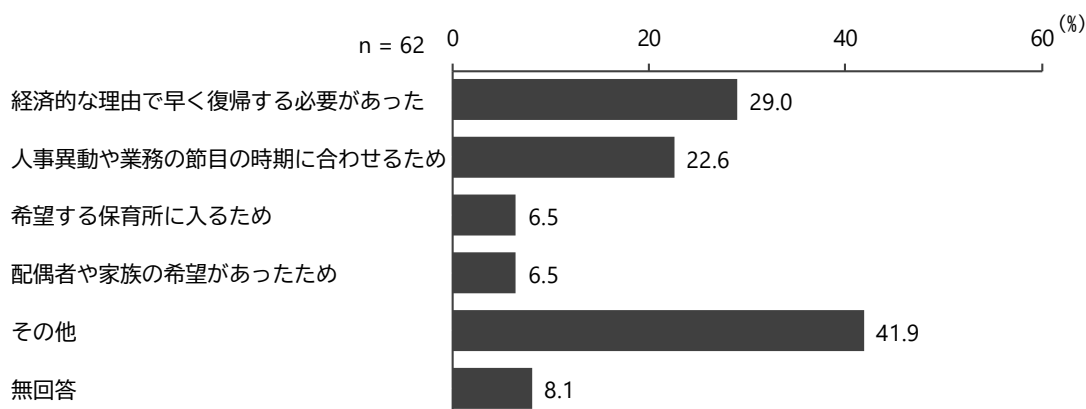
問 35⑥ その理由は何ですか。

(母親、父親のそれぞれについて、あてはまるものすべてに○)

◆母親



◆父親



母親の「希望」よりも「実際」の職場復帰が早い理由について、全体では「希望する保育所に入るため」が48.0%と最も高く、次いで「経済的な理由で早く復帰する必要があった」(37.3%)、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」(21.1%)となっています。

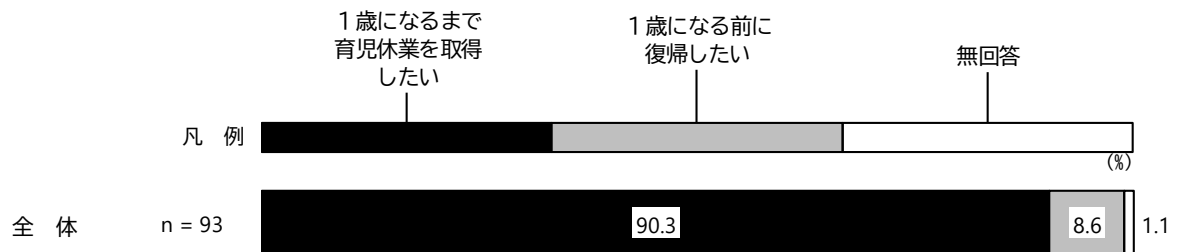
父親の「希望」よりも「実際」の職場復帰が早い理由について、全体では「経済的な理由で早く復帰する必要があった」が29.0%と最も高く、次いで「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」(22.6%)、「希望する保育所に入るため」「配偶者や家族の希望があったため」(ともに6.5%)となっています。なお、「その他」が4割以上と高くなっていますが、具体的な記入内容としては“職場からの指示”、“職場の雰囲気・プレッシャー”、“職場から長期間取得することに難色を示された”といった回答が多くみられました。

10-8 1歳で必ず利用できる事業があった場合の育児休業の取得

【問 35④で「現在も育児休業中である」を選択した方のみ】

問 35⑦ 宛名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。(母親、父親のそれぞれについて、○は1つ)

◆母親



母親の1歳で必ず利用できる事業があった場合の育児休業の取得について、全体では「1歳になるまで育児休業を取得したい」が90.3%、「1歳になる前に復帰したい」が8.6%となっています。

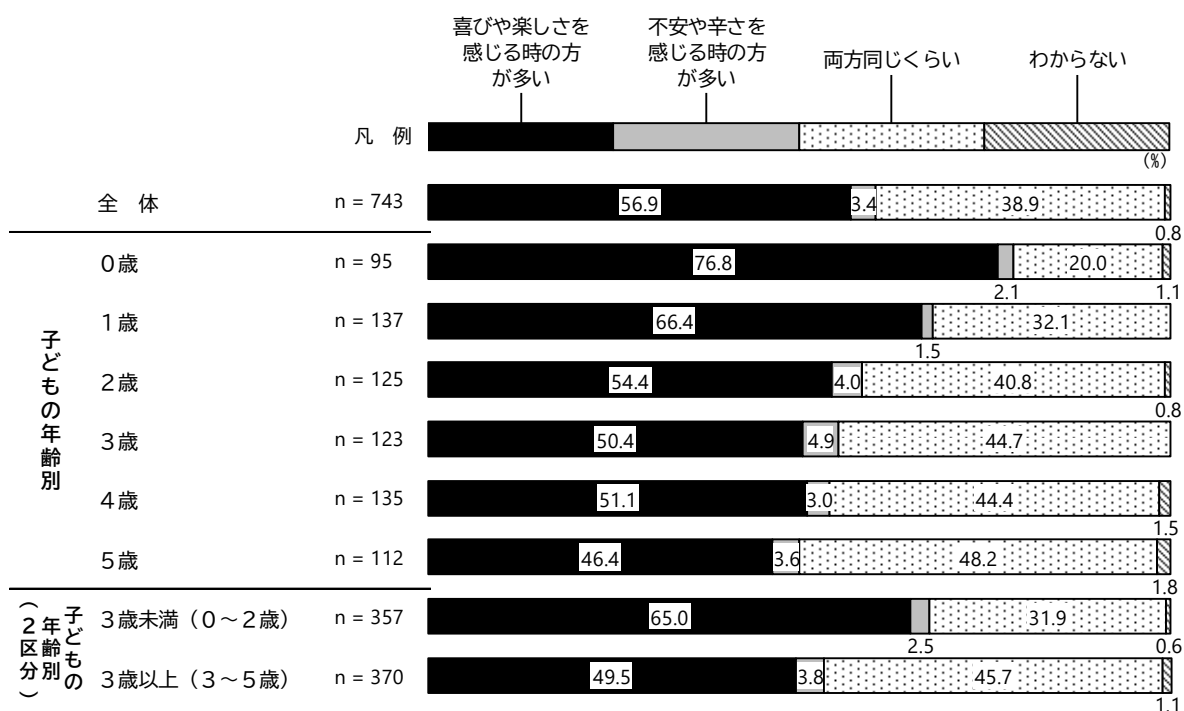
父親の1歳で必ず利用できる事業があった場合の育児休業の取得については、調査数（n）が僅かであるためグラフを非掲載とします。

11

子育てに関する意識や情報収集について

11-1 子育てをどう感じるか

問 36 子育てについてどう感じますか。(○は1つ)

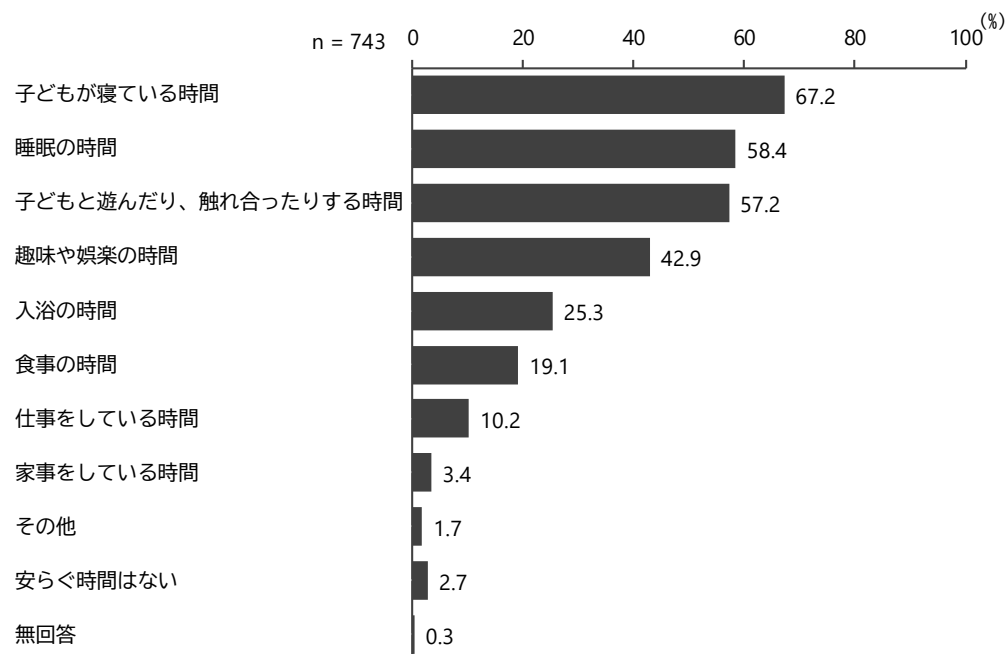


子育てをどう感じるかについて、全体では「喜びや楽しさを感じる時の方が多い」が56.9%と最も高く、次いで「両方同じくらい」(38.9%)、「不安や辛さを感じる時の方が多い」(3.4%)となっています。

子どもの年齢別にみると、「喜びや楽しさを感じる時の方が多い」は年齢が上がるにつれて低くなる半面、「両方同じくらい」は高くなり、5歳では「喜びや楽しさを感じる時の方が多い」よりも「両方同じくらい」の方が高くなっています。

11-2 1日の中で安らぐ時間

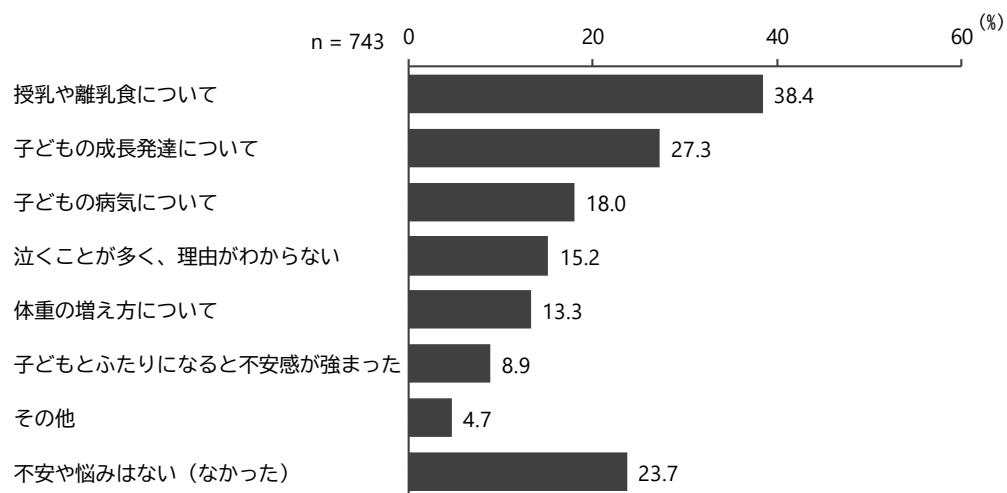
問 37 1日の時間の中であなた自身が安らぐ時間はどんな時ですか。
(あてはまるものすべてに○)



1日の中で安らぐ時間について、全体では「子どもが寝ている時間」が 67.2%と最も高く、次いで「睡眠の時間」(58.4%)、「子どもと遊んだり、触れ合ったりする時間」(57.2%)となっています。

11-3 子どもが1歳になる以前の不安や悩み

問 38 お子さんが1歳になる以前、どのような不安や悩みがありますか（ありましたか）。
(○は2つまで)

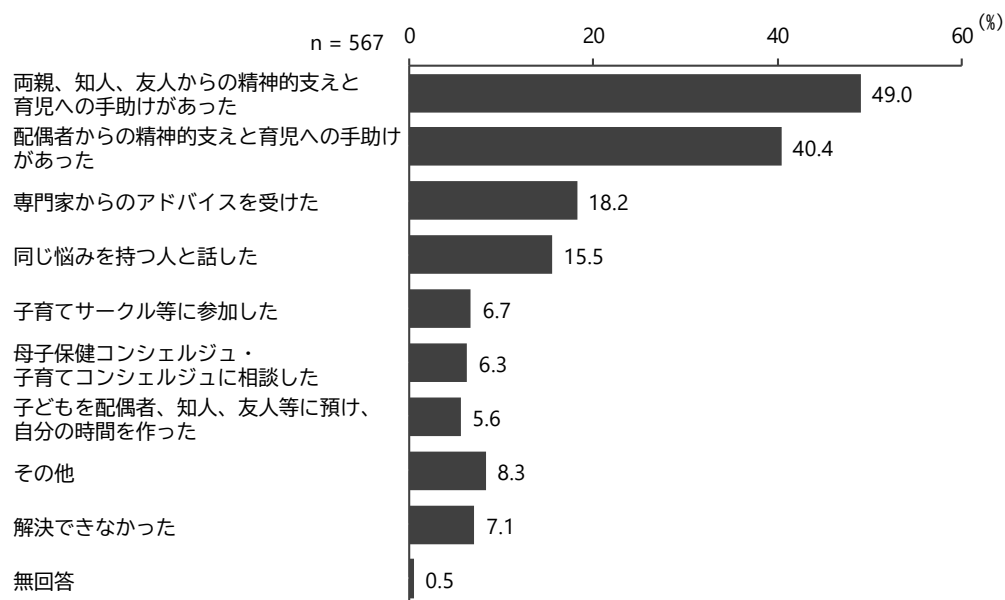


子どもが1歳になる以前の不安や悩みについて、全体では「授乳や離乳食について」が38.4%と最も高く、次いで「子どもの成長発達について」(27.3%)、「子どもの病気について」(18.0%)となっています。

11-4 1歳以前に不安や悩みがあった場合の解決方法

【問 38 で不安や悩みがあったと回答した方のみ】

問 38① どのような方法が解決の助けとなりましたか。(○は2つまで)

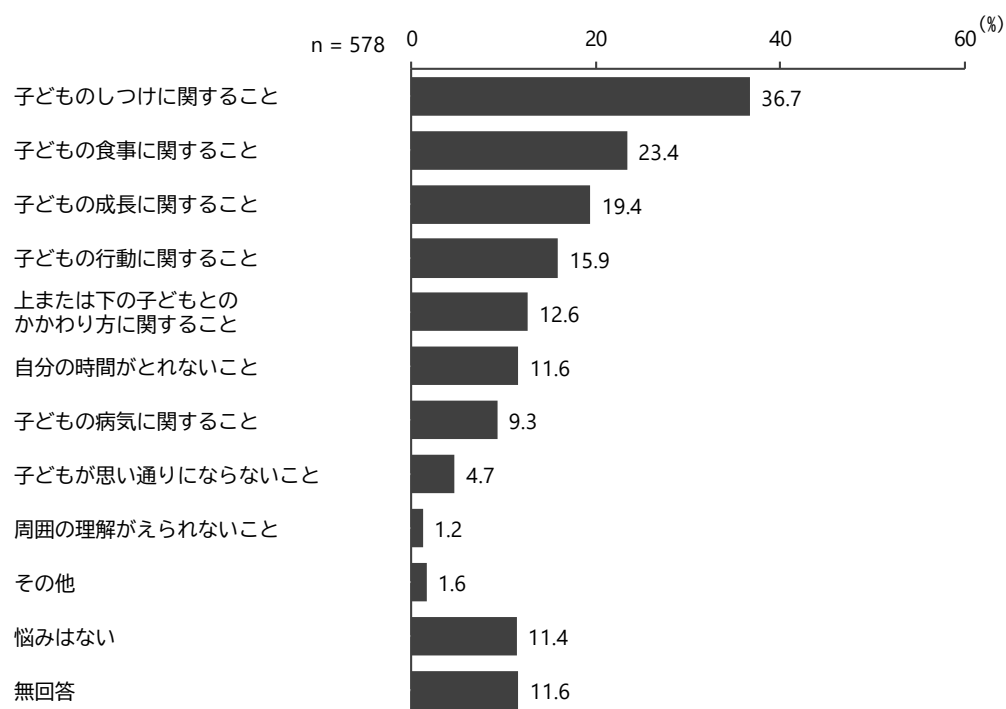


1歳以前に不安や悩みがあった場合の解決方法について、全体では「両親、知人、友人からの精神的支えと育児への手助けがあった」が49.0%と最も高く、次いで「配偶者からの精神的支えと育児への手助けがあった」(40.4%)、「専門家からのアドバイスを受けた」(18.2%)となっています。

11-5 子育ての悩み

【一番下の子どもが1歳以上の方のみ】

問 39 子育てについてどのような悩みがありますか。(○は2つまで)



子育ての悩みについて、全体では「子どものしつけに関すること」が36.7%と最も高く、次いで「子どもの食事に関すること」(23.4%)、「子どもの成長に関すること」(19.4%)となっています。

11-6 子育てで不安やつらさを感じること

【一番下の子どもが1歳以上の方のみ】

問 40 子育てについて不安やつらさを感じることはどのようなことですか。

(あてはまるものすべてに○)

(%)															
		n	経済的負担が大きい	根気や体力の負担が大きい	自分の自由な時間が持ちにくい	子どもの心身の発達に不安がある	親としての自信がない	友達関係	子どもが安全に暮らせる社会でない	子どもと触れ合う時間がない	住宅が手狭になる	配偶者、家族の協力が得られない	その他	特にない	無回答
全 体		578	45.7	36.3	35.1	16.6	14.7	14.2	11.2	9.3	7.6	6.7	2.2	11.4	9.7
子育てに関する意識別	喜びや楽しさを感じる時の方が多い	307	38.8	26.7	28.3	10.1	7.8	12.4	9.8	10.1	4.9	3.9	2.9	18.2	10.4
	不安や辛さを感じる時の方が多い	20	60.0	55.0	50.0	30.0	60.0	15.0	20.0	-	15.0	20.0	-	5.0	15.0
	両方同じくらい	246	52.8	46.7	42.7	23.2	19.9	16.3	12.2	9.3	10.2	9.3	1.6	3.3	8.5
	わからない	5	60.0	40.0	20.0	40.0	-	20.0	20.0	-	20.0	-	-	20.0	-

子育てで不安やつらさを感じることにについて、全体では「経済的負担が大きい」が45.7%と最も高く、次いで「根気や体力の負担が大きい」(36.3%)、「自分の自由な時間が持ちにくい」(35.1%)となっています。

子育てに関する意識別にみると、“不安や辛さを感じる時の方が多い”人の調査数(n)が少ないことに留意は必要ですが、多くの項目で“喜びや楽しさを感じる時の方が多い”人よりも“不安や辛さを感じる時の方が多い”人や“両方同じくらい”の人の方が回答割合が高い傾向があり、特に「経済的負担が大きい」「根気や体力の負担が大きい」「自分の自由な時間が持ちにくい」「子どもの心身の発達に不安がある」「親としての自信がない」でその差が顕著になっています。

11-7 子育てに困ったり悩んだりした時の相談先

【一番下の子どもが1歳以上の方のみ】

問41 子育てに困ったり、悩んだりした時、誰に相談しますか。

(あてはまるものすべてに○)

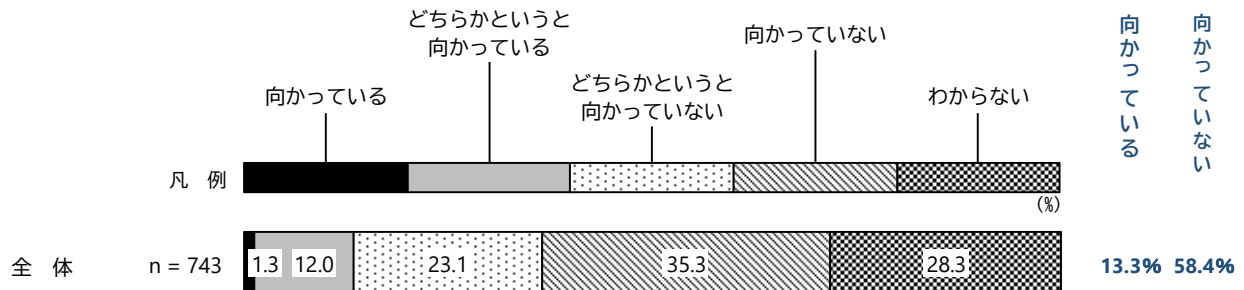
																	(%)
		n	配偶者	母または父	友人・知人	保育士・幼稚園の先生	兄弟姉妹	行政機関	親戚	医師・看護師	近所の人	子育て保健コンシェルジュ・	地域の委員や主任児童委員	その他	特にいない	無回答	
全 体		578	68.9	61.1	48.4	33.6	26.8	6.2	5.7	4.8	1.9	1.9	0.2	3.1	3.8	9.3	
子育てに関する意識別	喜びや楽しさを感じる時の方が多い	307	70.4	64.5	52.1	32.2	32.2	4.6	7.5	5.9	2.6	2.0	-	3.3	2.3	10.4	
	不安や辛さを感じる時の方が多い	20	60.0	30.0	25.0	25.0	10.0	25.0	-	5.0	-	5.0	-	10.0	15.0	15.0	
	両方同じくらい	246	68.7	59.3	46.3	35.8	21.1	6.9	4.1	3.7	1.2	1.6	0.4	2.4	4.9	7.7	
	わからない	5	20.0	60.0	20.0	40.0	40.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

子育てに困ったり悩んだりした時の相談先について、全体では「配偶者」が68.9%と最も高く、次いで「母または父」(61.1%)、「友人・知人」(48.4%)となっています。

子育てに関する意識別にみると、調査数(n)が少ないことに留意は必要ですが、“不安や辛さを感じる時の方が多い”人では「母または父」や「友人・知人」が低くなっています。

11-8 今の社会は「こどもまんなか社会」の実現に向かっていると思うか

問 42 今の社会は「こどもまんなか社会」の実現に向かっていると思いますか。(○は1つ)



※グラフ右の数値は、類似した2つの選択肢の回答割合の合算値（以下同じ）

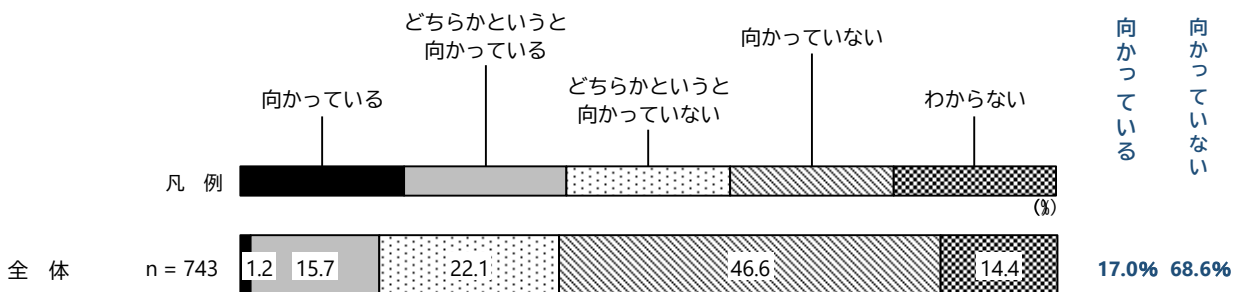
（例）向かっている＝「向かっている」＋「どちらかという向かっている」

なお、四捨五入の関係で、合算値が個々の回答割合の単純な足し上げ値と一致しない場合がある

今の社会は「こどもまんなか社会」の実現に向かっていると思うかについて、全体では《向かっている》（「向かっている」＋「どちらかという向かっている」）が13.3%、《向かっていない》（「向かっていない」＋「どちらかという向かっていない」）が58.4%、「わからない」が28.3%となっています。

11-9 今の社会は「結婚、妊娠、こども・子育てに温かい社会」の実現に向かっていると思うか

問 42 今の社会は「結婚、妊娠、こども・子育てに温かい社会」の実現に向かっていると思いますか。(○は1つ)



今の社会は「結婚、妊娠、こども・子育てに温かい社会」の実現に向かっていると思うかについて、全体では《向かっている》（「向かっている」＋「どちらかという向かっている」）が17.0%、《向かっていない》（「向かっていない」＋「どちらかという向かっていない」）が68.6%、「わからない」が14.4%となっています。

Ⅱ 就学前児童保護者調査結果

11-10 子育てに関する情報源

問 44 あなたは子育てに関する情報をどこから得ていますか。

(あてはまるものすべてに○)

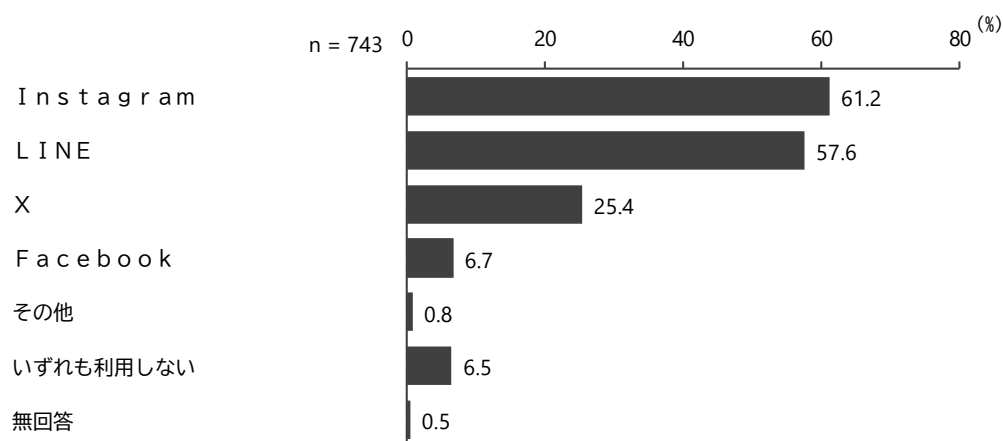
		n	SNS (LINE, Instagram, Facebook等)	親族(親、 友人・知人)	幼稚園・保育施設等が 発行しているお知らせ	同年代の子どもを持つ子育て仲間	いわき市公式ホームページの 子育て関連ページ(いわき市子ども・ 子育て支援サイト等)	新聞、テレビ、ラジオ、雑誌	いわき市の広報紙(広報いわき)	いわき市が発行する各種 パンフレット、ポスター、チラシ等 (こどもみらいBOOK等)	行政機関(市役所等)の窓口	いわきおやCOCOアプリ (母子モ)	ブログ・チャット・掲示板等の仲間 インターネットを通じての子育て仲間	ウエブサイト 民間のスマートフォンアプリ 母子健康手帳アプリ等	市の発信するSNS (いわき市公式「おやCOCO」 Facebook等)	その他	特に情報を得たことはない	どこから情報を得たらよいか わからない	無回答
全 体		743	52.4	48.5	44.1	38.6	21.9	19.8	17.5	16.7	11.0	6.5	6.5	6.2	4.8	1.5	3.5	1.7	0.1
子どもの年齢別	0歳	95	53.7	54.7	15.8	31.6	28.4	17.9	15.8	18.9	13.7	13.7	8.4	10.5	5.3	3.2	6.3	1.1	-
	1歳	137	55.5	49.6	40.9	39.4	32.1	21.9	21.2	22.6	10.2	10.9	6.6	5.8	5.8	0.7	1.5	2.2	-
	2歳	125	52.8	44.8	45.6	37.6	19.2	18.4	17.6	16.0	12.8	7.2	4.8	4.8	3.2	3.2	2.4	2.4	-
	3歳	123	56.1	49.6	48.8	35.8	15.4	21.1	14.6	17.1	6.5	2.4	6.5	3.3	3.3	2.4	1.6	2.4	-
	4歳	135	51.1	47.4	47.4	43.0	17.8	17.0	17.8	10.4	14.1	3.0	8.1	8.1	7.4	-	3.7	0.7	-
	5歳	112	42.9	45.5	62.5	42.0	21.4	23.2	17.9	17.0	9.8	2.7	4.5	6.3	4.5	-	7.1	0.9	0.9
(2歳区別)	3歳未満(0~2歳)	357	54.1	49.3	35.9	36.7	26.6	19.6	18.5	19.3	12.0	10.4	6.4	6.7	4.8	2.2	3.1	2.0	-
	3歳以上(3~5歳)	370	50.3	47.6	52.4	40.3	18.1	20.3	16.8	14.6	10.3	2.7	6.5	5.9	5.1	0.8	4.1	1.4	0.3

子育てに関する情報源について、全体では「SNS」が52.4%と最も高く、次いで「親族(親、きょうだい等)、友人・知人」(48.5%)、「幼稚園・保育施設等が発行しているお知らせ」(44.1%)となっています。

子どもの年齢別にみると、「幼稚園・保育施設等が発行しているお知らせ」は年齢が上がるにつれて高くなる傾向があり、5歳では62.5%と6割以上となっています。一方、「いわき市公式ホームページの子育て関連ページ」は0~1歳で3割前後と、他の年齢に比べ高くなっています。

11-11 市が子育て情報をSNSで発信する場合に受け取りやすいツール

問 44① いわき市が子育て情報をSNSで発信する場合、情報を受け取りやすい（利用したい）ツールはどれですか。（あてはまるものすべてに○）



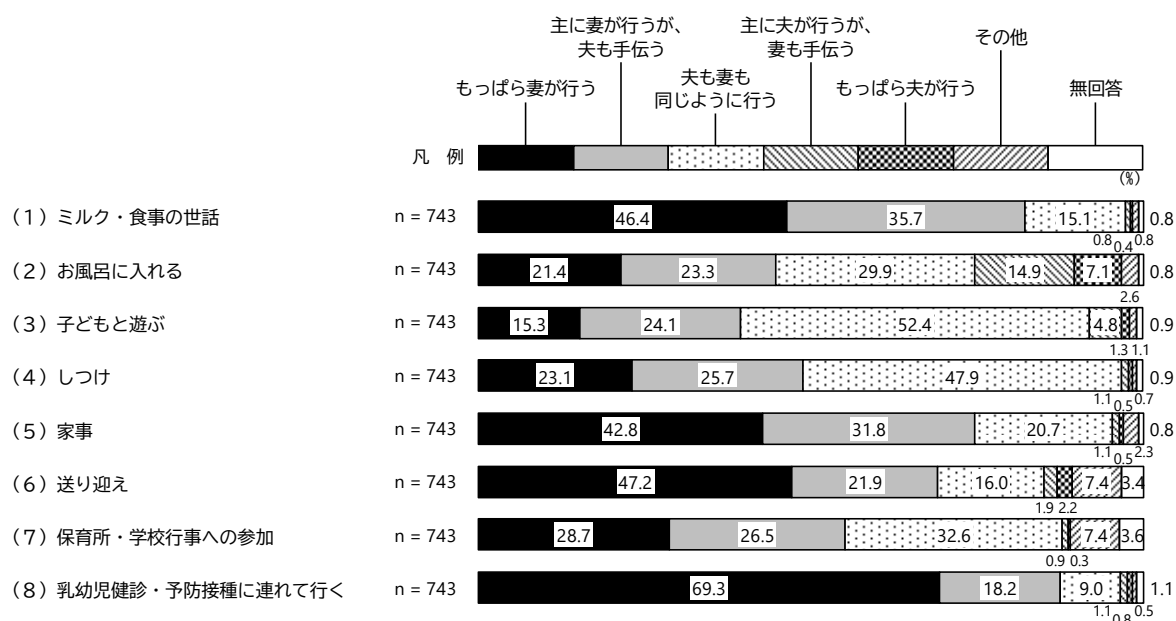
市が子育て情報をSNSで発信する場合に受け取りやすいツールについて、全体では「Instagram」(61.2%)、「LINE」(57.6%)がともに6割前後と高く、次いで「X」(25.4%)となっています。

12 子育て全般について

12-1 配偶者間の役割分担

問 45 次の（１）～（８）の配偶者間の役割分担をお答えください。

（それぞれ選択肢より１つ選択し、回答欄に記入）

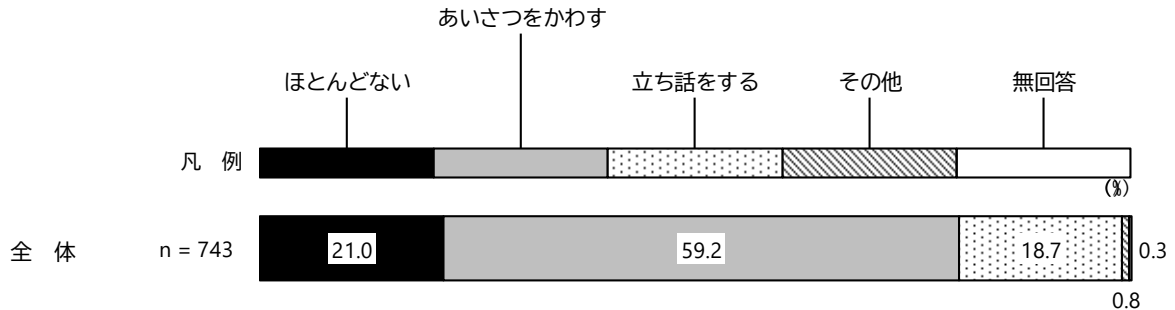


配偶者間の役割分担について、全体では『（２）お風呂に入れる』『（３）子どもと遊ぶ』『（４）しつけ』『（７）保育所・学校行事への参加』で「夫も妻も同じように行う」が最も高くなっている一方、それ以外の項目では「もっぱら妻が行う」が最も高くなっています。

いずれの項目においても「主に夫が行うが、妻も手伝う」や「もっぱら夫が行う」との回答は少なく、役割分担が妻に偏っていることがうかがえます。

12-2 ふだんの近所の方との交流

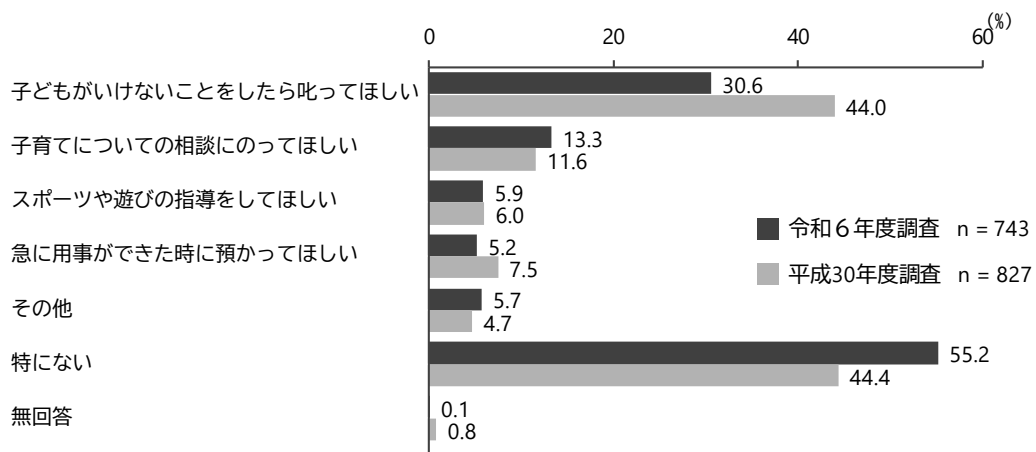
問 46 ふだん近所の方との交流はありますか。(○は1つ)



ふだんの近所の方との交流について、全体では「あいさつをかわす」が59.2%と最も高く、次いで「ほとんどない」(21.0%)、「立ち話をする」(18.7%)となっています。

12-3 子育てする上で近所の方に期待すること

問 47 子どもを育てていく上で、近所の方にどのようなことを期待しますか。
(あてはまるものすべてに○)

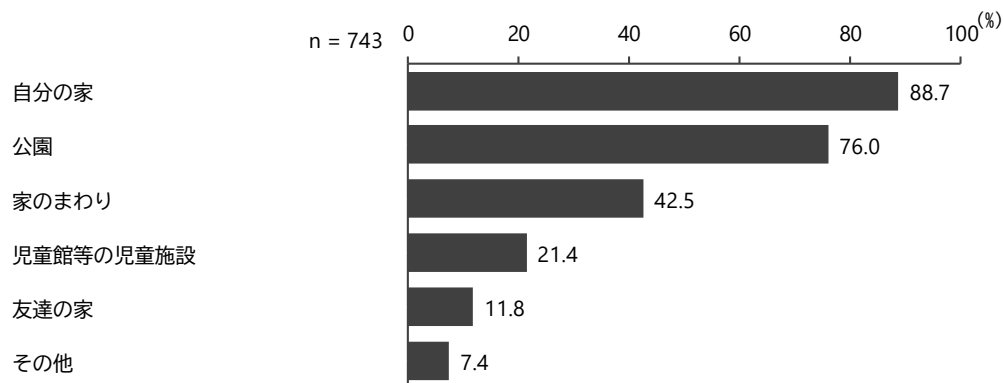


子育てする上で近所の方に期待することについて、全体では「特にない」が55.2%と高くなっていますが、それ以外では「子どもがいけないことをしたら叱ってほしい」が30.6%と最も高く、次いで「子育てについての相談にのってほしい」(13.3%)、「スポーツや遊びの指導をしてほしい」(5.9%)となっています。

平成30年度調査と比較すると、「子どもがいけないことをしたら叱ってほしい」が約13ポイント下降している一方、「特にない」は約11ポイント上昇しています。

12-4 子どもがいつも遊ぶ場所

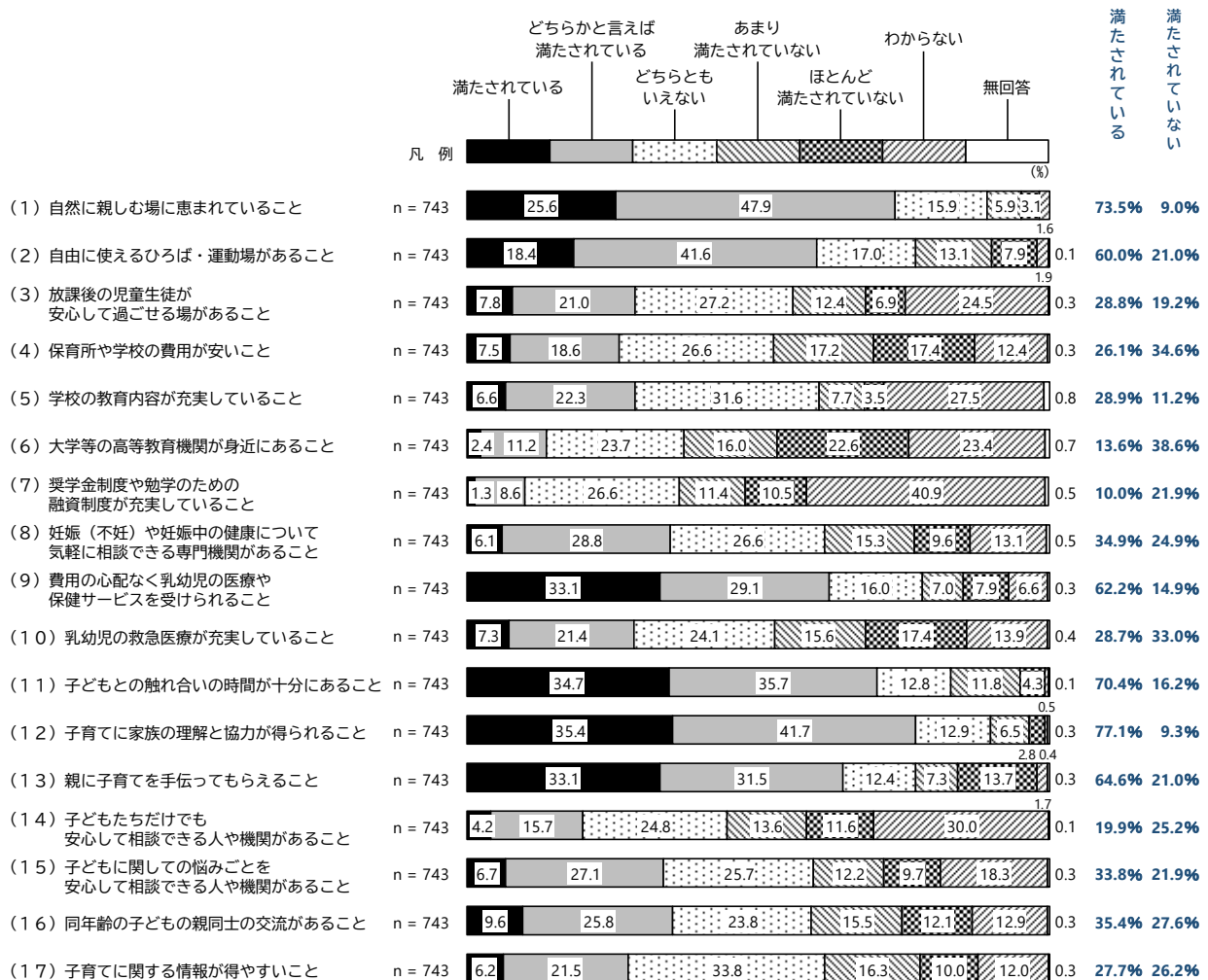
問 48 お子さんがいつも遊ぶ場所(学校・幼稚園・保育所を除く)はどこですか。
(あてはまるものすべてに○)



子どもがいつも遊ぶ場所について、全体では「自分の家」が88.7%と最も高く、次いで「公園」(76.0%)、「家のまわり」(42.5%)となっています。

12-5 子育て環境の満足度

問 49 次の子育て環境の項目について、あなたはどれくらい満足していますか。
((1) ~ (17) それぞれについて、○は1つずつ)



子育て環境の満足度について、全体では『(1) 自然に親しむ場に恵まれていること』『(11) 子どもとの触れ合いの時間が十分にあること』『(12) 子育てに家族の理解と協力が得られること』で《満たされている》(「満たされている」+「どちらかと言えば満たされている」)が7割以上と高くなっています。

一方、『(4) 保育所や学校の費用が安いこと』『(6) 大学等の高等教育機関が身近にあること』『(10) 乳幼児の救急医療が充実していること』では、《満たされていない》(「ほとんど満たされていない」+「あまり満たされていない」)が3割以上と高くなっています。

Ⅱ 就学前児童保護者調査結果

また、子育て環境の満足度について、その回答結果に下表の通り点数を付与することで、加重平均にて得点を算出しました。得点は1点～5点の間に分布し、3点が中間点、5点に近いほど満足度が高いことを表します。

上記の算出結果を、次頁に示します。

配点	5点	4点	3点	2点	1点	点数付与なし
選択肢	満たされている	どちらかと言えば満たされている	どちらともいえない	あまり満たされていない	ほとんど満たされていない	わからない・無回答

算出式	$ \begin{aligned} & (\text{「満たされている」} \times 5点) + (\text{「どちらかと言えば満たされている」} \times 4点) + \\ & (\text{「どちらともいえない」} \times 3点) + (\text{「あまり満たされていない」} \times 2点) + \\ & (\text{「ほとんど満たされていない」} \times 1点) \\ & \hline & \text{調査数} - \text{「わからない」の回答数} - \text{無回答者数} = \text{満足度} \end{aligned} $
-----	---

子育て環境の項目		満足度	満足度 順位
全項目平均		3.27	—
遊び	(1) 自然に親しむ場に恵まれていること	3.88	2
	(2) 自由に使えるひろば・運動場があること	3.51	6
	(3) 放課後の児童生徒が安心して過ごせる場があること	3.14	8
保育・教育	(4) 保育所や学校の費用が安いこと	2.79	15
	(5) 学校の教育内容が充実していること	3.29	7
	(6) 大学等の高等教育機関が身近にあること	2.40	17
	(7) 奨学金制度や勉学のための融資制度が充実していること	2.64	16
保健・医療	(8) 妊娠（不妊）や妊娠中の健康について気軽に相談できる専門機関があること	3.07	10
	(9) 費用の心配なく乳幼児の医療や保健サービスを受けられること	3.78	4
	(10) 乳幼児の救急医療が充実していること	2.83	13
家庭	(11) 子どもとの触れ合いの時間が十分にあること	3.85	3
	(12) 子育てに家族の理解と協力が得られること	4.01	1
	(13) 親に子育てを手伝ってもらえること	3.64	5
地域	(14) 子どもたちだけでも安心して相談できる人や機関があること	2.82	14
	(15) 子どもに関する悩みごとを安心して相談できる人や機関があること	3.11	9
	(16) 同年齢の子どもの親同士の交流があること	3.06	11
	(17) 子育てに関する情報が得やすいこと	2.97	12

前頁に示した方法により子育て環境の満足度得点を算出したところ、全項目の得点平均は3.27点となりました。

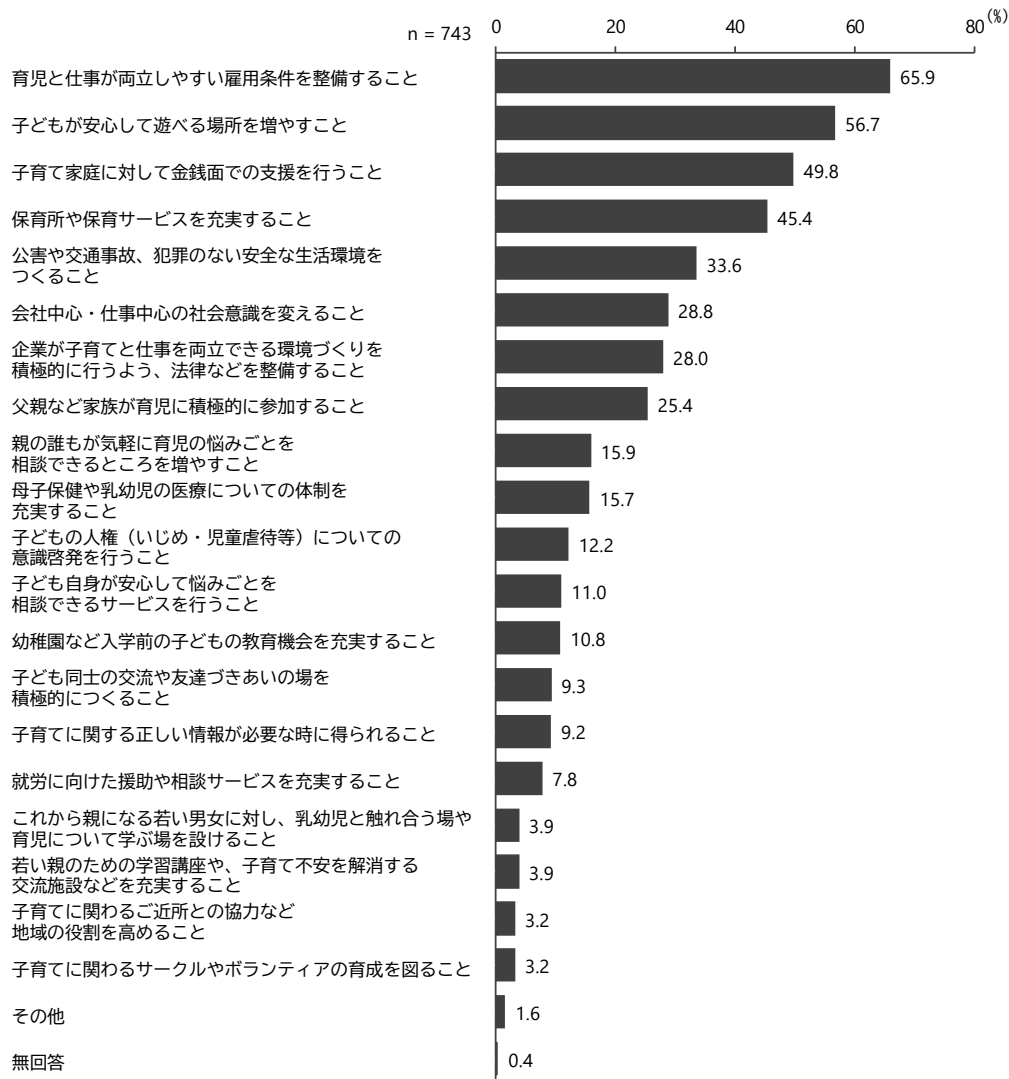
項目別では、『(12) 子育てに家族の理解と協力が得られること』が4.01点と全項目の中で第1位、『(1) 自然に親しむ場に恵まれていること』が3.88点で第2位、『(11) 子どもとの触れ合いの時間が十分にあること』が3.85点で第3位となり、これらの項目は満足度が高くなっています。

一方、『(4) 保育所や学校の費用が安いこと』『(7) 奨学金制度や勉学のための融資制度が充実していること』『(6) 大学等の高等教育機関が身近にあること』は満足度得点の順位が下位3位であり、特に満足度が低くなっています。

分野別では、家庭分野はいずれの項目も全項目の得点平均点（3.27点）を上回っています。一方、地域分野では、いずれの項目も全項目の得点平均点（3.27点）を下回っています。

12-6 安心して子育てのできる環境をつくるために市が注力すべきこと

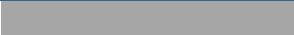
問 50 子どもたちがすくすく育ち、安心して子育てのできる環境をつくるために、市はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（〇は5つまで）



安心して子育てのできる環境をつくるために市が注力すべきことについて、全体では「育児と仕事が両立しやすい雇用条件を整備すること」が65.9%と最も高く、次いで「子どもが安心して遊べる場所を増やすこと」（56.7%）、「子育て家庭に対して金銭面での支援を行うこと」（49.8%）となっています。

12-7 子ども・子育てについての意見

問 51 その他、子どものことや子育てについてご意見があればご記入ください。

項 目	件 数	
交流・広場・催物・公園	74	
教育・保育の事業・施設等	59	
経済的負担	57	
子育て支援	51	
母子保健・医療	48	
労働環境	31	
相談・情報提供	26	
病児・病後児保育と一時預かり（宿泊を伴うものも含む）	14	
学校について	12	
生活環境（商業施設・雪含む）	10	
行政全般	10	
特に支援が必要な家庭について（ひとり親や障がい児家庭など）	10	
放課後児童クラブ等・放課後の過ごし方	8	
安心・安全なまちづくり	7	
その他	11	
意見合計	428	

※回答者数：232 人（「特になし」などの回答は除く）

※1 人の回答内容が複数の項目に該当する場合は、それぞれの項目に分類している

子ども・子育てについての意見を自由記述式でたずね、回答のあった意見を分類したところ、「交流・広場・催物・公園」が74件と最も多く、次いで「教育・保育の事業・施設等」（59件）、「経済的負担」（57件）となっています。

以下に、主な意見を抜粋して掲載します。

【主な意見】 ※上位5項目

①交流・広場・催物・公園

- ・公園などの遊具などを、もう少し増やしてもらいたい事。公園などに自動販売機などを（水分をとれるように）置いてもらいたいです。
- ・いわき市は、子どもが遊べる場所が少ないと思います。公園があっても、遊ぶことのできない遊具も多く、それもいつになっても修理していない状態です。また、室内遊び場も、なるべく安く遊ぶことのできる施設の増加を期待します。
- ・いわき市の LINE を登録しているが、子育てのイベントなど、ほとんど配信されない。子育て世代向けのイベントは多数あるはずなのに、情報が届いていない。もっと配信を充実させてほしい。

II 就学前児童保護者調査結果

- ・ 植田の元気センターはよく利用させてもらっているがちょっと遠いので、平地区にも大きな室内遊び場を作って欲しい。
- ・ 未就学児を持つ家庭に対してのサービスはそれなりに充実していると思いますが、就学後はどういうサポートがあるのかよく分からない。小学生になると子育て支援拠点の遊び場も物足りなくなり、休日はどこで遊ばせればいいのかなーという感じです。

②教育・保育の事業・施設等

- ・ 子どもを出産する産科が少ない → 出産後は小児科が少なく、医療が必要時に受けられていない → 就労先を探すのが預け先がない、特に0才～3才までの乳幼児へのサービスが足りない。このような現状で、「0才～3才児専用」の預かり先があると助かる人が多いと思われます。
- ・ これまで行政が行っているサービスをいくつか利用させてもらいましたが、運営母体が市や県だったり、違う母体が似ているようなものを行っていたりして、分かりづらかったところがありました。
- ・ 特性のある子への理解が低いと思います。保育所等訪問支援のサービスを知らない保育所、学校（特に公立）が多く、子に関わる全ての機関での子を支援するにあたっての共通理解が乏しい。
- ・ 保育園の落選狙いの申し込みが来年から厳格化される記事を見たが、誰でも育休を延長出来たり、初めから2歳まで育休を取得できるよう柔軟な対応をして欲しい。やはりもっと子どもという時間が欲しい。
- ・ 地域や親の収入格差により、子どもの教育格差が生まれないよう、学校現場での教育設備の充実や学習支援を充実してほしい。

③経済的負担

- ・ 中小企業も育休を作るべきだが現実では給料が安いので育休を取ると生活出来ない。子どもへの手当をもっと増やして学校の給食無料や、幼稚園代を安くしてほしい。習い事をしたい子どもに生活をするのが精一杯だとは言えない。ましてや、4～5人と増えていけば、みな同じ教育をさせるのは無理だし、生活も出来なくなる。
- ・ いわき市を若い人の多い市にしなければ未来はないです。明石市のように、子育て世代の負担をもう少し軽くしてもらいたい。給食費無償化は今すぐにでも取り組むべき。子育てするならいわき市に引っこそうと思えるくらい魅力的な市にしてもらいたいです！
- ・ いわき市で子どもの教育に特化した学校、保育園、幼稚園を作っていただきたい。金銭面での援助もたくさんして頂きたい。e x. 保育料は無料ですが、毎年発生する教材費や給食費等無償化して欲しい。
- ・ いわき市は一人親、非課税世帯への支援金があってもフルタイムで働いていて、課税世帯への支援は全くない。物価高で家計が苦しい。食べざかりな子どもたち、食費も学費もかかる。子どもが多いとお金はかかります。支援金をもらうために、わざわざ籍を抜く世帯もあると聞きます。市民平等に生活、子育てしやすいお金の支援、等必ずしてください。苦しいです…。

- ・保育料が高すぎると感じます。子どもを育てたくても経済的に苦しくて2人目を産むかどうか悩めますし不安です。子どもを大学卒業まで、経済的不安がなく育てられるよう子ども中心の政策をとっていただきたいです。

④子育て支援

- ・アンケートを見て知る事が多かった。情報の発信、市としての取り組み、支援を分かりやすくして欲しい。支援が少ない
- ・3人の子育てをしてきて思ったことは、少子化といいつつ働くママやパパに全く優しくない社会だなあと思うことが沢山ある。金銭面でも職場復帰の際のルール等…もう少し世の中のママに余裕が生まれるような制度やシステムが増えたら子どもも増えるのになあと思う。税金のムダ遣いをやめ、もっと子育ての世帯へ回してくれればいいなあと思う。どうせこういった声も届かないんでしょうが…。
- ・ひとり親・子育て世帯の支援をもう少し充実してほしい。子ども連れでも入りやすいお店なども、いわき市は少ないので増えてもらえるとありがたいです。福島県、いわき市は他県に比べて子育て世帯に対して全然優しくないと思う。
- ・いわき市でも子どもや子育て親に対するサービスを色々と行っているのであれば、しっかりと伝わる様にして欲しい。“ホームページにのってます”“回覧してます”では周知できないと思う。しっかり周知できる方法、人を引きつける方法、魅力あるサービスの整備を期待します。
- ・いわき市は、人口が多いわりに小児科が少なく不便。小名浜地区周辺に、子どもが遊ぶ場所が増えている印象。他の地区も増やして欲しい。設備等の充実も大事だが、子育て世代への金銭的な援助も必要だと思う。

⑤母子保健・医療

- ・未だに、コロナのせいで発熱すると、どこも受け入れてもらえずたらい回しに合う。時間外と断られる。普段から熱が出たらどうしよう、小さい体で震えているのをたださすってあげることしかできない。体調を崩した時は、毎回精神的にキツイ。
- ・気軽に子どものことを相談できる小児科が少ない。インフルエンザや花粉症、感染症が流行している時、待ち時間も長く、子どもと2～4時間の待ち時間は無理です。予約やポケベルを持たせて、外出を許可する等導入してほしい。受診しないと保育所も預かってくれない時もあり、仕事が出来ない → 経済的に苦しい、と負のループです。かかりつけ医じゃないと断られるケースもまだ多いです。オンライン診療、電話診療もっと普及してほしい。夜間や休日、緊急時行ける病院も作ってほしいです。現状、いわき医療センターに約1万円かけて行くしかありません。休日夜間診療所は小児科の先生じゃなかったり、電話で診断を断られたりします。仕事も短時間勤務、土日祝休み、急な休み等 → 子どもの教育機関の行事や休みに合わせて働ける条件の所がとても少ないです。

Ⅱ 就学前児童保護者調査結果

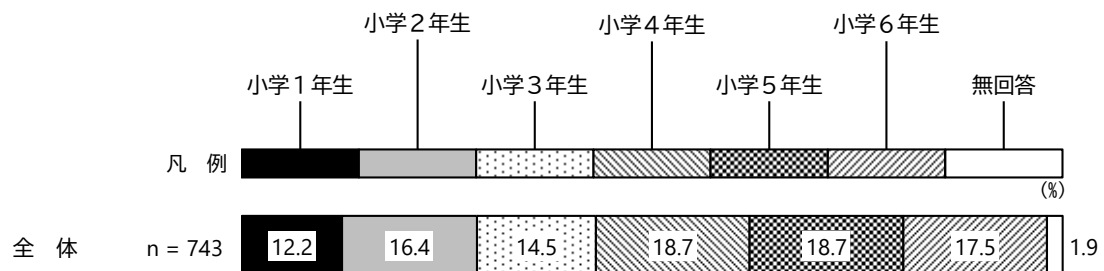
- ・小児科が少なく混んでいる。予約が取りにくい状況が常態化していると思います。
- ・毎週のように病院に通っているので、子どもの医療費が無料なのは、とてもありがたいです。
- ・夜間の救急外来が医療センターのみなのが不安です。夜間に子ども達の容態が急変した際に#8000 等電話対応して頂けるのは心強いが、相談後に救急へ行って長時間待たされるのはきついです(仕方のない事だとは理解していますが、体調の悪い状態の子どもを深夜に何時間も待たせるのは心苦しいです)。夜間や休日に診療してくれる病院をもっと増やして欲しいです(休日当番医ではなく)。

Ⅲ 小学生保護者調査結果

1 子どもと家族の状況について

1-1 子どもの学年

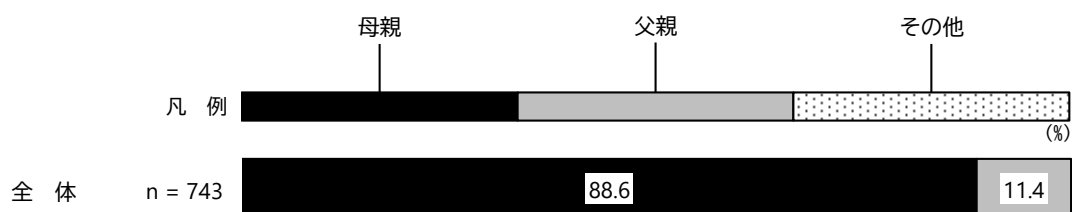
問1 お子さんの生年月をご記入ください。(数字は一桁に一字)



子どもの学年について、全体では「小学1年生」が12.2%、「小学2年生」が16.4%、「小学3年生」が14.5%、「小学4年生」が18.7%、「小学5年生」が18.7%、「小学6年生」が17.5%となっています。

1-2 回答者

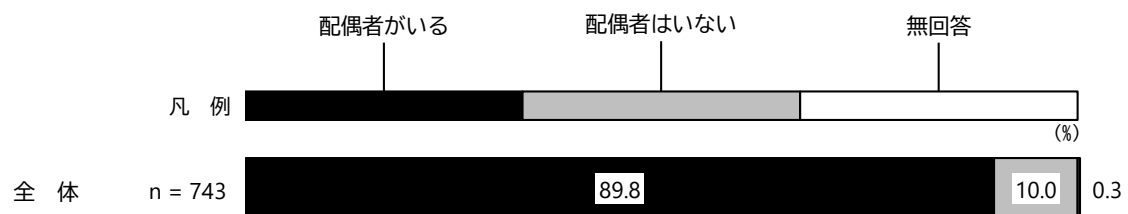
問2 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。(○は1つ)



この調査票への回答者について、全体では「母親」が88.6%と約9割を占め、「父親」は11.4%となっています。

1-3 配偶関係

問3 あなたの配偶関係についてお答えください。(○は1つ)



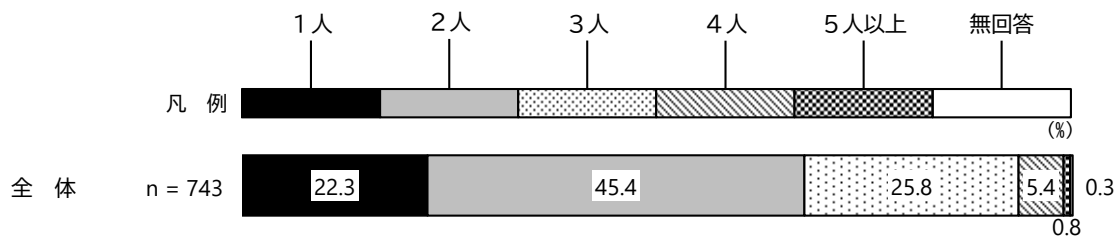
配偶関係について、全体では「配偶者がいる」が89.8%、「配偶者はいない」が10.0%となっています。

1-4 子どもの人数・末子の年齢

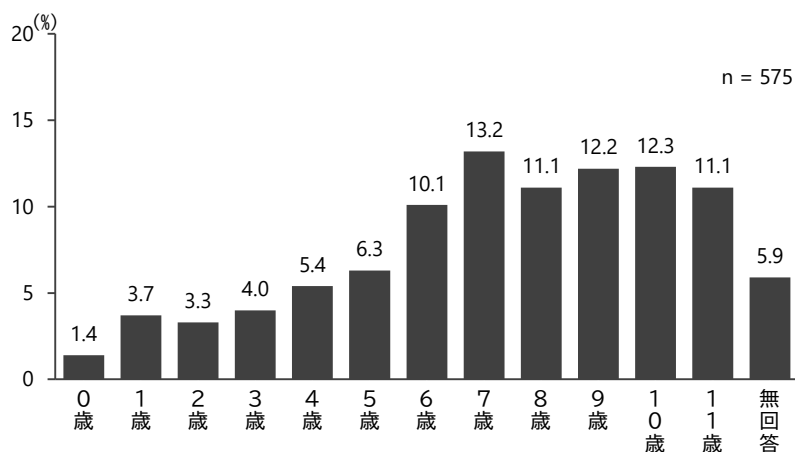
問4 お子さんは何人いらっしゃいますか。(○は1つ)

お2人以上のお子さんがある場合は、末子のお子さんの生年月をご記入ください。

◆子どもの人数



◆末子の年齢

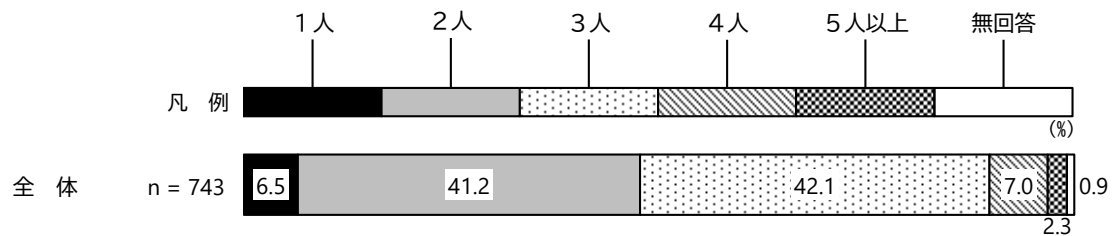


子どもの人数について、全体では「2人」が45.4%と最も高く、次いで「3人」(25.8%)、「1人」(22.3%)となっています。

2人以上の子どもがいる場合の末子の年齢については、「6歳」～「11歳」がそれぞれ1割前後となっています。

1-5 理想としては何人子どもが欲しいか

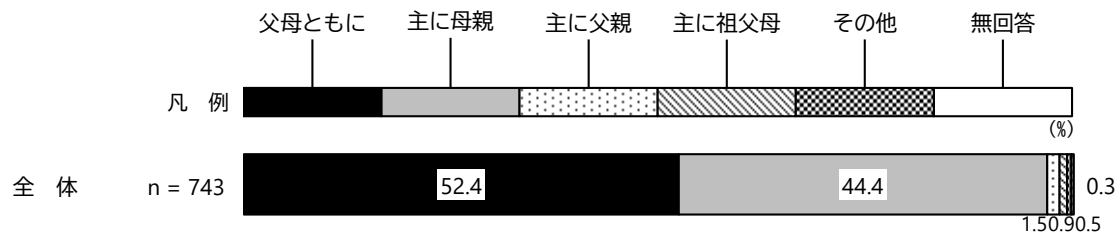
問5 理想としては何人くらいお子さんが欲しいですか。(○は1つ)



理想としては何人子どもが欲しいかについて、全体では「2人」と「3人」がともに4割以上を占めています。

1-6 子育てを主に行っている人

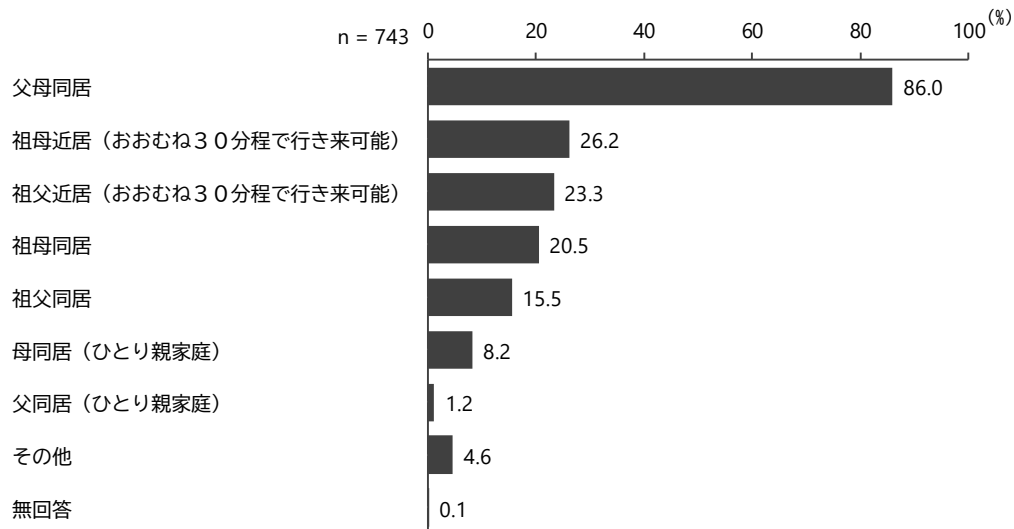
問6 子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。(○は1つ)



子育てを主に行っている人について、全体では「父母ともに」が52.4%と最も高く、次いで「主に母親」(44.4%)となっています。

1-7 子どもとの同居、近居の状況

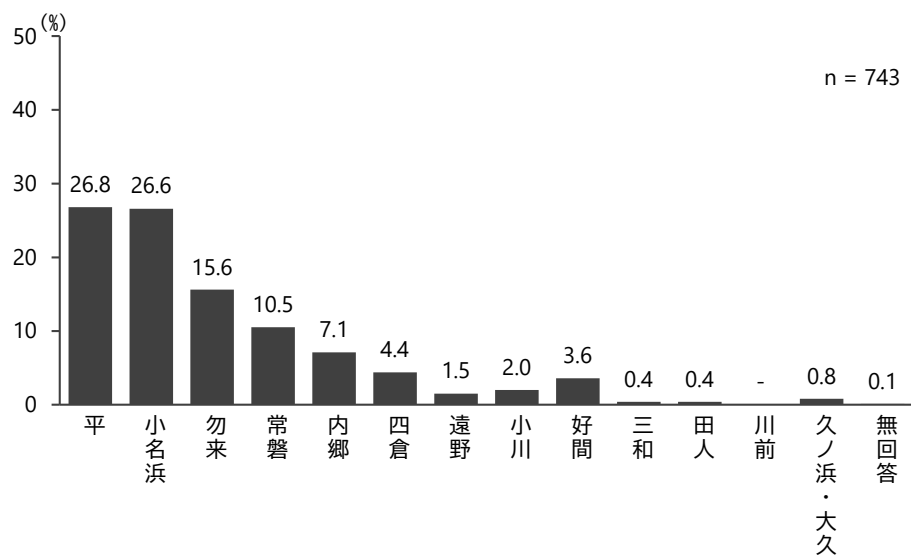
問7 お子さんとの同居・近居の状況についてお答えください。続柄はお子さんからみた関係です。（あてはまるものすべてに○）



子どもとの同居、近居の状況について、全体では「父母同居」が86.0%と最も高く、次いで「祖母近居（おおむね30分程で行き来可能）」（26.2%）、「祖父近居（おおむね30分程で行き来可能）」（23.3%）となっています。

1－8 居住地区

問 8 どちらの地区にお住まいですか。(○は1つ)

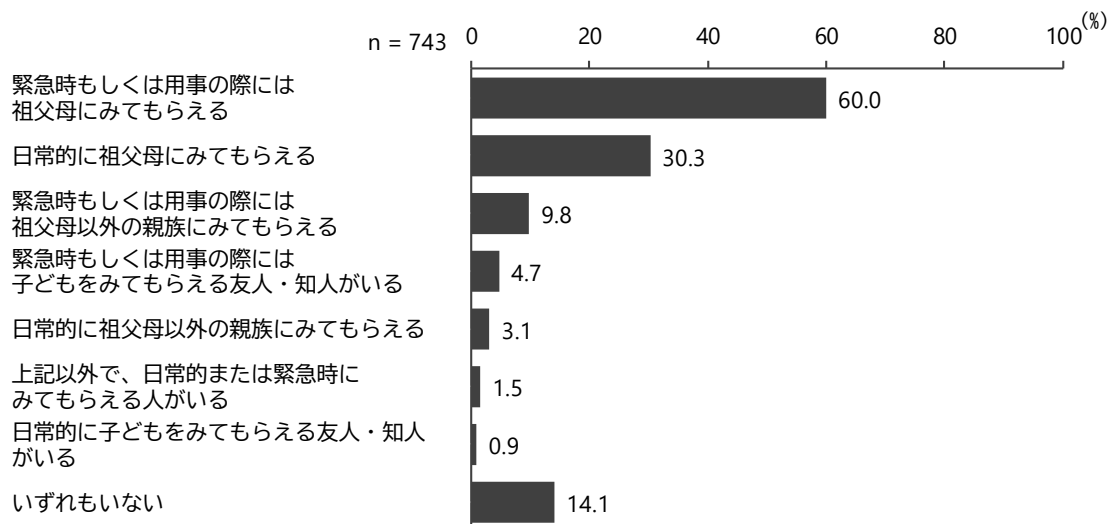


居住地区について、全体では「平」が26.8%と最も高く、次いで「小名浜」(26.6%)、「勿来」(15.6%)となっています。

1-9 子どもの世話や看病について頼れる人はいるか

問 9 日頃、お子さんのお世話や看病について頼れる人はいますか。

(あてはまるものすべてに○)



子どもの世話や看病について頼れる人はいるかについて、全体では「緊急時もしくは用事の際には祖父母にみてもらえる」が60.0%と最も高く、次いで「日常的に祖父母にみてもらえる」(30.3%)、「緊急時もしくは用事の際には祖父母以外の親族にみてもらえる」(9.8%)となっています。一方、「いずれもない」との回答も14.1%みられます。

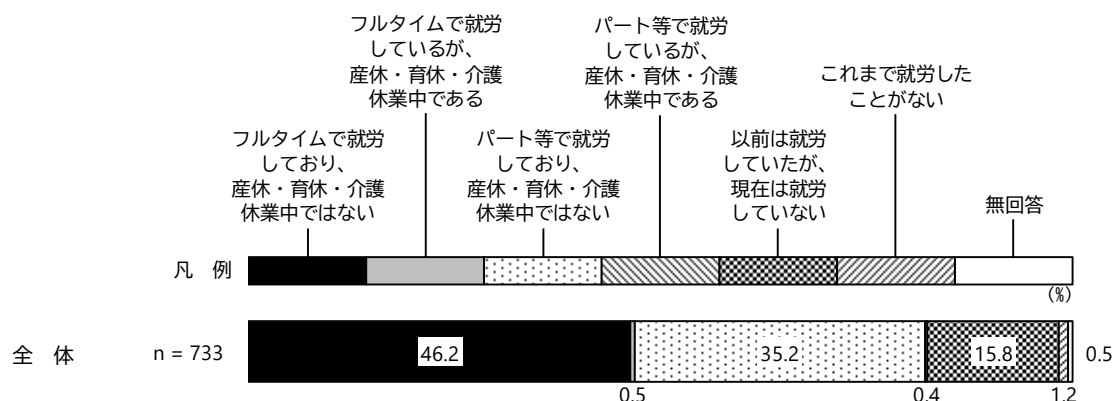
2

保護者の就労状況について

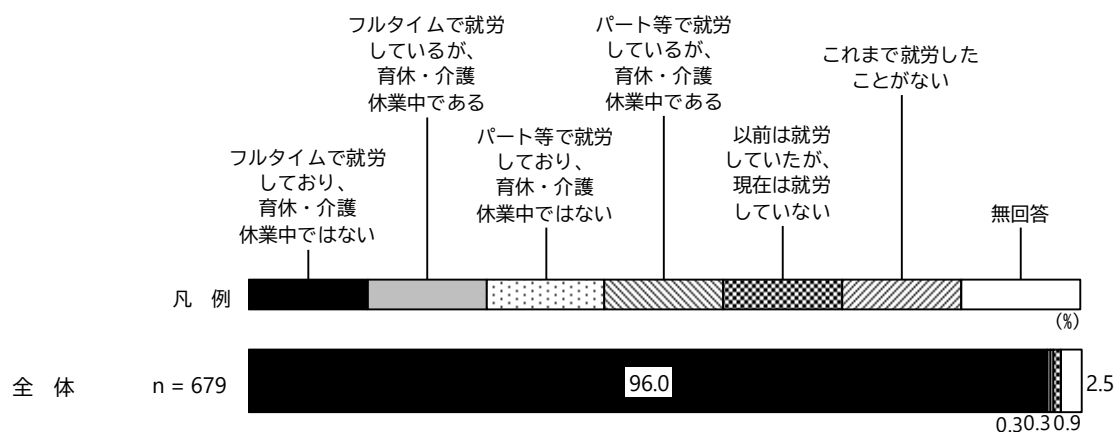
2-1 保護者の現在の就労状況

問 10① 保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）についてお答えください。
（母親、父親のそれぞれについて、○は1つ）

◆現在の就労状況／母親



◆現在の就労状況／父親



母親の現在の就労状況について、全体では「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が46.2%と最も高く、次いで「パート等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」(35.2%)、「以前は就労していたが、現在は就労していない」(15.8%)となっています。

父親の現在の就労状況について、全体では「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」が96.0%と大多数を占めています。

2-2 1週あたりの就労日数・1日あたりの就労時間

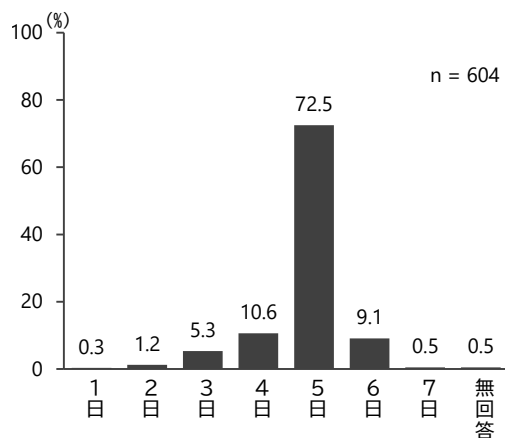
【問10①でフルタイム又はパート等で就労していると回答した方のみ】

問10② 1週あたりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。（数字は一桁に一字）

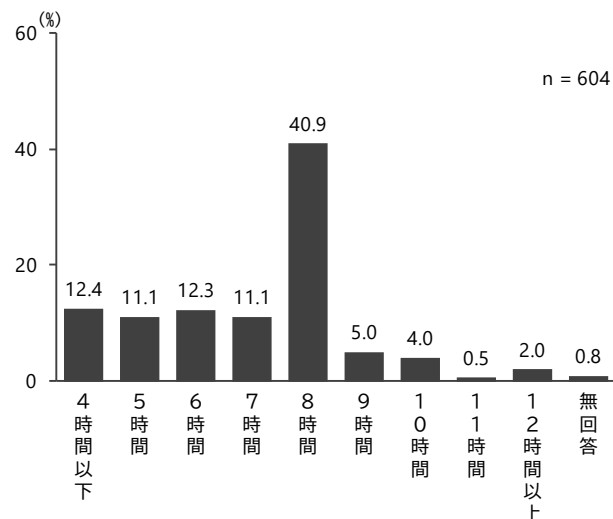
※就労日数・時間が一定でない場合は、最も多いパターンについてお答え下さい。

※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

◆1週あたりの就労日数／母親



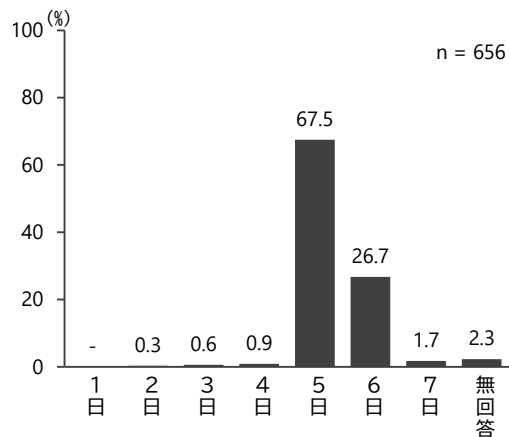
◆1日あたりの就労時間／母親



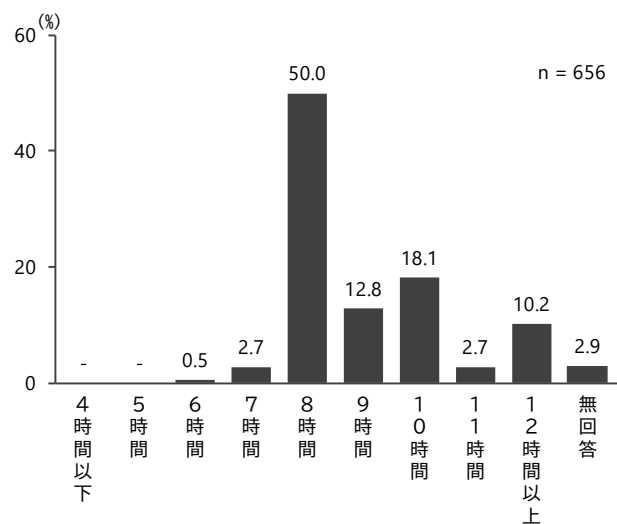
母親の1週あたりの就労日数について、全体では「5日」が72.5%と最も高く、次いで「4日」と「6日」がともに1割前後となっています。

母親の1日あたりの就労時間について、全体では「8時間」が40.9%と最も高く、次いで「4時間以下」～「7時間」がそれぞれ約1割となっています。

◆ 1週あたりの就労日数／父親



◆ 1日あたりの就労時間／父親



父親の1週あたりの就労日数について、全体では「5日」が67.5%と最も高く、次いで「6日」が26.7%となっています。

父親の1日あたりの就労時間について、全体では「8時間」が50.0%と最も高く、次いで「10時間」(18.1%)、「9時間」(12.8%)となっています。

2-3 家を出る時間・帰宅時間

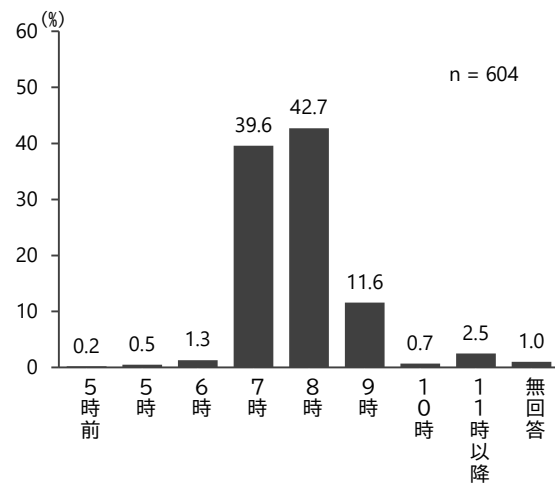
【問10①でフルタイム又はパート等で就労していると回答した方のみ】

問10③ 家を出る時間と帰宅時間をお答えください。(数字は一枠に一字)

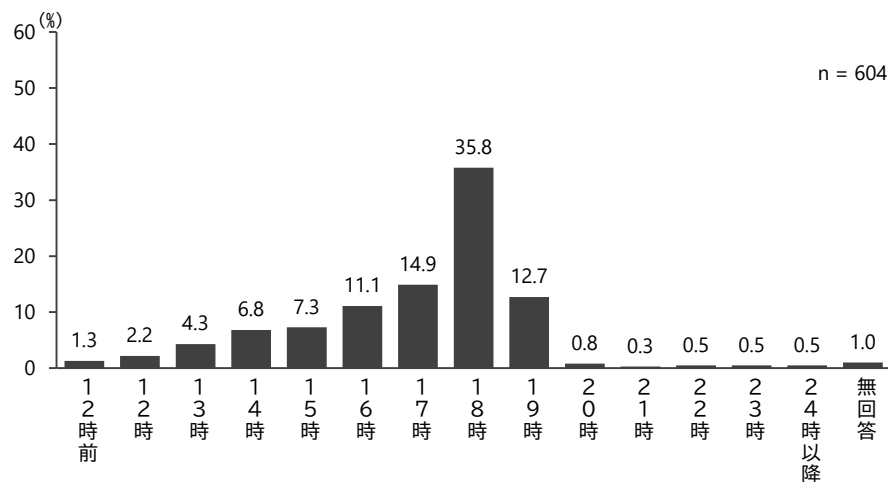
※時間が一定でない場合は、最も多いパターンについてお答えください。

※産休・育休・介護休暇中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

◆家を出る時間／母親



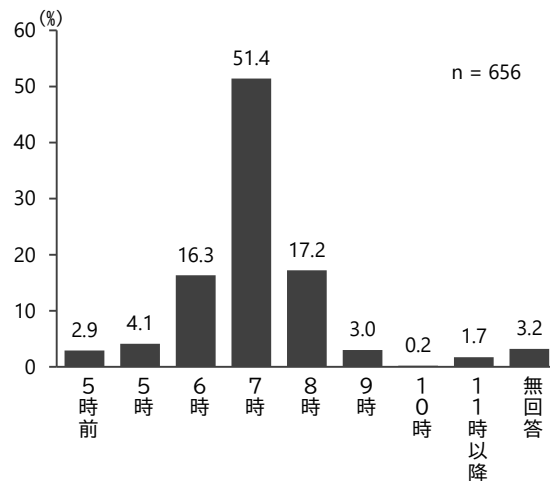
◆帰宅時間／母親



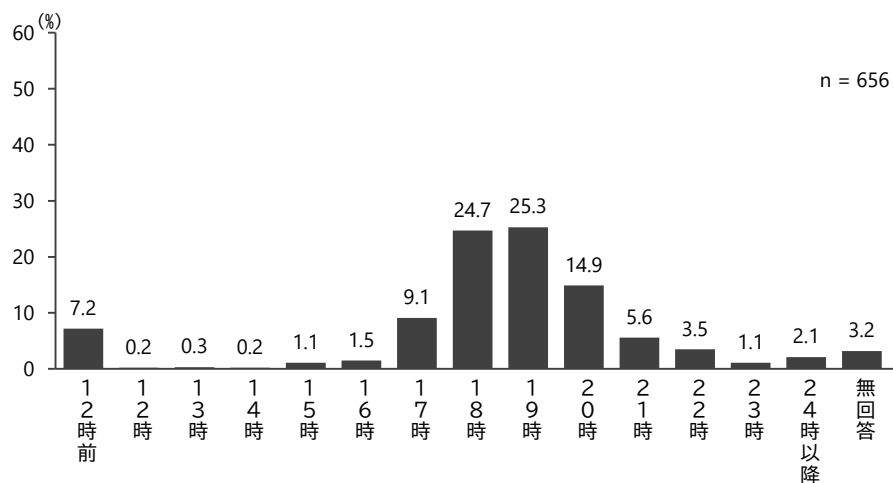
母親が家を出る時間について、全体では「7時」や「8時」がともに4割前後と高くなっています。

母親の帰宅時間について、全体では「18時」が35.8%と最も高く、次いで「17時」(14.9%)、「19時」(12.7%)となっています。

◆家を出る時間／父親



◆帰宅時間／父親



父親が家を出る時間について、全体では「7 時」が 51.4% と最も高く、次いで「8 時」(17.2%)、「6 時」(16.3%) となっています。

父親の帰宅時間について、全体では「18 時」と「19 時」がともに 2 割台半ばと高く、次いで「20 時」(14.9%) となっています。

2-4 フルタイムへの転換希望

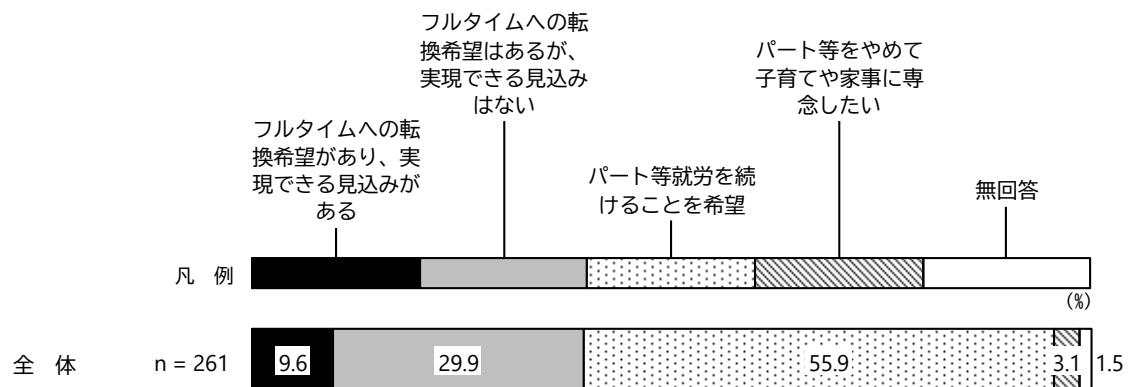
【問 10①でパート等で就労していると回答した方のみ】

※問 10①でフルタイムで就労と回答した方は問 11 へお進みください

問 10④ フルタイムへの転換希望はありますか。

(母親、父親のそれぞれについて、○は1つ)

◆フルタイムへの転換希望／母親



母親のフルタイムへの転換希望について、全体では「パート等就労を続けることを希望」が55.9%と最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」(29.9%)、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」(9.6%)となっています。

父親のフルタイムへの転換希望については、調査数(n)が僅かであるためグラフを非掲載とします。

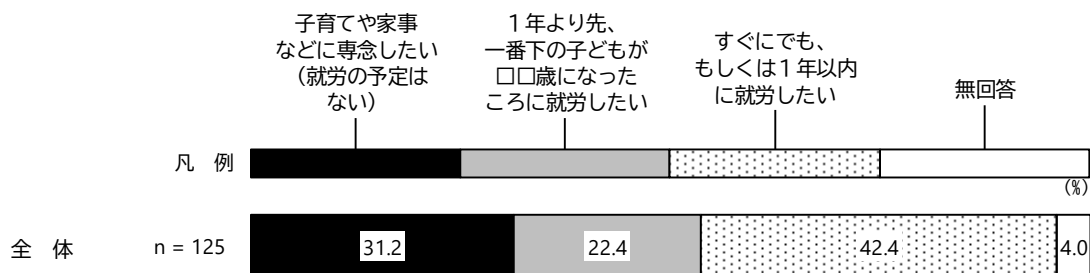
2-5 就労希望

【問 10①で就労していないと回答した方のみ】

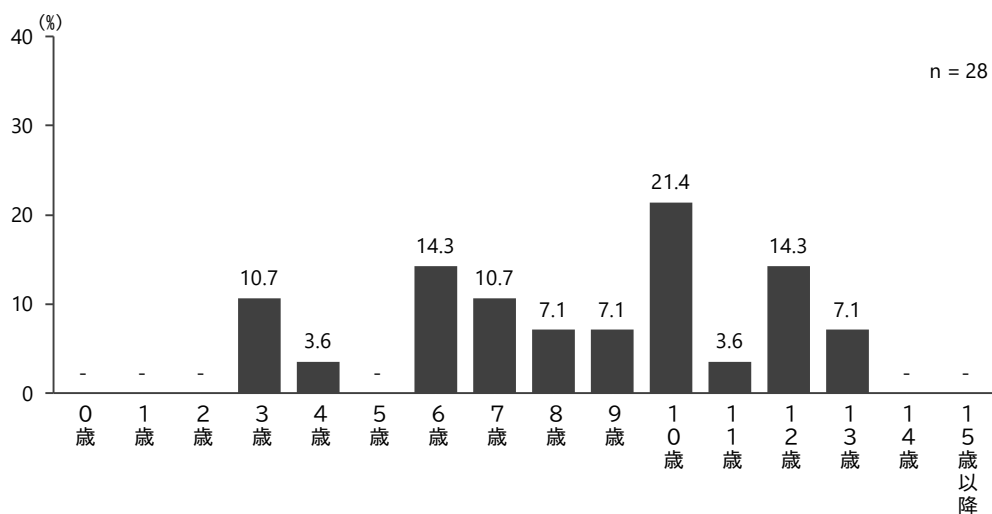
問 10⑤ 就労したいという希望はありますか。

(母親、父親のそれぞれについて、○は1つ。また数字は一桁に一字)

◆就労希望／母親



◆就労を希望する末子の年齢／母親



母親の就労希望について、全体では「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が42.4%と最も高く、次いで「子育てや家事などに専念したい (就労の予定はない)」(31.2%)、「1年より先、一番下の子どもが□□歳になったころに就労したい」(22.4%)となっています。

「1年より先、一番下の子どもが□□歳になったころに就労したい」と回答した場合の具体的な年齢は、「10歳」が21.4%と最も高く、次いで「6歳」と「12歳」がともに14.3%となっています。

父親の就労希望については、調査数 (n) が僅かであるためグラフを非掲載とします。

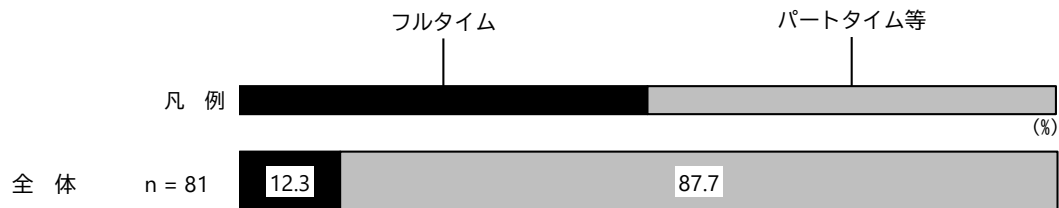
2-6 希望する就労形態

【問10⑤で就労したいと回答した方のみ】

問10⑥ 希望する就労形態をお答えください。

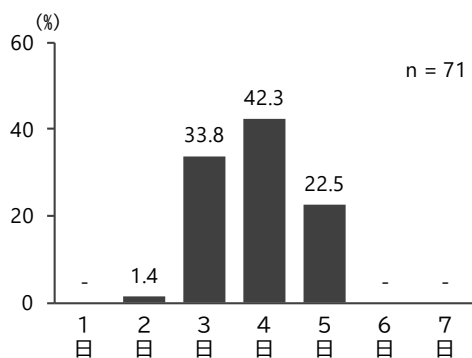
(母親、父親のそれぞれについて、○は1つ。また数字は一枠に一字)

◆希望する就労形態／母親

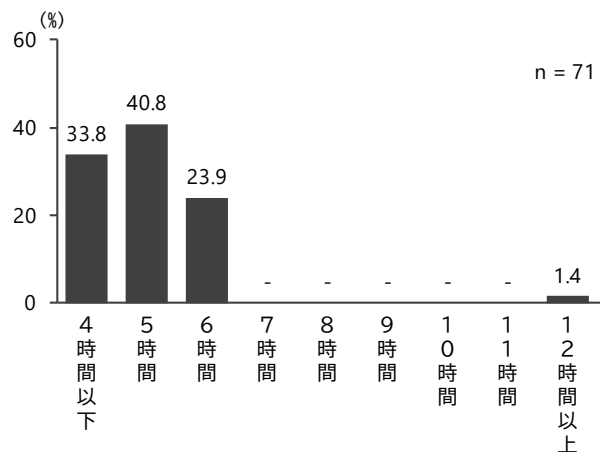


◆パートタイム等を希望する場合／母親

【1週あたりの希望日数】



【1日あたりの希望就労時間】



母親が希望する就労形態について、全体では「フルタイム」が12.3%、「パートタイム等」が87.7%となっています。

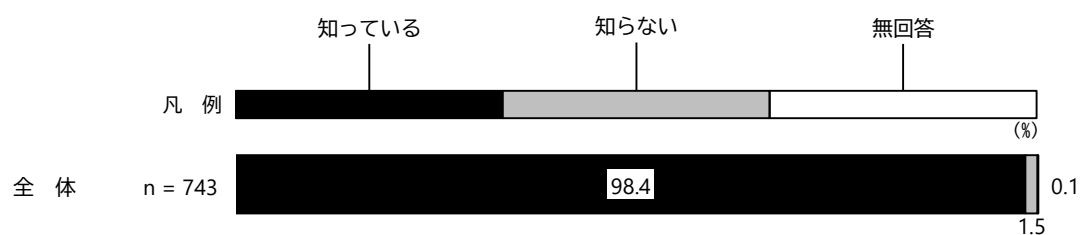
「パートタイム等」を希望する場合の1週あたりの希望就労日数は、「4日」が42.3%と最も高く、次いで「3日」が33.8%となっています。1日あたりの希望就労時間は、「5時間」が40.8%と最も高く、次いで「4時間以下」が33.8%となっています。

父親が希望する就労形態については、調査数（n）が僅かであるためグラフを非掲載とします。

3 子どもの放課後の過ごし方について

3-1 いわき市に放課後児童クラブ（学童保育）があることを知っているか

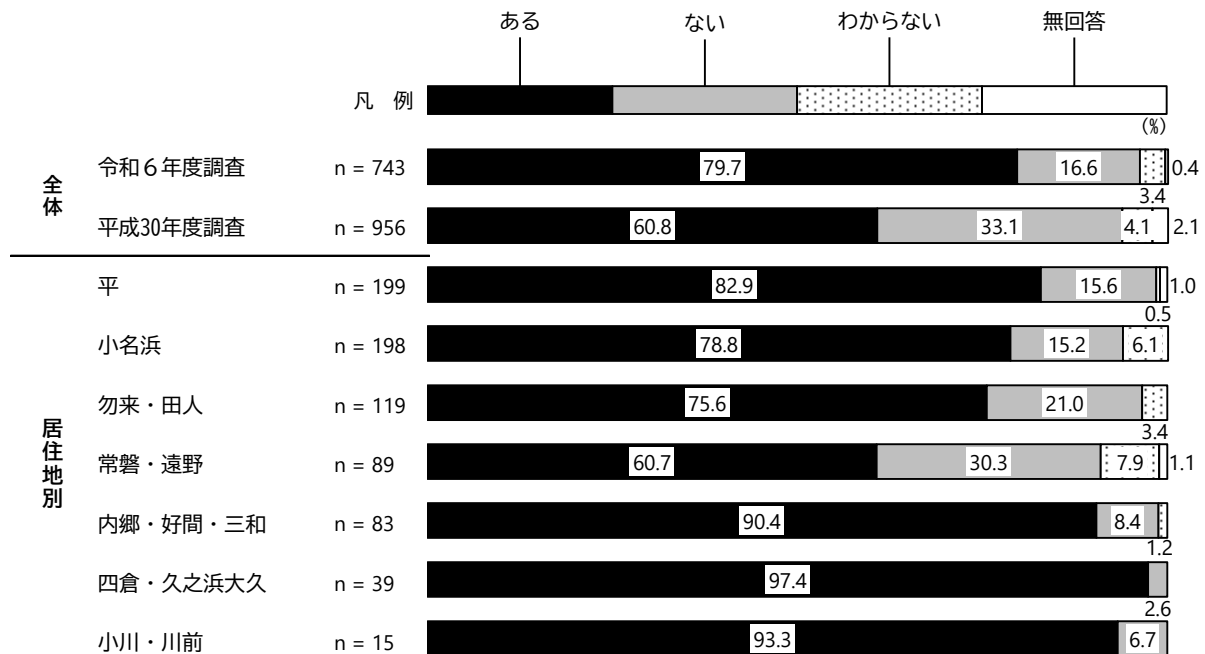
問 11 いわき市に放課後児童クラブ（学童保育）があることを知っていますか。（○は1つ）



いわき市に放課後児童クラブ（学童保育）があることについて、全体では「知っている」が98.4%と大多数を占めています。

3-2 通学校に放課後児童クラブ（学童保育）があるか

問 12 お子さんの通っている学校には放課後児童クラブ（学童保育）がありますか。
（○は1つ）



通学校に放課後児童クラブ（学童保育）があるかについて、全体では「ある」が79.7%、次いで「ない」が16.6%、「わからない」が3.4%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「ある」が20ポイント近く上昇しています。

居住地別にみると、小川・川前で調査数（n）が少ないことに留意は必要ですが、内郷・好間・三和、四倉・久之浜大久、小川・川前では「ある」が9割以上となっています。

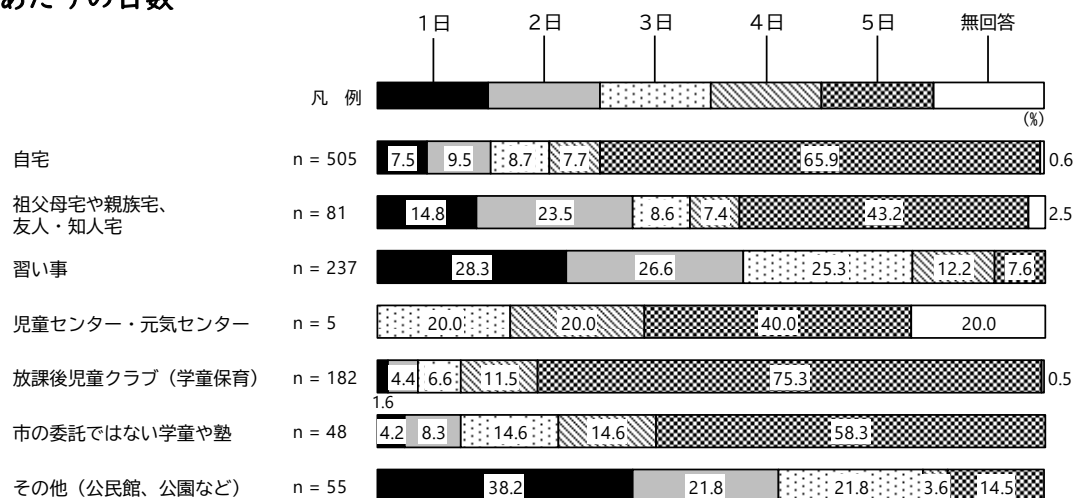
3-3 現在、放課後に過ごしている場所

問13 お子さんは放課後（平日の小学校終了後）の時間を、現在、どのように過ごしていますか。あてはまるものを選択し、それぞれ週あたりの日数を数字でご記入ください。（あてはまるものすべてに○。また、数字は一桁に一字）

◆放課後に過ごしている場所

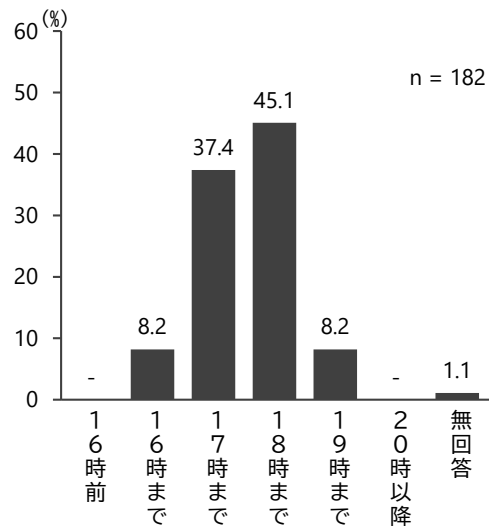
		n	自宅	習い事	市の委託する放課後児童クラブ（学童保育）	祖父母宅や親族宅、友人・知人宅	市の委託ではない、学童や塾	児童センター・元気センター	ファミリー・サポート・センター	その他（公民館、公園など）	無回答
全 体		743	68.0	31.9	24.5	10.9	6.5	0.7	0.1	7.4	0.1
子どもの学年別	小学1年生	91	51.6	18.7	44.0	7.7	7.7	1.1	-	8.8	-
	小学2年生	122	49.2	24.6	37.7	4.9	8.2	1.6	-	8.2	-
	小学3年生	108	58.3	30.6	30.6	15.7	10.2	-	-	10.2	-
	小学4年生	139	75.5	37.4	19.4	13.7	6.5	0.7	-	7.2	-
	小学5年生	139	80.6	38.8	10.1	12.9	6.5	-	0.7	6.5	0.7
	小学6年生	130	85.4	35.4	10.0	10.8	1.5	0.8	-	5.4	-
(2学区別)	低学年（1～3年生）	321	53.0	24.9	37.1	9.3	8.7	0.9	-	9.0	-
	高学年（4～6年生）	408	80.4	37.3	13.2	12.5	4.9	0.5	0.2	6.4	0.2

◆週あたりの日数



※上記のほか、ファミリー・サポート・センターの月あたり日数として、1人が「1日」と回答

◆放課後児童クラブを利用している時間



現在、放課後に過ごしている場所について、全体では「自宅」が68.0%と最も高く、次いで「習い事」(31.9%)、「市の委託する放課後児童クラブ(学童保育)」(24.5%)となっています。

放課後に過ごしている場所の週あたり日数については、『自宅』『祖父母宅や親族宅、友人・知人宅』『放課後児童クラブ(学童保育)』『市の委託ではない学童や塾』で「5日」が高く、一方で『習い事』や『その他(公民館、公園など)』は「1日」が高くなっています。

放課後児童クラブを利用している時間については、「18時まで」が45.1%と最も高く、次いで「17時まで」が37.4%となっています。

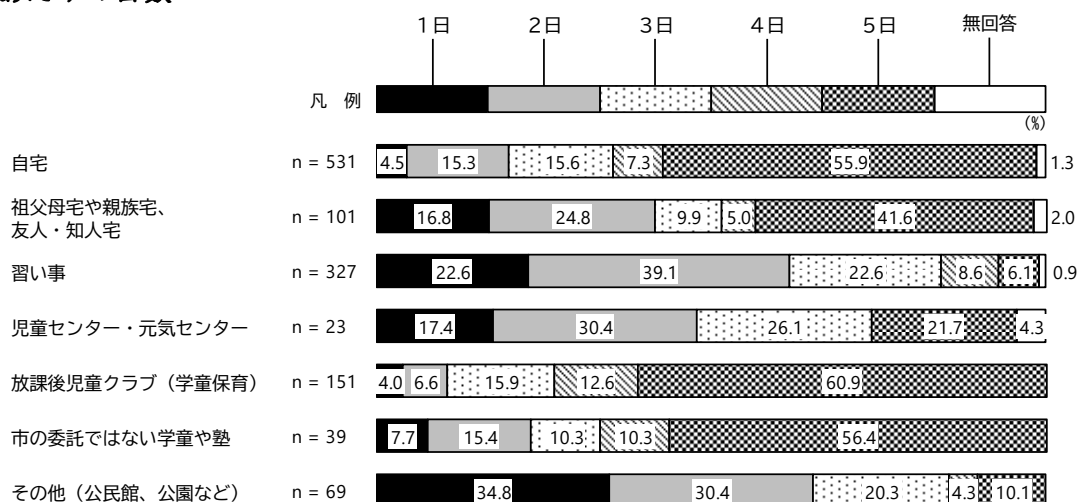
3-4 小学校高学年の放課後に過ごさせたい場所

問14 お子さんが小学校4年生・5年生・6年生（高学年）の間は、どのように過ごさせたいですか。あてはまるものを選択し、それぞれ週あたりの日数を数字でご記入ください。
（あてはまるものすべてに○。また、数字は一枠に一字）
※お子さんがすでに小学校4年生・5年生・6年生の場合も、現在の利用の有無や状況に関わらず、ご希望の過ごし方についてご記入下さい。

◆放課後に過ごさせたい場所

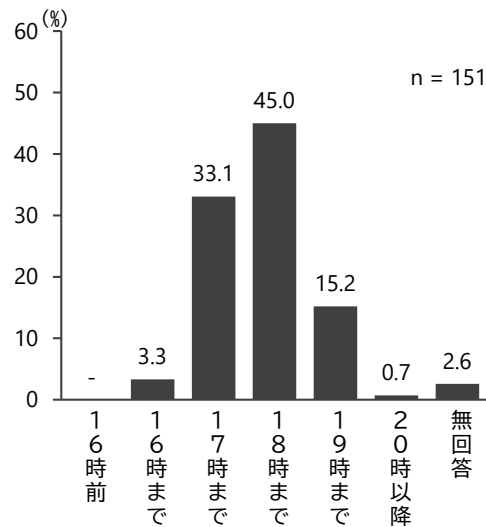
		n	自宅	習い事	市の委託する放課後児童クラブ（学童保育）	祖父母宅や親族宅、友人・知人宅	市の委託ではない、学童や塾	児童センター・元気センター（児童館）	ファミリー・サポート・センター	その他（公民館、公園など）	無回答
全 体		743	71.5	44.0	20.3	13.6	5.2	3.1	0.3	9.3	0.4
子どもの学年別	小学1年生	91	65.9	47.3	26.4	18.7	5.5	3.3	-	8.8	-
	小学2年生	122	63.9	34.4	25.4	11.5	6.6	1.6	-	6.6	0.8
	小学3年生	108	61.1	38.0	25.0	15.7	9.3	3.7	-	12.0	0.9
	小学4年生	139	74.1	52.5	19.4	13.7	4.3	2.2	0.7	10.8	-
	小学5年生	139	81.3	43.2	12.2	11.5	5.8	3.6	-	6.5	-
	小学6年生	130	79.2	47.7	14.6	13.1	1.5	3.8	0.8	10.0	0.8
（2学年別） 子どもの	低学年（1～3年生）	321	63.6	39.3	25.5	15.0	7.2	2.8	-	9.0	0.6
	高学年（4～6年生）	408	78.2	47.8	15.4	12.7	3.9	3.2	0.5	9.1	0.2

◆週あたりの日数



※上記のほか、ファミリー・サポート・センターの月あたり日数として、2人がそれぞれ「1日」「5日」と回答

◆放課後児童クラブを利用したい時間



小学校高学年の放課後に過ごさせたい場所について、全体では「自宅」が71.5%と最も高く、次いで「習い事」(44.0%)、「市の委託する放課後児童クラブ(学童保育)」(20.3%)となっています。

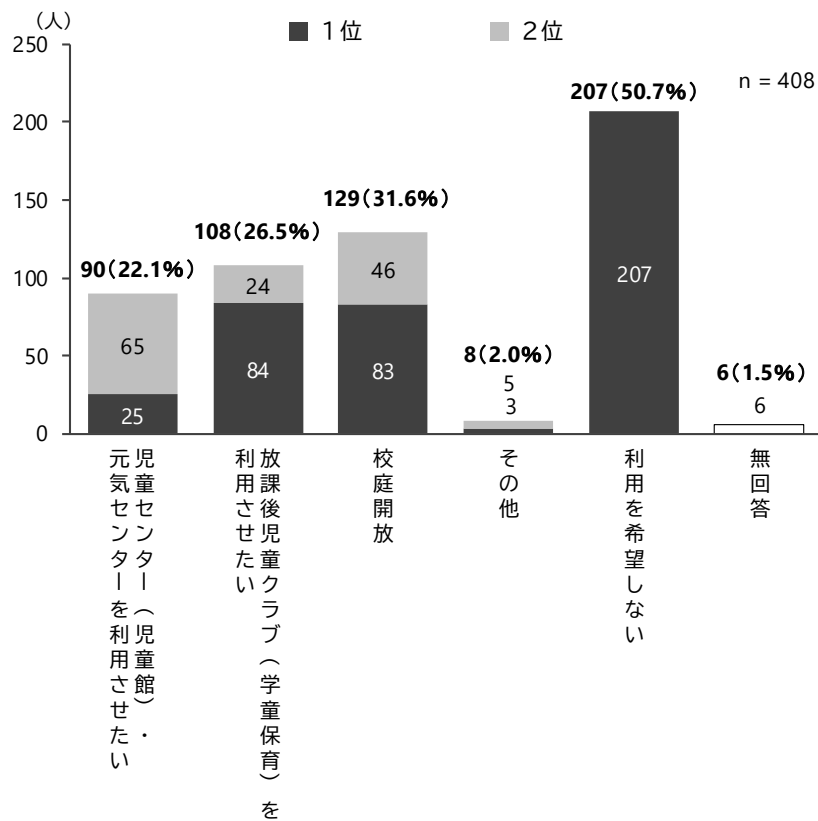
放課後に過ごさせたい場所の週あたり日数については、『自宅』『祖父母宅や親族宅、友人・知人宅』『放課後児童クラブ(学童保育)』『市の委託ではない学童や塾』で「5日」が高く、一方で『その他(公民館、公園など)』は「1日」が高くなっています。

放課後児童クラブを利用したい時間については、「18時まで」が45.0%と最も高く、次いで「17時まで」が33.1%となっています。

3-5 市が放課後に実施するサービスの利用希望

【子どもが小学校４・５・６年生の方のみ】

問 15 市が放課後に行っているサービスを利用させたいですか。現在の利用の有無や状況に関わらず、利用を希望する順に、上位２位まで数字を入れてください。



※太字は１位と２位の合計回答数及び調査数（n）に対する回答割合を表す

市が放課後に実施するサービスの利用希望について、１位と２位を合計した回答割合をみると、全体では「校庭開放」が31.6%と最も高く、次いで「放課後児童クラブ（学童保育）を利用させたい」（26.5%）、「児童センター（児童館）・元気センターを利用させたい」（22.1%）となっています。

「校庭開放」と「放課後児童クラブ（学童保育）を利用させたい」では、１位の件数が２位の件数よりも多く、一方で「児童センター（児童館）・元気センターを利用させたい」では２位の件数が１位の件数よりも多くなっています。

3-6 市の委託する放課後児童クラブ（学童保育）に感じること

問 16 市の委託する放課後児童クラブ（学童保育）に対してどのように感じていますか。
（あてはまるものすべてに○）

		n	利用（育成） 料が高い	定員を増やして ほしい	利用できる学年を 延長してほしい	利用時間を延長して ほしい	施設設備を改善して ほしい	指導内容を工夫して ほしい	その他	現在のままでよい	わからない	無回答
			(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
全 体		743	28.8	21.7	19.9	12.8	12.1	11.7	4.4	13.2	31.2	1.1
居住地別	平	199	24.6	19.6	19.1	11.6	13.6	14.6	4.5	12.1	32.2	0.5
	小名浜	198	28.8	23.7	19.7	14.1	15.7	11.6	4.0	12.6	32.8	1.0
	勿来・田人	119	31.9	23.5	20.2	13.4	5.9	9.2	1.7	11.8	34.5	2.5
	常磐・遠野	89	31.5	15.7	22.5	14.6	4.5	10.1	6.7	12.4	32.6	1.1
	内郷・好間・三和	83	28.9	21.7	21.7	12.0	18.1	13.3	7.2	15.7	25.3	1.2
	四倉・久之浜大久	39	35.9	38.5	23.1	12.8	12.8	10.3	5.1	7.7	20.5	-
	小川・川前	15	26.7	-	-	-	6.7	-	-	53.3	20.0	-

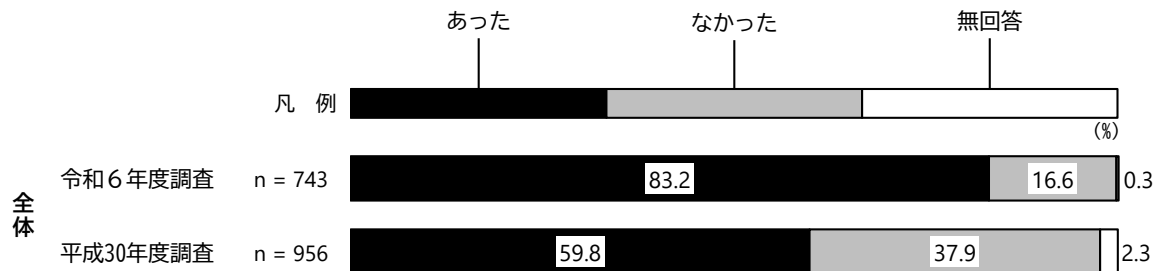
市の委託する放課後児童クラブ（学童保育）に感じることについて、全体では「利用（育成）料が高い」が28.8%と最も高く、次いで「定員を増やしてほしい」（21.7%）、「利用できる学年を延長してほしい」（19.9%）となっています。

居住地別にみると、四倉・久之浜大久では「定員を増やしてほしい」が38.5%と、他の地区に比べ高くなっています。

4 子どもの病気の際の対応について

4-1 この1年間に子どもの病気やケガで学校を休んだこと

問 17 この1年間に、お子さんが病気やケガで学校を休まなければならなかったことはありますか。(○は1つ)



この1年間に子どもの病気やケガで学校を休んだことについて、全体では「あった」が83.2%、「なかった」が16.6%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「あった」が20ポイント以上上昇しています。

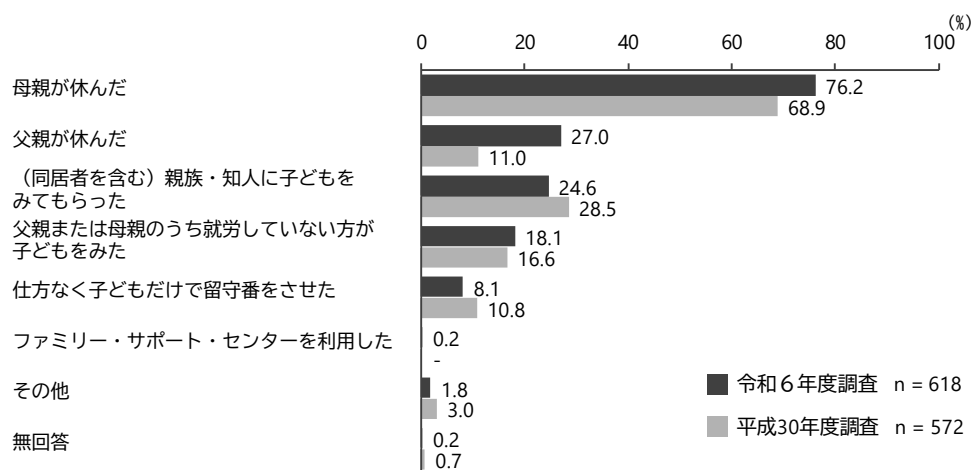
4-2 学校を休んだ場合に行った対処方法

【問17で「あった」を選択した方のみ】

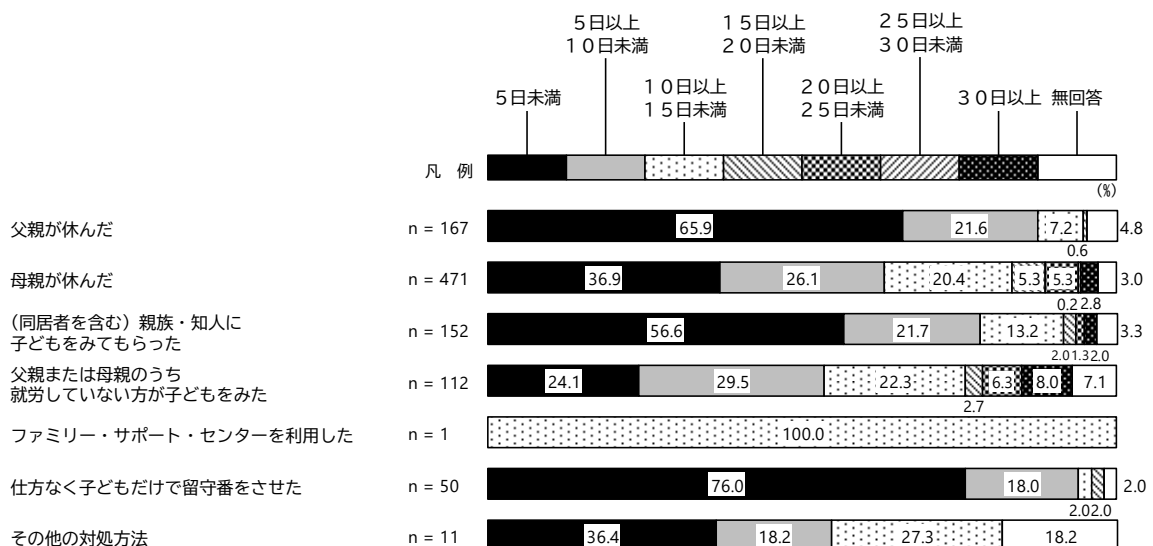
問17① お子さんが病気やケガで学校を休まなければならなかった場合に、この1年間に
行った対処方法はどれですか。それぞれの日数も□内にご記入ください。

(あてはまるものすべてに○。また数字は一桁に一字)

◆対処方法



◆対処方法ごとの年間日数



サービスが利用できなかった場合に行った対処方法について、全体では「母親が休んだ」が76.2%と最も高く、次いで「父親が休んだ」(27.0%)、「(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった」(24.6%)となっています。

平成30年度調査と比較すると、「父親が休んだ」が16ポイント上昇しています。

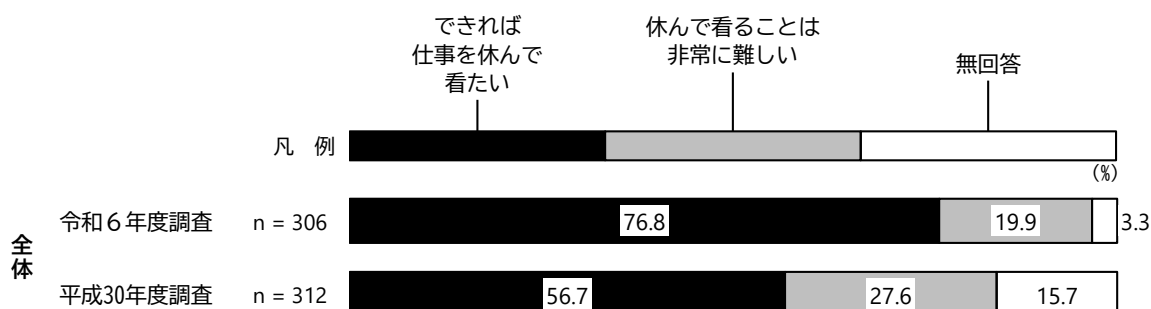
対処方法ごとの年間日数については、『父親が休んだ』場合、『(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった』場合、『仕方なく子どもだけで留守番をさせた』場合で、「5日未満」の日数の回答割合が高くなっています。一方、『母親が休んだ』場合と『父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた』場合では、それ以上(5日以上)の日数の回答割合が高くなっています。

4-3 できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たいと思ったか

【問17①で「父親が休んだ」「母親が休んだ」以外の対処方法を選択した方のみ】

問17② その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思いましたか。

(○は1つ)

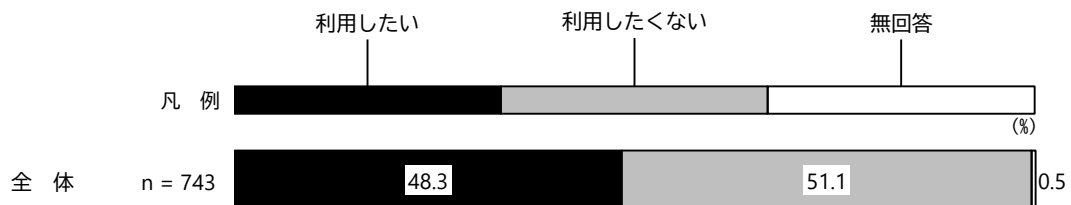


子どもが病気やケガのときに父母が休む以外の対処方法を選択した際、できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たいと思ったかについて、全体では「できれば仕事を休んで看たい」が76.8%、「休んで看することは非常に難しい」が19.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「できれば仕事を休んで看たい」が約20ポイント上昇しています。

4-4 病児・病後児保育の対象年齢が拡大されたら利用したいか

問18 いわき市では現在、病児・病後児保育は、就学前児童までを対象としています。対象年齢が拡大されれば利用したいですか。(○は1つ)



病児・病後児保育の対象年齢が拡大されたら利用したいかについて、全体では「利用したい」が48.3%、「利用したくない」が51.1%となっています。

5

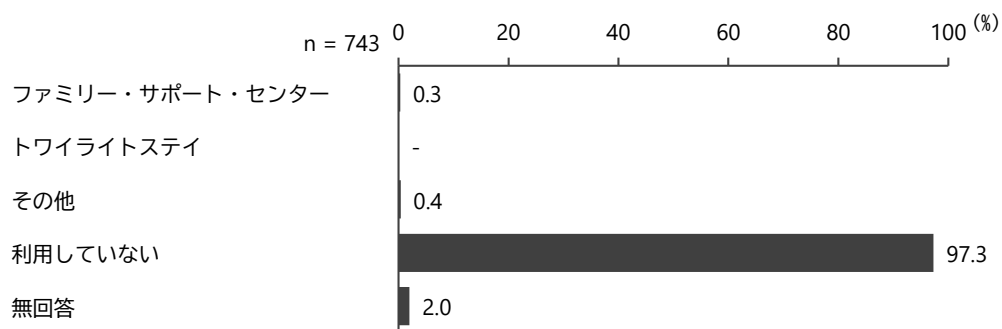
不定期の教育・保育サービスや宿泊を伴う一時預かり等の利用について

5-1 不定期に利用しているサービス

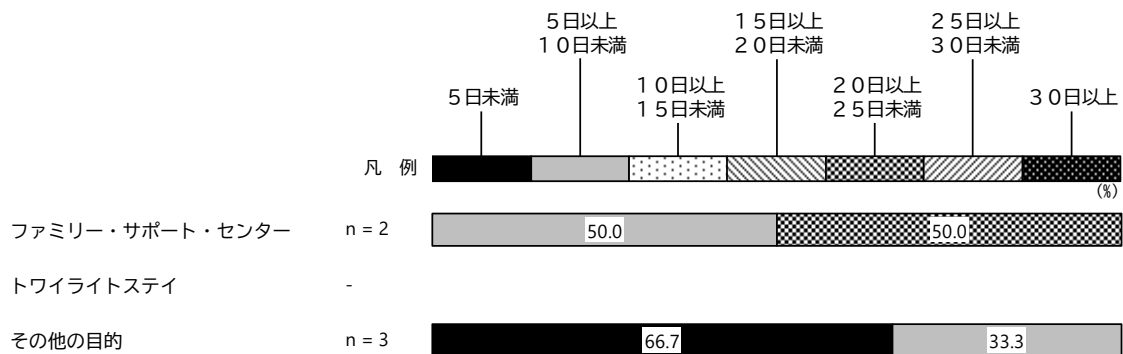
問 19 私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用しているサービスはありますか。1年間の利用日数（おおよそ）も□内にご記入ください。

（あてはまるものすべてに○。また数字は一桁に一字）

◆利用しているサービス



◆年間利用日数

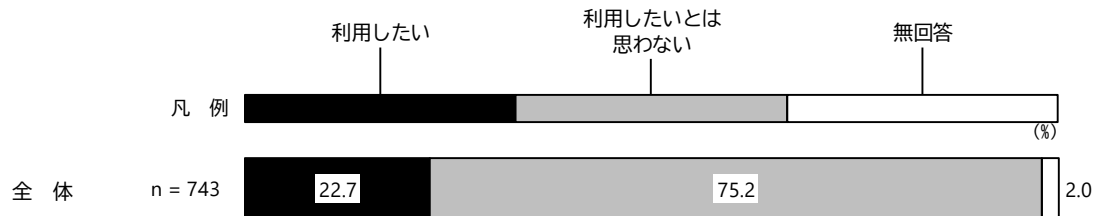


不定期に利用しているサービスについて、全体では「利用していない」が97.3%と大多数を占めています。

不定期に利用しているサービスの年間利用日数については、調査数（n）が少ないため参考値としての記載とします。

5-2 ファミリー・サポート・センターを利用したいと思うか

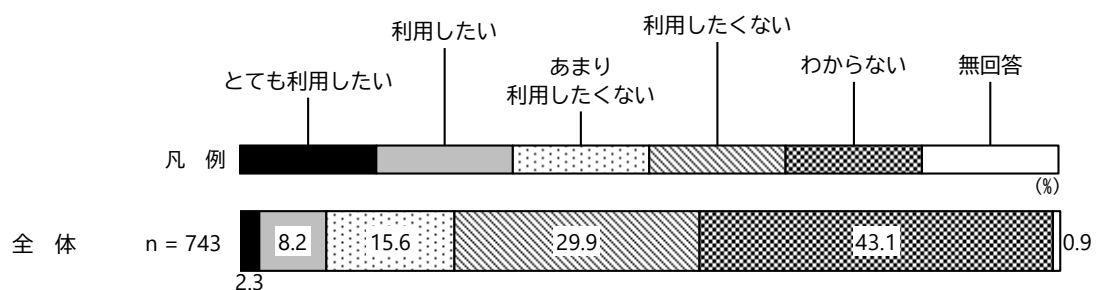
問 20 ファミリー・サポート・センターを利用したいと思いますか。(○は1つ)



ファミリー・サポート・センターの利用について、全体では「利用したいと思う」が22.7%、「利用したいとは思わない」が75.2%となっています。

5-3 トワイライトステイを利用したいと思うか

問 21 トワイライトステイを利用したいと思いますか。(○は1つ)

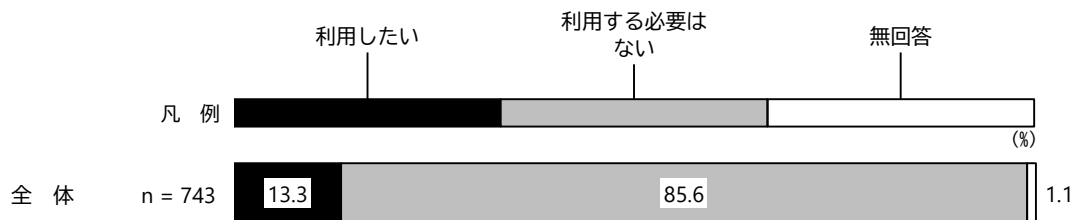


トワイライトステイの利用について、全体では「わからない」が43.1%と最も高く、次いで「利用したくない」(29.9%)、「あまり利用したくない」(15.6%)となり、利用したいと回答した割合は約1割となっています。

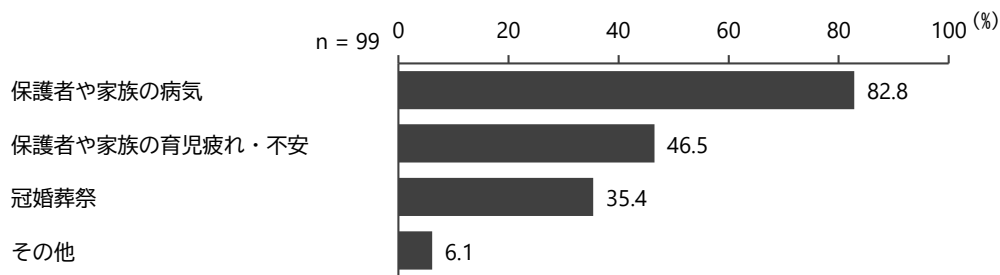
5-4 子育て短期支援事業（ショートステイ）の利用希望

問 22 保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の育児疲れや育児不安、病気など）により、子育て短期支援事業（ショートステイ）を利用したいと思いますか。利用希望・目的について、該当する番号・記号すべてに○をつけ、利用したい日数の合計と目的別の内訳の日数をご記入ください。（あてはまるものすべてに○。数字は一枠に一字）

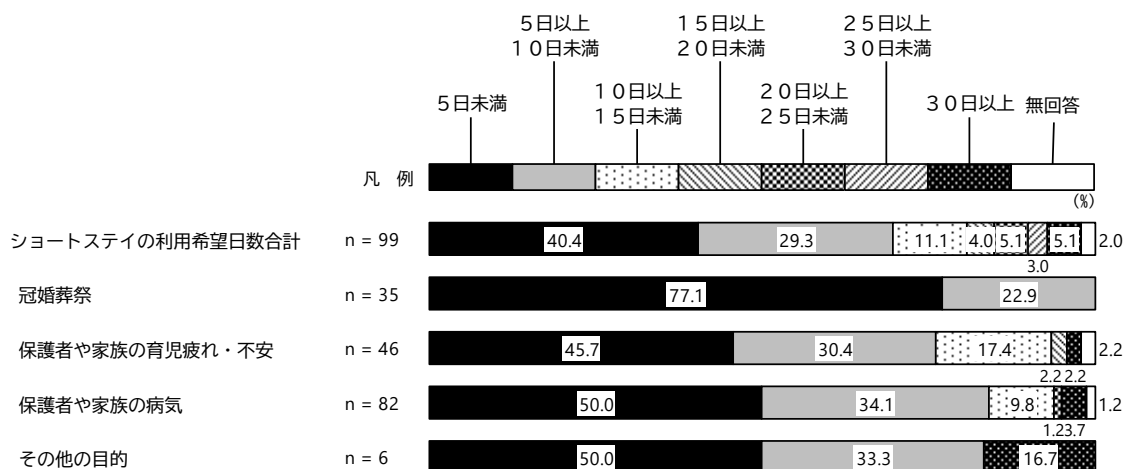
◆利用希望



◆利用目的



◆年間利用希望日数



子育て短期支援事業(ショートステイ)の利用希望について、全体では「利用したい」が13.3%、「利用する必要はない」が85.6%となっています。

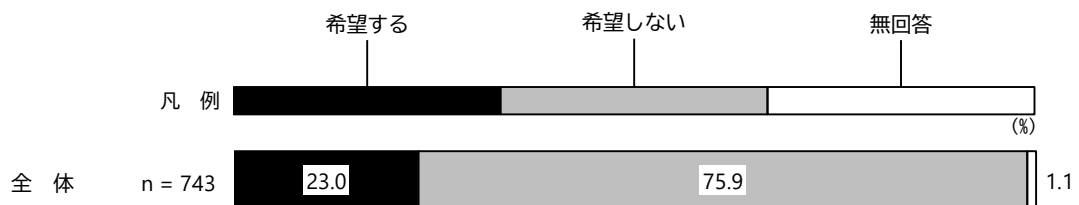
利用したい場合の利用目的については、「保護者や家族の病気」が82.8%と最も高く、次いで「保護者や家族の育児疲れ・不安」(46.5%)、「冠婚葬祭」(35.4%)となっています。

利用したい場合の年間利用希望日数については、いずれの目的も「5日未満」が最も高くなっています。

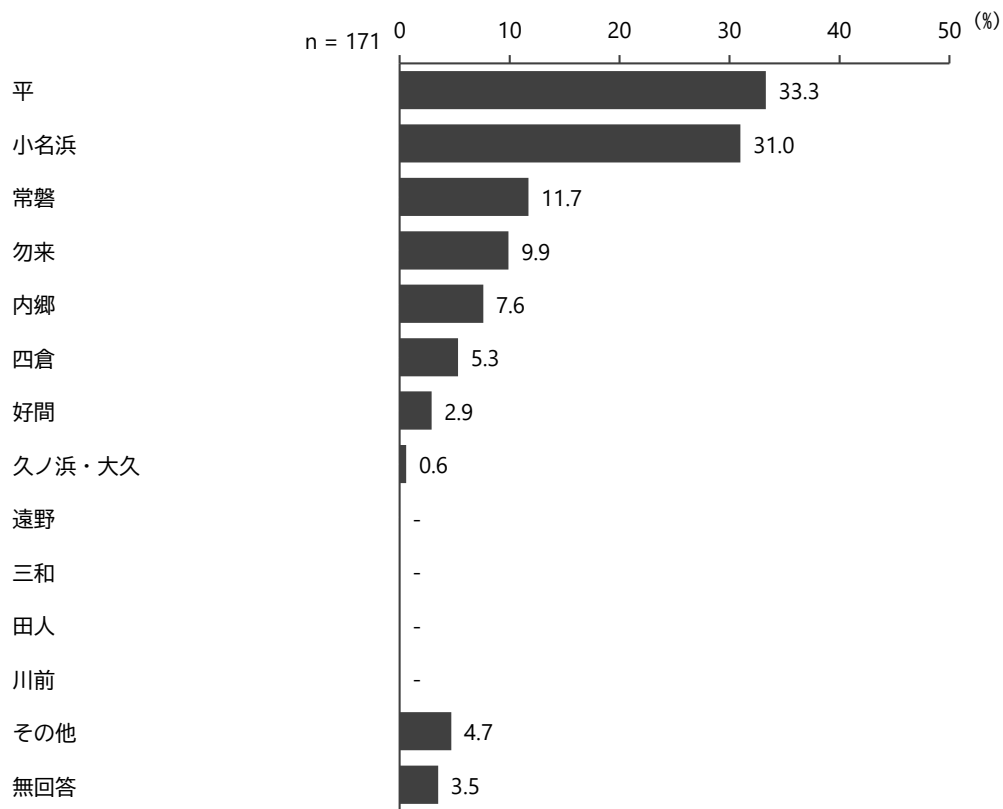
5-5 小川地区以外でのショートステイ・トワイライトステイの実施希望

問 23 現在、ショートステイ・トワイライトステイ事業を実施している施設は小川地区にありますが、他地区での実施を希望しますか。(○は1つ)

◆実施希望



◆実施希望地区



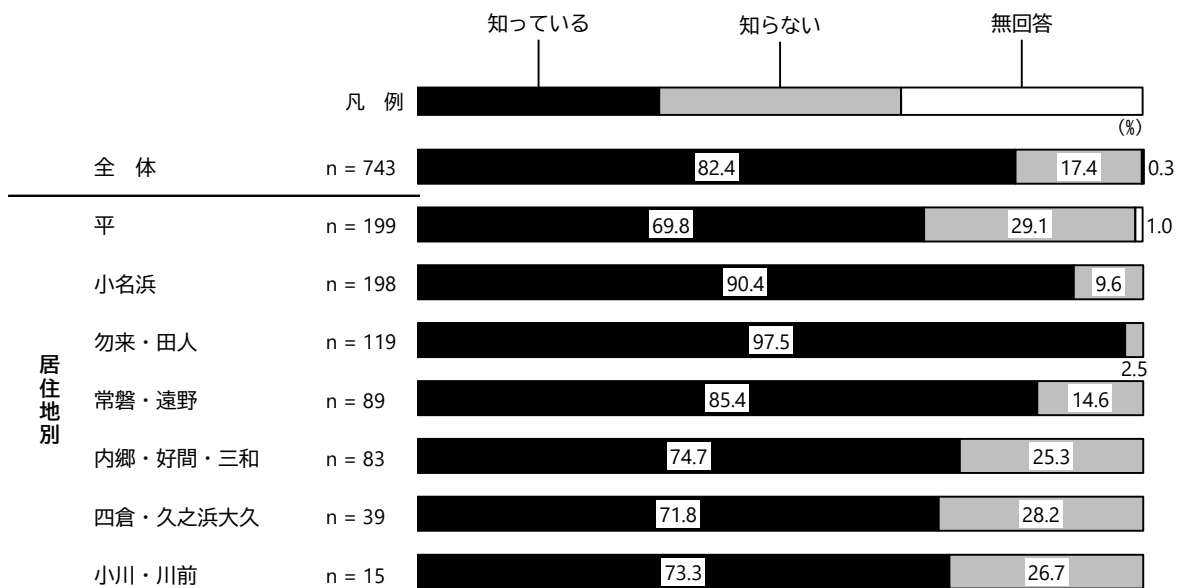
小川地区以外でのショートステイ・トワイライトステイの実施希望について、全体では「希望する」が23.0%、「希望しない」が75.9%となっています。

実施を希望する場合の希望地区は、「平」と「小名浜」がともに3割以上と高くなっています。

6 児童センター（児童館）・元気センターの利用について

6-1 いわき市に児童センター（児童館）・元気センターがあるのを知っているか

問 24 いわき市に児童センター（児童館）・元気センターがあるのを知っていますか。
(○は1つ)

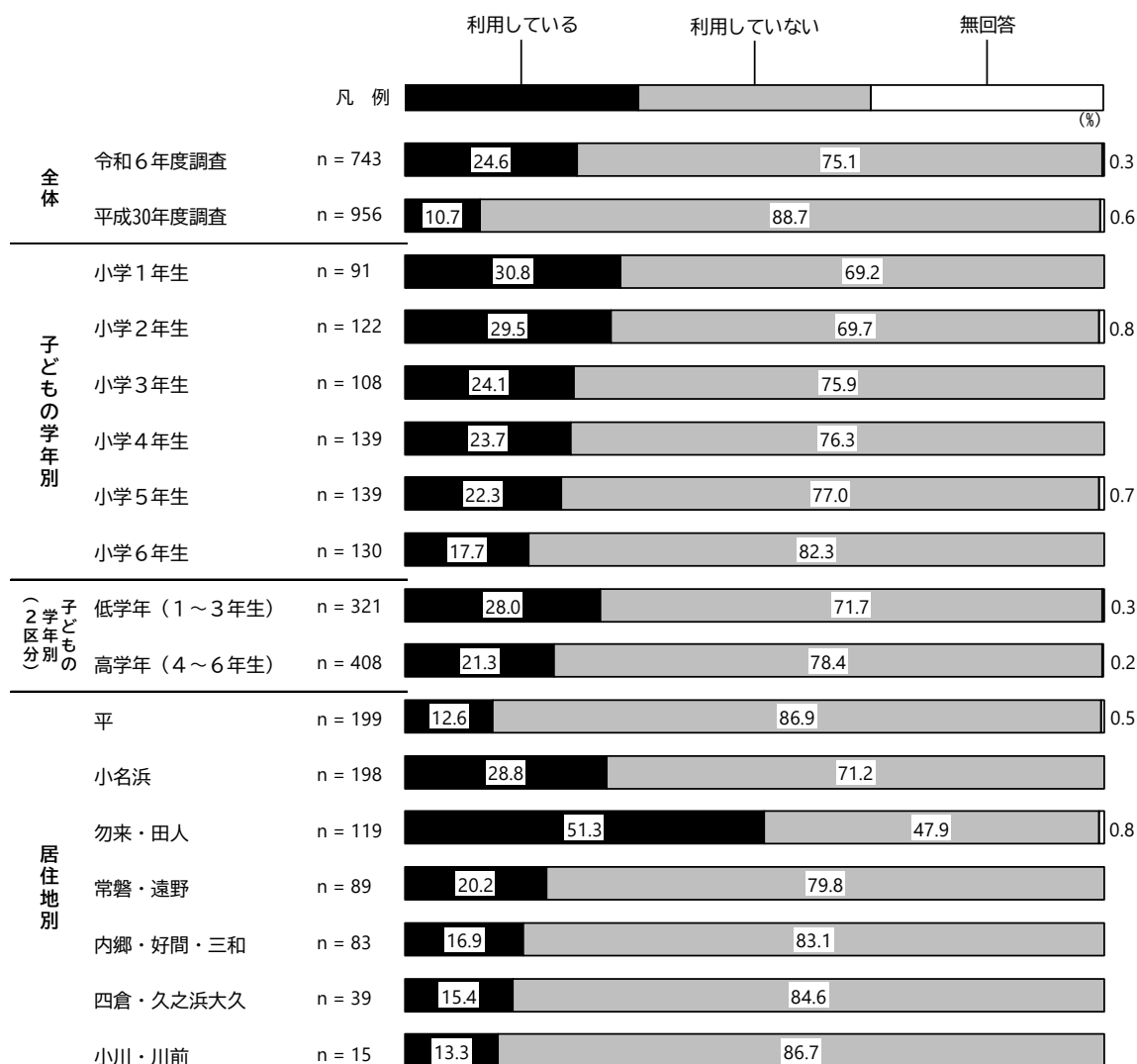


いわき市の児童センター（児童館）・元気センターについて、全体では「知っている」が82.4%、「知らない」が17.4%となっています。

居住地別にみると、勿来・田人では「知っている」が97.5%と大多数を占めているほか、小名浜では「知っている」が90.4%、常磐・遠野では85.4%と、他の地区に比べ高くなっています。それ以外の地区では、「知っている」が7割ほどとなっています。

6-2 ふだん児童センター（児童館）・元気センターを利用しているか

問 25 お子さんは、ふだん児童センター（児童館）・元気センターを利用していますか。
(○は1つ)



※平成30年度調査では、「児童館・児童センター」を利用しているかを聴取している

ふだん児童センター（児童館）・元気センターを利用しているかについて、全体では「利用している」が24.6%、「利用していない」が75.1%となっています。

平成30年度調査との比較は、聴取内容が一部異なるため参考値としての記載とします。

子どもの学年別にみると、低学年ほど「利用している」が高い傾向があり、1年生～2年生では約3割となっています。

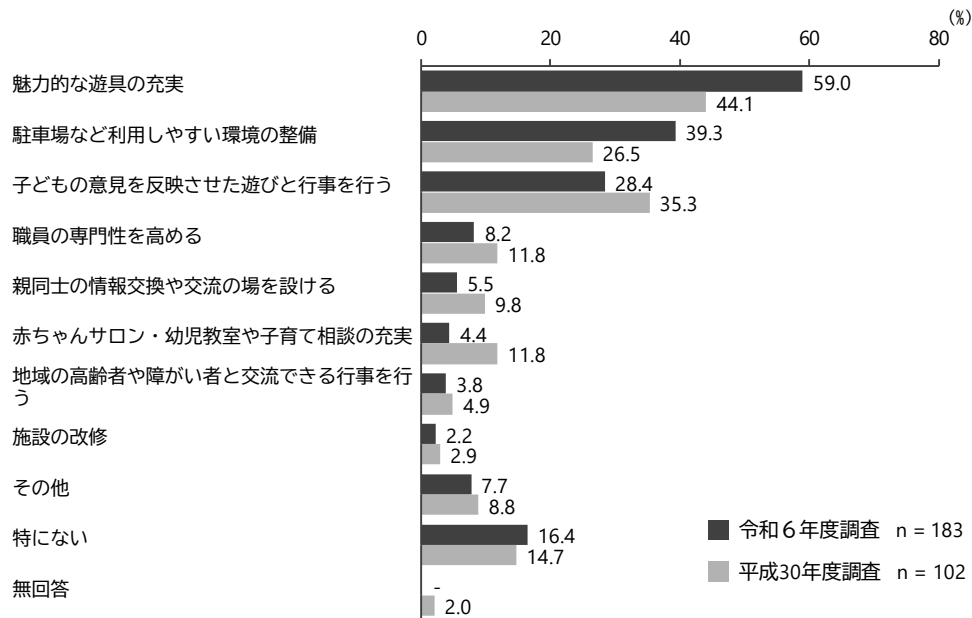
居住地別にみると、「利用している」は勿来・田人で5割以上を占めているほか、小名浜で約3割と高くなっています。それ以外の地区では、概ね1～2割ほどの利用率となっています。

6-3 児童センター（児童館）・元気センターへの要望

【問 25 で「利用している」を選択した方のみ】

問 25① 児童センター（児童館）・元気センターへの要望を次の中からお選びください。

（○は3つまで）



※平成 30 年度調査では、「児童館・児童センター」への要望を聴取している

児童センター（児童館）・元気センターへの要望について、全体では「魅力的な遊具の充実」が 59.0%と最も高く、次いで「駐車場など利用しやすい環境の整備」（39.3%）、「子どもの意見を反映させた遊びと行事を行う」（28.4%）となっています。

平成 30 年度調査との比較は、聴取内容が一部異なるため参考値としての記載とします。

6-4 児童センター（児童館）・元気センターを利用していない理由

【問 25 で「利用していない」を選択した方のみ】

問 25② 児童センター（児童館）・元気センターを利用していない理由を、お選びください。
(○は3つまで)

															(%)
		n	遠いから	どこにあるか知らないから	利用できる曜日や時間が合わないから	友達が児童センター（児童館）・元氣センターにいないから	遊具が少ないから	外で遊びたいから	遊びの種類が少ないから	古い（汚い）から	施設が狭いから	上級生が児童センター（児童館）・元氣センターにいないから	その他	特にな	無回答
全体	令和6年度調査	558	40.9	22.8	19.4	8.4	4.5	4.5	3.2	2.3	0.5	6.8	20.1	0.9	
	平成30年度調査	848	27.6	27.2	16.4	7.2	3.2	3.1	2.8	1.9	0.6	7.5	25.7	5.0	
居住地別	平	173	42.2	32.4	15.0	4.0	5.8	7.5	3.5	-	-	5.2	17.9	1.2	
	小名浜	141	42.6	14.9	22.0	14.2	3.5	2.1	2.8	2.1	2.1	5.7	22.7	0.7	
	勿来・田人	57	26.3	3.5	35.1	10.5	7.0	5.3	8.8	3.5	-	14.0	29.8	-	
	常磐・遠野	71	47.9	16.9	15.5	8.5	4.2	1.4	2.8	1.4	-	9.9	18.3	1.4	
	内郷・好間・三和	69	37.7	27.5	18.8	10.1	2.9	4.3	1.4	8.7	-	7.2	14.5	1.4	
	四倉・久之浜大久	33	45.5	33.3	15.2	3.0	3.0	3.0	-	-	-	3.0	21.2	-	
	小川・川前	13	38.5	46.2	15.4	-	-	-	-	7.7	-	-	15.4	-	

※平成 30 年度調査では、「児童館・児童センター」を利用していない理由を聴取している

児童センター（児童館）・元気センターを利用していない理由について、全体では「遠いから」が 40.9%と最も高く、次いで「どこにあるか知らないから」（22.8%）、「利用できる曜日や時間が合わないから」（19.4%）となっています。

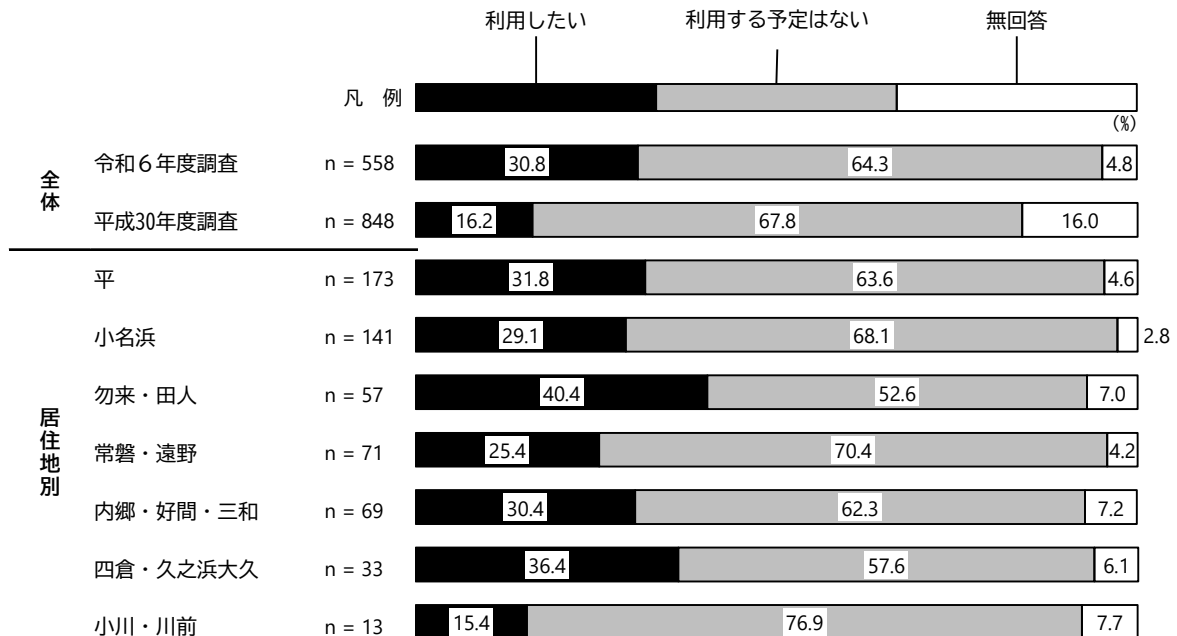
平成 30 年度調査との比較は、聴取内容が一部異なるため参考値としての記載とします。

居住地別にみると、「遠いから」は勿来・田人を除く全ての地区で約 4～5 割となっています。また、「どこにあるか知らないから」は平で 32.4%、四倉・久之浜大久で 33.3%、調査数（n）が少ないことに留意は必要ですが小川・川前で 46.2%と、他の地区に比べ高くなっています。一方、勿来・田人では「利用できる曜日や時間が合わないから」が 35.1%と高くなっています。

6-5 児童センター・元気センターを今後利用したいと思うか

【問 25 で「利用していない」を選択した方のみ】

問 25③ 今は利用していないが、今後利用したいと思いますか。(○は1つ)



※平成30年度調査では、「児童館・児童センター」を今後利用したいかを聴取している

児童センター・元気センターを今後利用したいと思うかについて、全体では「利用したい」が30.8%、「利用する予定はない」が64.3%となっています。

平成30年度調査との比較は、聴取内容が一部異なるため参考値としての記載とします。

居住地別にみると、勿来・田人では「利用したい」が40.4%と、他の地区に比べやや高くなっています。一方、調査数(n)が少ないことに留意は必要ですが、小川・川前では「利用したい」が15.4%と2割を下回っています。

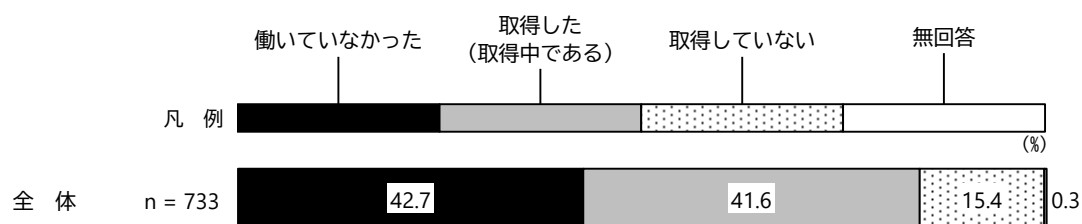
7

育児休業など職場の両立支援制度について

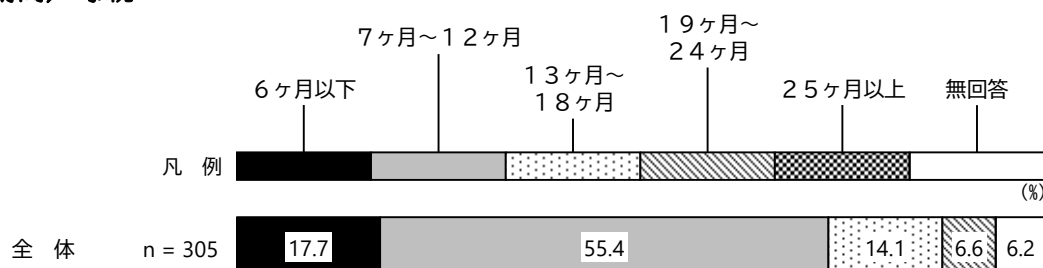
7-1 育児休業の取得状況

問 26 宛名のお子さんが生まれたとき、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。「取得した（取得中である）」と回答した方は取得（予定）期間も記入ください。（母親、父親のそれぞれについて、○は1つ。数字は一桁に一字）

◆取得状況／母親



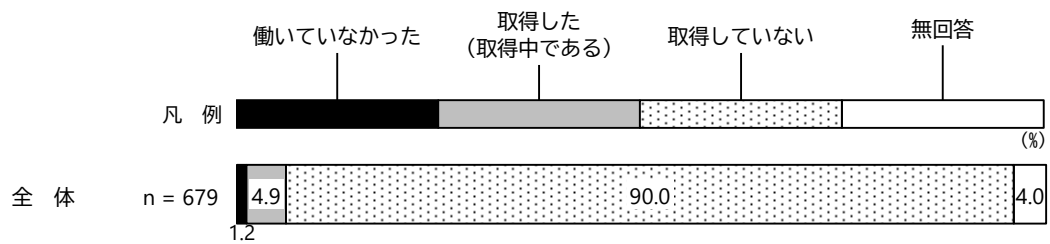
◆取得期間／母親



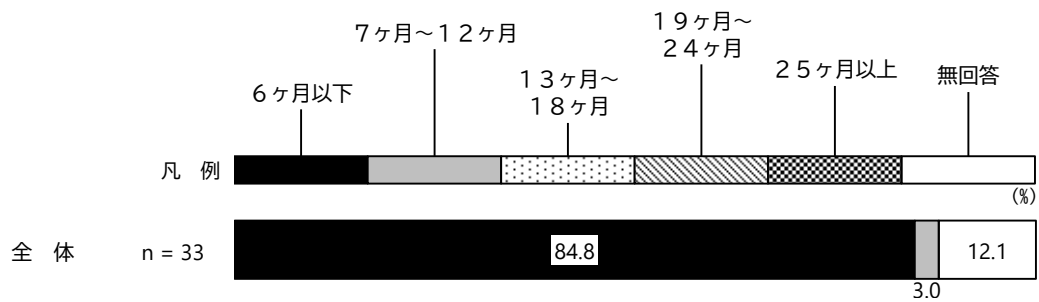
母親の育児休業の取得状況について、全体では「働いていなかった」が42.7%、「取得した（取得中である）」が41.6%、「取得していない」が15.4%となっています。

取得した場合の取得期間については、「7ヶ月～12ヶ月」が55.4%と最も高く、次いで「6ヶ月以下」（17.7%）、「13ヶ月～18ヶ月」（14.1%）となっています。

◆取得状況／父親



◆取得期間／父親



父親の育児休業の取得状況について、全体では「取得していない」が90.0%を占め、「取得した（取得中である）」は4.9%となっています。

取得した場合の取得期間については、「6ヶ月以下」が84.8%と8割以上を占めています。

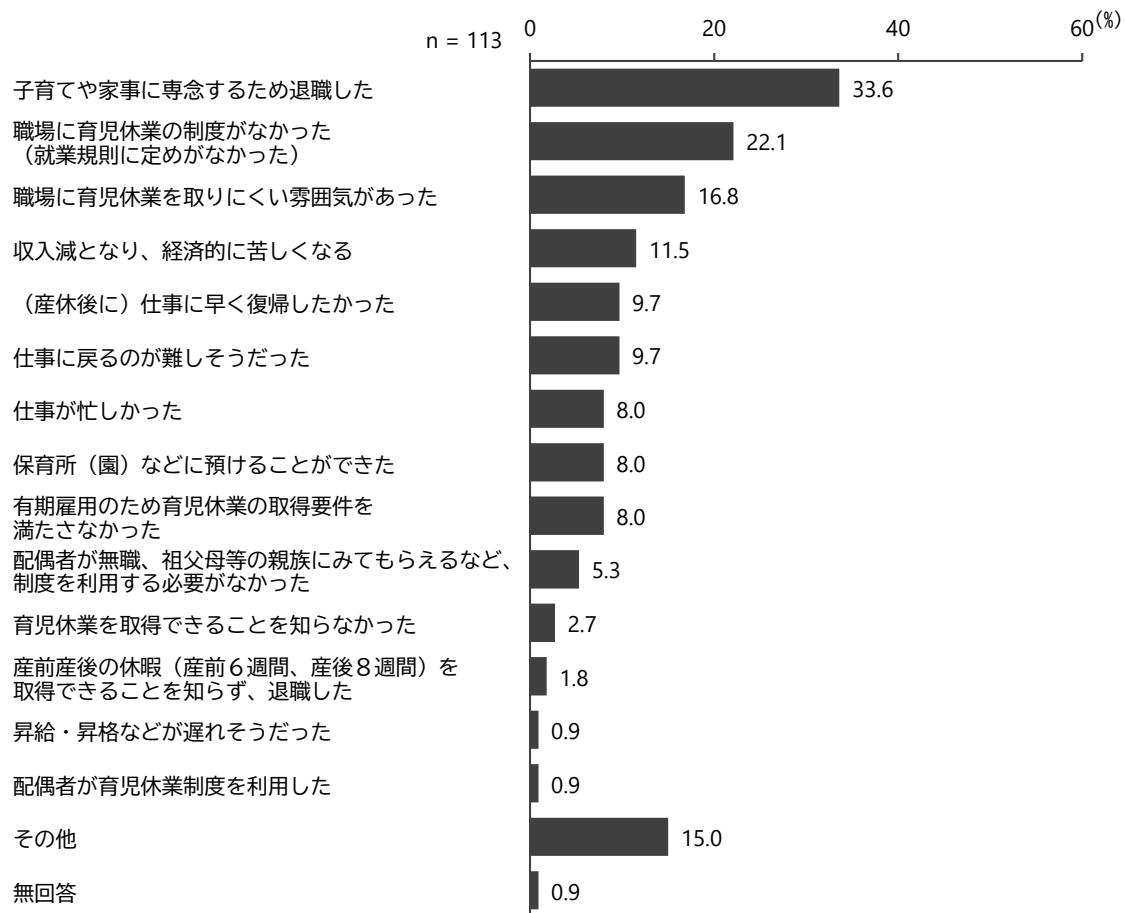
7-2 育児休業を取得していない理由

【問 26 で「取得していない」を選択した方のみ】

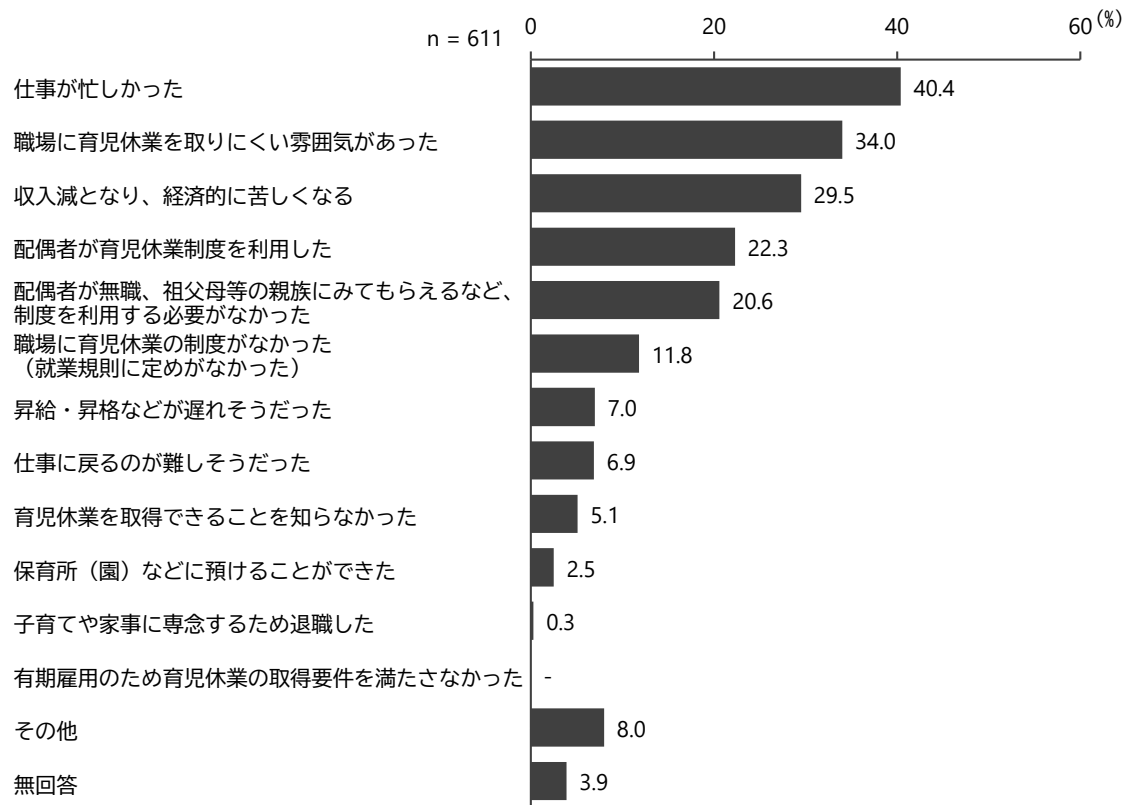
問 26① 育児休業を取得していない理由をお答えください。

（母親、父親のそれぞれについて、あてはまるものすべてに○）

◆母親



◆父親



母親が育児休業を取得していない理由について、全体では「子育てや家事に専念するため退職した」が33.6%と最も高く、次いで「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」（22.1%）、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」（16.8%）となっています。

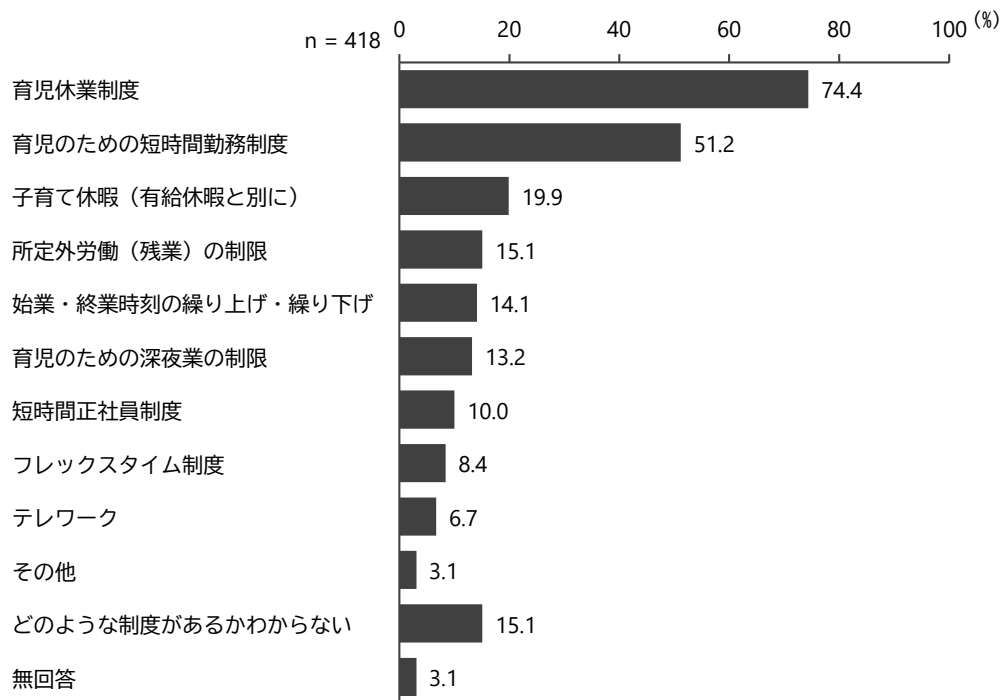
父親が育児休業を取得していない理由について、全体では「仕事が忙しかった」が40.4%と最も高く、次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」（34.0%）、「収入減となり、経済的に苦しくなる」（29.5%）となっています。

7-3 仕事と子育ての両立支援制度

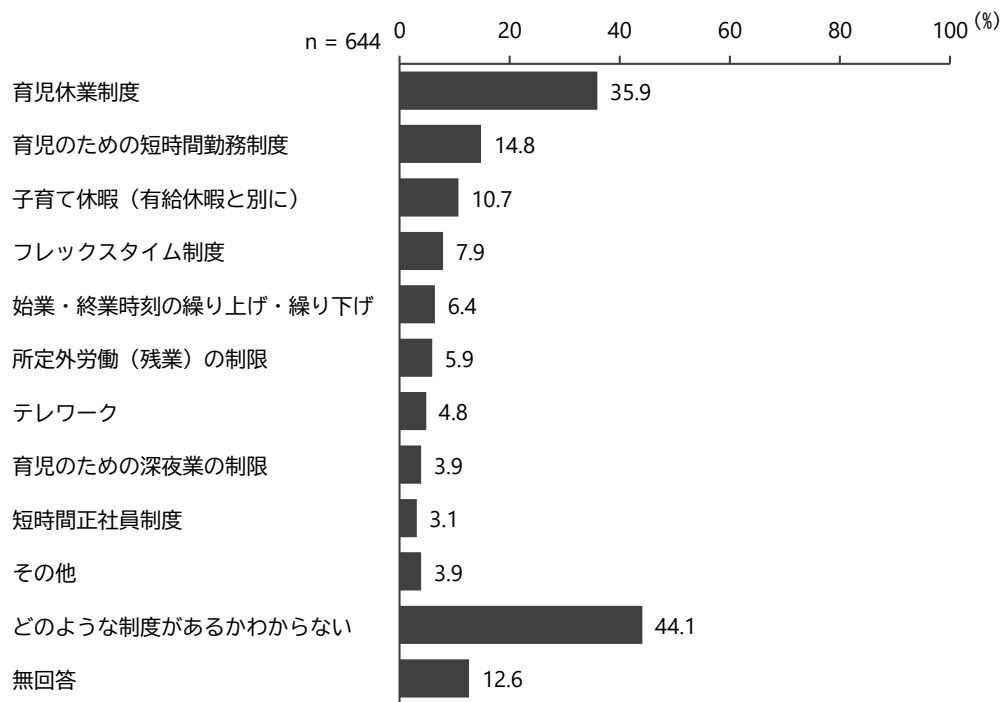
【問 26 で「取得した（取得中である）」または「取得していない」を選択した方のみ】

問 26② 仕事と子育ての両立支援制度として、職場でどのような制度が整備されていますか。（母親、父親のそれぞれについて、あてはまるものすべてに○）

◆母親



◆父親



母親の職場における仕事と子育ての両立支援制度について、全体では「育児休業制度」が74.4%と最も高く、次いで「育児のための短時間勤務制度」(51.2%)、「子育て休暇（有給休暇と別に）」(19.9%)となっています。

父親の職場における仕事と子育ての両立支援制度について、全体ではこの調査の回答者が母親が多いこともあり、「どのような制度があるかわからない」が44.1%と高くなっていますが、それ以外では「育児休業制度」が35.9%と最も高く、次いで「育児のための短時間勤務制度」(14.8%)、「子育て休暇（有給休暇と別に）」(10.7%)となっています。

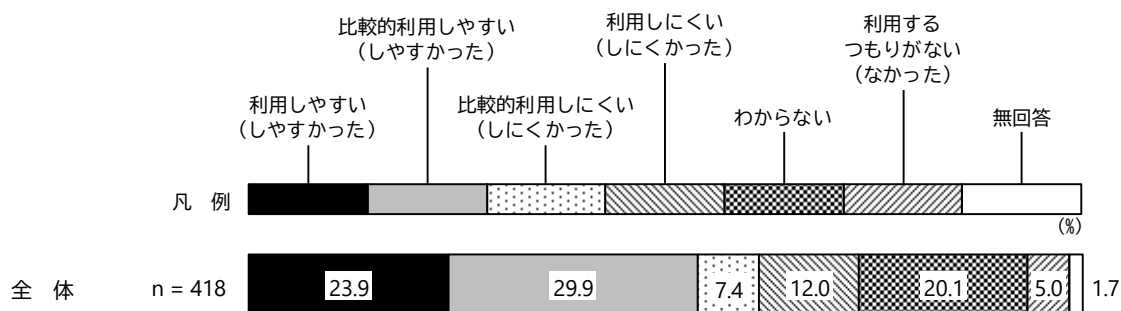
7-4 職場の両立支援制度は利用しやすい（しやすかった）か

【問 26 で「取得した（取得中である）」または「取得していない」を選択した方のみ】

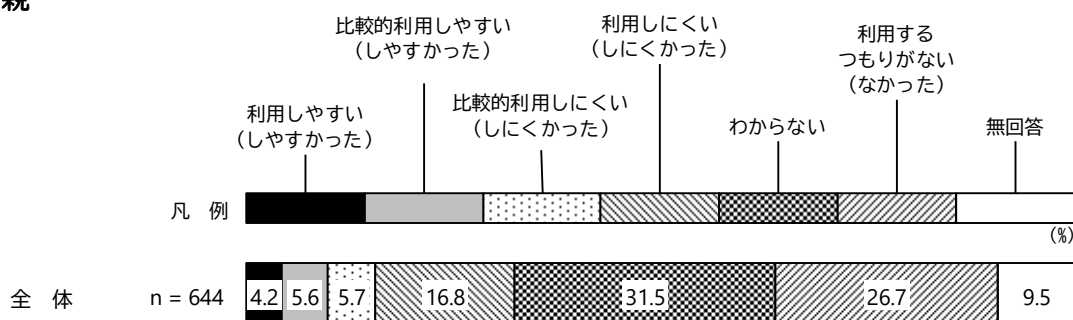
問 26③ 職場の両立支援制度は利用しやすい（しやすかった）ですか。

（母親、父親のそれぞれについて、○は1つ）

◆母親



◆父親



母親の職場の両立支援制度は利用しやすい（しやすかった）かについて、全体では「比較的に利用しやすい（しやすかった）」が 29.9%と最も高く、次いで「利用しやすい（しやすかった）」（23.9%）、「わからない」（20.1%）となっています。

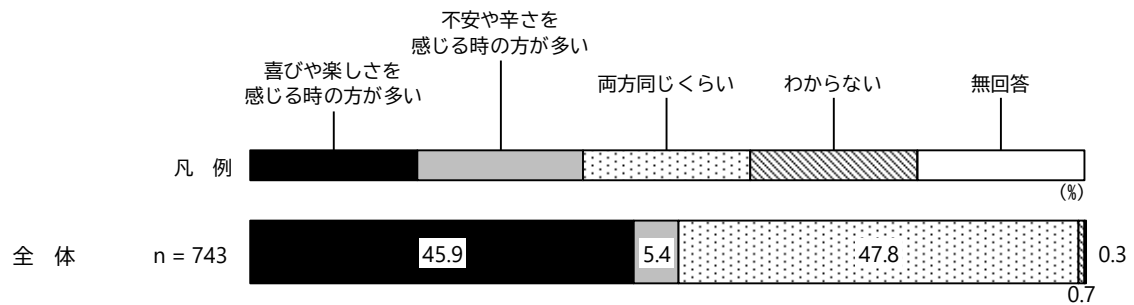
父親の職場の両立支援制度は利用しやすい（しやすかった）かについて、全体ではこの調査票の回答者が母親が多いこともあり、「わからない」が 31.5%と最も高くなっていますが、それ以外では「利用するつもりがない（なかった）」が 26.7%と最も高く、次いで「利用しにくい（しにくかった）」（16.8%）となっています。

8

子育てに関する意識や情報収集について

8-1 子育てをどう感じるか

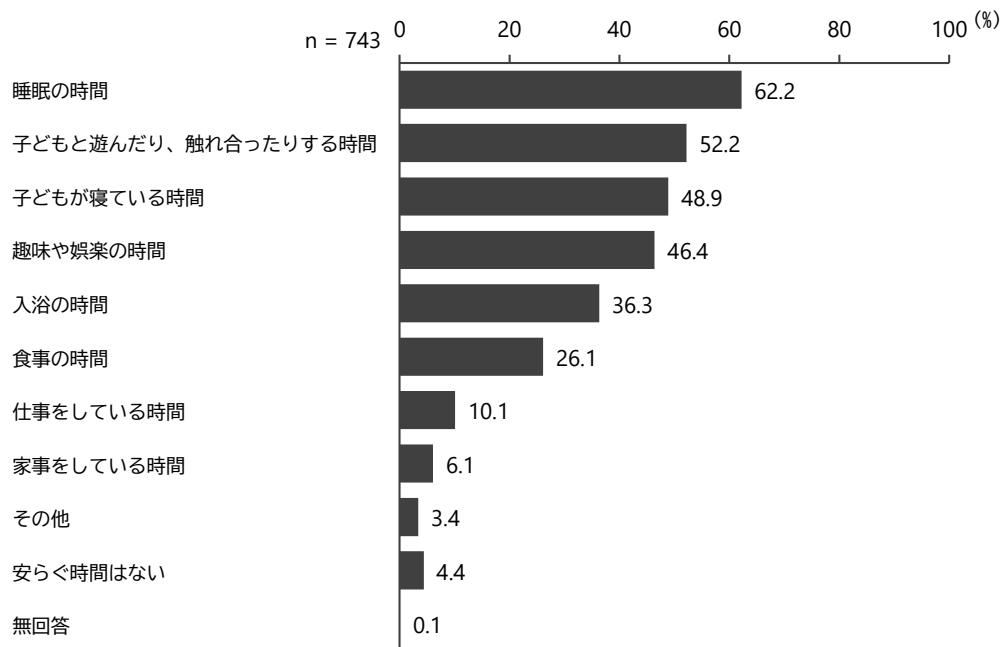
問 27 子育てについてどう感じますか。(○は1つ)



子育てをどう感じるかについて、全体では「両方同じくらい」が47.8%と最も高く、次いで「喜びや楽しさを感じる時の方が多い」(45.9%)、「不安や辛さを感じる時の方が多い」(5.4%)となっています。

8-2 1日の中で安らぐ時間

問 28 1日の時間の中であなた自身が安らぐ時間はどんな時ですか。
(あてはまるものすべてに○)



1日の中で安らぐ時間について、全体では「睡眠の時間」が62.2%と最も高く、次いで「子どもと遊んだり、触れ合ったりする時間」(52.2%)、「子どもが寝ている時間」(48.9%)となっています。

8-3 子育てで不安やつらさを感じること

問 29 子育てについて不安やつらさを感じることはどのようなことですか。
(あてはまるものすべてに○)

		n	経済的負担が大きい	自分の自由な時間が持ちにくい	根気や体力の負担が大きい	子どもの学校生活や交友関係に不安がある	子どもの心身の発達に不安がある	親としての自信がない	子どもが安全に暮らせる社会でない	子どもと触れ合う時間がない	配偶者、家族の協力が得られない	住宅が手狭になる	その他	特にない	無回答
全 体		743	57.5	32.6	32.2	25.0	16.8	13.6	13.6	11.7	9.8	8.1	2.6	13.5	0.3
子どもの学年別	小学1年生	91	53.8	36.3	37.4	29.7	23.1	22.0	11.0	14.3	4.4	6.6	1.1	11.0	-
	小学2年生	122	59.0	37.7	39.3	20.5	16.4	17.2	16.4	13.1	9.8	5.7	4.1	9.0	-
	小学3年生	108	56.5	43.5	38.0	25.9	22.2	13.0	19.4	14.8	10.2	6.5	1.9	8.3	-
	小学4年生	139	56.1	25.2	32.4	21.6	11.5	7.9	11.5	7.9	12.2	8.6	4.3	12.2	0.7
	小学5年生	139	59.7	31.7	30.9	23.0	16.5	12.2	9.4	10.8	11.5	10.1	1.4	18.7	-
	小学6年生	130	58.5	22.3	19.2	32.3	13.8	13.1	13.8	10.8	8.5	10.0	2.3	18.5	0.8
(2区分別)	低学年(1～3年生)	321	56.7	39.3	38.3	24.9	20.2	17.1	15.9	14.0	8.4	6.2	2.5	9.3	-
	高学年(4～6年生)	408	58.1	26.5	27.7	25.5	14.0	11.0	11.5	9.8	10.8	9.6	2.7	16.4	0.5

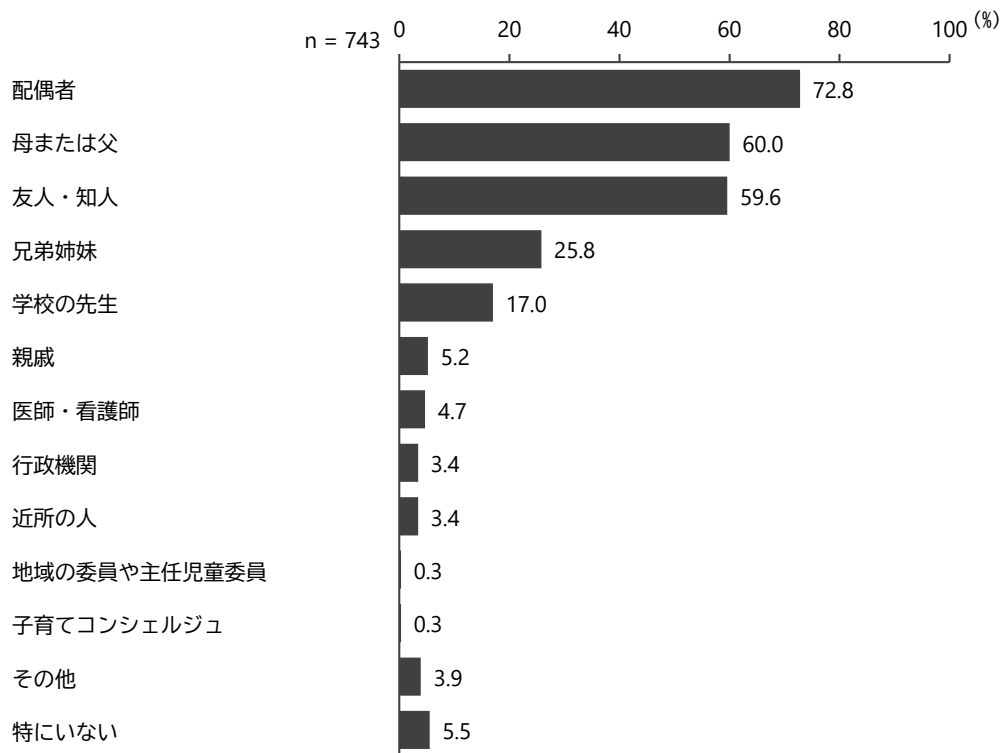
普段の近所の人との交流について、全体では「経済的負担が大きい」が 57.5%と最も高く、次いで「自分の自由な時間が持ちにくい」(32.6%)、「根気や体力の負担が大きい」(32.2%)となっています。

子どもの学年別にみると、低学年ほど「自分の自由な時間が持ちにくい」や「根気や体力の負担が大きい」が高い傾向があります。

8-4 子育てに困ったり悩んだりした時の相談先

問 30 子育てに困ったり、悩んだりした時、誰に相談しますか。

(あてはまるものすべてに○)

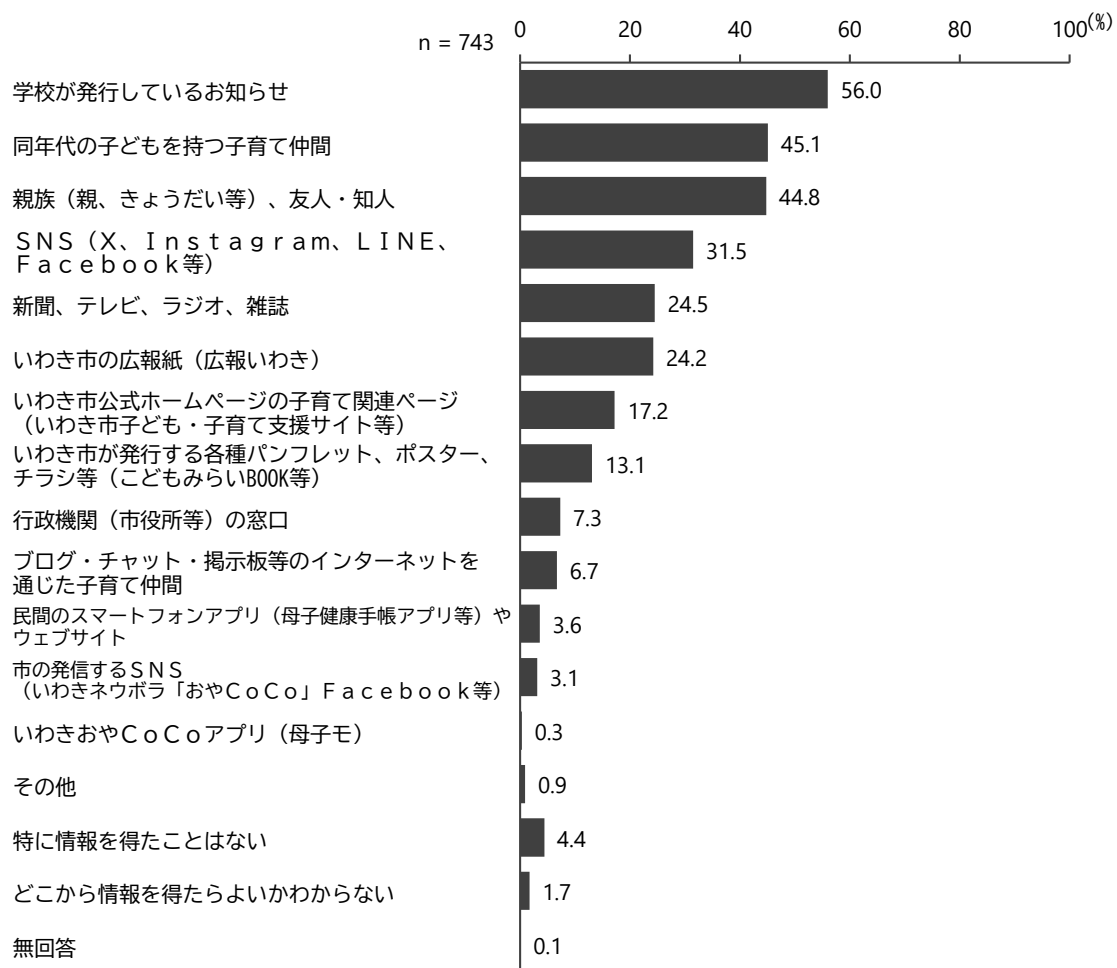


子育てに困ったり悩んだりした時の相談先について、全体では「配偶者」が72.8%と最も高く、次いで「母または父」(60.0%)、「友人・知人」(59.6%)となっています。

8-7 子育てに関する情報源

問 33 あなたは子育てに関する情報をどこから得ていますか。

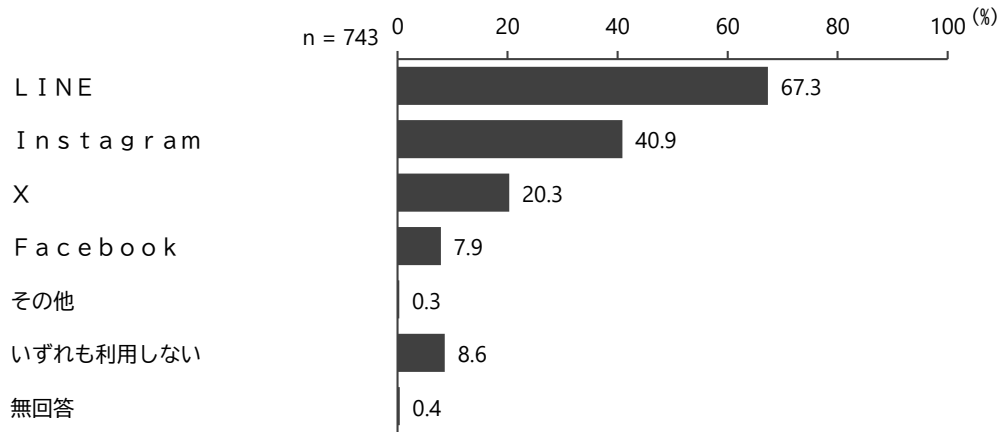
(あてはまるものすべてに○)



子育てに関する情報源について、全体では「学校が発行しているお知らせ」が56.0%と最も高く、次いで「同年代の子どもを持つ子育て仲間」（45.1%）、「親族（親、きょうだい等）、友人・知人」（44.8%）となっています。

8-8 市が子育て情報をSNSで発信する場合に受け取りやすいツール

問 33① いわき市が子育て情報をSNSで発信する場合、情報を受け取りやすい（利用したい）ツールはどれですか。（あてはまるものすべてに○）



市が子育て情報をSNSで発信する場合に受け取りやすいツールについて、全体では「LINE」が67.3%と最も高く、次いで「Instagram」（40.9%）、「X」（20.3%）となっています。

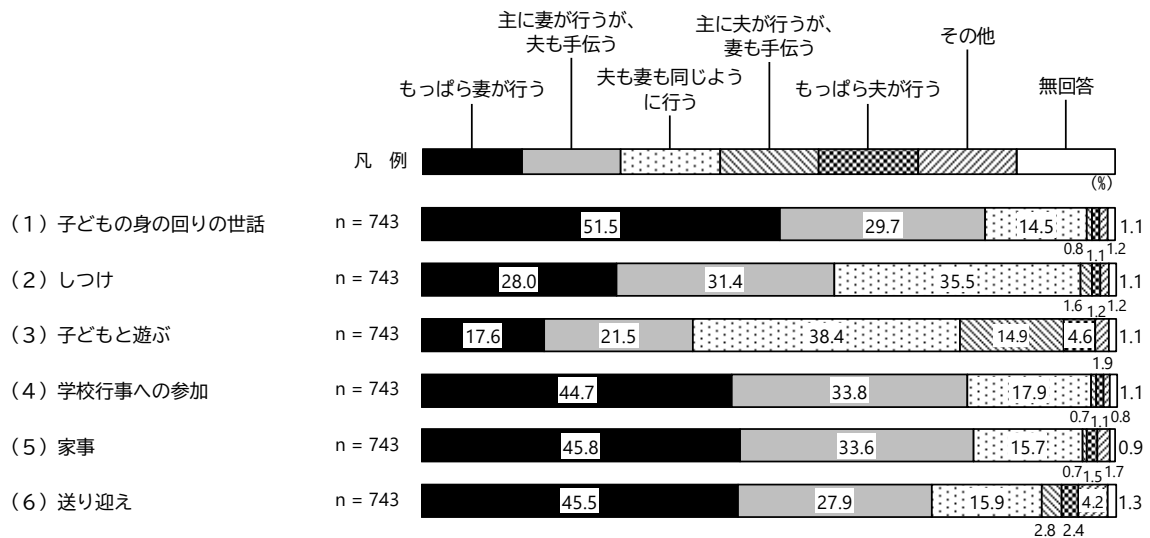
9

子育て全般について

9-1 配偶者間の役割分担

問 34 次の（１）～（８）の配偶者間の役割分担をお答えください。

（それぞれ選択肢より１つ選択し、回答欄に記入）

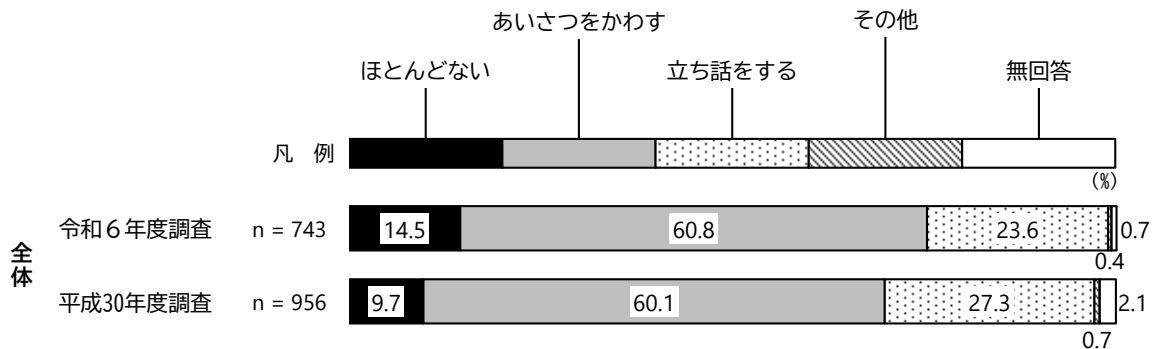


配偶者間の役割分担について、全体では『(2) しつけ』『(3) 子どもと遊ぶ』で「夫も妻も同じように行う」が最も高くなっている一方、それ以外の項目では「もっぱら妻が行う」が最も高くなっています。

いずれの項目においても「主に夫が行うが、妻も手伝う」や「もっぱら夫が行う」との回答は少なく、役割分担が妻に偏っていることがうかがえます。

9-2 ふだんの近所の方との交流

問 35 ふだん近所の方との交流はありますか。(○は1つ)

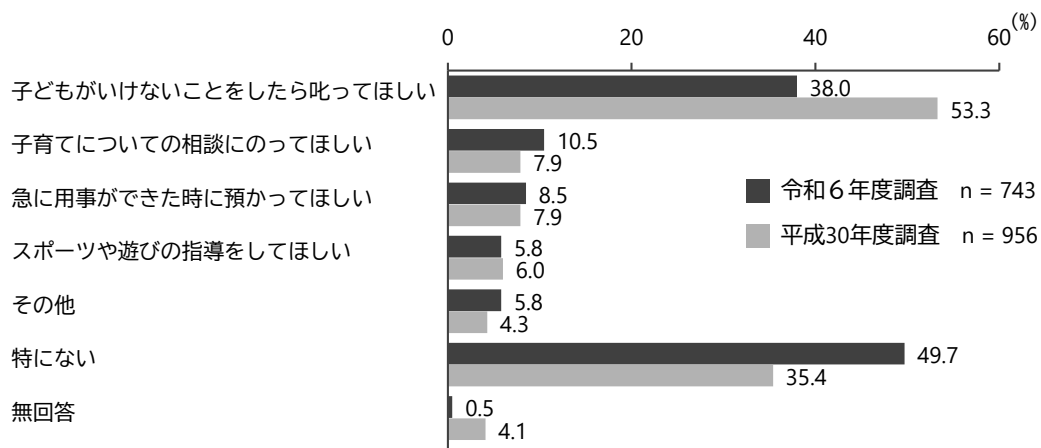


ふだんの近所の方との交流について、全体では「あいさつをかわす」が60.8%と最も高く、次いで「立ち話をする」(23.6%)、「ほとんどない」(14.5%)となっています。

平成30年度調査と比較すると、「立ち話をする」がやや下降し、「ほとんどない」がやや上昇しています。

9-3 子育てする上で近所の方に期待すること

問 36 子どもを育てていく上で、近所の方にどのようなことを期待しますか。
(あてはまるものすべてに○)

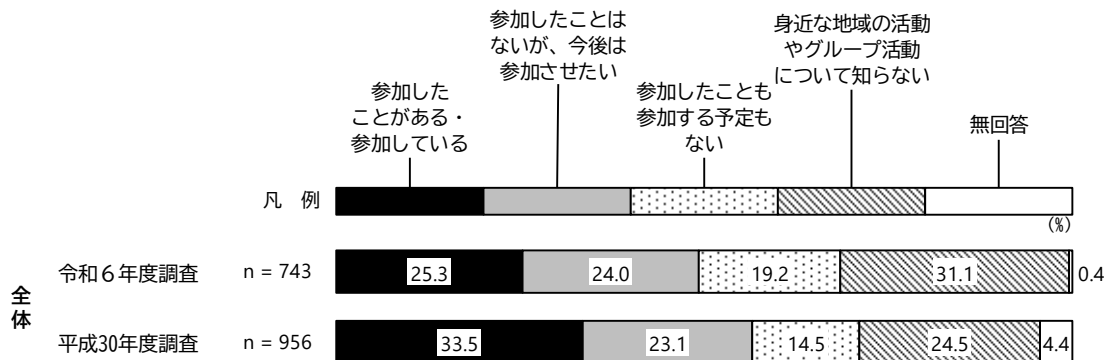


子育てする上で近所の方に期待することについて、全体では「特にない」が49.7%と高くなっていますが、それ以外では「子どもがいけないことをしたら叱ってほしい」が38.0%と最も高く、次いで「子育てについての相談にのってほしい」(10.5%)、「急に用事ができた時に預かってほしい」(8.5%)となっています。

平成30年度調査と比較すると、「子どもがいけないことをしたら叱ってほしい」が15ポイント下降している一方、「特にない」は約14ポイント上昇しています。

9-4 子どもは地域活動やグループ活動に参加したことがあるか

問 37 お子さんは、ボランティアなどの地域活動やグループ活動へ参加したことがありますか。(○は1つ)

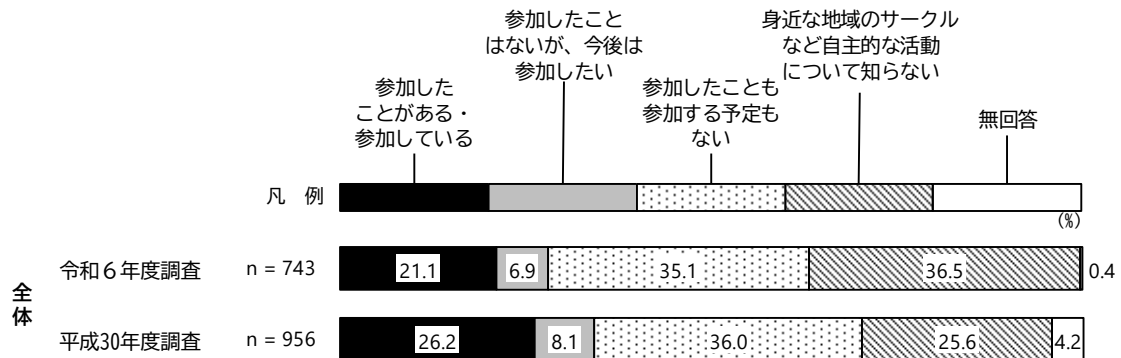


子どもは地域活動やグループ活動に参加したことがあるかについて、全体では「身近な地域の活動やグループ活動について知らない」が31.1%と最も高く、次いで「参加したことがある・参加している」(25.3%)、「参加したことはないが、今後は参加させたい」(24.0%)となっています。

平成30年度調査と比較すると、「参加したことがある・参加している」がやや下降している一方、「身近な地域の活動やグループ活動について知らない」がやや上昇しています。

9-5 自身は子育てサークルなど自主的な活動に参加したことがあるか

問 38 あなたは、子育てサークルなど、子育てに関する自主的な活動に参加していますか。
(○は1つ)

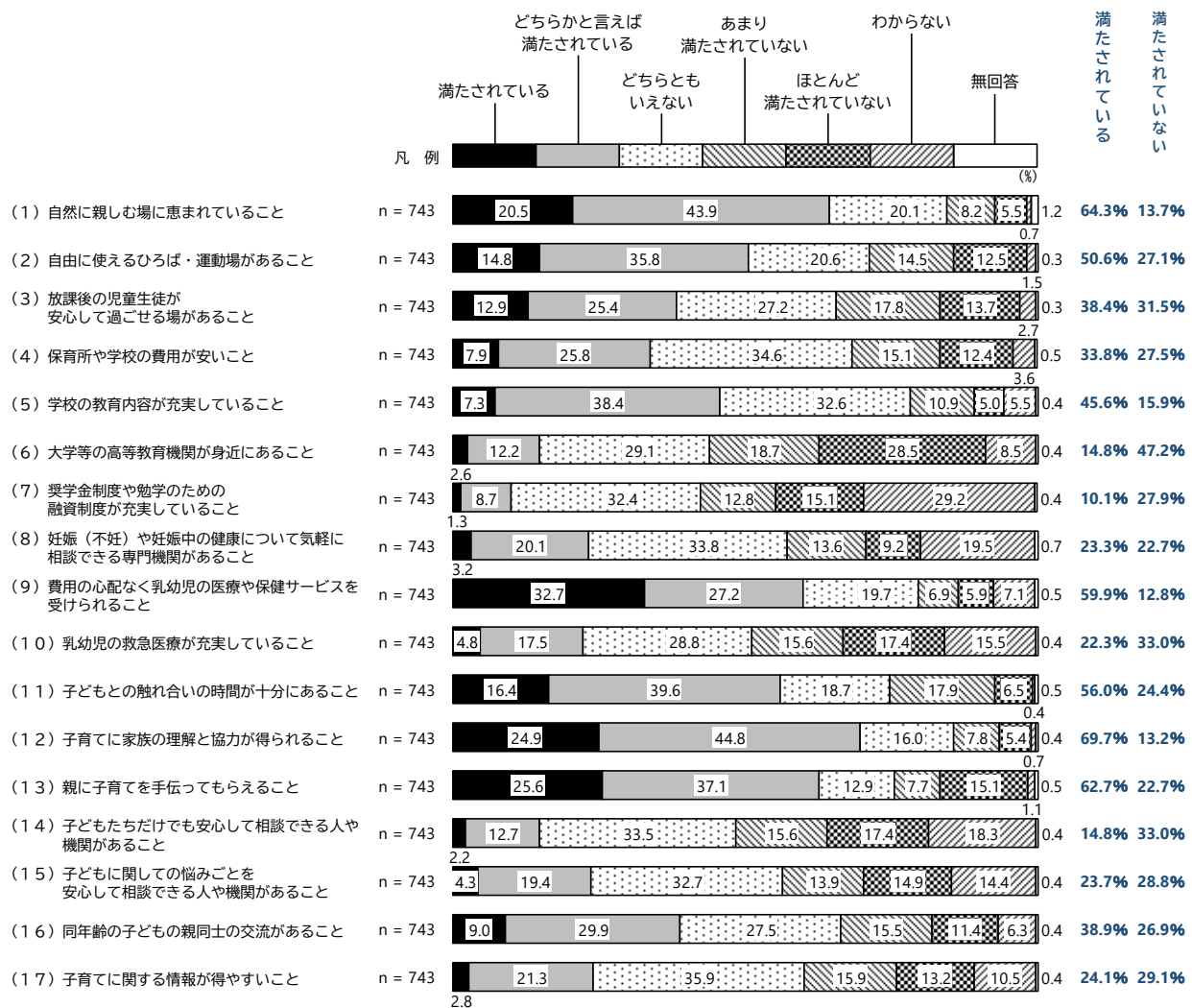


自身は子育てサークルなど自主的な活動に参加したことがあるかについて、全体では「身近な地域のサークルなど自主的な活動について知らない」が36.5%と最も高く、次いで「参加したことも参加する予定もない」(35.1%)、「参加したことがある・参加している」(21.1%)となっています。

平成30年度調査と比較すると、「身近な地域のサークルなど自主的な活動について知らない」が約11ポイント上昇しています。

9-6 子育て環境の満足度

問 39 次の子育て環境の項目について、あなたはどれくらい満足していますか。
 ((1) ~ (17) それぞれについて、○は1つずつ)



子育て環境の満足度について、全体では『(1) 自然に親しむ場に恵まれていること』(12) 子育てに家族の理解と協力が得られること』『(13) 親に子育てを手伝ってもらえること』で《満たされている》(「満たされている」+「どちらかと言えば満たされている」)が6割以上と高くなっています。

一方、『(3) 放課後の児童生徒が安心して過ごせる場があること』『(6) 大学等の高等教育機関が身近にあること』『(10) 乳幼児の救急医療が充実していること』『(14) 子どもたちだけでも安心して相談できる人や機関があること』では、《満たされていない》(「ほとんど満たされていない」+「あまり満たされていない」)が3割以上と高くなっています。

また、子育て環境の満足度について、その回答結果に下表の通り点数を付与することで、加重平均にて得点を算出しました。得点は1点～5点の間に分布し、3点が中間点、5点に近いほど満足度が高いことを表します。

上記の算出結果を、次頁に示します。

配点	5点	4点	3点	2点	1点	点数付与なし
選択肢	満たされている	どちらかと言えば満たされている	どちらともいえない	あまり満たされていない	ほとんど満たされていない	わからない・無回答

算出式	$ \begin{aligned} & (\text{「満たされている」} \times 5点) + (\text{「どちらかと言えば満たされている」} \times 4点) + \\ & (\text{「どちらともいえない」} \times 3点) + (\text{「あまり満たされていない」} \times 2点) + \\ & (\text{「ほとんど満たされていない」} \times 1点) \\ & \text{調査数} - \text{「わからない」の回答数} - \text{無回答者数} \end{aligned} $ = 満足度
-----	--

Ⅲ 小学生保護者調査結果

子育て環境の項目		満足度	満足度 順位
全項目平均		3.13	—
遊び	(1) 自然に親しむ場に恵まれていること	3.67	3
	(2) 自由に使えるひろば・運動場があること	3.26	7
	(3) 放課後の児童生徒が安心して過ごせる場があること	3.06	9
保育・教育	(4) 保育所や学校の費用が安いこと	3.02	10
	(5) 学校の教育内容が充実していること	3.34	6
	(6) 大学等の高等教育機関が身近にあること	2.36	17
	(7) 奨学金制度や勉学のための融資制度が充実していること	2.55	16
保健・医療	(8) 妊娠（不妊）や妊娠中の健康について気軽に相談できる専門機関があること	2.93	11
	(9) 費用の心配なく乳幼児の医療や保健サービスを受けられること	3.80	1
	(10) 乳幼児の救急医療が充実していること	2.72	14
家庭	(11) 子どもとの触れ合いの時間が十分にあること	3.42	5
	(12) 子育てに家族の理解と協力が得られること	3.77	2
	(13) 親に子育てを手伝ってもらえること	3.51	4
地域	(14) 子どもたちだけでも安心して相談できる人や機関があること	2.59	15
	(15) 子どもに関する悩みごとを安心して相談できる人や機関があること	2.82	13
	(16) 同年齢の子どもの親同士の交流があること	3.10	8
	(17) 子育てに関する情報が得やすいこと	2.83	12

前頁に示した方法により子育て環境の満足度得点を算出したところ、全項目の得点平均は3.13点となりました。

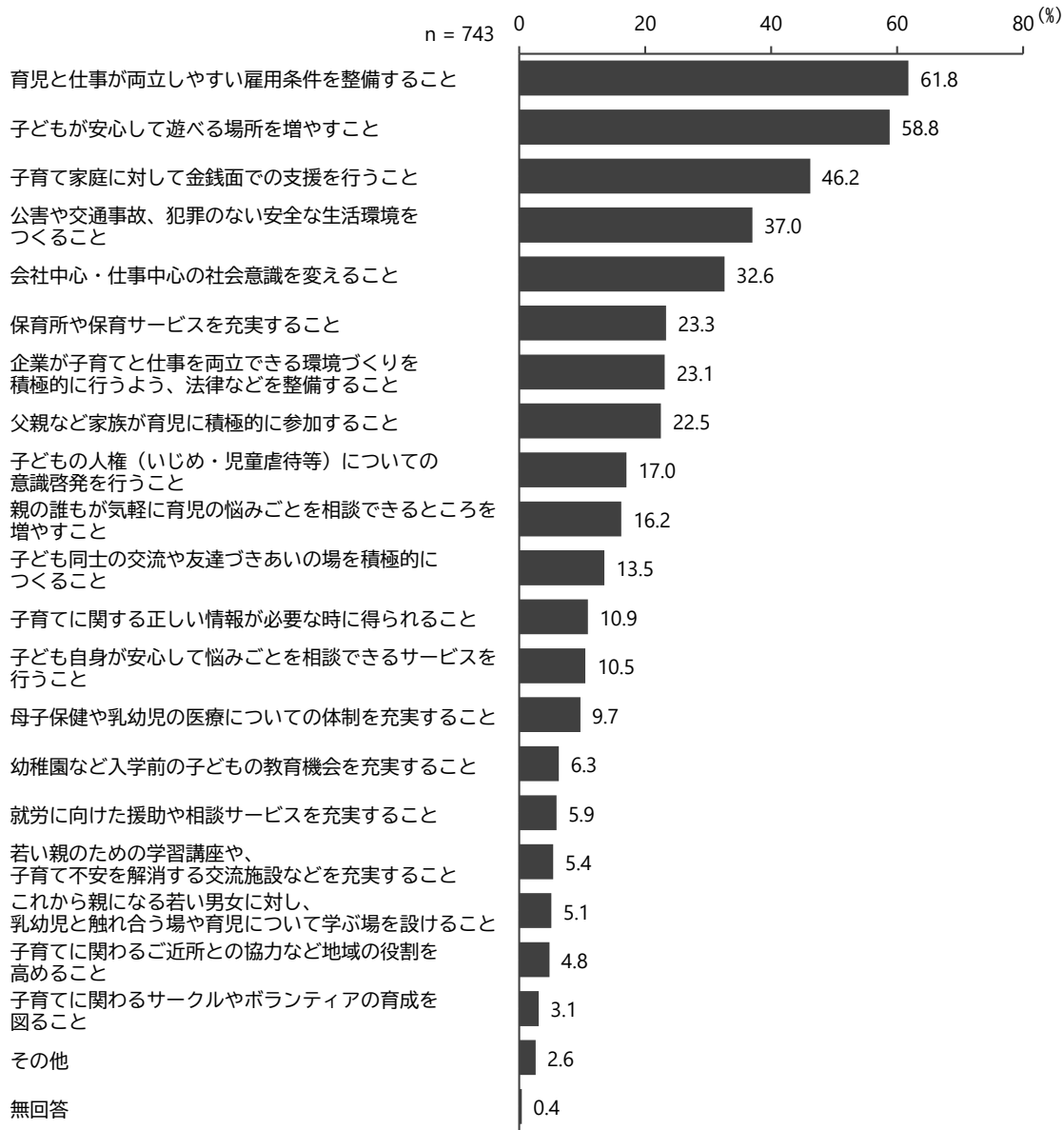
項目別では、『(9) 費用の心配なく乳幼児の医療や保健サービスを受けられること』が3.80点と全項目の中で第1位、『(12) 子育てに家族の理解と協力が得られること』が3.77点で第2位、『(1) 自然に親しむ場に恵まれていること』が3.67点で第3位となり、これらの項目は満足度が高くなっています。

一方、『(14) 子どもたちだけでも安心して相談できる人や機関があること』『(7) 奨学金制度や勉学のための融資制度が充実していること』『(6) 大学等の高等教育機関が身近にあること』は満足度得点の順位が下位3位であり、特に満足度が低くなっています。

分野別では、家庭分野はいずれの項目も全項目の得点平均点（3.13点）を上回っています。一方、地域分野では、いずれの項目も全項目の得点平均点（3.13点）を下回っています。

9-7 安心して子育てのできる環境をつくるために市が注力すべきこと

問 40 子どもたちがすくすく育ち、安心して子育てのできる環境をつくるために、市はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（○は5つまで）



安心して子育てのできる環境をつくるために市が注力すべきことについて、全体では「育児と仕事が両立しやすい雇用条件を整備すること」が61.8%と最も高く、次いで「子どもが安心して遊べる場所を増やすこと」（58.8%）、「子育て家庭に対して金銭面での支援を行うこと」（46.2%）となっています。

9-8 子ども・子育てについての意見

項 目	件 数	
経済的負担	50	
子育て支援	49	
交流・広場・催物・公園	41	
母子保健・医療	34	
学校について	32	
教育・保育の事業・施設等	24	
放課後児童クラブ等・放課後の過ごし方	20	
労働環境	18	
行政全般	14	
相談・情報提供	14	
安心・安全なまちづくり	13	
特に支援が必要な家庭について（ひとり親や障がい児家庭など）	11	
生活環境（商業施設・雪含む）	10	
病児・病後児保育と一時預かり（宿泊を伴うものも含む）	8	
その他	9	
意見合計	347	

※回答者数：197人（「特になし」などの回答は除く）

※1人の回答内容が複数の項目に該当する場合は、それぞれの項目に分類している

子ども・子育てについての意見を自由記述式でたずね、回答のあった意見を分類したところ、「経済的負担」が50件と最も多く、次いで「子育て支援」（49件）、「交流・広場・催物・公園」（41件）となっています。

以下に、主な意見を抜粋して掲載します。

【主な意見】 ※上位5項目

①経済的負担

- ・これから（今年）家族が増える予定です。金銭的な支援や税金・住宅ローン等の減免があると、より助かると思います。子どもたちの充実した未来のために！
- ・物価が高くなるばかり、でも、給与も上がることも少なく、市としての物価高騰への対策も一人親世帯だけでなく、共働き世帯にも平等にしてほしい。共働きだからといって余裕はまったくなく、むしろ足りないぐらいで。もっと共働き世帯にも目を向けてほしい！！
- ・子どもを育てるには、何かとお金がかかります。給食費無料など、少しでも子育て世帯のお金の負担を無くして欲しい。

- ・物価高などに伴い子育て世代は想像以上に金銭的に余裕がありません。旅行や趣味、習い事、連れて行ってあげたい場所、やらせてあげたいこと、すべてを実現できる世帯は限られています。これ以上子どもに我慢させない、子育てを頑張りたいと思える社会であってほしいです。
- ・子育てをするには経済的負担は必要不可欠であると思うので、行政に求めるのは、できるだけ手元にお金が残る様な取り組みをしてもらいたい。仮に子育てに対して給付等があったとしても即日という訳ではないので、子どもを持つ側としては、その安心感の得られる環境を整えてもらいたいです。

②子育て支援

- ・室内の遊び場が少な過ぎる。市のホームページも検索しにくく、正直いわきは子育てのしにくい市だと思います。保護者に意見を聞くだけでなく、子育てしやすいと言われている市や県を参考にして、改善して行ってほしい。
- ・就学支援等受けたい支援があっても、収入により受けられないものが多すぎる。扶養人数による支援があってもいいのではないかな。
- ・子育て世代に対する援助が少なく、子どもを授かりたい気持ちはあっても、思い止まってしまう。
- ・家庭環境はそこご家庭によって様々ですが、金銭的な余裕がないのはひとり親だけではありません。子ども自身が何かを「諦める」ことが無いよう、すべての子育て家庭に平等にご支援いただきたいです。他の行政を例に、小中高大入学の際の御祝い金や、ランドセルの支給など、何か出来ることがあるのではないのでしょうか。
- ・今回、求職活動中の身ですが中々うまくいかず、どこの企業も保育園に通う小さい子どもがいると不採用となることが多い。どうにか子育て中の母親も働きやすい、仕事と両立ができる環境であると助かります。

③交流・広場・催物・公園

- ・子ども達だけで、安心して遊べる場所がいわき市にないこと。そういった場所を増やすことが大事だと思う。
- ・雨の日など外で遊べない時、室内で運動したり遊んだりする場所が少なすぎる。低学年が遊んだりする所は増えているが、高学年が遊んだり運動したりする場所がない。
- ・四倉町、特に大浦地区には公園が少なく、子どもの遊び場がないので困っています。校庭もしくは誰かの家に集って遊ぶことがほとんどです。1ヶ所でも良いので公園を作っていただきたいです。
- ・元気センターのような室内遊び場や、子ども達が自由に遊べる場所、母親が息抜きできる場所をもっと作って欲しいです。特に北部にはほとんどありません。本宮市や郡山市には、無料の室内遊び場や、親子で楽しめる施設が多いです。いわき市は広いので、安全に子ども達が遊べる場所が増えたらいいなと思っています。
- ・これからの子ども達のためになるイベント（楽しみながら学べる、交流できる）大人がいろいろなきっかけを作ってあげる、そんないわき市が理想です。

④母子保健・医療

- ・ # 8 0 0 0 をもっと広めてほしい。いわき市医療センター受診時、時間外加算は医療費とは別に請求されることを周知してほしい。産休中に、上の子が通っている保育園では早番利用ができず、産後1か月すぎから保育園の送迎につれて行くのが大変だった。子どもを育てやすい環境・制度の整備が進んでいけば、もっと安心して子どもを育てられるのではないかと感じています。
- ・ 小児科クリニックの予約が取りにくい。当日、体調が悪くなった時、予約が取れず診てもらえない事もある。
- ・ いわき市内の産科医院が少なすぎる。産科をもっと今よりも増やしてほしいと思う。第1子、第2子共に市内の産科で出産したが、妊娠時の診察の待ち時間が長く、3時間を超える事も数回あって大変だった。
- ・ 子どもの医療については、もう少し安心できる体勢（小児科医の数、小児の専門科の充実、拡大）をお願いします。私もなるべくかかりつけ医を利用し、夜間は緊急以外は利用しないことを心掛けてはいますが…難病を持つ子の親として、専門のお医者さんがいる遠い病院へ通う負担、不安は、生活の中で大きな労力を費しています。少しでも多くの病気を持つ子どもさんが市内で診察、フォローアップをしてもらえることを願っています。
- ・ 発達検査ができる機関を設けてほしいです。個人院はなかなか予約が取れなすぎるため、仕事していると余計難しい。小児発達の医師が少なく、市内に限界を感じます。でも市外も県内外もどこがよいのかわからないのが現状です。たくさん同じ悩みの方はいると思います。

⑤学校について

- ・ 祖父母の協力なしでは、子育て、学校生活を安全に送るのは難しい。学校の帰り道に不審者に遭ったこと、脅迫のメールが来たとの情報があると、安全に生活してもらいたいと思う。子どもだけで放課後家にいるのも危ないと思うことがある。
- ・ 平一小に就学したが、洋式トイレ（ウォシュレット有）で育った為、和式トイレに不慣れである。学校のトイレはほぼ和式でウォシュレットは無い。同世代のお宅はほぼ同じトイレ仕様だと思うので不便に感じている人は多いと思う。どうにかならないのでしょうか。
- ・ 小学校、中学校の給食費の無償化をすすめてほしい。小学校、中学校の教科書以外の学習に必要な物の費用を、抑えて欲しい。補助金や書道や絵の具セットなどを、使い回せるようにし、各家庭で購入しなくてすむようにするなど。
- ・ 屋内の予約がなくても自由に運動できる施設が欲しい(バドミントンやバスケットボール)。今あるものは、クラブなどの団体がメインで利用しているため使いづらい。公園があっても草が生い茂っていたり、高齢者がグラウンドゴルフをしていて追い出されたりして遊べないことがよくある。家庭ではタブレットを利用するなどして、学校に教科書を置いてくることを許可して欲しい。(小中高ともに)カバンが重すぎて、体への負担がとても心配。

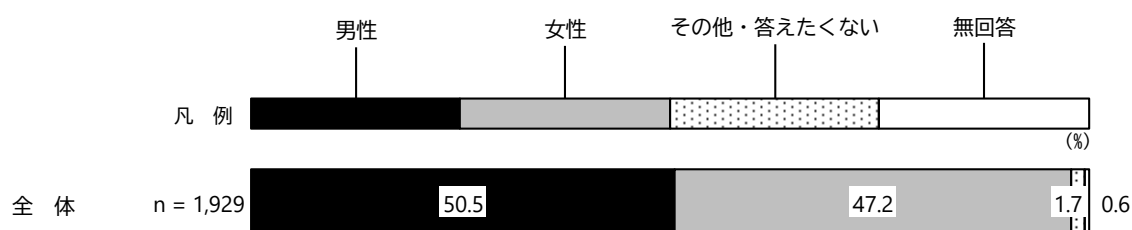
- ・ 中学に入学する時の制服やカバン、テキストなど学校に通うのに必要な物全てをそろえるのに、とてもお金がかかりました。制服に6万円やテキスト代に1万円以上、上ばきや体育館シューズ等にも1万円、細かくあげればキリがないのですが、義務教育で何故こんなにかかるのか、理解できないです。親としては、小、中、高校、できれば大学をスムーズに通わせてあげたいですが、中学校の時点でここまでお金がかかってしまうと…。高校卒業が大学卒業が当然の今…。制服などにここまでお金をかける必要があるのでしょうか…。

IV こどもまんなか調査結果

1 基本的な属性について

1-1 性別

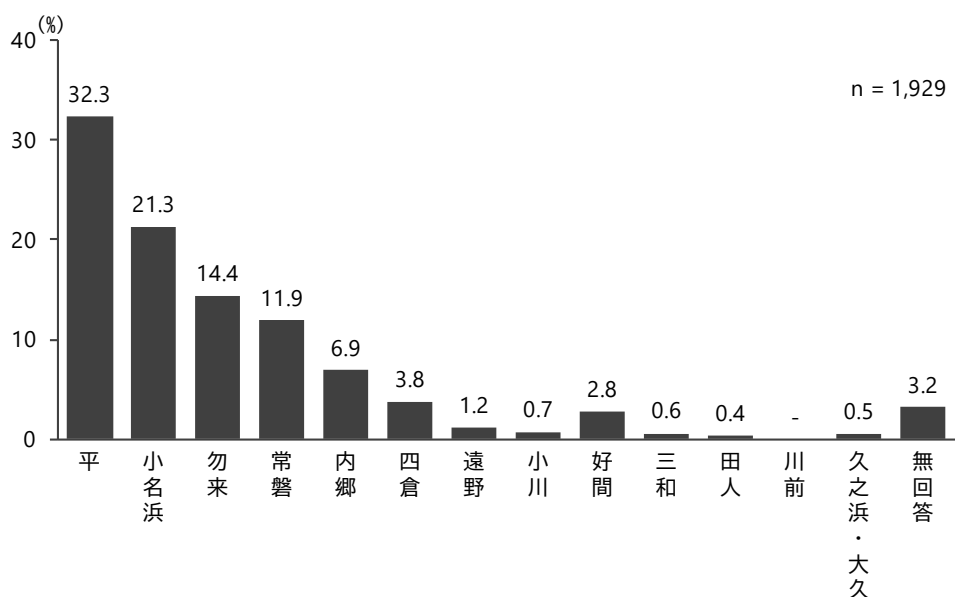
問1 あなたの性別を教えてください。(○は1つ)



性別について、全体では「男性」が50.5%、「女性」が47.2%となっています。

1-2 通学地区

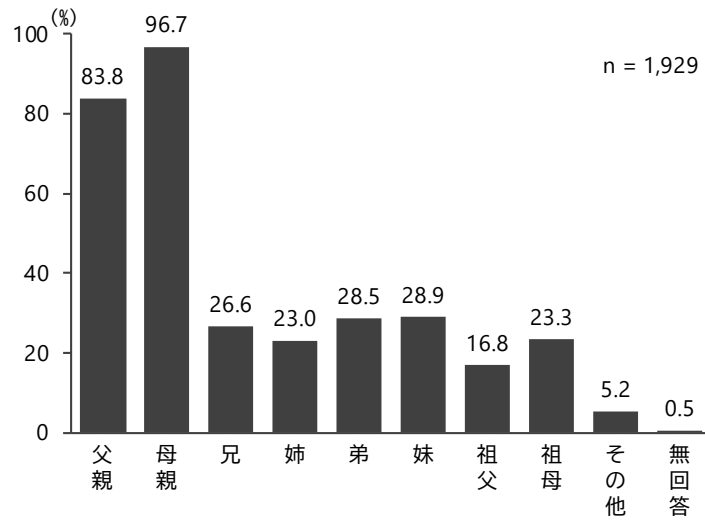
問2 通学している地区はどこですか。(○は1つ)



通学地区について、全体では「平」が32.3%と最も高く、次いで「小名浜」(21.3%)、「勿来」(14.4%)となっています。

1-3 同居家族

問3 一緒に住んでいる家族の方を教えてください。(あてはまるものすべてに○)



同居家族について、全体では「母親」が96.7%、「父親」が83.8%となっています。それ以外の家族（兄弟姉妹、祖父母）と一緒に住んでいる割合は、2～3割ほどとなっています。

2 不安や悩み、「性」のことについて

2-1 不安や悩み

問 4 あなたの不安や悩みはどんなことですか。(あてはまるものすべてに○)

			(%)													
		n	学力について	進路について	友達との付き合い方について	生き方や人生について	部活動について	性格について	家族・家庭について	体のことについて	性のこと	いじめに関すること	放射能のこと	その他	特にない	無回答
全 体		1,929	47.7	36.5	28.8	19.4	17.5	17.0	7.8	7.6	6.1	3.9	0.5	0.6	30.9	1.9
性別	男性	975	41.4	32.3	18.3	15.9	13.7	11.2	4.5	6.1	5.5	2.7	0.5	0.3	38.2	2.2
	女性	911	54.7	41.3	39.5	22.4	21.2	22.2	11.1	9.1	6.1	5.0	0.4	0.8	23.9	0.9
	その他・答えたくない	32	50.0	37.5	50.0	50.0	28.1	46.9	15.6	12.5	21.9	12.5	-	3.1	18.8	-
生活満足度別	0～2	51	64.7	49.0	60.8	52.9	29.4	49.0	41.2	23.5	21.6	19.6	2.0	5.9	5.9	-
	3～4	181	55.8	37.6	47.5	37.0	24.9	32.6	20.4	14.9	11.0	8.8	1.1	0.6	17.1	2.2
	5	238	50.8	36.6	34.5	23.5	17.2	21.0	10.5	7.1	8.4	6.7	0.4	-	24.4	3.4
	6～7	508	54.1	40.6	33.9	22.6	18.9	18.5	6.5	8.7	5.3	3.3	0.4	0.8	24.0	1.6
	8～10	926	40.3	32.9	18.6	11.1	14.1	10.3	3.3	4.5	3.8	1.6	0.3	0.3	40.8	1.6

※生活満足度：最近の生活の満足度を0（まったく満足していない）から10（十分に満足している）の11段階でたずね、その結果を5つに再分類して集計（詳細はP.169 参照）

不安や悩みについて、全体では「学力について」が47.7%と最も高く、次いで「進路について」(36.5%)、「友達との付き合い方について」(28.8%)となっています。

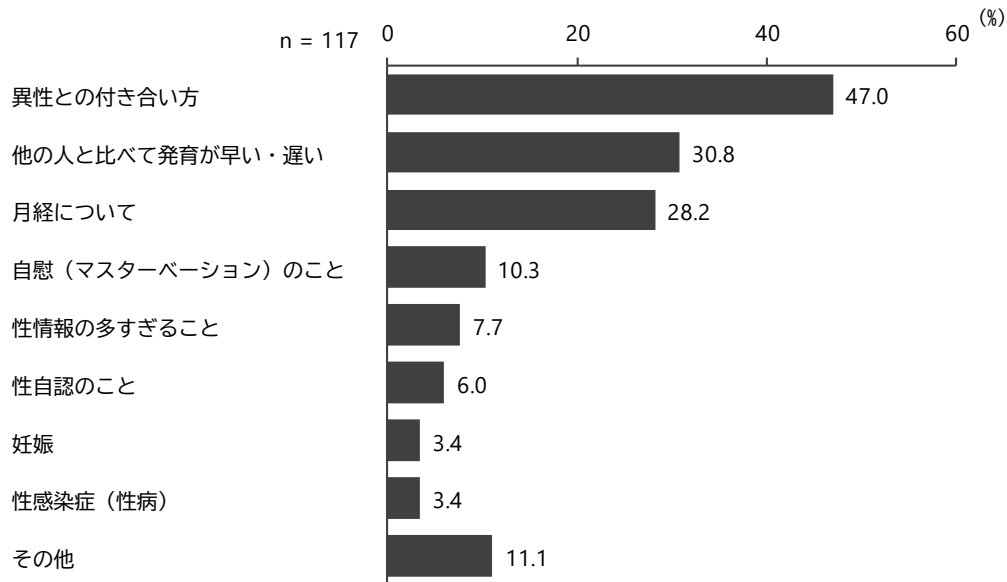
性別にみると、女性では「学力について」「友達との付き合い方について」「性格について」などが男性に比べ高く、特に「友達との付き合い方について」は男性よりも20ポイント以上高くなっています。一方、男性では「特にない」が高くなっており、男性に比べ女性の方が不安や悩みを抱えている傾向があることがうかがえます。

生活満足度別にみると、満足度が低い（数字が小さい）ほど、各項目の回答割合が高い（悩みが多い）傾向があります。特に、「友達との付き合い方について」「生き方や人生について」「性格について」「家族・家庭について」では満足度が低い（数字が小さい）層と高い（数字が大きい）層との差が顕著になっています。

2-2 性についての具体的な悩み

【問4で「性のこと」を選択した方のみ】

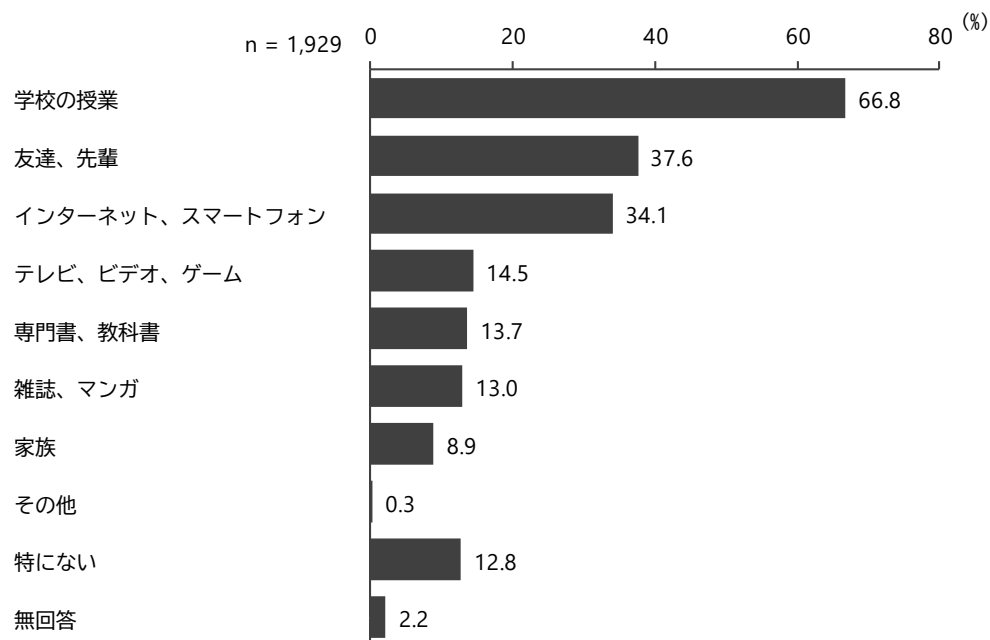
問4① どのようなことに悩んでいますか。(あてはまるものすべてに○)



性についての具体的な悩みについて、全体では「異性との付き合い方」が47.0%と最も高く、次いで「他の人と比べて発育が早い・遅い」(30.8%)、「月経について」(28.2%)となっています。

2-3 性知識の情報源

問5 「性」についての知識はどこから得ていますか。(あてはまるものすべてに○)



性知識の情報源について、全体では「学校の授業」が66.8%と最も高く、次いで「友達、先輩」(37.6%)、「インターネット、スマートフォン」(34.1%)となっています。

2-4 むかついたりイライラしたときの解消法

問6 むかついたり、イライラしたときどのように解消していますか。

(あてはまるものすべてに○)

(%)															
		n	音楽を聴く	携帯やスマホ、パソコンを見る	ゲームをする	友達と話す	運動する	家族に話す	テレビやDVDを見る	人や物にあたる	町をうろつきまわる	その他	いつも解消できない	むかついたり、イライラ	無回答
全 体		1,929	61.7	50.3	46.2	43.0	31.5	22.0	18.0	12.2	4.0	11.0	2.5	2.2	0.8
性別	男性	975	55.1	44.3	59.9	39.9	41.7	13.0	15.3	12.1	4.3	7.8	2.1	3.0	0.8
	女性	911	69.2	56.6	32.1	47.0	20.9	32.4	20.9	12.0	3.5	14.5	2.9	1.1	0.1
	その他・答えたくない	32	65.6	62.5	40.6	34.4	25.0	6.3	25.0	25.0	6.3	12.5	3.1	9.4	-

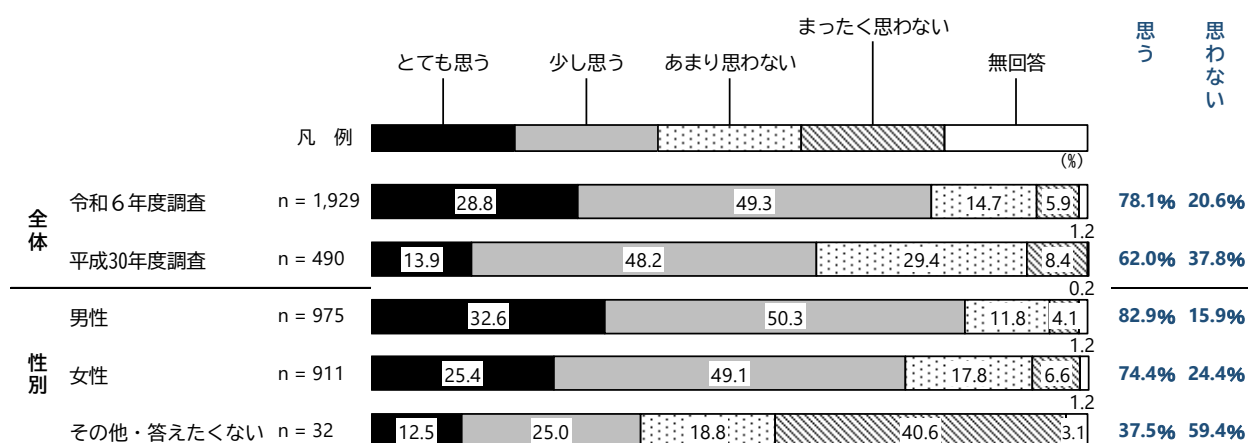
むかついたりイライラしたときの解消法について、全体では「音楽を聴く」が61.7%と最も高く、次いで「携帯やスマホ、パソコンを見る」(50.3%)、「ゲームをする」(46.2%)となっています。

性別にみると、男性では「ゲームをする」「運動する」が女性に比べ20ポイント以上高くなっています。一方、女性では「音楽を聴く」「携帯やスマホ、パソコンを見る」「家族に話す」などが男性に比べ高くなっています。

3 自分の気持ちや考えについて

3-1 自分にはいくつかの良いところがあると思うか

問7 あなたは、自分にはいくつかの良いところがあると思いますか。(○は1つ)



※グラフ右の数値は、類似した2つの選択肢の回答割合の合算値（以下同じ）

（例）思う＝「とても思う」＋「少し思う」

なお、四捨五入の関係で、合算値が個々の回答割合の単純な足し上げ値と一致しない場合がある

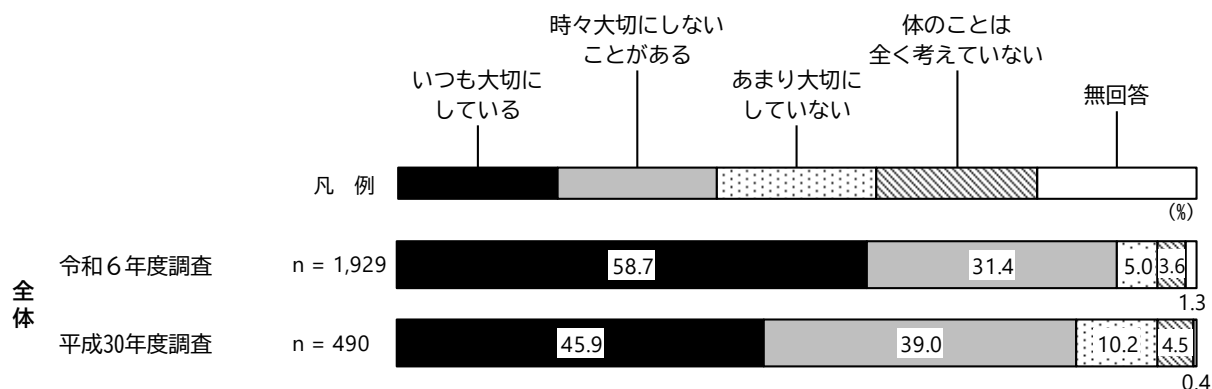
自分にはいくつかの良いところがあると思うかについて、全体では《思う》（「とても思う」＋「少し思う」）が78.1%、《思わない》（「まったく思わない」＋「あまり思わない」）が20.6%となっています。

平成30年度に市内の中学2年生の生徒に対して実施した調査（以下「平成30年度調査」という。）と比較すると、《思う》が約16ポイント上昇しています。

性別にみると、男性では《思う》が82.9%と8割以上であるのに対し、女性では74.4%にとどまっています。

3-2 自分の体を大切にしているか

問 8 あなたは、自分の体を大切にしていますか。(○は1つ)

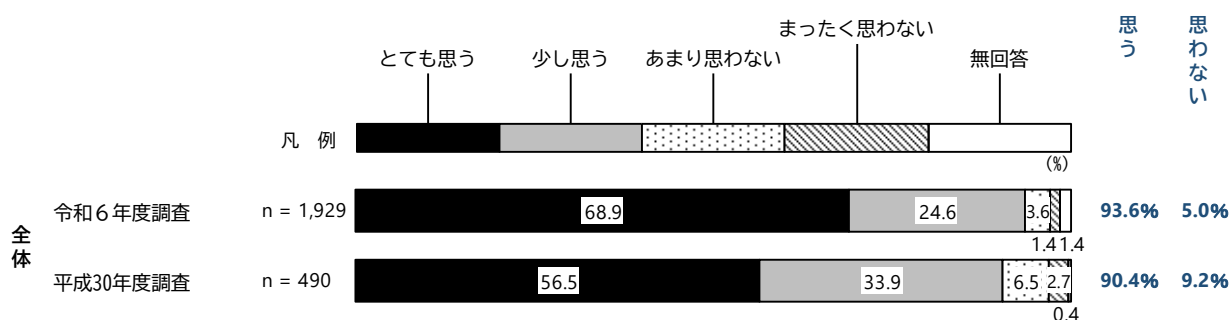


自分の体を大切にしているかについて、全体では「いつも大切にしている」が58.7%と最も高く、次いで「時々大切にしないことがある」(31.4%)となっています。一方、回答割合は低いものの、「あまり大切にしていない」(5.0%)や「体のことは全く考えていない」(3.6%)との回答もみられます。

平成30年度調査と比較すると、「いつも大切にしている」が約13ポイント上昇しています。

3-3 自分は家族に愛されていると思うか

問 9 あなたは家族に愛されていると思いますか。(○は1つ)

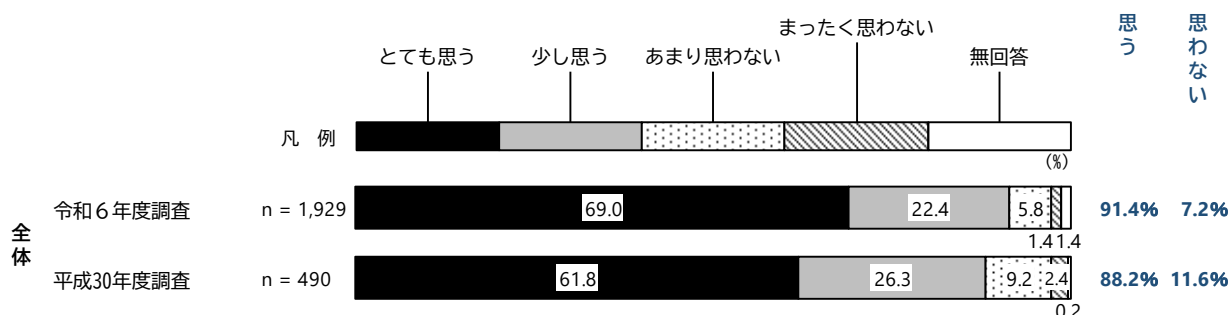


自分は家族に愛されていると思うかについて、全体では《思う》(「とても思う」+「少し思う」)が93.6%と9割以上を占め、《思わない》(「まったく思わない」+「あまり思わない」)は5.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、《思う》や《思わない》に大きな変化はありませんが、「とても思う」が約12ポイント上昇しています。

3-4 自分の家庭は過ごしやすい場所か

問 10 あなたの家庭はあなたにとって過ごしやすい場所ですか。(○は1つ)

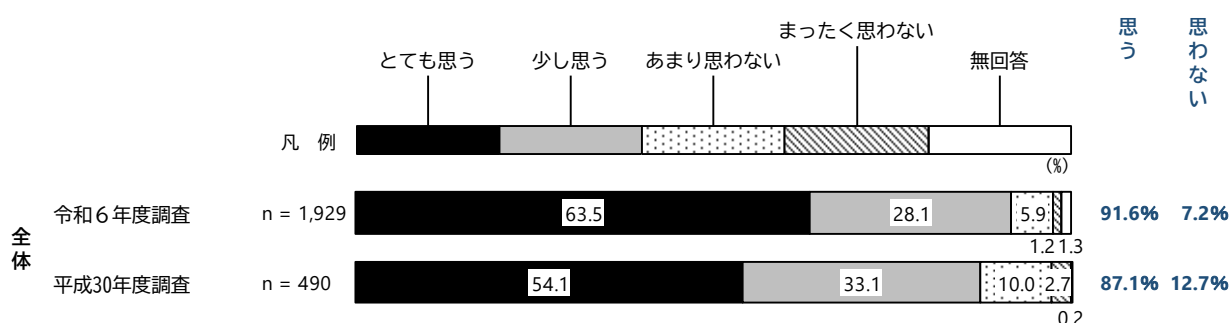


自分の家庭は過ごしやすい場所かについて、全体では《思う》(「とても思う」+「少し思う」)が91.4%と9割以上を占め、《思わない》(「まったく思わない」+「あまり思わない」)は7.2%となっています。

平成30年度調査と比較すると、《思う》や《思わない》に大きな変化はありませんが、「とても思う」が約7ポイント上昇しています。

3-5 居住地域は過ごしやすい場所か

問 11 あなたの住む地域はあなたにとって過ごしやすい場所ですか。(○は1つ)

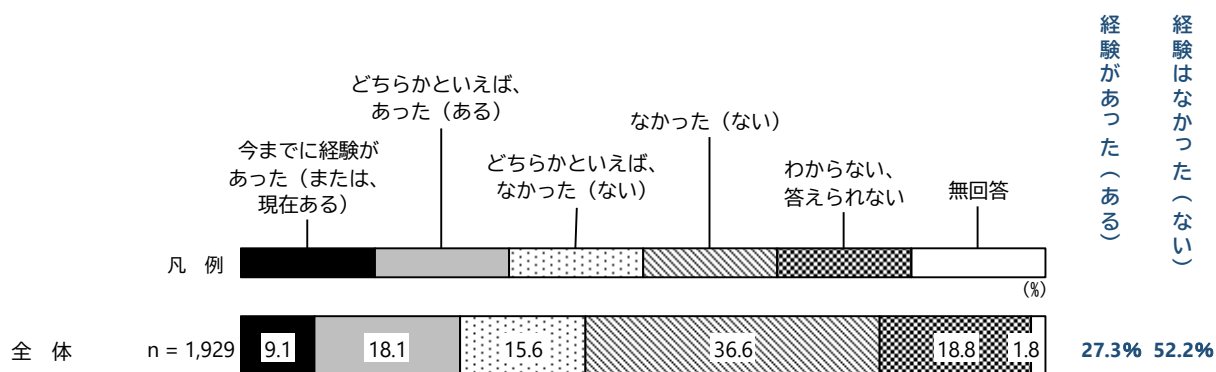


居住地域は過ごしやすい場所かについて、全体では《思う》(「とても思う」+「少し思う」)が91.6%と9割以上を占め、《思わない》(「まったく思わない」+「あまり思わない」)は7.2%となっています。

平成30年度調査と比較すると、《思う》や《思わない》に大きな変化はありませんが、「とても思う」が約9ポイント上昇しています。

3-6 社会生活や日常生活を円滑に送ることができなかった経験があったか

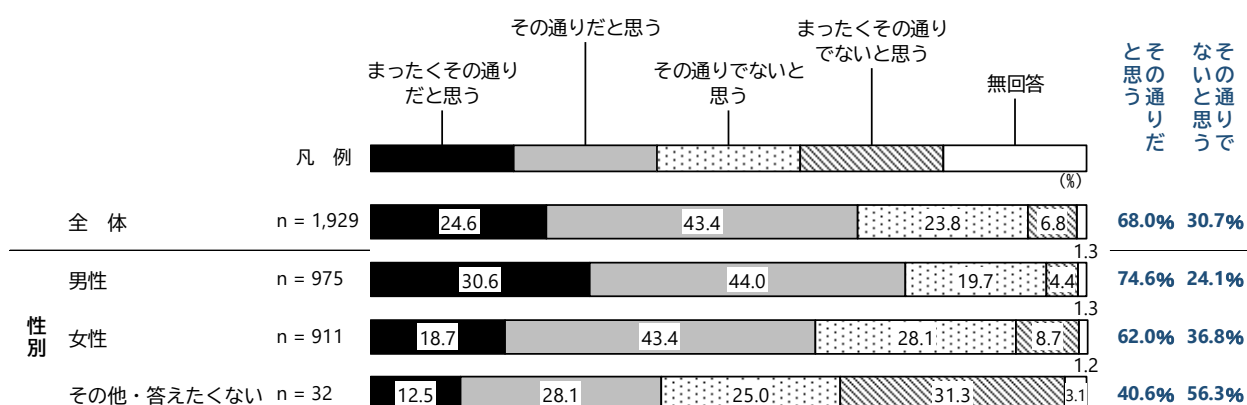
問 12 あなたは今までに、社会生活や日常生活を円滑に送ることができなかった経験がありましたか。または、現在そのような状況がありますか。(〇は1つ)



社会生活や日常生活を円滑に送ることができなかった経験があったかについて、全体では《経験があった（ある）》（「今までに経験があった（または、現在ある）」＋「どちらかといえば、あった（ある）」）が27.3%、《経験はなかった（ない）》（「なかった（ない）」＋「どちらかといえば、なかった（ない）」）が52.2%となっています。

3-7 学校ですぐに友達ができるほうだと思うか

問 13 あなたは学校で、すぐに友達ができるほうだと思いますか。(〇は1つ)

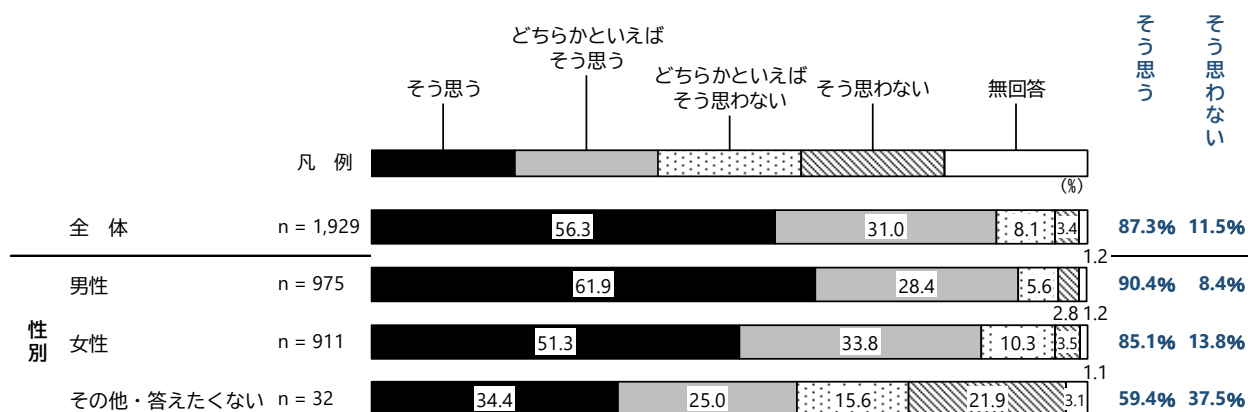


学校ですぐに友達ができるほうだと思うかについて、全体では《その通りだと思う》（「まったくその通りだと思う」＋「その通りだと思う」）が68.0%、《その通りでないと思う》（「まったくその通りでないと思う」＋「その通りでないと思う」）が30.7%となっています。

性別にみると、男性では《その通りだと思う》が74.6%と7割以上であるのに対し、女性では62.0%にとどまっており、10ポイント以上の差がみられます。

3-8 「自分には自分らしさというものがある」と思うか

問 14 あなたは、「自分には自分らしさというものがある」と思いますか。(○は1つ)

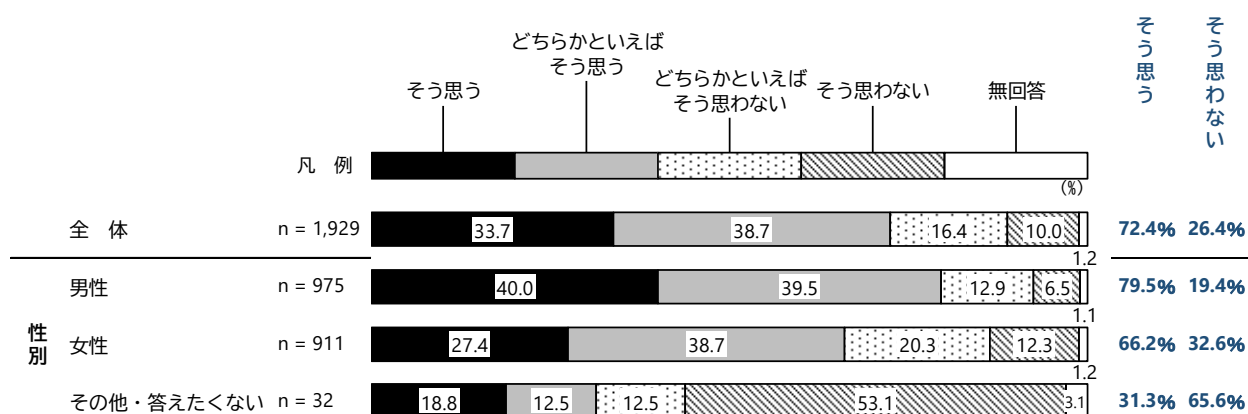


「自分には自分らしさというものがある」と思うかについて、全体では《そう思う》(「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」)が87.3%と9割弱を占め、《そう思わない》(「そう思わない」+「どちらかといえばそう思わない」)は11.5%となっています。

性別にみると、《そう思う》や《そう思わない》に大きな差はありませんが、男性では「そう思う」が女性に比べ10ポイント以上高くなっています。

3-9 今の自分が好きか

問 15 あなたは、今の自分が好きですか。(○は1つ)

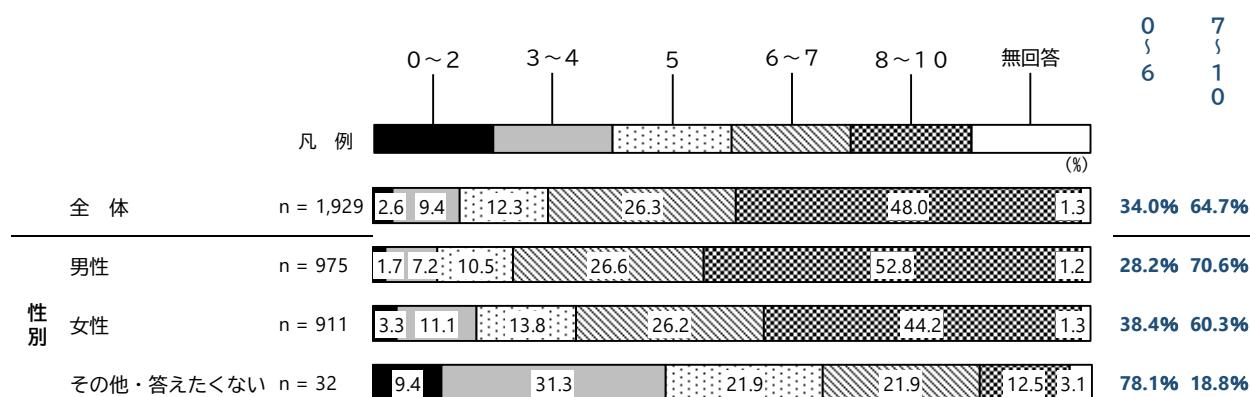


今の自分が好きかについて、全体では《そう思う》(「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」)が72.4%、《そう思わない》(「そう思わない」+「どちらかといえばそう思わない」)が26.4%となっています。

性別にみると、男性では《そう思う》が79.5%と約8割であるのに対し、女性では66.2%にとどまっており、10ポイント以上の差がみられます。

3-10 最近の生活の満足度

問 16 全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。0を「まったく満足していない」、10を「十分に満足している」としたとき、どれぐらいの数字になるか教えてください。(数字に○を1つ)



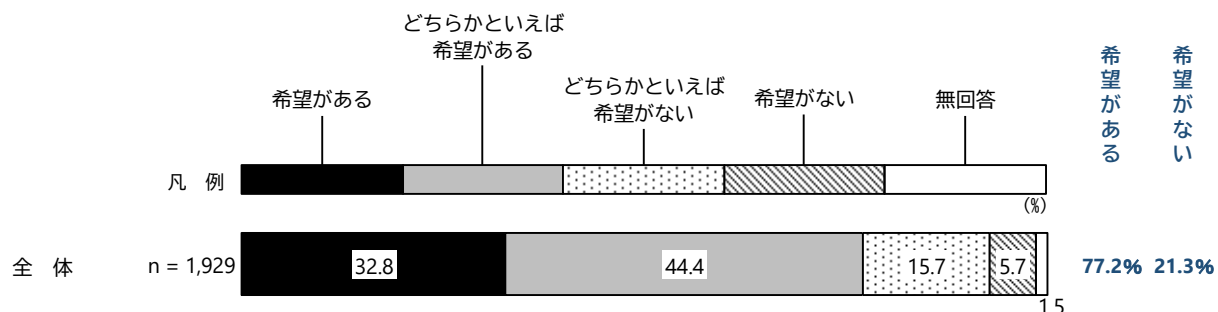
※グラフ右の数値は、こども大綱における数値目標『「生活に満足している」と思うこどもの割合』が、7以上と答えた15歳の割合であることから、参考値として示したもの

最近の生活の満足度について、0(まったく満足していない)から10(十分に満足している)の11段階でたずね、その結果を上記のとおり5つに再分類して集計したところ、「8~10」が48.0%と最も高く、次いで「6~7」が26.3%となり、生活満足度が高い(数字が大きい)回答の割合が高くなっています。一方、回答割合は低いものの、「0~2」(2.6%)や「3~4」(9.4%)との回答もみられます。

性別にみると、男性では「8~10」が女性に比べやや高く、一方で女性では「5」以下の数字の回答割合が男性に比べやや高くなっており、男性よりも女性の方が生活満足度が低い傾向があることがうかがえます。

3-11 自分の将来について明るい希望を持っているか

問 17 あなたは、自分の将来について明るい希望を持っていますか。(○は1つ)

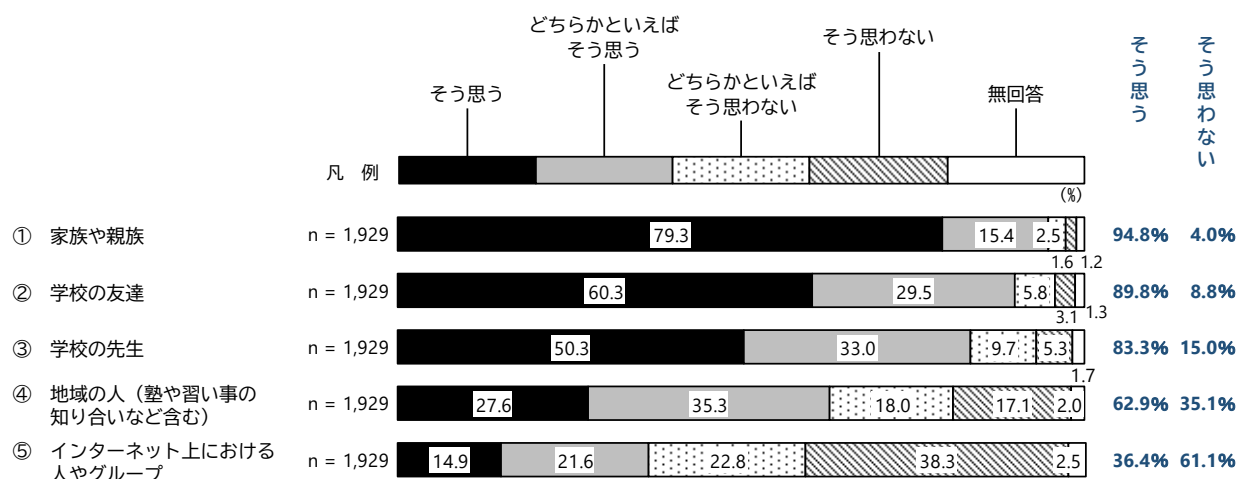


自分の将来について明るい希望を持っているかについて、全体では《希望がある》（「希望がある」＋「どちらかといえば希望がある」）が77.2%、《希望がない》（「希望がない」＋「どちらかといえば希望がない」）が21.3%となっています。

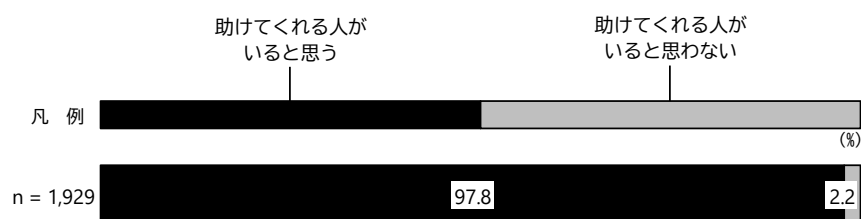
3-12 次のひとたちは困ったときに助けてくれるか

問18 次のひとたちは、あなたが困ったときに助けてくれると思いますか。

(それぞれあてはまる番号1つに○)



①～⑤のいずれか1つ以上で《そう思う》と回答した人を「助けてくれる人があると思う」、それ以外の人を「助けてくれる人があると思わない」として集計

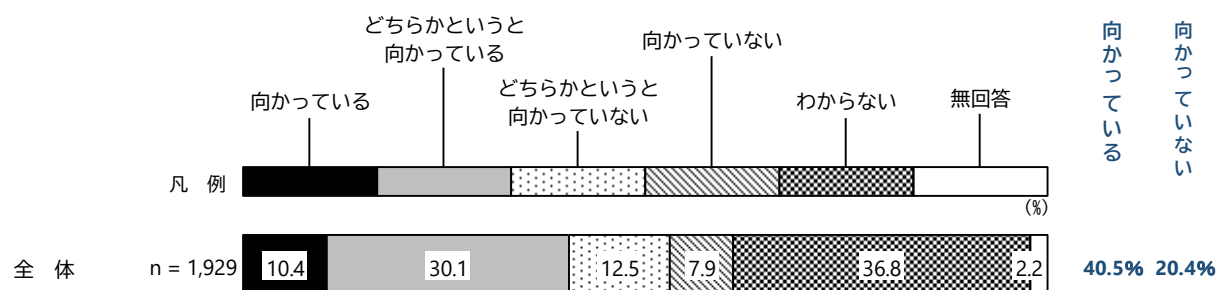


次のひとたちは困ったときに助けてくれるかについて、《そう思う》(「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」)の割合は、『①家族や親族』が94.8%、『②学校の友達』が89.8%、『③学校の先生』が83.3%、『④地域の人(塾や習い事の知り合いなど含む)』が62.9%、『⑤インターネット上における人やグループ』が36.4%となっています。

①～⑤のいずれか1つ以上で《そう思う》と回答した「助けてくれる人があると思う」が97.8%と大多数を占めますが、それ以外の方(助けてくれる人があると思わない方)も一部みられます。

3-13 今の社会は「こどもまんなか社会」の実現に向かっていると思うか

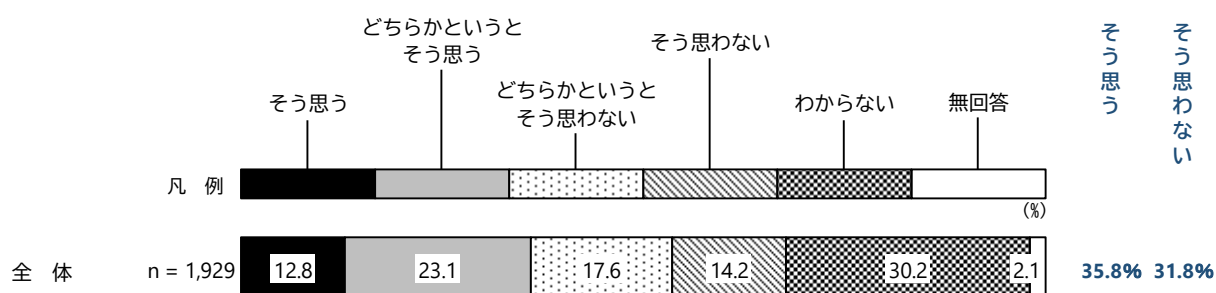
問 19 今の社会は「こどもまんなか社会」の実現に向かっていると思いますか。(○は1つ)



今の社会は「こどもまんなか社会」の実現に向かっていると思うかについて、全体では《向かっている》（「向かっている」＋「どちらかという向かっている」）が40.5%、《向かっていない》（「向かっていない」＋「どちらかという向かっていない」）が20.4%、「わからない」が36.8%となっています。

3-14 こどもに関する政策において自分の意見が聞いてもらえていると思うか

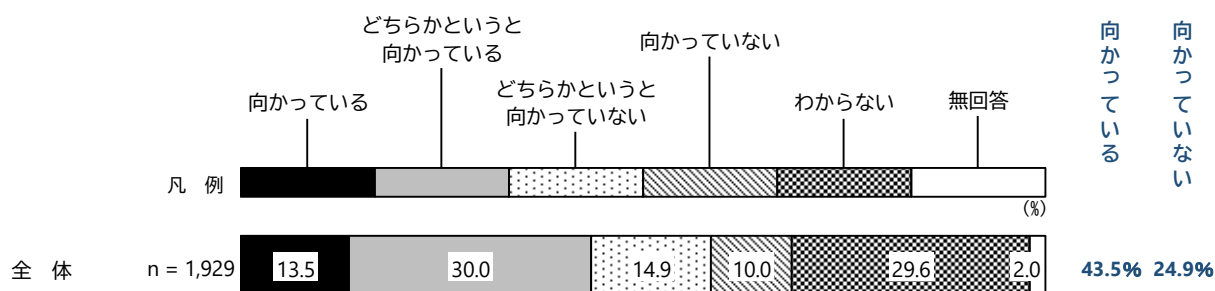
問 20 こどもに関する政策について、自分の意見が聞いてもらえていると思いますか。(○は1つ)



こどもに関する政策において自分の意見が聞いてもらえていると思うかについて、全体では《そう思う》（「そう思う」＋「どちらかというそう思う」）が35.8%、《そう思わない》（「そう思わない」＋「どちらかというそう思わない」）が31.8%、「わからない」が30.2%となっています。

3-15 今の社会は「結婚、妊娠、こども・子育てに温かい社会」の実現に向かっていると思うか

問 21 今の社会は「結婚、妊娠、こども・子育てに温かい社会」の実現に向かっていると思いますか。(○は1つ)



今の社会は「結婚、妊娠、こども・子育てに温かい社会」の実現に向かっていると思うかについて、全体では《向かっている》(「向かっている」+「どちらかという向かっている」)が43.5%、《向かっていない》(「向かっていない」+「どちらかという向かっていない」)が24.9%、「わからない」が29.6%となっています。

4 将来住んでみたい未来のいわき市について

問 22 あなたが、将来暮らしてみたいと思う未来のいわき市の姿を、思いつくまま、ご自由にお書きください。

項 目	件 数	
明るく、楽しく、幸せに暮らせる・平和である	293	
良好なコミュニティがある・人があたたかい・いじめや争いごとがない	262	
商業施設や観光施設、遊ぶところが充実している	236	
生活環境が良好である・美化が行き届いている	191	
安心安全に暮らせる・事故や事件、犯罪がない・災害に強い	175	
都会らしさや便利さがある・人が集まる・活気がある	168	
自然に恵まれている・空気がきれい	134	
生活しやすい・行政がしっかりしている	126	
子どもや若者が暮らしやすい・子育てがしやすい	87	
性別や年齢、障がいなどに関係なく誰もが暮らしやすい	77	
一人ひとりの考えが大事にされる・自由に暮らせる	64	
道路や交通機関などのインフラが整っている	64	
学校の環境が整っている・よい学校生活が送れる	49	
経済的に困らない・収入が得やすい・豊かに暮らせる	47	
文化・スポーツ施設や公園が整っている	43	
今のままでよい・変わらないでほしい	42	
経済活動が盛んである・働く場所が充実している	29	
医療や福祉が整っている	20	
勉強やスポーツに取り組みやすい環境がある	18	
絵や図による回答	91	
その他	28	
意見合計	2,244	

※回答者数：1,348人（「特になし」などの回答は除く）

※1人の回答内容が複数の項目に該当する場合は、それぞれの項目に分類している

将来暮らしてみたいと思う未来のいわき市の姿について自由記述式でたずね、回答のあった意見を分類したところ、「明るく、楽しく、幸せに暮らせる・平和である」が293件と最も多く、次いで「良好なコミュニティがある・人があたたかい・いじめや争いごとがない」（262件）、「商業施設や観光施設、遊ぶところが充実している」（236件）となっています。なお、文章による回答だけでなく、「絵や図による回答」も91件ありました。

次ページ以降に、主な意見を抜粋して掲載します。

【主な意見】 ※上位5項目

①明るく、楽しく、幸せに暮らせる・平和である

- ・誰かが我慢した上に成り立つ幸せじゃなく、人の幸せの上に成り立つ幸せを実現させた社会をみたい。自分や自分と違うだれかどちらも大切に思っていける人たちと笑い合いたい。人の苦しみに目を背けない社会であってほしい。
- ・誰もが幸せで市民全員が心から笑っていただけるいわき。また、他の地域にも幸せを届けられるいわき。
- ・いわき市にいる人全員が「ここで生活することができて幸せ」と思えるような、いわき市で暮らしたい。
- ・子供から大人までが皆笑顔でくらしていけるような未来。皆が支え合って生きていける未来。今の日本がかかえている問題に全力で取り組むいわき市。
- ・平和でみんな助け合い協力し、笑顔が絶えない活気があるいわき市に暮らしたい。

②良好なコミュニティがある・人があたたかい・いじめや争いごとながない

- ・老人から子どもまで仲良く平和に暮らせる。学校などでいじめがない。差別がなくなる。
- ・路上にゴミを捨てないなど常識が守られているもの。大人がニュースなどでよくあるパワハラ、モラハラをしないこと。お年寄り、子供が楽しめる公園。バリアフリーが使われている公園や施設。学校に行くときに横断歩道がないところでも車が一時停止してくれないからしてほしい。
- ・みんなが明るく、助け合いのできるいわき市だと良いなと思う。差別や争いがない平和な地域であり、地域の人々みんなが平等ないわき市だったら良いなと思う。
- ・みんなが仲よくはできないけど、温かい人たちが多いいわき市にしたい。そのためには交流が必要だと思う。だから、地域の人が多く集まれる広場をつくり、そこの集まる場所の準備をいわき市の小中学生が作成して（力を合わせて）そこに地域の人たちが来るとか明るいいわき市で温かいところになりたい。私1人がやったらみんなやってくれるとは限らないけどみんなで支えればいわき市が今よりもっと生き生きとした市になると思う。
- ・いじめがなく、誰もが家族や友達と楽しく、幸せに暮らしていき、誰の子どもも苦しい思いをせずに、大人になっていくようないわき市だといいと思います。

③商業施設や観光施設、遊ぶところが充実している

- ・都市開発が進んで、防犯カメラを増やす。飲食店が減少しすぎているので、おいしい飲食店などを増やしてほしい。古い施設を新しく開設して、新しくしてほしい。百貨店を造り、ショッピングを楽しくさせてほしい。
- ・町のすべての人が、明るく楽しく暮らせるように、子どもから大人まで楽しめる商業施設などの施設があるいわき市。
- ・たくさんのショッピングモールがあり観光地があり、旅行で来る人がいっぱいいる所。人柄がよく、温かい心の持ち主がたくさんいる所。

- ・たくさんの買い物できる場所や遊園地などの遊べる場所があり、みんなが来たいと思うような場所。
- ・どこにでもコンビニがある町。遠野に大きな商業施設、高速道路のりば。美味しい食べ物が沢山ある。オシャレな町にしてほしい。カフェ、ショッピング、デートスポット、駅周辺に勉強できる場所。

④生活環境が良好である・美化が行き届いている

- ・これから生まれてくる子どもたちが、過ごしやすく、いわき市に生まれてよかったって思えるような、いわき市にしてほしいし、道にごみが落ちてるのをよく見かけるので、ごみが少なく、きれいないわき市にしてほしいです！
- ・自然を残しつつ、町の整備をし、ごみをなくし、みんなが笑って過ごせる。そんな地域になってほしい。
- ・どんな人でも暮らしやすい快適なところ。静かで、でも、にぎやかさがあるところ。
- ・海にはごみがなく、CO₂があまりないSDGsに守られた姿が思いつきます。
- ・町がきれいに整備されている。自然豊か、緑が多い。どの年代の人でも、障がいをもっている人でも暮らしやすい。子どもが遊べるところがある。

⑤安心安全に暮らせる・事故や事件、犯罪がない・災害に強い

- ・みんなが助け合って事故や事件などない町にしたいです。若い人が増えて、交通機関をもっと盛んにしてほしいです。
- ・事故やポイ捨て、事件などがなく、みんなが等しい、幸せを送れる、良い町いわき市にしたい（暮らしたい）。
- ・森やみどりを大切に、自然を大切に、よどんだ空気がなく安心・安全にのびのびと暮らせる未来。東日本大震災のような事が二度とくりかえす事がないように政治にたずさわる方々が税金をムダに使用する事なく力を惜しむ事なく全力で作っていくいわき市の姿を期待しています。どうぞよろしくお願いします。
- ・みんなが楽しく安全に暮らせる。力を合わせて助けあったり、困ったことがあったらなんでも聞いてあげられるような人たち。
- ・全ての人が平等で明るくて、「こどもまんなか社会」が実現されている。支援がいろいろなところに行き届いて、あまり不自由なく暮らせる。みんなが安心して暮らせる。

V 使用した調査票

次ページ以降に、本調査で使⽤した調査票を掲載しています。

就学前児童保護者調査票 : P.179~202 参照

小学生保護者調査票 : P.203~218 参照

こどもまんなか調査票 : P.219~225 参照

いわき市 子ども・子育て支援に関するアンケート調査

－ いわきの将来を担う子どもたちのために －

ご回答にあたってのお願い

1. 封筒の宛て名のお子さんについて、お答えください。
2. アンケートは、お子さんの保護者の方がお答えください。「あなた」とはアンケートに回答される方を表します。※保護者以外の方が記入する際は、保護者と相談してご記入いただきますよう、ご協力をお願いします。ひとり親のご家庭などは、各家庭の状況に合わせて該当する設問にご回答ください。
3. 回答の際、あなたのお名前や住所を記入する必要はありません。ご回答いただいた内容は、統計的に処理しますので、どなたの回答内容か特定されることは一切ありません。
4. 回答方法は次の2つのうちどちらか1つの方法で、**令和6年4月30日（火）**までに、ご回答をお願いします（所要時間は30分程です）。

1 パソコン・スマートフォン等によりインターネットで回答

右の二次元コードまたは下記 URL より回答画面にアクセスし、
「整理番号（数字5ケタ）」をご入力の上、画面の指示に従って
ご回答ください。

URL <https://src2.webcas.net/form/pub/src1/iwakikodomo1>



整理番号

インターネット
での回答が便利
です！

2 アンケート用紙（この冊子）に直接記入し、郵送により回答

※重複回答を防ぐための番号です。
個人を特定する番号ではありません

- ▶ 黒か青のボールペンまたは鉛筆でご記入ください。
- ▶ ご回答は、「○は1つ」「あてはまるものすべてに○」などの表記に従って、該当する番号に○をつけてください。
- ▶ 数字で時間（時刻）を記入する場合は、**24時間制（例：午後6時⇒18時）**でご記入ください。
- ▶ 「その他」に○をつけた場合は、その後の（ ）内に具体的な内容をご記入ください。
- ▶ ご記入いただきましたら、同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、郵便ポストにご投函ください。

問い合わせ先

本調査への質問または不明な点がございましたら、下記までお問合せください。

いわき市 こどもみらい部 こどもみらい課

住所：〒970-8686 いわき市平字梅本 21 番地 電話：0246 - 22 - 7483（直通）



1 お子さんご家族の状況についてうかがいます

問1 お子さんの生年月をご記入ください。(数字は一枠に一字)

西暦 年 月生まれ

問2 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。
(○は1つ)

1. 母親 2. 父親 3. その他 ()

問3 あなたの配偶関係についてお答えください。(○は1つ)

1. 配偶者がいる 2. 配偶者はいない

問4 お子さんは何人いらっしゃいますか。(○は1つ)

お2人以上のお子さんがある場合は、末子のお子さんの生年月をご記入ください。

1. 1人 2. 2人 3. 3人 4. 4人 5. 5人以上

末子の生年月 西暦 年 月生まれ

問5 理想としては何人くらいお子さんが欲しいですか。(○は1つ)

1. 1人 2. 2人 3. 3人 4. 4人 5. 5人以上

問6 子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。(○は1つ)

1. 父母ともに 2. 主に母親 3. 主に父親
4. 主に祖父母 5. その他 ()

問7 お子さんとの同居・近居の状況についてお答えください。続柄はお子さんからみた関係です。
(あてはまるものすべてに○)

1. 父母同居 2. 父同居(ひとり親家庭)
3. 母同居(ひとり親家庭) 4. 祖父同居
5. 祖母同居 6. 祖父近居(おおむね30分程で行き来可能)
7. 祖母近居(おおむね30分程で行き来可能) 8. その他 ()

問8 どちらの地区にお住まいですか。(○は1つ)

1. 平 2. 小名浜 3. 勿来 4. 常磐 5. 内郷
6. 四倉 7. 遠野 8. 小川 9. 好間 10. 三和
11. 田人 12. 川前 13. 久之浜・大久

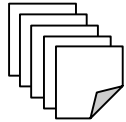
問9 日頃、お子さんのお世話や看病について頼れる人はいますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 日常的に祖父母にみてもらえる
2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母にみてもらえる
3. 日常的に祖父母以外の親族にみてもらえる
4. 緊急時もしくは用事の際には祖父母以外の親族にみてもらえる
5. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる
6. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる
7. 上記以外で、日常的または緊急時にみてもらえる人がいる
(具体的に：)
8. いずれもない

2 保護者の就労状況についてうかがいます

この項目に出てくる「フルタイム」「パート等」とは…

■フルタイム



1 週 5 日程度・
1 日 8 時間程度
の就労



■パート等

フルタイム以外の就労

※問10①～⑥について、ひとり親のご家庭などは、該当する回答欄にのみお答えください。

問10① 保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）についてお答えください。

(母親、父親のそれぞれについて、○は1つ)

母親	父親
1. フルタイムで就労しており、 産休・育休・介護休業中ではない	1. フルタイムで就労しており、 育休・介護休業中ではない
2. フルタイムで就労しているが、 産休・育休・介護休業中である	2. フルタイムで就労しているが、 育休・介護休業中である
3. パート等で就労しており、 産休・育休・介護休業中ではない	3. パート等で就労しており、 育休・介護休業中ではない
4. パート等で就労しているが、 産休・育休・介護休業中である	4. パート等で就労しているが、 育休・介護休業中である
5. 以前は就労していたが、現在は就労して いない	5. 以前は就労していたが、現在は就労して いない
6. これまで就労したことがない	6. これまで就労したことがない

問10②へ

問10⑤へ

【問 10①で「1」～「4」（就労している）を選択した方のみ】

問10② 1週あたりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。（数字は一桁に一字）

※就労日数・時間が一定でない場合は、最も多いパターンについてお答え下さい。

※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

母親	父親
就労日数…1週あたり 日	就労日数…1週あたり 日
就労時間…1日あたり 時間程度	就労時間…1日あたり 時間程度

【問 10①で「1」～「4」（就労している）を選択した方のみ】

問10③ 家を出る時間と帰宅時間をお答えください。（数字は一桁に一字）

※時間が一定でない場合は、最も多いパターンについてお答えください。

※産休・育休・介護休暇中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

母親	父親
家を出る時間 時	家を出る時間 時
帰宅時間 時	帰宅時間 時

<記入例> 家を出る時間 7 時 / 帰宅時間 2 0 時

【問 10①で「3」または「4」（パート等で就労）を選択した方のみ】

※問 10①で「1」または「2」（フルタイムで就労）を選択した方は問 11 へお進みください

問10④ フルタイムへの転換希望はありますか。（母親、父親のそれぞれについて、○は1つ）

母親	父親
1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある 2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない 3. パート等就労を続けることを希望 4. パート等をやめて子育てや家事に専念したい	1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある 2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない 3. パート等就労を続けることを希望 4. パート等をやめて子育てや家事に専念したい

⇒問11へ

【問 10①で「5」または「6」（就労していない）を選択した方のみ】

問10⑤ 就労したいという希望はありますか。

（母親、父親のそれぞれについて、○は1つ。また数字は一桁に一字）

母親	父親
1. 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない） ⇒問 11 へ 2. 1年より先、一番下の子どもが 歳になったところに就労したい 3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	1. 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない） ⇒問 11 へ 2. 1年より先、一番下の子どもが 歳になったところに就労したい 3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい

→ 問 10⑥ へ

【問10⑤で「2」または「3」（就労したい）を選択した方のみ】

問10⑥ 希望する就労形態をお答えください。

（母親、父親のそれぞれについて、○は1つ。また数字は一桁に一字）

母親	父親
1. フルタイム 2. パートタイム等（「フルタイム」以外） ⇒ 1週あたり 日 / 1日あたり 時間	1. フルタイム 2. パートタイム等（「フルタイム」以外） ⇒ 1週あたり 日 / 1日あたり 時間

3 平日の定期的な教育・保育サービスの利用状況についてうかがいます

【再びすべての方におたずねします】

問11 お子さんは現在、平日に幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育のサービス」を利用していますか。（○は1つ）

1. 利用している ⇒ 問11①へ

2. 利用していない ⇒ 次ページ問11③へ

【問11で「1」を選択した方のみ】

問11① 年間を通じて「定期的に」利用しているサービスをお答えください。

（あてはまるものすべてに○）

1. 幼稚園 （通常の就園時間（9時から14時までなど）だけ利用）
2. 幼稚園の預かり保育 （通常の就園時間を延長して定期的に預かるサービス）
3. 認可保育所 （国が定める最低基準に適合した施設で入所の決定を市が行っているもの）
4. 認定こども園 （施設の中に幼稚園と保育所がある施設で入所の決定を施設が行っているもの）
5. 小規模保育施設 （国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員おおむね6～19人のもの）
6. 家庭的保育施設 （保育士などがその自宅などで子どもを預かるサービス）
事業所内保育施設 7. （会社や病院が主に従業員のために子どもを預かる施設。このうち、 はなまる保育園、パライソエンジェル保育園、ゆしまや保育園 <u>以外</u> は「8」を選択してください。）
8. その他の認可外保育施設（企業主導型保育施設含む）
9. ファミリー・サポート・センター （地域住民が子どもを預かるサービス ※13頁の問28「」欄参照）
10. その他（

【問 11 で「1」を選択した方のみ】

問11② 問11①でお答えいただいた教育・保育サービスについて、「現在」および「希望」の利用日数・時間をお答えください。

問11①の選択肢の番号と1週あたり何日、1日あたり何時間（何時から何時まで）かを、□内に具体的な数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

※問11①で4つ以上の教育・保育サービスに○をつけた方は、年間利用日数（時間）が多い3つについてお答え下さい。

ここに問 11①の番号をご記入ください。（例：認可保育所の場合 3 を記入）

記入例 3	現在	1週あたり 5 日	1日あたり 6 時間	(9 時～ 1 5 時)
	希望	1週あたり 5 日	1日あたり 7 時間	(9 時～ 1 6 時)
	現在	1週あたり 日	1日あたり 時間	(時～ 時)
	希望	1週あたり 日	1日あたり 時間	(時～ 時)
	現在	1週あたり 日	1日あたり 時間	(時～ 時)
	希望	1週あたり 日	1日あたり 時間	(時～ 時)
	現在	1週あたり 日	1日あたり 時間	(時～ 時)
	希望	1週あたり 日	1日あたり 時間	(時～ 時)

【問 11 で「2」を選択した方のみ】

問11③ 利用していない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○。また数字は一桁に一字）

1. （子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で）利用する必要がない
2. 子どもの祖父母や親戚の人がみている
3. 近所の人や父母の友人・知人がみている
4. 利用したいが、教育・保育サービスに空きがない
5. 利用したいが、経済的な理由でサービスを利用できない
6. 利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない
7. 利用したいが、サービスの質や場所など、納得できるサービスがない
8. 子どもが小さいため（ 歳くらいになったら利用しようと考えている）
9. その他（ ）

【再びすべての方におたずねします】

問 12① 現在、利用している、利用していないにかかわらず、お子さんの平日の教育・保育サービスとして、「定期的に」利用したいと考えるサービスをお答えください。なお、これらのサービスの利用には、一定の利用者負担が発生します。（あてはまるものすべてに○）

1. 幼稚園
（通常の就園時間（9時から14時までなど）だけ利用）
2. 幼稚園の預かり保育
（通常の就園時間を延長して定期的に預かるサービス）
3. 認可保育所
（国が定める最低基準に適合した施設で入所の決定を市が行っているもの）
4. 認定こども園
（施設の中に幼稚園と保育所がある施設で入所の決定を施設が行っているもの）
5. 小規模保育施設
（国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員おおむね6～19人のもの）
6. 家庭的保育施設
（保育士などがその自宅などで子どもを預かるサービス）
- 事業所内保育施設
7. （会社や病院が主に従業員のために子どもを預かる施設。このうち、はなまる保育園、パライソエンジェル保育園、ゆしまや保育園以外は「8」を選択してください。）
8. その他の認可外保育施設（企業主導型保育施設含む）
9. ファミリー・サポート・センター
（地域住民が子どもを預かるサービス ※13 頁の問 28 「」欄参照）
10. その他（ ）
11. 特に希望なし

【問 12①で「1」または「3」を選択した方のみ】

問 12② お子さんの平日の教育・保育サービスとして、「定期的に」利用したいと考えるサービスは公立・私立のどちらですか。（○は1つ）

（1）幼稚園	1. 公立	2. 私立	3. どちらでもよい
（2）認可保育所	1. 公立	2. 私立	3. どちらでもよい

【問 12①で「1」または「2」に○をつけ、かつ「3」～「10」にも○をつけた方のみ】

問 12③ 特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。（○は1つ）

1. はい	2. いいえ
-------	--------

【再びすべての方におたずねします】

問 13 現在、利用している、利用していないにかかわらず、お子さんの平日の教育・保育サービスを選ぶ際に、重視する点はどのようなことですか。(○は5つまで)

- | | |
|-------------------------------|---------------------------------|
| 1. 自宅の近く | 2. 子どもが将来通う小学校のある居住地区内にあること |
| 3. 職場の近く | 4. 駅の近く |
| 5. 送迎サービスを行っている | 6. 駐車場がある |
| 7. 兄弟姉妹が通っている | 8. 夜間や休日、延長保育に対応している |
| 9. 乳児保育（0歳児）を実施している | 10. 病児や病後児の対応を行っている |
| 11. 施設・設備が清潔で整っている | 12. 部屋や園庭などの面積が広い |
| 13. 給食を提供している | 14. 行事が充実している |
| 15. 地域の評判がよい | 16. 保育料・授業料が安い |
| 17. 園長・保育士・職員スタッフ等の対応や園の印象がよい | 18. 保育だけでなく、さまざまな教育プログラムを提供している |
| 19. 設備が充実している | 20. その他（ ） |

4 こども誰でも通園制度（仮称）についてうかがいます

「こども誰でも通園制度（仮称）」について

国では、保護者が働いていなくてもこどもを保育所などに預けることができるようにする新たな制度「こども誰でも通園制度（仮称）」の検討を進めています。

【制度の対象と内容（現時点での国の想定する試行的事業）】

- 対象児童：保育所等を利用していない0歳6ヶ月から3歳未満の児童
- 預かり施設：保育所、幼稚園、認定こども園等
- 利用方法：事前に児童状況等を認定し、Webシステム上で予約（利用理由は問わない）
- 利用時間：月10時間まで
- 利用料金：1時間400円程度

（注）現時点で国が想定している情報です。今後変更される可能性がありますので、ご了承ください。

問 14 「こども誰でも通園制度（仮称）」が実施された場合、保育施設等を利用しようと思いますか。(○は1つ)

- | | |
|------------|---------------------|
| 1. 利用を希望する | 2. 利用を希望しない ⇒問 14③へ |
|------------|---------------------|

【問 14で「1」を選択した方のみ】

問14① ひと月あたり、どの程度の利用を希望しますか。ひと月の利用時間の上限（10時間）がないものとしてお答えください。(○は1つ)

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 1. 0～3時間 | 2. 4～7時間 | 3. 8～10時間 |
| 4. 11～20時間 | 5. 21～30時間 | 6. 31～40時間 |
| 7. 41～60時間 | 8. 61～80時間 | 9. 81時間以上 |

問14② 利用する目的はどのようなものが想定されますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------------------|---------------------------------|
| 1. リフレッシュのため | 2. 仕事のため |
| 3. 子どもがいると出来ない手続き等のため | 4. 通院のため |
| 5. 子どもの発育を保育者にみてもらいたい
ため | 6. 子どもの体験のため(他の子どもとのふれ
あいなど) |
| 7. その他() | |

【問14で「2」を選択した方のみ】

問14③ 利用を希望しない理由はなんですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------------------------|--|
| 1. 子どもをみてもらうひとがいるため | 2. 一時預かり、ファミリーサポートセンター
などの既存事業で十分に預けられるため |
| 3. 子育て支援拠点や子育てサークルなどの
交流で十分であるため | 4. 利用料金が高いため ⇒問14④へ |
| 5. 子どもを一時的に預けることに不安があ
るため | 6. 手続きが面倒そうであるため |
| 7. その他() | |

【問14③で「4」を選択した方のみ】

問14④ 利用料金がどの程度であれば利用しますか。(○は1つ) ※国の想定では1時間400円程度

- | | |
|----------------|----------------|
| 1. 1時間 300 円程度 | 2. 1時間 200 円程度 |
| 3. 1時間 100 円程度 | 4. 無料 |

5 お子さんの地域の子育て支援サービスの利用状況についてうかがいます

【再びすべての方におたずねします】

問15 いわき市の地域子育て支援拠点事業(「」欄参照)を知っていますか。(○は1つ)

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

地域子育て支援拠点事業とは…

親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、いわき市では子育てサポートセンター(内郷)、社会福祉センター(カンガルーひろば)(平)、小名浜児童センター(小名浜)、こども元気センター(植田)、内郷子育て支援センター(内郷)、チャイルドハウスふくまる(四倉)で行っています。

問16 お子さんは現在、問15の事業を利用していますか。おおよその利用回数(頻度)もご記入ください。(あてはまるものすべてに○。また数字は一枠に一字)

- | | |
|--------------------------------------|---|
| 1. 地域子育て支援拠点事業
(問15の「」欄のいずれかの施設) | ⇒ 1週あたり <input type="text"/> 回 もしくは
1か月あたり <input type="text"/> <input type="text"/> 回程度 |
| 2. その他、いわき市で実施している類似のサービス
(具体名:) | ⇒ 1週あたり <input type="text"/> 回 もしくは
1か月あたり <input type="text"/> <input type="text"/> 回程度 |
| 3. 利用していない | |

問 17 問 15 の事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。おおよその利用回数（頻度）もご記入ください。

（○は1つ。また数字は一桁に一字）

1. 利用していないが、今後利用したい	⇒ 1 週あたり 回 もしくは 1 か月あたり 回程度
2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい	⇒ 1 週あたりさらに 回 もしくは 1 か月あたりさらに 回程度
3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない	

問 18 下記のサービスを知っていたり、これまでに利用したことはありますか。また、今後、利用したいと思いますか。

（サービスごとに、A～Cのそれぞれについて「1. はい」「2. いいえ」いずれかに○）

	A 知っているか	B 利用したことがあるか	C 今後利用したいか
①プレママ・プレパパクラス	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
②マタニティサロン	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
③産前・産後ヘルパー派遣	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
※妊娠・出産・育児期に、育児不安や心身の不調、家事・育児の負担を軽減するため、1 回 3 時間程度、育児・家事援助のためのヘルパーを派遣するサービスです			
④ホームスタート事業	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
※妊娠期から子育て期にかけて、研修を受けた地域の子育て経験者が、不安や悩みを聞いたり、一緒に育児や家事を行う、家庭訪問型の子育て支援を受けるサービスです			
⑤産後ケア事業	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
※産後の身体の回復や育児に不安がある母子を対象に、市が委託している助産所等で育児サポートや授乳相談等を、日帰り等により受けることが出来るサービスです			
⑥母子健康相談	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
※乳幼児の発育・発達、育児の悩みや不安等に対し、専門職による個別相談を行っているサービスです			
⑦授乳（おっぱい）相談	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
※妊娠中から授乳期にある方とお子さまを対象に、母乳やミルクに関する相談に助産師が応じるサービスです			
⑧いわきっ子健やか訪問事業（赤ちゃん訪問）	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
※生後 4 か月までの赤ちゃんのいるすべての家庭に保健師、助産師が訪問し、赤ちゃんの発育・発達の相談や子育てに関する情報提供を行うサービスです			
⑨母子保健コンシェルジュ・子育てコンシェルジュによる相談（市内 7 地区保健福祉センターに配置）	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
⑩おや CoCo アプリ（母子モ）	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ

6 お子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」に利用する教育・保育サービスの利用希望についてうかがいます

問 19 土曜日と日曜日・祝日に、「定期的な」教育・保育サービスの利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。希望がある場合は、利用したい時間帯を 24 時間制でご記入ください。なお、これらのサービスの利用には、一定の利用者負担が発生します。

①土曜日（○は 1 つ。また数字は一枠に一字）

- | | | | |
|-------------------|---|----------|---------------|
| 1. 利用する必要はない | ⇒ | 利用したい時間帯 | □□ 時から □□ 時まで |
| 2. ほぼ毎週利用したい | | | |
| 3. 月に 1～2 回は利用したい | | | |

②日曜・祝日（○は 1 つ。また数字は一枠に一字）

- | | | | |
|-------------------|---|----------|---------------|
| 1. 利用する必要はない | ⇒ | 利用したい時間帯 | □□ 時から □□ 時まで |
| 2. ほぼ毎週利用したい | | | |
| 3. 月に 1～2 回は利用したい | | | |

<記入例> 利用したい時間帯 □ 7 時から 2 0 時まで

【幼稚園を利用されている方のみ】

問 20 夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育サービスの利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を 24 時間制でご記入ください。なお、これらのサービスの利用には、一定の利用者負担が発生します。（○は 1 つ。また数字は一枠に一字）

- | | | | |
|---------------------|---|----------|---------------|
| 1. 利用する必要はない | ⇒ | 利用したい時間帯 | □□ 時から □□ 時まで |
| 2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい | | | |
| 3. 休みの期間中、週に数日利用したい | | | |

7 お子さんの病気の際の対応についてうかがいます

【再びすべての方におたずねします】

問 21 いわき市の病児・病後児保育（「」欄参照）を知っていますか。（○は 1 つ）

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

病児・病後児保育とは…

病気の回復期（回復期に至らない場合でも、症状が安定していれば可）にあり、普段通っている保育所や幼稚園等に通うことができないお子さんを看護師等が一時的にお預かりします。いわき市では、おおはらこどもクリニック（植田）、常磐病院（常磐）、須田医院（平）、洋向台クリニック（小名浜）で行っています。

なお、このサービスの基本料金は無料ですが、一定の実費分の負担が発生する場合があります。

問 22 今後、病児・病後児保育を利用したいと思いますか。（○は 1 つ）

- | | |
|-------------|----------------|
| 1. 利用したいと思う | 2. 利用したいとは思わない |
|-------------|----------------|

【問 11 で「1」と答えた（平日の定期的な教育・保育サービスを利用している）方のみ】

※問 11 で「2」を選択した方は問 24 へお進みください

問 23 この1年間に、お子さんが病気やケガで教育・保育サービスが利用できなかったことはありますか。（○は1つ）

1. あった

2. なかった

⇒問 24 へ

【問 23 で「1」を選択した方のみ】

問 23① お子さんが病気やケガで普段利用している教育・保育サービスが利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法はどれですか。それぞれの日数も□内にご記入ください。
（あてはまるものすべてに○。また数字は一桁に一字）

1. 父親が休んだ	□ □ 日	⇒問 23②へ
2. 母親が休んだ	□ □ 日	
3. （同居者を含む）親族・知人に子どもをみてもらった	□ □ 日	
4. 父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた	□ □ 日	
5. 病児・病後児の保育を利用した （保育所（園）で実施しているサービスを含む）	□ □ 日	⇒問 23③へ
6. ファミリー・サポート・センターを利用した （13 頁の問 28 「」欄参照）	□ □ 日	
7. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	□ □ 日	
8. その他（ ）	□ □ 日	

【問 23① で「1」または「2」を選択した方のみ】

問 23② その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思いましたか。日数についても□内にご記入ください。なお、病児・病後児のためのサービス等の利用には、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。（○は1つ。また数字は一桁に一字）

- | | |
|--------------------------|---------|
| 1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい | ⇒ □ □ 日 |
| 2. 利用したいとは思わない | |

【問 23① で「3」～「8」を選択した方のみ】

問 23③ その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思いましたか。

（○は1つ）

- | |
|-------------------|
| 1. できれば仕事を休んで看たい |
| 2. 休んで看ることは非常に難しい |

8 お子さんの不規則の教育・保育サービスや宿泊を伴う一時預かり等の利用についてうかがいます

【再びすべての方におたずねします】

問 24 いわき市の一時預かり（「」欄参照）を知っていますか。（○は1つ）

1. 知っている

2. 知らない

一時預かりとは…

パート就労等により継続的（週3日程度）に家庭で保育ができない場合、または冠婚葬祭等により緊急・一時的に保育ができない場合に、お子さんを保育所でお預かりしています。なお、サービスの利用には一定の利用者負担が発生します。

問 25 今後、いわき市の一時預かりを利用したいと思いますか。（○は1つ）

1. 利用したいと思う

2. 利用したいとは思わない

問 26 日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不規則の就労等の目的で不規則に利用しているサービスはありますか。1年間の利用日数（おおよそ）も口内にご記入ください。（あてはまるものすべてに○。また数字は一桁に一字）

1. 一時預かり（所属している幼稚園・保育所等以外の児童を一時的に預かるサービス）	□□ 日
2. 幼稚園の預かり保育（所属している幼稚園で通常の就園時間を延長して定期的に預かるサービス）	□□ 日
3. ファミリー・サポート・センター（13頁の問28「」欄参照）	□□ 日
4. トワイライトステイ（13頁の問29「」欄参照）	□□ 日
5. その他（ ）	□□ 日
6. 利用していない	

問 27 私用、親の通院、不規則の就労等の目的で、年間何日くらいサービスを利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について選択し、必要な日数をご記入ください。なおサービスの利用にあたっては、一定の利用者負担が発生します。

（番号と記号あてはまるものすべてに○。数字は一桁に一字）

1. 利用したい	計 □□ 日
ア 私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的	□□ 日
イ 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等	□□ 日
ウ 不規則の就労	□□ 日
エ その他（ ）	□□ 日
2. 利用する必要はない	

問 28 ファミリー・サポート・センター（「」欄参照）を利用したいと思いますか。（○は1つ）

1. 利用したいと思う

2. 利用したいとは思わない

ファミリー・サポート・センターとは…

育児の援助をしてほしい方と援助したい方とで会員を組織し、地域において会員同士で子育てを支援する相互援助活動を行うことを支援するサービスです。いわき市では、いわき市社会福祉施設事業団（病児・病後児や緊急時の場合は、特定非営利活動法人いわき緊急サポートセンター）に委託し実施しています。なお、サービスの利用には一定の利用者負担が発生します。

問 29 トワイライトステイ（「」欄参照）を利用したいと思いますか。（○は1つ）

1. とても利用したい

2. 利用したい

3. あまり利用したくない

4. 利用したくない

5. わからない

トワイライトステイとは…

病気や就労等の理由で保護者が夜遅くまで不在の場合に、お子さんを預かるサービスです。なお、サービスの利用には一定の利用者負担が発生します。

問 30 保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の育児疲れや育児不安、病気など）により、子育て短期支援事業（ショートステイ（「」欄参照））を利用したいと思いますか。利用希望・目的について、該当する番号・記号すべてに○をつけ、利用したい日数の合計と目的別の内訳の日数をご記入ください。（あてはまるものすべてに○。数字は一枠に一字）

1. 利用したい	計	□□泊
ア 冠婚葬祭		□□泊
イ 保護者や家族の育児疲れ・不安		□□泊
ウ 保護者や家族の病気		□□泊
エ その他（ ）		□□泊
2. 利用する必要はない		

ショートステイとは…

病気や出産、泊りがけの用事等の理由で保護者が一時的に家庭で子どもをみることができない場合に、お子さんを預かるサービスです。なお、サービスの利用には一定の利用者負担が発生します。

問 31 現在、ショートステイ・トワイライトステイ事業を実施している施設は小川地区にありますが、他地区での実施を希望しますか。（○は1つ）

1. 希望する（地区：

）

2. 希望しない

9 宛て名のお子さんが5歳以上である方に、小学校就学後の放課後の過ごし方についてうかがいます

※宛て名のお子さんが5歳未満の方は問35へお進みください

問32 小学校生活のうち、低学年（1～3年生）と高学年（4～6年生）のそれぞれについて、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。

あてはまるものすべてを選択し、それぞれ希望する週あたりの日数を数字でご記入ください。（それぞれ数字は一枠に一字）。

※「高学年」については、だいたいのこととなりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

放課後の居場所	低学年（1～3年生）	高学年（4～6年生）
1. 自宅	週に 日くらい	週に 日くらい
2. 祖父母宅や親族宅、友人・知人宅	週に 日くらい	週に 日くらい
3. 習い事 （ピアノ教室、スポーツ少年団、学習塾 など）	週に 日くらい	週に 日くらい
4. 児童センター（児童館）・元気センター	週に 日くらい	週に 日くらい
5. <u>市の委託する放課後児童クラブ（学童保育）</u> （ 欄参照） ※利用を希望する時間も、 <u>24時間制</u> で枠内にご記入ください。	週に 日くらい → 下校時から 時まで	週に 日くらい → 下校時から 時まで
6. <u>市の委託ではない</u> 、学童や塾	週に 日くらい	週に 日くらい
7. ファミリー・サポート・センター	月に 日くらい	月に 日くらい
8. その他（公共施設、公園 など）	週に 日くらい	週に 日くらい

放課後児童クラブ（学童保育）とは…

地域によって学童保育などと呼ばれています。保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、家庭や地域等との連携の下、子どもが主体的な遊びや、生活が可能となるよう放課後児童支援員等が支援を行っています。
なお、放課後児童クラブの利用には、一定の利用者負担が発生します。



市の委託する放課後児童クラブは、上記からアクセスできるページの PDF ファイルをご参照ください（いわき市のホームページに移動します）

【問 32 で「5」を選択した方のみ】

問 33 土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。①土曜日、②日曜・祝日それぞれについてお答えください。

①土曜日（○は1つ。また数字は一枠に一字）

1. 利用する必要はない 2. 低学年（1～3年生）の間は利用したい 3. 高学年（4～6年生）になっても利用したい	⇒	利用したい時間帯
		時から 時まで
<記入例> 利用したい時間帯 7 時から 2 0 時まで		

②日曜・祝日（○は1つ。また数字は一枠に一字）

1. 利用する必要はない 2. 低学年（1～3年生）の間は利用したい 3. 高学年（4～6年生）になっても利用したい	⇒	利用したい時間帯
		時から 時まで

【問 32 で「5」を選択した方のみ】

問 34 夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。
（○は1つ。数字は一枠に一字）

1. 利用する必要はない 2. 低学年（1～3年生）の間は利用したい 3. 高学年（4～6年生）になっても利用したい	⇒	利用したい時間帯
		時から 時まで
<記入例> 利用したい時間帯 7 時から 2 0 時まで		

10 育児休業など職場の両立支援制度についてうかがいます

【再びすべての方におたずねします】

問 35 宛名のお子さんが生まれたとき、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。「取得した（取得中である）」と回答した方は取得（予定）期間も記入ください。

（母親、父親のそれぞれについて、○は1つ。数字は一枠に一字）

母親	父親
1. 働いていなかった ⇒問 36 へ	1. 働いていなかった ⇒問 36 へ
2. 取得した（取得中である）⇒問 35②へ ⇒取得（予定）期間 ヶ月間 又は 日間	2. 取得した（取得中である）⇒問 35②へ ⇒取得（予定）期間 ヶ月間 又は 日間
3. 取得していない ⇒問 35①へ	3. 取得していない ⇒問 35①へ

【問 35 で「3」を選択した方のみ】

問 35① 育児休業を取得していない理由をお答えください。

(母親、父親のそれぞれについて、あてはまるものすべてに○)

母親	父親
1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった	1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった	2. 仕事が忙しかった
3. (産休後に) 仕事に早く復帰したかった	—
4. 仕事に戻るのが難しそうだった	4. 仕事に戻るのが難しそうだった
5. 昇給・昇格などが遅れそうだった	5. 昇給・昇格などが遅れそうだった
6. 収入減となり、経済的に苦しくなる	6. 収入減となり、経済的に苦しくなる
7. 保育所(園)などに預けることができた	7. 保育所(園)などに預けることができた
8. 配偶者が育児休業制度を利用した	8. 配偶者が育児休業制度を利用した
9. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった	9. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
10. 子育てや家事に専念するため退職した	10. 子育てや家事に専念するため退職した
11. 職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)	11. 職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)
12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった	12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
13. 育児休業を取得できることを知らなかった	13. 育児休業を取得できることを知らなかった
14. 産前産後の休暇(産前6週間、産後8週間)を取得できることを知らず、退職した	—
15. その他()	15. その他()

【問 35 で「2」または「3」を選択した方のみ】

問 35② 仕事と子育ての両立支援制度として、職場でどのような制度が整備されていますか。

(母親、父親のそれぞれについて、あてはまるものすべてに○)

母親	父親
1. 育児休業制度	1. 育児休業制度
2. 育児のための短時間勤務制度	2. 育児のための短時間勤務制度
3. 所定外労働(残業)の制限	3. 所定外労働(残業)の制限
4. 育児のための深夜業の制限	4. 育児のための深夜業の制限
5. 始業・終業時刻の繰り上げ・繰り下げ	5. 始業・終業時刻の繰り上げ・繰り下げ
6. フレックスタイム制度	6. フレックスタイム制度
7. 短時間正社員制度	7. 短時間正社員制度
8. テレワーク	8. テレワーク
9. 子育て休暇(有給休暇と別に)	9. 子育て休暇(有給休暇と別に)
10. その他()	10. その他()
11. どのような制度があるかわからない	11. どのような制度があるかわからない

問 35③ 職場の両立支援制度は利用しやすい（しやすかった）ですか。

(母親、父親のそれぞれについて、○は1つ)

母親	父親
1. 利用しやすい（しやすかった）	1. 利用しやすい（しやすかった）
2. 比較的利用しやすい（しやすかった）	2. 比較的利用しやすい（しやすかった）
3. 比較的利用しにくい（しにくかった）	3. 比較的利用しにくい（しにくかった）
4. 利用しにくい（しにくかった）	4. 利用しにくい（しにくかった）
5. わからない	5. わからない
6. 利用するつもりがない（なかった）	6. 利用するつもりがない（なかった）

→問 35 で「2」を選択した方は引き続き問 35④へ、問 35 で「3」を選択した方は問 36 へ

【問 35 で「2」を選択した方のみ】

問 35④ 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。(○は1つ)

(母親、父親のそれぞれについて、あてはまるものすべてに○)

母親	父親
1. 育児休業取得後、職場に復帰した ⇒問 35⑤△	1. 育児休業取得後、職場に復帰した ⇒問 35⑤△
2. 現在も育児休業中である ⇒問 35⑦△	2. 現在も育児休業中である ⇒問 35⑦△
3. 育児休業中に離職した ⇒問 36 △	3. 育児休業中に離職した ⇒問 36 △

【問 35④で「1」を選択した方のみ】

問 35⑤ 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。

また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。(数字は一枠に一字)

母親			父親		
実際の取得期間	歳	ヶ月まで	実際の取得期間	歳	ヶ月まで
希望の取得期間	歳	ヶ月まで	希望の取得期間	歳	ヶ月まで

【問 35⑤で「希望」よりも「実際」の職場復帰が早い方のみ】

問 35⑥ その理由は何ですか。(母親、父親のそれぞれについて、あてはまるものすべてに○)

母親	父親
1. 希望する保育所に入るため 2. 配偶者や家族の希望があったため 3. 経済的な理由で早く復帰する必要があるため 4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため 5. その他（ ）	1. 希望する保育所に入るため 2. 配偶者や家族の希望があったため 3. 経済的な理由で早く復帰する必要があるため 4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため 5. その他（ ）

【問 35④で「2」を選択した方のみ】

問 35⑦ 宛名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。(母親、父親のそれぞれについて、○は1つ)

母親	父親
1. 1歳になるまで育児休業を取得したい	1. 1歳になるまで育児休業を取得したい
2. 1歳になる前に復帰したい	2. 1歳になる前に復帰したい

11 子育てに関する意識や情報収集についてうかがいます

【再びすべての方におたずねします】

問 36 子育てについてどう感じますか。(○は1つ)

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1. 喜びや楽しさを感じる時の方が多い | 2. 不安や辛さを感じる時の方が多い |
| 3. 両方同じくらい | 4. わからない |

問 37 1日の時間の中であなた自身が安らぐ時間はどんな時ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------------|---------------|
| 1. 子どもと遊んだり、触れ合ったりする時間 | 2. 食事の時間 |
| 3. 睡眠の時間 | 4. 家事をしている時間 |
| 5. 仕事をしている時間 | 6. 趣味や娯楽の時間 |
| 7. 入浴の時間 | 8. 子どもが寝ている時間 |
| 9. その他 () | 10. 安らぐ時間はない |

問 38 お子さんが1歳になる以前、どのような不安や悩みがありますか(ありましたか)。

(○は2つまで)

- | | |
|------------------------|------------|
| 1. 授乳や離乳食について | } ⇒ 問 38①へ |
| 2. 体重の増え方について | |
| 3. 泣くことが多く、理由がわからない | |
| 4. 子どもとふたりになると不安感が強まった | |
| 5. 子どもの病気について | |
| 6. 子どもの成長発達について | |
| 7. その他 () | |
| 8. 不安や悩みはない(なかった) | ⇒ 問 39 へ |

【問 38 で「1」～「7」を選択した方のみ】

問 38① どのような方法が解決の助けとなりましたか。(○は2つまで)

- | |
|---------------------------------|
| 1. 同じ悩みを持つ人と話した |
| 2. 子育てサークル等に参加した |
| 3. 配偶者からの精神的支えと育児への手助けがあった |
| 4. 両親、知人、友人からの精神的支えと育児への手助けがあった |
| 5. 専門家からのアドバイスを受けた |
| 6. 子どもを配偶者、知人、友人等に預け、自分の時間を作った |
| 7. 母子保健コンシェルジュ・子育てコンシェルジュに相談した |
| 8. その他 () |
| 9. 解決できなかった |

【一番下のお子さんが1歳以上の方のみ】

※一番下のお子さんが1歳未満の方は問42へお進みください

問39 子育てについてどのような悩みがありますか。(○は2つまで)

- | | |
|--------------------------|-----------------|
| 1. 子どものしつけに関する事 | 2. 子どもの食事に関する事 |
| 3. 子どもの行動に関する事 | 4. 子どもの成長に関する事 |
| 5. 上または下の子どもとのかかわり方に関する事 | 6. 子どもの病気に関する事 |
| 7. 子どもが思い通りにならないこと | 8. 自分の時間がとれないこと |
| 9. 周囲の理解がえられないこと | 10. その他 () |
| 11. 悩みはない | |

問40 子育てについて不安やつらさを感じることはどのようなことですか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1. 経済的負担が大きい | 2. 根気や体力の負担が大きい |
| 3. 親としての自信がない | 4. 自分の自由な時間が持ちにくい |
| 5. 子どもの保育所での生活や友達関係 | 6. 子どもの心身の発達に不安がある |
| 7. 子どもと触れ合う時間がない | 8. 配偶者、家族の協力が得られない |
| 9. 子どもが安全に暮らせる社会でない | 10. 住宅が手狭になる |
| 11. その他 () | 12. 特になし |

問41 子育てに困ったり、悩んだりした時、誰に相談しますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------------------------|------------------|
| 1. 配偶者 | 2. 母または父 |
| 3. 兄弟姉妹 | 4. 親戚 |
| 5. 友人・知人 | 6. 保育士・幼稚園の先生 |
| 7. 行政機関(地区保健福祉センター(保健師・ケースワーカー等)) | 8. 近所の人 |
| 9. 医師・看護師 | 10. 地域の委員や主任児童委員 |
| 11. 母子保健コンシェルジュ・子育てコンシェルジュ | 12. その他 () |
| 13. 特になし | |

【再びすべての方におたずねします】

問42 今の社会は「こどもまんなか社会」の実現に向かっていると思いますか。(○は1つ)

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1. 向かっている | 2. どちらかというに向かっている |
| 3. どちらかというに向かっていない | 4. 向かっていない |
| 5. わからない | |

「こどもまんなか社会」とは…

国では、全てのこどもが健やかに成長でき、将来にわたって幸せに生活できる「こどもまんなか」社会をめざしています。
詳細は同封の「いわき市 子ども・子育て支援に関するアンケート調査－ご協力のおねがい－」をご覧ください。

問 43 今の社会は「結婚、妊娠、こども・子育てに温かい社会」の実現に向かっていると思いますか。(○は1つ)

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1. 向かっている | 2. どちらかというに向かっている |
| 3. どちらかというに向かっていない | 4. 向かっていない |
| 5. わからない | |

問 44 あなたは子育てに関する情報をどこから得ていますか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|--|
| 1. 行政機関（市役所等）の窓口 |
| 2. いわき市の広報紙（広報いわき） |
| 3. いわき市公式ホームページの子育て関連ページ（いわき市子ども・子育て支援サイト等） |
| 4. いわき市が発行する各種パンフレット、ポスター、チラシ等（こどもみらい BOOK 等） |
| 5. 幼稚園・保育施設等が発行しているお知らせ |
| 6. いわきおや CoCo アプリ（母子モ） |
| 7. 民間のスマートフォンアプリ（母子健康手帳アプリ等）やウェブサイト |
| 8. 市の発信する SNS（いわきネウボラ「おや CoCo」 Facebook 等） |
| 9. SNS（X（旧 Twitter）、Instagram、LINE、Facebook 等） ※上記「8」を除く |
| 10. 親族（親、きょうだい等）、友人・知人 |
| 11. 同年代の子どもを持つ子育て仲間 |
| 12. ブログ・チャット・掲示板等のインターネットを通じた子育て仲間 |
| 13. 新聞、テレビ、ラジオ、雑誌 |
| 14. その他（ ） |
| 15. 特に情報を得たことはない |
| 16. どこから情報を得たらよいかわからない |

問 44① いわき市が子育て情報を SNS で発信する場合、情報を受け取りやすい（利用したい）ツールはどれですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------|--------------|
| 1. X（旧 Twitter） | 2. Instagram |
| 3. LINE | 4. Facebook |
| 5. その他（ ） | 6. いずれも利用しない |

12 子育て全般についてうかがいます

問 45 次の（１）～（８）の配偶者間の役割分担をお答えください。

（それぞれ選択肢より１つ選択し、回答欄に記入）

項目	回答欄	選択肢（下記より選び左表回答欄に記入）
（１）ミルク・食事の世話		1. もっぱら妻が行う
（２）お風呂に入れる		2. 主に妻が行うが、夫も手伝う
（３）子どもと遊ぶ		3. 夫も妻も同じように行う
（４）しつけ		4. 主に夫が行うが、妻も手伝う
（５）家事		5. もっぱら夫が行う
（６）送り迎え		6. その他
（７）保育所・学校行事への参加		
（８）乳幼児健診・予防接種に連れて行く		

問 46 ふだん近所の方との交流はありますか。（○は１つ）

- | | |
|-----------|-------------|
| 1. ほとんどない | 2. あいさつをかわす |
| 3. 立ち話をする | 4. その他（ ） |

問 47 子どもを育てていく上で、近所の方にどのようなことを期待しますか。

（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|-------------------------|----------------------|
| 1. 子どもがいけないことをしたら叱ってほしい | 2. 子育てについての相談にのってほしい |
| 3. スポーツや遊びの指導をしてほしい | 4. 急に用事ができた時に預かってほしい |
| 5. その他（ ） | 6. 特にない |

問 48 お子さんがいつも遊ぶ場所（学校・幼稚園・保育所を除く）はどこですか。

（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|--------------|-----------|
| 1. 自分の家 | 2. 友だちの家 |
| 3. 家のまわり | 4. 公園 |
| 5. 児童館等の児童施設 | 6. その他（ ） |



問 49 次の子育て環境の項目について、あなたはどれくらい満足していますか。

((1)～(17)それぞれについて、○は1つつ)

		満 た さ れ て い る	ど ち ら か と 言 え ば 満 た さ れ て い る	ど ち ら と も い え な い	あ ま り 満 た さ れ て い な い	ほ と ん ど 満 た さ れ て い な い	わ か ら な い
記入例⇒		1	2	3	4	5	6
遊び	(1)自然に親しむ場に恵まれていること	1	2	3	4	5	6
	(2)自由に使えるひろば・運動場があること	1	2	3	4	5	6
	(3)放課後の児童生徒が安心して過ごせる場があること	1	2	3	4	5	6
保育・教育	(4)保育所や学校の費用が安いこと	1	2	3	4	5	6
	(5)学校の教育内容が充実していること	1	2	3	4	5	6
	(6)大学等の高等教育機関が身近にあること	1	2	3	4	5	6
	(7)奨学金制度や勉学のための融資制度が充実していること	1	2	3	4	5	6
保健・医療	(8)妊娠(不妊)や妊娠中の健康について気軽に相談できる専門機関があること	1	2	3	4	5	6
	(9)費用の心配なく乳幼児の医療や保健サービスを受けられること	1	2	3	4	5	6
	(10)乳幼児の救急医療が充実していること	1	2	3	4	5	6
家庭	(11)子どもとの触れ合いの時間が十分にあること	1	2	3	4	5	6
	(12)子育てに家族の理解と協力が得られること	1	2	3	4	5	6
	(13)親に子育てを手伝ってもらえること	1	2	3	4	5	6
地域	(14)子どもたちだけでも安心して相談できる人や機関があること	1	2	3	4	5	6
	(15)子どもに関しての悩みごとを安心して相談できる人や機関があること	1	2	3	4	5	6
	(16)同年齢の子どもの親同士の交流があること	1	2	3	4	5	6
	(17)子育てに関する情報が得やすいこと	1	2	3	4	5	6

問 50 子どもたちがすくすく育ち、安心して子育てのできる環境をつくるために、市はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(〇は5つまで)

1. 父親など家族が育児に積極的に参加すること
2. 育児と仕事が両立しやすい雇用条件を整備すること
3. 会社中心・仕事中心の社会意識を変えること
4. 保育所や保育サービスを充実すること
5. 幼稚園など入学前の子どもの教育機会を充実すること
6. 子どもが安心して遊べる場所を増やすこと
7. これから親になる若い男女に対し、乳幼児と触れ合う場や育児について学ぶ場を設けること
8. 若い親のための学習講座や、子育て不安を解消する交流施設などを充実すること
9. 親の誰もが気軽に育児の悩みごとを相談できるところを増やすこと
10. 子ども自身が安心して悩みごとを相談できるサービスを行うこと
11. 子育てに関わるご近所との協力など地域の役割を高めること
12. 子育てに関わるサークルやボランティアの育成を図ること
13. 子ども同士の交流や友達づきあいの場を積極的につくること
14. 公害や交通事故、犯罪のない安全な生活環境をつくること
15. 母子保健や乳幼児の医療についての体制を充実すること
16. 企業が子育てと仕事を両立できる環境づくりを積極的に行うよう、法律などを整備すること
17. 子育て家庭に対して金銭面での支援を行うこと
18. 子どもの人権（いじめ・児童虐待等）についての意識啓発を行うこと
19. 子育てに関する正しい情報が必要な時に得られること
20. 就労に向けた援助や相談サービスを充実すること
21. その他（ ）

問 51 その他、子どものことや子育てについてご意見があればご記入ください。

この度はアンケート調査にご協力いただき、ありがとうございました。

ご記入いただいたアンケートは、
同封の返信用封筒に入れ、4月30日までにお近くのポストにご投函ください。

いわき市 子ども・子育て支援に関するアンケート調査

－ いわきの将来を担う子どもたちのために －

ご回答にあたってのお願い

1. 封筒の宛て名のお子さんについて、お答えください。
2. アンケートは、お子さんの保護者の方がお答えください。「あなた」とはアンケートに回答される方を表します。※保護者以外の方が記入する際は、保護者と相談してご記入いただきますよう、ご協力をお願いします。ひとり親のご家庭などは、各家庭の状況に合わせて該当する設問にご回答ください。
3. 回答の際、あなたのお名前や住所を記入する必要はありません。ご回答いただいた内容は、統計的に処理しますので、どなたの回答内容か特定されることは一切ありません。
4. 回答方法は次の2つのうちどちらか1つの方法で、**令和6年4月30日（火）**までに、ご回答をお願いします（所要時間は30分程です）。

1 パソコン・スマートフォン等によりインターネットで回答

右の二次元コードまたは下記 URL より回答画面にアクセスし、
「整理番号（数字5ケタ）」をご入力の上、画面の指示に従って
ご回答ください。

URL <https://src2.webcas.net/form/pub/src1/iwakikodomo2>



整理番号

インターネット
での回答が便利
です！

2 アンケート用紙（この冊子）に直接記入し、郵送により回答

※重複回答を防ぐための番号です。
個人を特定する番号ではありません

- ▶ 黒か青のボールペンまたは鉛筆でご記入ください。
- ▶ ご回答は、「○は1つ」「あてはまるものすべてに○」などの表記に従って、該当する番号に○をつけてください。
- ▶ 数字で時間（時刻）を記入する場合は、**24時間制（例：午後6時⇒18時）**でご記入ください。
- ▶ 「その他」に○をつけた場合は、その後の（ ）内に具体的な内容をご記入ください。
- ▶ ご記入いただきましたら、同封の返信用封筒（**切手不要**）に入れ、郵便ポストにご投函ください。

問い合わせ先

本調査への質問または不明な点がございましたら、下記までお問合せください。

いわき市 こどもみらい部 こどもみらい課

住所：〒970-8686 いわき市平字梅本 21 番地 電話：0246 - 22 - 7483（直通）



1 お子さんご家族の状況についてうかがいます

問1 お子さんの生年月をご記入ください。(数字は一枠に一字)

西暦 年 月生まれ

問2 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。
(○は1つ)

1. 母親 2. 父親 3. その他 ()

問3 あなたの配偶関係についてお答えください。(○は1つ)

1. 配偶者がいる 2. 配偶者はいない

問4 お子さんは何人いらっしゃいますか。(○は1つ)

お2人以上のお子さんがある場合は、末子のお子さんの生年月をご記入ください。

1. 1人 2. 2人 3. 3人 4. 4人 5. 5人以上

末子の生年月 西暦 年 月生まれ

問5 理想としては何人くらいお子さんが欲しいですか。(○は1つ)

1. 1人 2. 2人 3. 3人 4. 4人 5. 5人以上

問6 子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。(○は1つ)

1. 父母ともに 2. 主に母親 3. 主に父親
4. 主に祖父母 5. その他 ()

問7 お子さんとの同居・近居の状況についてお答えください。続柄はお子さんからみた関係です。
(あてはまるものすべてに○)

1. 父母同居 2. 父同居(ひとり親家庭)
3. 母同居(ひとり親家庭) 4. 祖父同居
5. 祖母同居 6. 祖父近居(おおむね30分程で行き来可能)
7. 祖母近居(おおむね30分程で行き来可能) 8. その他 ()

問8 どちらの地区にお住まいですか。(○は1つ)

1. 平 2. 小名浜 3. 勿来 4. 常磐 5. 内郷
6. 四倉 7. 遠野 8. 小川 9. 好間 10. 三和
11. 田人 12. 川前 13. 久之浜・大久

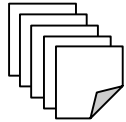
問9 日頃、お子さんのお世話や看病について頼れる人はいますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 日常的に祖父母にみてもらえる
2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母にみてもらえる
3. 日常的に祖父母以外の親族にみてもらえる
4. 緊急時もしくは用事の際には祖父母以外の親族にみてもらえる
5. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる
6. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる
7. 上記以外で、日常的または緊急時にみてもらえる人がいる
(具体的に：)
8. いずれもない

2 保護者の就労状況についてうかがいます

この項目に出てくる「フルタイム」「パート等」とは…

■フルタイム



1 週 5 日程度・
1 日 8 時間程度
の就労



■パート等

フルタイム以外の就労

※問10①～⑥について、ひとり親のご家庭などは、該当する回答欄にのみお答えください。

問10① 保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）についてお答えください。

(母親、父親のそれぞれについて、○は1つ)

母親	父親
1. フルタイムで就労しており、 産休・育休・介護休業中ではない	1. フルタイムで就労しており、 育休・介護休業中ではない
2. フルタイムで就労しているが、 産休・育休・介護休業中である	2. フルタイムで就労しているが、 育休・介護休業中である
3. パート等で就労しており、 産休・育休・介護休業中ではない	3. パート等で就労しており、 育休・介護休業中ではない
4. パート等で就労しているが、 産休・育休・介護休業中である	4. パート等で就労しているが、 育休・介護休業中である
5. 以前は就労していたが、現在は就労して いない	5. 以前は就労していたが、現在は就労して いない
6. これまで就労したことがない	6. これまで就労したことがない

問10②へ

問10⑤へ

【問 10①で「1」～「4」（就労している）を選択した方のみ】

問10② 1週あたりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。（数字は一枠に一字）

※就労日数・時間が一定でない場合は、最も多いパターンについてお答え下さい。

※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

母親	父親
就労日数…1週あたり 日	就労日数…1週あたり 日
就労時間…1日あたり 時間程度	就労時間…1日あたり 時間程度

【問 10①で「1」～「4」（就労している）を選択した方のみ】

問10③ 家を出る時間と帰宅時間をお答えください。（数字は一枠に一字）

※時間が一定でない場合は、最も多いパターンについてお答えください。

※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

母親	父親
家を出る時間 時	家を出る時間 時
帰宅時間 時	帰宅時間 時

<記入例> 家を出る時間 7 時 / 帰宅時間 2 0 時

【問 10①で「3」または「4」（パート等で就労）を選択した方のみ】

※問 10①で「1」または「2」（フルタイムで就労）を選択した方は問 11 へお進みください

問10④ フルタイムへの転換希望はありますか。（母親、父親のそれぞれについて、○は1つ）

母親	父親
1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある 2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない 3. パート等就労を続けることを希望 4. パート等をやめて子育てや家事に専念したい	1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある 2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない 3. パート等就労を続けることを希望 4. パート等をやめて子育てや家事に専念したい

⇒問11へ

【問 10①で「5」または「6」（就労していない）を選択した方のみ】

問10⑤ 就労したいという希望はありますか。

（母親、父親のそれぞれについて、○は1つ。また数字は一枠に一字）

母親	父親
1. 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない） ⇒問 11 へ 2. 1年より先、一番下の子どもが 歳になったところに就労したい 3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	1. 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない） ⇒問 11 へ 2. 1年より先、一番下の子どもが 歳になったところに就労したい 3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい

→ 問 10⑥ へ

【問10⑤で「2」または「3」（就労したい）を選択した方のみ】

問10⑥ 希望する就労形態をお答えください。

（母親、父親のそれぞれについて、○は1つ。また数字は一桁に一字）

母親	父親
1. フルタイム	1. フルタイム
2. パートタイム等（「フルタイム」以外） ⇒1週あたり 日 / 1日あたり 時間	2. パートタイム等（「フルタイム」以外） ⇒1週あたり 日 / 1日あたり 時間

3 お子さんの放課後の過ごし方についてうかがいます

【再びすべての方におたずねします】

問11 いわき市に放課後児童クラブ（学童保育）があることを知っていますか。（○は1つ）

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

放課後児童クラブ（学童保育）とは…

地域によって学童保育などと呼ばれています。保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、家庭や地域等との連携の下、子どもが主体的な遊びや、生活が可能となるよう放課後児童支援員等が支援を行っています。

なお、放課後児童クラブの利用には、一定の利用者負担が発生します。



市の委託する放課後児童クラブは、上記からアクセスできるページの PDF ファイルをご参照ください（いわき市のホームページに移動します）

問12 お子さんの通っている学校には放課後児童クラブ（学童保育）がありますか。（○は1つ）

- | | | |
|-------|-------|----------|
| 1. ある | 2. ない | 3. わからない |
|-------|-------|----------|

問13 お子さんは放課後（平日の小学校終了後）の時間を、現在、どのように過ごしていますか。あてはまるものを選択し、それぞれ週あたりの日数を数字でご記入ください。（あてはまるものすべてに○。また、数字は一桁に一字）

1. 自宅	週に 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週に 日くらい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週に 日くらい
4. 児童センター（児童館）・元気センター	週に 日くらい
5. <u>市の委託する放課後児童クラブ（学童保育）</u> ※利用している時間も、 <u>24時間制</u> で枠内にご記入ください。	週に 日くらい ⇒下校時から 時まで
6. <u>市の委託ではない</u> 、学童や塾	週に 日くらい
7. ファミリー・サポート・センター（7頁の問20「 」欄参照）	月に 日くらい
8. その他（公民館、公園など）	週に 日くらい

問 14 お子さんが小学校4年生・5年生・6年生（高学年）の間は、どのように過ごさせたいですか。あてはまるものを選択し、それぞれ週あたりの日数を数字でご記入ください。

（あてはまるものすべてに○。また、数字は一枠に一字）

※お子さんがすでに小学校4年生・5年生・6年生の場合も、現在の利用の有無や状況に関わらず、ご希望の過ごし方についてご記入下さい。

1. 自宅	週に 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週に 日くらい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週に 日くらい
4. 児童センター（児童館）・元気センター	週に 日くらい
5. <u>市の委託する放課後児童クラブ（学童保育）</u> ※利用している時間も、 <u>24 時間制</u> で枠内にご記入ください。	週に 日くらい ⇒下校時から 時まで
6. <u>市の委託ではない</u> 、学童や塾	週に 日くらい
7. ファミリー・サポート・センター（7 頁の問 20 欄参照）	月に 日くらい
8. その他（公民館、公園など）	週に 日くらい

【お子さんが、小学校4・5・6年生の方のみ】

問 15 市が放課後に行っているサービスを利用させたいですか。現在の利用の有無や状況に関わらず、利用を希望する順に、上位2位まで数字を入れてください。（1 位に1、2 位に2。利用を希望しない場合は選択肢「5」に○）

1. 「児童センター（児童館）・元気センター」を利用させたい	利用希望 位
2. 「放課後児童クラブ（学童保育）」を利用させたい	利用希望 位
3. 校庭開放	利用希望 位
4. その他（ ）	利用希望 位
5. 利用を希望しない	

【再びすべての方におたずねします】

問 16 市の委託する放課後児童クラブ（学童保育） に対してどのように感じていますか。

（あてはまるものすべてに○）

1. 定員を増やしてほしい	2. 利用時間を延長してほしい
3. 利用できる学年を延長してほしい	4. 施設設備を改善してほしい
5. 指導内容を工夫してほしい	6. 利用（育成）料が高い
7. その他（ ）	8. 現在のままでよい
9. わからない	

4 お子さんの病気の際の対応についてうかがいます

問 17 この1年間に、お子さんが病気やケガで学校を休まなければならなかったことはありますか。(○は1つ)

1. あった

2. なかった ⇒問 18へ

【問 17で「1」を選択した方のみ】

問 17① お子さんが病気やケガで学校を休まなければならなかった場合に、この1年間に行った対処方法はどれですか。それぞれの日数も□内にご記入ください。

(あてはまるものすべてに○。また数字は一枠に一字)

1. 父親が休んだ	□ □ 日	⇒問 18へ
2. 母親が休んだ	□ □ 日	
3. (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった	□ □ 日	
4. 父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた	□ □ 日	⇒問 17②へ
5. ファミリー・サポート・センターを利用した (7頁の問 20「」欄参照)	□ □ 日	
6. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	□ □ 日	
7. その他 ()	□ □ 日	

【問 17①で「3」～「7」を選択した方のみ】

問 17② その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思いましたか。

(○は1つ)

1. できれば仕事を休んで看たい

2. 休んで看ることは非常に難しい

【再びすべての方におたずねします】

問 18 いわき市では現在、病児・病後児保育(「」欄参照)は、就学前児童までを対象としていますが、対象年齢が拡大されれば利用したいですか。(○は1つ)

1. 利用したい

2. 利用したくない

病児・病後児保育とは…

病気の回復期(回復期に至らない場合でも、症状が安定していれば可)にあり、普段通っている保育所や幼稚園等に通うことができないお子さんを看護師等が一時的にお預かりします。いわき市では、おおはらこどもクリニック(植田)、常磐病院(常磐)、須田医院(平)、洋向台クリニック(小名浜)で行っています。

なお、このサービスの基本料金は無料ですが、一定の実費分の負担が発生する場合があります。

5 お子さんの不定期の教育・保育サービスや宿泊を伴う一時預かり等の利用についてうかがいます

問 19 私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用しているサービスはありますか。1 年間の利用日数（おおよそ）も□内にご記入ください。

（あてはまるものすべてに○。また数字は一枠に一字）

1. ファミリー・サポート・センター（下記の問 20「□」欄参照）	□□ 日
2. トワイライトステイ（下記の問 21「□」欄参照）	□□ 日
3. その他（ ）	□□ 日
4. 利用していない	

問 20 ファミリー・サポート・センター（「□」欄参照）を利用したいと思いますか。（○は1つ）

- | | |
|-------------|----------------|
| 1. 利用したいと思う | 2. 利用したいとは思わない |
|-------------|----------------|

ファミリー・サポート・センターとは…

育児の援助をしてほしい方と援助したい方で会員を組織し、地域において会員同士で子育てを支援する相互援助活動を行うことを支援するサービスです。いわき市では、いわき市社会福祉施設事業団（病児・病後児や緊急時の場合は、特定非営利活動法人いわき緊急サポートセンター）に委託し実施しています。なお、サービスの利用には一定の利用者負担が発生します。

問 21 トワイライトステイ（「□」欄参照）を利用したいと思いますか。（○は1つ）

- | | | |
|-------------|----------|---------------|
| 1. とても利用したい | 2. 利用したい | 3. あまり利用したくない |
| 4. 利用したくない | 5. わからない | |

トワイライトステイとは…

病気や就労等の理由で保護者が夜遅くまで不在の場合に、お子さんを預かるサービスです。なお、サービスの利用には一定の利用者負担が発生します。

問 22 保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の育児疲れや育児不安、病気など）により、子育て短期支援事業（ショートステイ（「□」欄参照））を利用したいと思いますか。利用希望・目的について、該当する番号・記号すべてに○をつけ、利用したい日数の合計と目的別の内訳の日数をご記入ください。（あてはまるものすべてに○。数字は一枠に一字）

1. 利用したい	計 □□ 泊
ア 冠婚葬祭	□□ 泊
イ 保護者や家族の育児疲れ・不安	□□ 泊
ウ 保護者や家族の病気	□□ 泊
エ その他（ ）	□□ 泊
2. 利用する必要はない	

ショートステイとは…

病気や出産、泊りがけの用事等の理由で保護者が一時的に家庭で子どもをみることができない場合に、お子さんを預かるサービスです。なお、サービスの利用には一定の利用者負担が発生します。

問 23 現在、ショートステイ・トワイライトステイ事業を実施している施設は小川地区にありますが、他地区での実施を希望しますか。(○は1つ)

- | | |
|---------------|----------|
| 1. 希望する(地区:) | 2. 希望しない |
|---------------|----------|

6 児童センター(児童館)・元気センターの利用についてうかがいます

問 24 いわき市に児童センター(児童館)・元気センターがあるのを知っていますか。(○は1つ)

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

問 25 お子さんは、ふだん児童センター(児童館)・元気センターを利用していますか。(○は1つ)

- | | |
|-----------|--------------------|
| 1. 利用している | 2. 利用していない ⇒問 25②へ |
|-----------|--------------------|

→ **【問 25 で「1」を選択した方のみ】**

問 25① 児童センター(児童館)・元気センターへの要望を次の中からお選びください。

(○は3つまで)

- | | |
|--------------------------|---------------------------|
| 1. 赤ちゃんサロン・幼児教室や子育て相談の充実 | 2. 親同士の情報交換や交流の場を設ける |
| 3. 駐車場など利用しやすい環境の整備 | 4. 職員の専門性を高める |
| 5. 子どもの意見を反映させた遊びと行事を行う | 6. 地域の高齢者や障がい者と交流できる行事を行う |
| 7. 施設の改修 | 8. 魅力的な遊具の充実 |
| 9. その他() | 10. 特にない |

【問 25 で「2」を選択した方のみ】

問 25② 児童センター(児童館)・元気センターを利用していない理由を、お選びください。

(○は3つまで)

- | | |
|--------------------------------|--------------------------------|
| 1. どこにあるか知らないから | 2. 遠いから |
| 3. 遊具が少ない・つまらないから | 4. 遊びの種類が少ない・つまらないから |
| 5. 外で遊びたいから | 6. 友達が児童センター(児童館)・元気センターにいないから |
| 7. 上級生が児童センター(児童館)・元気センターにいるから | 8. 施設が狭い・古い(汚い)から |
| 9. 利用できる曜日や時間が合わないから | 10. その他() |
| 11. 特にない | |

【問 25 で「2」を選択した方のみ】

問 25③ 今は利用していないが、今後利用したいと思いますか。(○は1つ)

- | | |
|----------|--------------|
| 1. 利用したい | 2. 利用する予定はない |
|----------|--------------|

7 育児休業など職場の両立支援制度についてうかがいます

【再びすべての方におたずねします】

問 26 宛名のお子さんが生まれたとき、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。「取得した（取得中である）」と回答した方は取得（予定）期間も記入ください。

（母親、父親のそれぞれについて、○は1つ。数字は一桁に一字）

母親	父親
1. 働いていなかった ⇒問 27 △	1. 働いていなかった ⇒問 27 △
2. 取得した（取得中である）⇒問 26②△ ⇒取得（予定）期間 □□ヶ月間 又は □□日間	2. 取得した（取得中である）⇒問 26②△ ⇒取得（予定）期間 □□ヶ月間 又は □□日間
3. 取得していない ⇒問 26①△	3. 取得していない ⇒問 26①△

【問 26 で「3」を選択した方のみ】

問 26① 育児休業を取得していない理由をお答えください。

（母親、父親のそれぞれについて、あてはまるものすべてに○）

母親	父親
1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった	1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった	2. 仕事が忙しかった
3. （産休後に）仕事に早く復帰したかった	—
4. 仕事に戻るのが難しそうだった	4. 仕事に戻るのが難しそうだった
5. 昇給・昇格などが遅れそうだった	5. 昇給・昇格などが遅れそうだった
6. 収入減となり、経済的に苦しくなる	6. 収入減となり、経済的に苦しくなる
7. 保育所（園）などに預けることができた	7. 保育所（園）などに預けることができた
8. 配偶者が育児休業制度を利用した	8. 配偶者が育児休業制度を利用した
9. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった	9. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
10. 子育てや家事に専念するため退職した	10. 子育てや家事に専念するため退職した
11. 職場に育児休業の制度がなかった （就業規則に定めがなかった）	11. 職場に育児休業の制度がなかった （就業規則に定めがなかった）
12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった	12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
13. 育児休業を取得できることを知らなかった	13. 育児休業を取得できることを知らなかった
14. 産前産後の休暇（産前6週間、産後8週間）を取得できることを知らず、退職した	—
15. その他（ ）	15. その他（ ）

【問 26 で「2」または「3」を選択した方のみ】

問 26② 仕事と子育ての両立支援制度として、職場でどのような制度が整備されていますか。

(母親、父親のそれぞれについて、あてはまるものすべてに○)

母親	父親
1. 育児休業制度	1. 育児休業制度
2. 育児のための短時間勤務制度	2. 育児のための短時間勤務制度
3. 所定外労働（残業）の制限	3. 所定外労働（残業）の制限
4. 育児のための深夜業の制限	4. 育児のための深夜業の制限
5. 始業・終業時刻の繰り上げ・繰り下げ	5. 始業・終業時刻の繰り上げ・繰り下げ
6. フレックスタイム制度	6. フレックスタイム制度
7. 短時間正社員制度	7. 短時間正社員制度
8. テレワーク	8. テレワーク
9. 子育て休暇（有給休暇と別に）	9. 子育て休暇（有給休暇と別に）
10. その他（ ）	10. その他（ ）
11. どのような制度があるかわからない	11. どのような制度があるかわからない

問 26③ 職場の両立支援制度は利用しやすい（しやすかった）ですか。

(母親、父親のそれぞれについて、○は1つ)

母親	父親
1. 利用しやすい（しやすかった）	1. 利用しやすい（しやすかった）
2. 比較的利用しやすい（しやすかった）	2. 比較的利用しやすい（しやすかった）
3. 比較的利用しにくい（しにくかった）	3. 比較的利用しにくい（しにくかった）
4. 利用しにくい（しにくかった）	4. 利用しにくい（しにくかった）
5. わからない	5. わからない
6. 利用するつもりがない（なかった）	6. 利用するつもりがない（なかった）

8 子育てに関する意識や情報収集についてうかがいます

【再びすべての方におたずねします】

問 27 子育てについてどう感じますか。(○は1つ)

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1. 喜びや楽しさを感じる時の方が多い | 2. 不安や辛さを感じる時の方が多い |
| 3. 両方同じくらい | 4. わからない |

問 28 1日の時間の中であなた自身が安らぐ時間はどんな時ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------------|---------------|
| 1. 子どもと遊んだり、触れ合ったりする時間 | 2. 食事の時間 |
| 3. 睡眠の時間 | 4. 家事をしている時間 |
| 5. 仕事をしている時間 | 6. 趣味や娯楽の時間 |
| 7. 入浴の時間 | 8. 子どもが寝ている時間 |
| 9. その他（ ） | 10. 安らぐ時間はない |

問 29 子育てについて不安やつらさを感じることはどのようなことですか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------------|--------------------|
| 1. 経済的負担が大きい | 2. 根気や体力の負担が大きい |
| 3. 親としての自信がない | 4. 自分の自由な時間が持ちにくい |
| 5. 子どもの学校生活や交友関係に不安がある | 6. 子どもの心身の発達に不安がある |
| 7. 子どもと触れ合う時間がない | 8. 配偶者、家族の協力が得られない |
| 9. 子どもが安全に暮らせる社会でない | 10. 住宅が手狭になる |
| 11. その他 () | 12. 特にない |

問 30 子育てに困ったり、悩んだりした時、誰に相談しますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------------------------|------------------|
| 1. 配偶者 | 2. 母または父 |
| 3. 兄弟姉妹 | 4. 親戚 |
| 5. 友人・知人 | 6. 学校の先生 |
| 7. 行政機関（地区保健福祉センター（保健師・ケースワーカー等）） | 8. 近所の人 |
| 9. 医師・看護師 | 10. 地域の委員や主任児童委員 |
| 11. 子育てコンシェルジュ
（市内7地区保健福祉センターに配置） | 12. その他 () |
| 13. 特にない | |

問 31 今の社会は「こどもまんなか社会」の実現に向かっていると思いますか。(○は1つ)

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1. 向かっている | 2. どちらかというに向かっている |
| 3. どちらかというに向かっていない | 4. 向かっていない |
| 5. わからない | |

「こどもまんなか社会」とは…

国では、全てのこどもが健やかに成長でき、将来にわたって幸せに生活できる「こどもまんなか」社会をめざしています。
詳細は同封の「いわき市 子ども・子育て支援に関するアンケート調査－ご協力のおねがい－」をご覧ください。

問 32 今の社会は「結婚、妊娠、こども・子育てに温かい社会」の実現に向かっていると思いますか。(○は1つ)

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1. 向かっている | 2. どちらかというに向かっている |
| 3. どちらかというに向かっていない | 4. 向かっていない |
| 5. わからない | |

問 33 あなたは子育てに関する情報をどこから得ていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 行政機関（市役所等）の窓口
2. いわき市の広報紙（広報いわき）
3. いわき市公式ホームページの子育て関連ページ（いわき市子ども・子育て支援サイト等）
4. いわき市が発行する各種パンフレット、ポスター、チラシ等（こどもみらい BOOK 等）
5. 学校が発行しているお知らせ
6. いわきおや CoCo アプリ（母子モ）
7. 民間のスマートフォンアプリ（母子健康手帳アプリ等）やウェブサイト
8. 市の発信する SNS（いわきネウボラ「おや CoCo」 Facebook 等）
9. SNS（X（旧 Twitter）、Instagram、LINE、Facebook 等） ※上記「8」を除く
10. 親族（親、きょうだい等）、友人・知人
11. 同年代の子どもを持つ子育て仲間
12. ブログ・チャット・掲示板等のインターネットを通じた子育て仲間
13. 新聞、テレビ、ラジオ、雑誌
14. その他（ ）
15. 特に情報を得たことはない
16. どこから情報を得たらよいかわからない

問 33① いわき市が子育て情報を SNS で発信する場合、情報を受け取りやすい（利用したい）ツールはどれですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------|--------------|
| 1. X（旧 Twitter） | 2. Instagram |
| 3. LINE | 4. Facebook |
| 5. その他（ ） | 6. いずれも利用しない |



9 子育て全般についてうかがいます

問 34 次の（１）～（６）の配偶者間の役割分担をお答えください。

（それぞれ選択肢より１つ選択し、回答欄に記入）

項目	回答欄	選択肢（下記より選び左表回答欄に記入）
（１）子どもの身の回りの世話		1. もっぱら妻が行う
（２）しつけ		2. 主に妻が行うが、夫も手伝う
（３）子どもと遊ぶ		3. 夫も妻も同じように行う
（４）学校行事への参加		4. 主に夫が行うが、妻も手伝う
（５）家事		5. もっぱら夫が行う
（６）送り迎え		6. その他

問 35 ふだん近所の方との交流はありますか。（○は１つ）

- | | |
|-----------|-------------|
| 1. ほとんどない | 2. あいさつをかわす |
| 3. 立ち話をする | 4. その他（ ） |

問 36 子どもを育てていく上で、近所の方にどのようなことを期待しますか。

（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|-------------------------|----------------------|
| 1. 子どもがいけないことをしたら叱ってほしい | 2. 子育てについての相談にのってほしい |
| 3. スポーツや遊びの指導をしてほしい | 4. 急に用事ができた時に預かってほしい |
| 5. その他（ ） | 6. 特にない |

問 37 お子さんは、ボランティアなどの地域活動やグループ活動へ参加したことがありますか。

（○は１つ）

- | | |
|---------------------|----------------------------|
| 1. 参加したことがある・参加している | 2. 参加したことはないが、今後は参加させたい |
| 3. 参加したことも参加する予定もない | 4. 身近な地域の活動やグループ活動について知らない |

問 38 あなたは、子育てサークルなど、子育てに関する自主的な活動に参加していますか。

（○は１つ）

- | | |
|---------------------|-------------------------------|
| 1. 参加したことがある・参加している | 2. 参加したことはないが、今後は参加したい |
| 3. 参加したことも参加する予定もない | 4. 身近な地域のサークルなど自主的な活動について知らない |

問 39 次の子育て環境の項目について、あなたはどれくらい満足していますか。

((1)～(17)それぞれについて、○は1つつ)

		満 た さ れ て い る	ど ち ら か と 言 え ば 満 た さ れ て い る	ど ち ら と も い え な い	あ ま り 満 た さ れ て い な い	ほ と ん ど 満 た さ れ て い な い	わ か ら な い
記入例⇒		1	2	3	4	5	6
遊び	(1)自然に親しむ場に恵まれていること	1	2	3	4	5	6
	(2)自由に使えるひろば・運動場があること	1	2	3	4	5	6
	(3)放課後の児童生徒が安心して過ごせる場があること	1	2	3	4	5	6
保育・教育	(4)保育所や学校の費用が安いこと	1	2	3	4	5	6
	(5)学校の教育内容が充実していること	1	2	3	4	5	6
	(6)大学等の高等教育機関が身近にあること	1	2	3	4	5	6
	(7)奨学金制度や勉学のための融資制度が充実していること	1	2	3	4	5	6
保健・医療	(8)妊娠(不妊)や妊娠中の健康について気軽に相談できる専門機関があること	1	2	3	4	5	6
	(9)費用の心配なく乳幼児の医療や保健サービスを受けられること	1	2	3	4	5	6
	(10)乳幼児の救急医療が充実していること	1	2	3	4	5	6
家庭	(11)子どもとの触れ合いの時間が十分にあること	1	2	3	4	5	6
	(12)子育てに家族の理解と協力が得られること	1	2	3	4	5	6
	(13)親に子育てを手伝ってもらえること	1	2	3	4	5	6
地域	(14)子どもたちだけでも安心して相談できる人や機関があること	1	2	3	4	5	6
	(15)子どもに関しての悩みごとを安心して相談できる人や機関があること	1	2	3	4	5	6
	(16)同年齢の子どもの親同士の交流があること	1	2	3	4	5	6
	(17)子育てに関する情報が得やすいこと	1	2	3	4	5	6

問 40 子どもたちがすくすく育ち、安心して子育てのできる環境をつくるために、市はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(〇は5つまで)

1. 父親など家族が育児に積極的に参加すること
2. 育児と仕事が両立しやすい雇用条件を整備すること
3. 会社中心・仕事中心の社会意識を変えること
4. 保育所や保育サービスを充実すること
5. 幼稚園など入学前の子どもの教育機会を充実すること
6. 子どもが安心して遊べる場所を増やすこと
7. これから親になる若い男女に対し、乳幼児と触れ合う場や育児について学ぶ場を設けること
8. 若い親のための学習講座や、子育て不安を解消する交流施設などを充実すること
9. 親の誰もが気軽に育児の悩みごとを相談できるところを増やすこと
10. 子ども自身が安心して悩みごとを相談できるサービスを行うこと
11. 子育てに関わるご近所との協力など地域の役割を高めること
12. 子育てに関わるサークルやボランティアの育成を図ること
13. 子ども同士の交流や友達づきあいの場を積極的につくること
14. 公害や交通事故、犯罪のない安全な生活環境をつくること
15. 母子保健や乳幼児の医療についての体制を充実すること
16. 企業が子育てと仕事を両立できる環境づくりを積極的に行うよう、法律などを整備すること
17. 子育て家庭に対して金銭面での支援を行うこと
18. 子どもの人権（いじめ・児童虐待等）についての意識啓発を行うこと
19. 子育てに関する正しい情報が必要な時に得られること
20. 就労に向けた援助や相談サービスを充実すること
21. その他（ ）

問 41 その他、子どものことや子育てについてご意見があればご記入ください。

この度はアンケート調査にご協力いただき、ありがとうございました。

ご記入いただいたアンケートは、
同封の返信用封筒に入れ、4月30日までにお近くのポストにご投函ください。

いわき市 こどもまんなかアンケート調査

－ いわきの将来を担う子どもたちのために －

▼▼ ご回答にあたってのお願い ▼▼

- このアンケートを受け取った生徒自身がお答えください。
- 回答は、当てはまる回答の数字に○印をつけてください。質問によって○をつける数が異なりますので、注意書きに沿ってご記入ください。
- 答えに迷う場合には、あなたの気持ちや考え方にできるだけ近いものに○をつけてください。
- テストではありませんので、思ったとおりに答えてください。
- ご記入いただいたアンケートは、アンケートが入っていた封筒に戻し、封をして、
令和6年4月26日（金）までに、担任の先生に提出してください。
- なお、アンケート用紙や封筒に、あなたのお名前や住所を記入する必要はありません。回答内容が誰のものか特定されることは一切ありません。

本調査への質問または不明な点がありましたら、下記までお問合せください。



いわき市役所 こどもみらい部こどもみらい課
住所：〒970-8686 いわき市平字梅本 21 番地
電 話：0246-22-7483



1 基本的な属性についてうかがいます

問1 あなたの性別を教えてください。(○は1つ)

- | | | |
|------|------|---------------|
| 1. 男 | 2. 女 | 3. その他・答えたくない |
|------|------|---------------|

問2 通学している地区はどこですか。(○は1つ)

- | | | | | |
|--------|--------|------------|-------|--------|
| 1. 平 | 2. 小名浜 | 3. 勿来 | 4. 常磐 | 5. 内郷 |
| 6. 四倉 | 7. 遠野 | 8. 小川 | 9. 好間 | 10. 三和 |
| 11. 田人 | 12. 川前 | 13. 久之浜・大久 | | |

問3 一緒に住んでいる家族の方を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

- | | | | |
|------------|-------|-------|-------|
| 1. 父親 | 2. 母親 | 3. 兄 | 4. 姉 |
| 5. 弟 | 6. 妹 | 7. 祖父 | 8. 祖母 |
| 9. その他 () | | | |

2 あなたの不安や悩み、「性」のことについてうかがいます

問4 あなたの不安や悩みはどんなことですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------|---------------|
| 1. 友達との付き合い方について | 2. 学力について |
| 3. 体のことについて | 4. 性格について |
| 5. 進路について | 6. 家族、家庭について |
| 7. 部活動について | 8. 生き方や人生について |
| 9. いじめに関すること | 10. 放射能のこと |
| 11. 性のこと | 12. その他 () |
| 13. 特にない | |

→【問4で「11」を選択した方のみ】

問4① どのようなことに悩んでいますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1. 他の人と比べて発育が早い・遅い | 2. 月経について |
| 3. 妊娠 | 4. 性感染症(性病) |
| 5. 異性との付き合い方 | 6. 自慰(マスターベーション)のこと |
| 7. 性情報の多すぎる事 | 8. 性自認のこと |
| 9. その他 () | |

【再びすべての方におたずねします】

問5 「性」についての知識はどこから得ていますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 学校の授業
2. テレビ、ビデオ、ゲーム
3. 雑誌、マンガ
4. 専門書、教科書
5. インターネット、スマートフォン
6. 友達、先輩
7. 家族
8. その他（ ）
9. 特にない

問6 むかついたり、イライラしたときどのように解消していますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 友達と話す
2. 音楽を聴く
3. 運動する
4. 人や物にあたる
5. ゲームをする
6. 家族に話す
7. 携帯やスマホ、パソコンを見る
8. テレビやDVDを見る
9. 町をうろつきまわる
10. その他（ ）
11. いつも解消できない
12. むかついたり、イライラしたりしない

3 あなたの気持ちや考えについてうかがいます

問7 あなたは、自分にはいくつかの良いところがあると思いますか。(○は1つ)

- | | |
|------------|-------------|
| 1. とても思う | 2. 少し思う |
| 3. あまり思わない | 4. まったく思わない |

問8 あなたは、自分の体を大切にしていますか。(○は1つ)

- | | |
|----------------|------------------|
| 1. いつも大切にしている | 2. 時々大切にしないことがある |
| 3. あまり大切にしていない | 4. 体のことは全く考えていない |

問9 あなたは家族に愛されていると思いますか。(○は1つ)

- | | |
|------------|-------------|
| 1. とても思う | 2. 少し思う |
| 3. あまり思わない | 4. まったく思わない |

問10 あなたの家庭はあなたにとって過ごしやすい場所ですか。(○は1つ)

- | | |
|------------|-------------|
| 1. とても思う | 2. 少し思う |
| 3. あまり思わない | 4. まったく思わない |

問11 あなたの住む地域はあなたにとって過ごしやすい場所ですか。(○は1つ)

- | | |
|------------|-------------|
| 1. とても思う | 2. 少し思う |
| 3. あまり思わない | 4. まったく思わない |

問12 あなたは今までに、社会生活や日常生活を円滑に送ることができなかった経験がありましたか。または、現在そのような状況がありますか。(○は1つ)

- | | |
|-------------------------|---------------------|
| 1. 今までに経験があった(または、現在ある) | 2. どちらかといえば、あった(ある) |
| 3. どちらかといえば、なかった(ない) | 4. なかった(ない) |
| 5. わからない、答えられない | |

問13 あなたは学校で、すぐに友達ができるほうだと思いますか。(○は1つ)

- | | |
|-----------------|--------------------|
| 1. まったくその通りだと思う | 2. そのとおりだと思う |
| 3. そのとおりでないと思う | 4. まったくそのとおりでないと思う |

問14 あなたは、「自分には自分らしさというものがある」と思いますか。(○は1つ)

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらかといえばそう思わない | 4. そう思わない |

問15 あなたは、今の自分が好きですか。(○は1つ)

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらかといえばそう思わない | 4. そう思わない |

問16 全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。0を「まったく満足していない」、10を「十分に満足している」としたとき、どれぐらいの数字になるか教えてください。(数字に○を1つ)

0：まったく満足していない						10：十分に満足している					
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	

問17 あなたは、自分の将来について明るい希望を持っていますか。(○は1つ)

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 希望がある | 2. どちらかといえば希望がある |
| 3. どちらかといえば希望がない | 4. 希望がない |

問18 次のひとたちは、あなたが困ったときに助けてくれると思いますか。

(それぞれあてはまる番号1つに○)

項目	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
① 家族や親族	1	2	3	4
② 学校の友達	1	2	3	4
③ 学校の先生	1	2	3	4
④ 地域の人（塾や習い事の知り合いなど含む）	1	2	3	4
⑤ インターネット上における人やグループ	1	2	3	4

問 19 今の社会は「こどもまんなか社会」の実現に向かっていると思いますか。(○は1つ)

- | | |
|---------------------------|--------------------------|
| 1. 向かっている | 2. どちらかという toward 向かっている |
| 3. どちらかという toward 向かっていない | 4. 向かっていない |
| 5. わからない | |

「こどもまんなか社会」とは…

国では、全てのこどもが健やかに成長でき、将来にわたって幸せに生活できる「こどもまんなか」社会をめざしています。
くわしくは、同封の「いわき市 中学2年生 こどもまんなかアンケート調査－ご協力のおねがい－」をごらんください。

問 20 こどもに関する政策について、自分の意見が聞いてもらえていると思いますか。(○は1つ)

- | | |
|--------------------------|------------------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかという toward そう思う |
| 3. どちらかという toward そう思わない | 4. そう思わない |
| 5. わからない | |

問 21 今の社会は「結婚、妊娠、こども・子育てに温かい社会」の実現に向かっていると思いますか。(○は1つ)

- | | |
|---------------------------|--------------------------|
| 1. 向かっている | 2. どちらかという toward 向かっている |
| 3. どちらかという toward 向かっていない | 4. 向かっていない |
| 5. わからない | |

4 最後に、将来住んでみたい未来のいわき市についておたずねします

問22 あなたが、将来暮らしてみたいと思う未来のいわき市の姿を、思いつくまま、ご自由にお書きください。

アンケート調査にご協力いただき、
ありがとうございました。

いわき市 子ども・子育てに関するアンケート調査
及びこどもまんなか調査（ニーズ調査）

－調査結果報告書－

発行年月：令和6年12月

発行：いわき市 こどもみらい部 こどもみらい課

〒970-8686 福島県いわき市平字梅本 21 番地

電話 0246-22-7483 FAX 0246-22-7029

調査委託：株式会社サーベイリサーチセンター